

Oracle® WebCenter Sites

ユーザーズ・ガイド

11g リリース 1 (11.1.1)

部品番号 : B69681-01

2012 年 4 月

Oracle® WebCenter Sites ユーザーズ・ガイド, 11g リリース 1 (11.1.1)

部品番号 : B69681-01

原本名 : Oracle® WebCenter Sites User's Guide, 11g Release 1 (11.1.1)

原本著者 : Melinda Rubenau

原本協力者 : Kannan Appachi, Sean Cearley, Avadhani Chandrashekar, Saikat Chaudhuri, Ravi Khanuja, Tatiana Kolubayev, Cory Lum, Deephan Mohan, Patrice Palau, Vijayalakshmi Rajan

Copyright © 2012 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントが、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供される場合は、次の Notice が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアは、危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、それを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle および Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性があります。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスのもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、X/Open Company, Ltd のライセンスによる登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェアおよびドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても、一切の責任を負いかねます。

目次

このガイドについて	11
対象読者	11
関連ドキュメント	11
このガイドの構成	12
このガイド内の図	12
このガイドで使用する表記規則	13
サード・パーティのライセンス	13

第 1 部 概要

1 概要	17
Oracle WebCenter Sites の概要	18
コンテンツ・エントリ・フォームから Web サイトまで	18
コンテンツ・エントリ・モード.....	23
コンテンツのプレビュー.....	26
コンテンツ管理の概念について	27
コンテンツ:アセット・タイプおよびアセット	27
構造化コンテンツ・アセットとドキュメント・アセット.....	31
多言語アセット.....	32
デザイン・アセット.....	32
WebCenter Sites のデータ・モデル	33
コンテンツ管理サイト.....	34
Contributor インタフェースで実行可能な機能.....	35
Contributor インタフェースの機能	36

第 2 部 Contributor インタフェースでの作業

2 スタート・ガイド	41
このガイドで使用するサンプル・サイト	42
ログイン	43
クイック・ツアー	45
アセットの作成	48
アセットの検索とオープン	51
フォーム・モードと Web モードの切替え	55
フォーム・モードでのアセットの編集	56
Web モードでのアセットの編集	59
アセットのプレビュー	63
アセットにアクセスするその他の方法	64
別のサイトへの切替え	65
WebCenter Sites からのログアウト	66
終了	66
3 フォーム・モードでのアセットの作成、共有および編集	67
フォーム・モードでのアセットの作成	68
アセット作成方法の種類	68
フォーム・モードでの新規アセットの作成	69
既存アセットのコピーによるアセットの作成	75
他のサイトとのアセットの共有	78
共有可能なアセットの条件	78
他のサイトとアセットを共有する方法	79
フォーム・モードでのアセットの編集	81
属性エディタの使用	83
CKEditor の使用	84
イメージ・ピッカーの使用	85
Clarkii Online Image Editor の使用	87
Date Picker の使用	89
4 Web モードでのアセットの作成、共有および編集	91
概要	92
スロットとは	94
Web ページ・レイアウトとコンテンツ・レイアウトの相違点	96
Web モードでのアセットの作成	98
アセット作成方法の種類	98
Web モード使用時にフォーム・モードに切り替える必要性	98
Web モードでの新規アセットの作成	98
既存アセットのコピーによる新規アセットの作成	107
他のサイトとのアセットの共有	107
Web モードでのアセットの編集	108
Web モードでのアセットのコンテンツの編集	108
Web ページ・レイアウトの変更	110
コンテンツ・レイアウトの変更	114
アソシエーションの編集	118

5	アセットの削除	133
	概要	134
	アセットの削除ルール	134
	アセットの削除方法	135
6	アセットの検索と編成	139
	アセットの検索	140
	WebCenter Sites の Contributor インタフェースの検索動作	140
	検索のガイドライン	140
	アセットの検索	142
	詳細検索の実行	148
	アセットの編成	150
	アセットへのブックマーク付け	151
	ブックマークを付けたアセットへのアクセス	152
	アセットのブックマーク解除	153
	「履歴」ノードからのアセットへのアクセス	155
7	アセットのプレビュー	157
	概要	158
	アセットのプレビュー方法	159
	将来サイトのプレビュー	162
	開始日と終了日について	162
	将来プレビューについて	162
	開始日と終了日の将来プレビューへの影響	163
	開始日と終了日の割当て	164
	将来の任意の時点に表示されるサイトのプレビュー	166
	パブリッシュの承認	168
8	アセットの関連付け	169
	アセットのアソシエーションでの作業	170
	アソシエーションのタイプ	171
	アセットの関連付け	172
	アセットのアソシエーションの解除	175
	親子関係	177
	グループ化アセットでの作業	179
	コレクションの使用	179
	コレクションの作成	180
	推奨の作業	183
9	サイトのナビゲーションの作成	185
	概要	186
	ページの配置および配置取消し	188
	ページの配置	188
	ページの配置取消し	191
10	アセットのリンク	193
	概要	194

2つのアセットの直接リンク	196
前提条件.....	197
他のアセットへのハイパーテキスト・リンクを作成するには	199
2つのアセットを包含によりリンクするには.....	202
イメージ・アセットによる2つのアセットのリンク	205
前提条件.....	206
「ブックマーク」ノードからのイメージを通じたリンク.....	209
イメージ・ピッカーからのイメージを通じたリンク.....	214
URL へのアセットのリンク	219
11 多言語アセットでの作業	223
概要	224
アセットのロケール指定の設定または変更	226
アセットの翻訳の作成.....	227
アセットの使用可能な翻訳の確認.....	231
多言語セットのマスター・アセットの変更	233
12 パブリッシュの承認.....	235
概要	236
依存性.....	236
承認状態.....	237
承認タスク	238
アセットのパブリッシュの承認.....	238
アセットの承認ステータスの確認.....	242
パブリッシュ・キューからのアセットの除去.....	243
13 リビジョン追跡	245
概要	246
チェックアウトとチェックイン.....	246
ロールバックとリビジョン履歴.....	248
アセットのチェックアウト.....	249
チェックアウトの確認	251
チェックアウトを元に戻す	252
アセットのチェックイン.....	254
リビジョン履歴の確認.....	256
前のバージョンに戻す (ロールバック)	257
14 ワークフロー	259
概要	260
ワークフローおよびアセット.....	260
状態およびステップ.....	261
ユーザー、ロールおよび参加者.....	262
ワークフローの割当て.....	263
デッドロック.....	264
サンプル・ワークフロー	265
サンプル・ワークフローの状態およびステップ.....	265
サンプル・ワークフローのシナリオ.....	267

割当ての表示	269
ワークフロー機能の使用方法	270
ワークフローへのアセットの割当て.....	270
プロセスの期限の設定.....	273
割当て期限の設定.....	275
割当ての終了.....	276
割当ての委任.....	280
投票の棄権.....	282
デッドロックの解決.....	283
ワークフローからのアセットの除去.....	284
アセットの参加者(割当て先)のリストの表示	285
ワークフローの参加者の設定.....	286
アセットのワークフロー進捗状況の確認.....	288

第3部 Oracle WebCenter Sites: Engage アセットの使用

15 Oracle WebCenter Sites: Engage の概要	293
マーチャンダイジング・アセットについて	294
セグメントを使用した訪問者の分類.....	294
セグメント分けされた訪問者への推奨の作成.....	295
購買パターンに基づくプロモーション.....	295
16 訪問者のセグメントへのグループ化	297
セグメントについて	298
セグメントおよび訪問者データ・アセット.....	298
セグメントの開発: プロセスの概要	299
セグメント・フォームについて.....	299
セグメント・フィルタ基準フォーム.....	299
セグメント定義フォーム.....	301
セグメントの作成	303
手順1: セグメントの名前と定義の指定.....	303
手順2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成	306
手順3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成	308
手順4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義	321
サンプル・セグメント・アセット.....	323
セグメントのパブリッシュ.....	323
パブリッシュ後.....	323
17 推奨の作成および構成.....	325
推奨アセット	326
アセットの選択要因	329
評価.....	329
確信度.....	331
選択基準	332
ソート基準.....	333
アセット推奨のプロセス	334

リスト・モードの静的リスト.....	334
推奨モードの静的リスト.....	334
動的リスト.....	335
関連アイテム.....	336
推奨アセットの作成.....	337
推奨開発の概要.....	337
リスト・モードの静的リスト推奨の作成.....	338
推奨モードの静的リスト推奨の作成.....	342
動的リスト推奨の作成.....	349
関連アイテム推奨の作成.....	355
推奨アセットの編集.....	360
推奨されるアセットの構成.....	363
アセットへの評価の割当て.....	363
関連アイテム推奨を使用したアセット関係の構成.....	365
推奨アセットの検証.....	368
評価されたフレックス・アセットのパブリッシュ.....	368
18 プロモーションの作成.....	369
プロモーションについて.....	370
プロモーションと推奨について.....	370
プロモーションが重複する場合.....	370
プロモーションの作成.....	372
手順1: プロモーションの命名と定義.....	372
手順2: プロモーションの目標の定義.....	374
手順3: プロモーションの対象となる訪問者の定義.....	374
手順4: 割引の定義.....	375
手順5: プロモーションの期間の定義.....	378
手順6: サイトでのプロモーションの通知.....	379
サンプル・プロモーション・アセット.....	381
プロモーションのパブリッシュ.....	381

付録

A. フレックス・アセット・モデル.....	385
フレックス・アセット・モデルの概要.....	386
B. ナビゲーションのリファレンス.....	387
メニュー・バー.....	388
ナビゲーション・ペイン.....	389
ワークスペース: 「ホーム」タブ.....	390
「ブックマーク」ウィジェット.....	392
「SmartLists」ウィジェット.....	393
「割当て」ウィジェット.....	393
「チェックアウト」ウィジェット.....	394
ワークスペース: アセット・タブ.....	395
アセット・ツールバー.....	396

フォーム・セクション・セクタ.....	397
「検索」 / 「参照」 タブ.....	398
分割表示: アセット・タブと検索結果リスト	400
アイコン.....	401
手順の索引	405
索引	409

このガイドについて

このガイドでは、コンテンツ・プロバイダが組織のオンライン・サイトでパブリッシュするコンテンツを作成、編集および承認するために使用する、Oracle WebCenter Sites で提供されている機能の概要について説明します。

このガイドに記載されている Oracle WebCenter Sites アプリケーションは、以前の FatWire 製品です。Oracle WebCenter Sites は、以前は FatWire Content Server と呼ばれていたアプリケーションの現在の名前です。このガイドでは、Oracle WebCenter Sites を WebCenter Sites と呼ぶこともあります。

対象読者

このガイドは、Oracle WebCenter Sites の Contributor インタフェースを使用してコンテンツを作成、確認および承認するコンテンツ・プロバイダを対象としています。コンテンツ・プロバイダは一般に、コーポレート・コミュニケーション、財務、人事、販売およびマーケティングの各分野における専門家です。コンテンツ・プロバイダの専門知識が根差すものはそのコンテンツ自体であり、コンテンツ管理に使用されるソフトウェアではありません。技術的習熟は必ずしも必要ではありません。

このガイドは、コンテンツ・プロバイダをサポートし、彼らの職務を遂行する個々のユーザー、または単純に WebCenter Sites の基本概念を理解したいユーザーにも役立ちます。たとえばこのガイドは、ニーズに合わせたインストールを開発およびカスタマイズすることでコンテンツ・プロバイダをサポートする WebCenter Sites 管理者に役立ちます。さらに管理者は、インストールを維持し、ビジネス・ユーザーに技術サービスを提供します。

関連ドキュメント

詳細は、次のドキュメントを参照してください。

- 『Oracle WebCenter Sites 開発者ガイド』
- 『Oracle WebCenter Sites 管理者ガイド』

このガイドの構成

情報を見つけやすくするため、このガイドはいくつかの部で構成されています。各部には、特定の概念またはプロセスに関連する一連の章があり、それぞれ **Contributor** インタフェースの特定の機能について説明しています。各部の内容は次のとおりです。

- **第1部：概要**
この部では、**WebCenter Sites** の概要および基礎となるアーキテクチャを紹介します。**WebCenter Sites** の構成の基になる基本概念および依存性について説明しています。
- **第2部：WebCenter Sites Contributor インタフェースの操作**
この部では、**WebCenter Sites Contributor** インタフェースの使用方法を紹介します。**Contributor** インタフェースでの移動および操作の基本、すべてのアセット・タイプにおける共通の操作タスク、およびコンテンツ・プロバイダとして **WebCenter Sites** で実行する必要のある特定のタスクやプロセスについて説明しています。
- **第3部：WebCenter Sites: Engage アセットの操作**
ここでは、サイト訪問者をターゲットにしたマーケティング・キャンペーンを実施するマーケティング担当者のタスクと職務を紹介します。この部では、**Engage** の機能と、セグメント、推奨、プロモーションを使用するプロセスについて紹介しています。
- **第4部：付録**
この部では、このガイドで説明している一部の概念をさらに詳しく理解するために役立つ情報を提供しています。
- **その他の情報**
このガイドの最後には、コンテンツ管理の手順にすばやく移動するための索引と、クイック・リファレンスとして利用可能な、このガイドの最も重要な用語およびキーワードを含む一般的な索引があります。

このガイド内の図

このガイドには、**avisports** サンプル・サイトおよび **FirstSite II** サンプル・サイトを実行する **WebCenter Sites Contributor** インタフェースの一部を使用した図が含まれています。**WebCenter Sites** は様々にカスタマイズが可能のため、このガイドで使用されている図は、実際のインタフェースとは多少異なる場合があります。そのため、このガイド内の図はすべて参照として使用してください。

このガイドで使用する表記規則

情報の検索および理解を容易にするため、このガイドでは次の表記規則を使用します。

- **太字**は、インタフェースに表示されるボタン、リンク、フィールドおよびフォーム・セクションの名前と、WebCenter Sites インタフェースに逐語的に入力するよう要求される可能性のある情報を示します。
- 引用符内のテキストは、インタフェースに表示されるフォーム、画面およびドロップダウン・リストの名前を示します。
- *斜体*は、変数の名前と、選択内容によって変わるテキストを示します。
- 等幅フォントは、URL、ファイル・システム・パス、またはコードの一部を示します。

サード・パーティのライセンス

Oracle WebCenter Sites およびそのアプリケーションには、サード・パーティのライブラリが含まれています。詳細は、*Oracle WebCenter Sites 11gR1: サード・パーティのライセンス*を参照してください。

第 1 部

概要

この部では、Oracle WebCenter Sites の概要を説明します。次の章があります。

- [第 1 章「概要」](#)

第 1 章

概要

コンテンツ・プロバイダの役割は、Web サイトのコンテンツを作成、管理および配信することです。その専門知識はコンテンツに基づくもので、その管理に使用するソフトウェアに基づくものではありません。このガイドは、特にコンテンツ・プロバイダを対象としており、Oracle WebCenter Sites を使用して、技術的な熟練を要せずコンテンツ管理タスクを実行できるように支援することを目的としています。

この章は、次の項で構成されています。

- 「Oracle WebCenter Sites の概要」
- 「コンテンツ管理の概念について」
- 「Contributor インタフェースで実行可能な機能」
- 「Contributor インタフェースの機能」

Oracle WebCenter Sites の概要

Oracle WebCenter Sites は、コンテンツを作成および管理し、Web サイトにパブリッシュするためのソフトウェア・スイートです。コンテンツは、WebCenter Sites データベースに格納されます。コンテンツの作成および管理には WebCenter Sites の Contributor インタフェースを使用します。このインタフェースを使用すると、データベースに対するアクセスおよび処理を、簡単かつ直感的に行えます。

管理するコンテンツは、組織の性質によって異なります。ニュース・サイトでは、記事、写真、ビデオ・クリップなどを作成します。人事部であれば、求人案内や人事政策などを管理するでしょう。オンライン・ショップでは、製品説明、特別提供、割引券などを扱います。コンテンツ管理 (CM) システムで作成したコンテンツは、完成まで段階的に処理され、担当者間を移動します。このプロセスをワークフローと呼びます。この過程で、コラボレータはコンテンツに対して修正やコメントを加え、リビジョン追跡を使用して、コンテンツに加えられた変更を監査できます。最終的な目的は、サイト・ビジターが閲覧できるように、コンテンツをパブリッシュすることです。パブリッシュ機能は、WebCenter Sites の管理インタフェースから使用できます。

コンテンツ・エントリ・フォームから Web サイトまで

WebCenter Sites でコンテンツを作成および編集する場合は、CM システムに置かれているコンテンツ・エントリ・フォームを使用します。これは、データベースに直接アクセスすることなく、簡単かつ直感的にデータベースにコンテンツを格納できるようにするための機能です。一般向けに配信する準備ができたコンテンツは、動的または静的いずれかのパブリッシングを使用して、Web サイトにパブリッシュできます。(パブリッシュの詳細は『Oracle WebCenter Sites 管理者ガイド』を参照)

たとえば、動的なパブリッシュ方法を使用する場合は、コンテンツは CM システムから配信システムにパブリッシュ (コピー) されます。配信システムはこのコンテンツを、Web サイトに配信します。コンテンツを動的にパブリッシュする手順を図 1 および図 2 に示すとともに、次に説明します。

- 手順 1: 図 1 コンテンツ・エントリ・フォーム (記事フォームなど) にデータを移入してコンテンツを保存すると、コンテンツは WebCenter Sites によって CM システム・データベースに格納されます。
- 手順 2: 図 1 作成者または別のユーザーによってコンテンツが承認されると、パブリッシュ・プロセスが開始され、コンテンツが配信システムにコピーされます。
- 手順 3: 図 1 サイト・ビジターによってコンテンツが要求されると、このコンテンツが配信システムから自動的に取得され、コードによってフォーマットおよびレイアウトされます。このコードは、サイト・デザイナの指定に基づいて開発者が記述します。
- 手順 4: 図 2 フォーマットされたコンテンツがビジターのブラウザに配信されます。

簡単に言うと、コンテンツ・エントリ・フォームは生のコンテンツを受け取り、CM システム・データベースに格納します。パブリッシュされたコンテンツがサイト・ビジターによって要求されると、配信システムはビジターのブラウザ上

に、このコンテンツをビューア対応の形式でレンダリングします (すでにキャッシュされていない場合)。

注意

このガイド全般において、コンテンツ・プロバイダは CM システムを使用して、Web サイトに配信されるコンテンツを作成および変更し、他のプロセスも実行します。

1つのコンテンツ・エントリ・フォームは、1つのアセット (この章内で後述) を表現します。コンテンツ・エントリ・フォームは、次の2つのモードで表示できます。

- フォーム・モードは、従来のフォーム・ビューとして表示され、各フィールドにコンテンツを入力できます (21 ページの図 1、および 23 ページの図 3 の左側)。「プレビュー」オプションを使用すると、パブリッシュしたときにコンテンツが Web サイト上でどのように表示されるかを確認できます。
- Web モードでは、コンテンツの Web ページ・ビュー上に情報を入力できます (23 ページの図 3 の右側)。これにより、作成しているコンテンツが Web サイトにパブリッシュされた場合どのように表示されるかを、作成しながら確認できます。

コンテンツ・エントリ・フォームには、次の利点があります。

- WebCenter Sites データベースの詳細な仕様について、ユーザーが学習する必要はありません。

コンテンツ・エントリ・フォームは、WebCenter Sites データベースの窓口と考えることができます。フォームに入力したコンテンツは、データベース内に格納されます。取得したコンテンツはデータベースから読み取られ、コンテンツ・エントリ・フォームの編集バージョンとして表示されます。

コンテンツ・エントリ・フォームは、WebCenter Sites がサポートする様々な種類のデータベースに対応する標準インタフェースとなるため、ユーザーは特定のデータベースの仕様を学習する必要がありません。あるデータベースが別のデータベースに交換されたとしても (SQL Server の DB2 との交換など)、その交換はユーザーに対して透過的です。

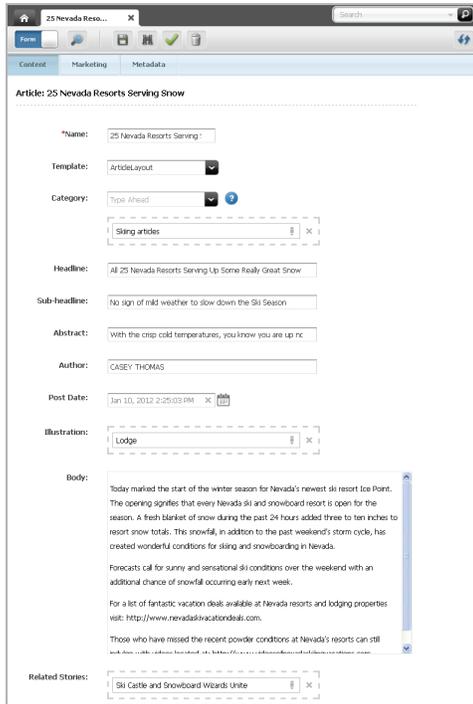
- ユーザーは、HTML や他のマークアップ言語について知る必要がありません。

どのコンテンツ・エントリ・フォームでも、入力または編集するコンテンツをユーザー自身がフォーマットする必要はありません。ユーザー定義のフォーマットが使用できない場合は、デフォルトのフォーマット (テンプレートで指定) が適用されます。また、フィールドに WYSIWYG (What You See Is What You Get) エディタが表示される場合は、HTML を知らなくても、このツールを使用してフィールドのコンテンツをフォーマットできます。コンテンツ・プロバイダは、コンテンツだけに集中することもできますが、その外観を決定することもできます。

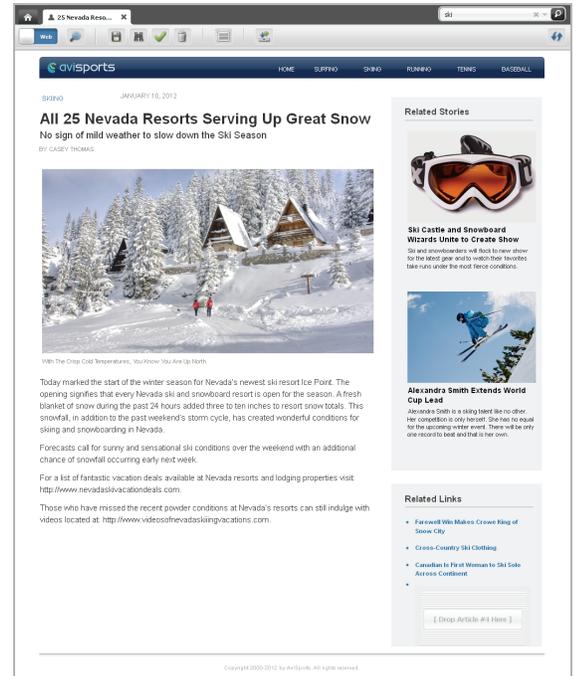
- ドラッグ・アンド・ドロップ環境で作業できます。
コンテンツ・エントリ・フォームの特定フィールドには、ドロップ・ゾーンが表示されます。ドロップ・ゾーンではドラッグ・アンド・ドロップ機能がサポートされるので、あるコンテンツを別のコンテンツに簡単に関連付けることができます。ユーザーは目的のコンテンツを素早く特定して（検索などの実行により）、目的のフィールドのドロップ・ゾーンまでドラッグし、このフィールドにドロップできます。
- 再利用性と一貫性が最大化されています。
フォームに入力したすべてのコンテンツ部分は、必要な回数だけ再利用が可能であり、Web サイト上の何箇所にも、必要な数のフォーマットで再利用できます。再利用可能であるため、使用するたびに同じコンテンツを再作成する必要がなく、サイト全般で一貫性を維持できます。

図 1: コンテンツ・エントリ・フォーム (フォーム・モードおよび Web モードでの表示)

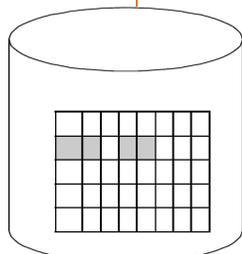
フォーム・モードで表示された
コンテンツ・エントリ・フォーム



コンテンツ・エントリ・フォームの
Web ページ・ビュー (Web モード)

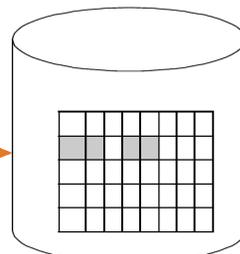


1 コンテンツ・エントリ・
フォームに (フォーム・
モードまたは Web モード
で) 入力されたコンテン
ツは、CM システム・



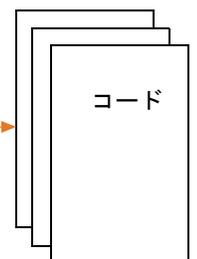
CM システム・データベース

2 コンテンツのパ
ブリッシュが承
認されると、コ
ンテンツ・プロ
バイダまたは管
理者は、コンテン
ツを配信シス
テムのデータ
ベースにパブ
リッシュしま
す。



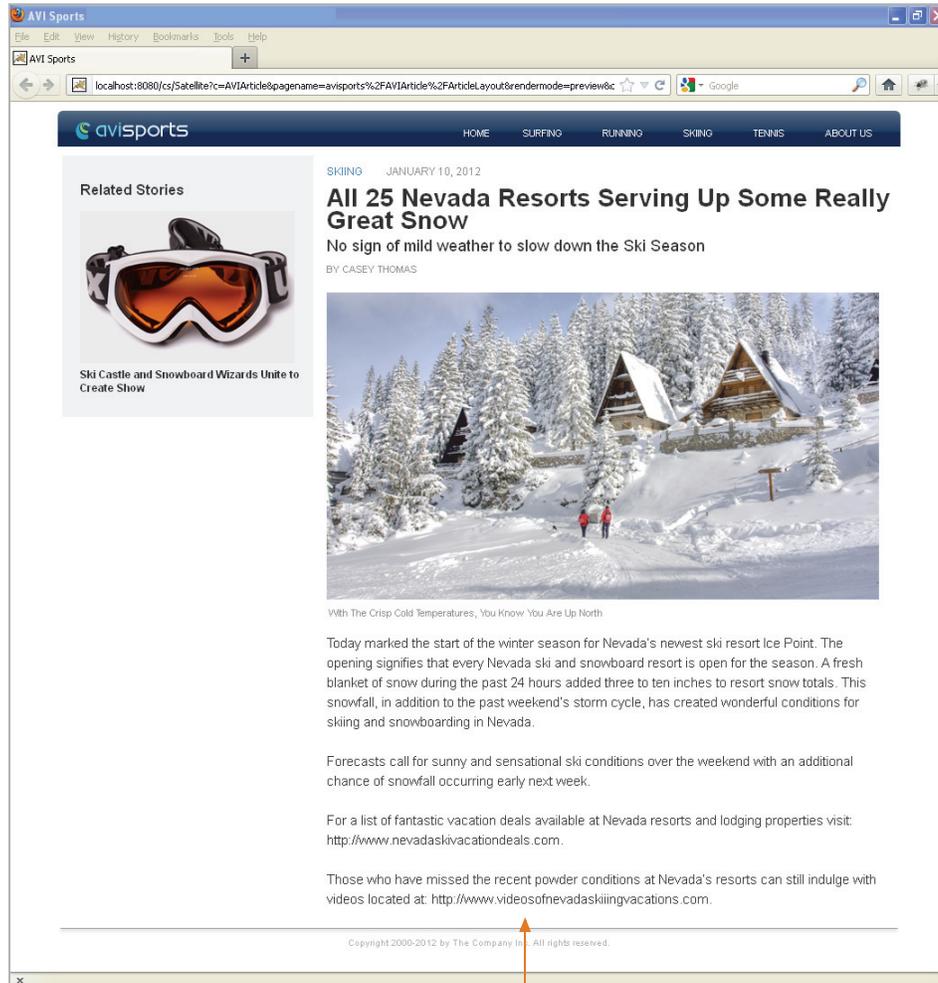
配信システム・データベース

3 Web サイト上
で表示する準備
が整ったコンテン
ツは、データ
ベースから取得
され、サイト開
発者によって作
成されたコード
に基づきフォー
マットおよびレ
イアウトされま
す。



コード

図 2: Web サイト (オンライン・サイト)



- 4 フォーマットされたコンテンツが Web サイトに表示されます。

コンテンツ・エントリ・モード

Contributor インタフェースでは、フォーム・モード(21 ページの図 1 および図 3 の左側)または Web モード(図 3 の右側)を使用して、コンテンツ・エントリ・フォームを処理できます。

図 3: コンテンツ・エントリ・フォームのフォーム・モード表示および Web モード表示

フォーム・モードで表示された
コンテンツ・エントリ・フォーム

Web モードで表示された
コンテンツ・エントリ・フォーム

図 3 に示すように、フォーム・モードでは従来のフォーム・ビューでコンテンツ・エントリ・フォームが表示されます。ここでは、明確なラベルの付いたフィールドに、作成するコンテンツの情報を入力できます。一方、Web モードでは、コンテンツ・エントリ・フォームの Web ページ・ビューを処理できます。Web モードではフィールドのかわりに、スロット、事前定義されたサンプル情報、情報を入力するための他の編集可能領域が表示されます。入力した情報は、Web モードで表示されたときとまったく同様に、Web サイト上でも表示されます(コンテンツのパブリッシュ後)。

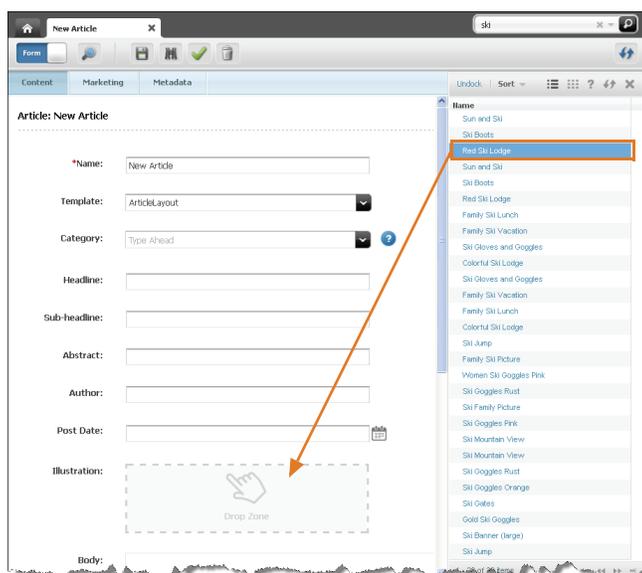
2 種類のモードで作業可能だけでなく、Contributor インタフェースではドラッグ・アンド・ドロップ機能がサポートされ、この機能をフォーム・モードでも Web モードでも使用できます。

フォーム・モードでのドロップ・ゾーンの処理

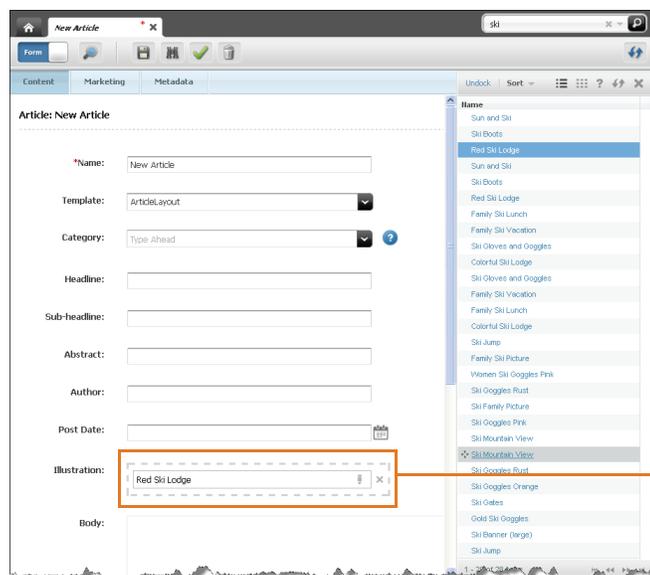
フォーム・モードでコンテンツを処理する場合は、ドラッグ・アンド・ドロップ機能をサポートするフィールドが表示されることがあります。ドラッグ・アンド・ドロップ機能をサポートするフィールドには、ドロップ・ゾーンが表示されます。ドラッグ・アンド・ドロップ・フィールドにデータを移入するには、検索結果リストまたはナビゲーション・ツリーからコンテンツを選択して、フィールドのドロップ・ゾーンにドロップ(配置)します。

図 4: ドロップ・ゾーン(ドラッグ・アンド・ドロップ・フィールド)の処理

フォーム・モードで表示されたコンテンツ・エントリ・フォームには、イメージなどのコンテンツをドラッグ・アンド・ドロップするためのドラッグ・アンド・ドロップ・フィールドが表示されます。



ドロップ・ゾーン(ドラッグ・アンド・ドロップ・フィールド)が表示されたフィールドにコンテンツをドラッグします。



ドロップ・ゾーンにコンテンツをドロップすると、コンテンツ名がフィールドに表示されます。

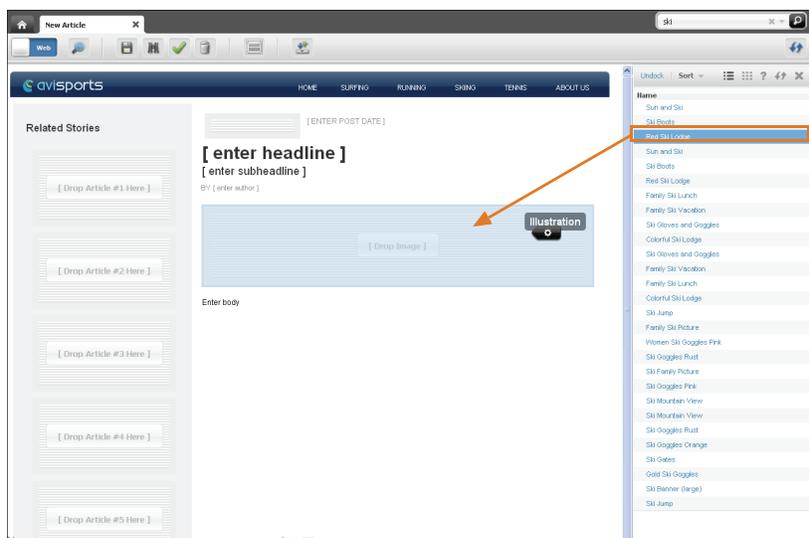
フォーム・モードでのコンテンツ処理に関する詳細および手順は、[第3章「フォーム・モードでのアセットの作成、共有および編集」](#)を参照してください。

Web モードでのスロット (ドロップ・ゾーンと組み合わせてコーディング) の処理

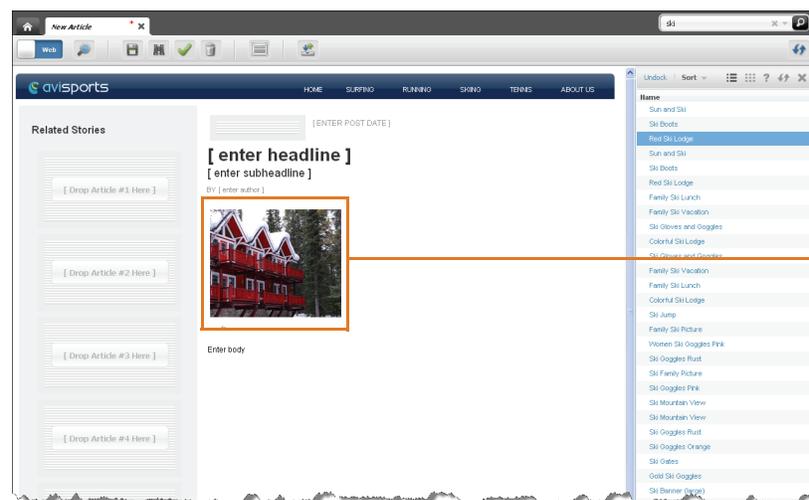
Web モードでコンテンツを処理する場合は、ドラッグ・アンド・ドロップ機能をサポートするスロットが表示されることがあります。こうしたスロットは、ドロップ・ゾーンと組み合わせてコーディングされています。ドロップ・ゾーンと組み合わせてコーディングされたスロットでは、ツリーまたは検索結果リストからコンテンツを選択して、選択したコンテンツをこのスロットにドラッグ・アンド・ドロップ (配置) できます。スロットに表示されるコンテンツは、Web サイトで表示される場合と同じように表示されるため、WebCenter Sites システム内のコンテンツどうしのアソシエーションを視覚化できます。

図 5: ドロップ・ゾーンと組み合わせてコーディングされたスロットの処理

コンテンツをドラッグ・アンド・ドロップ可能なスロットが表示された、記事アセットの Web モード表示



コンテンツを適切なスロットにドラッグ



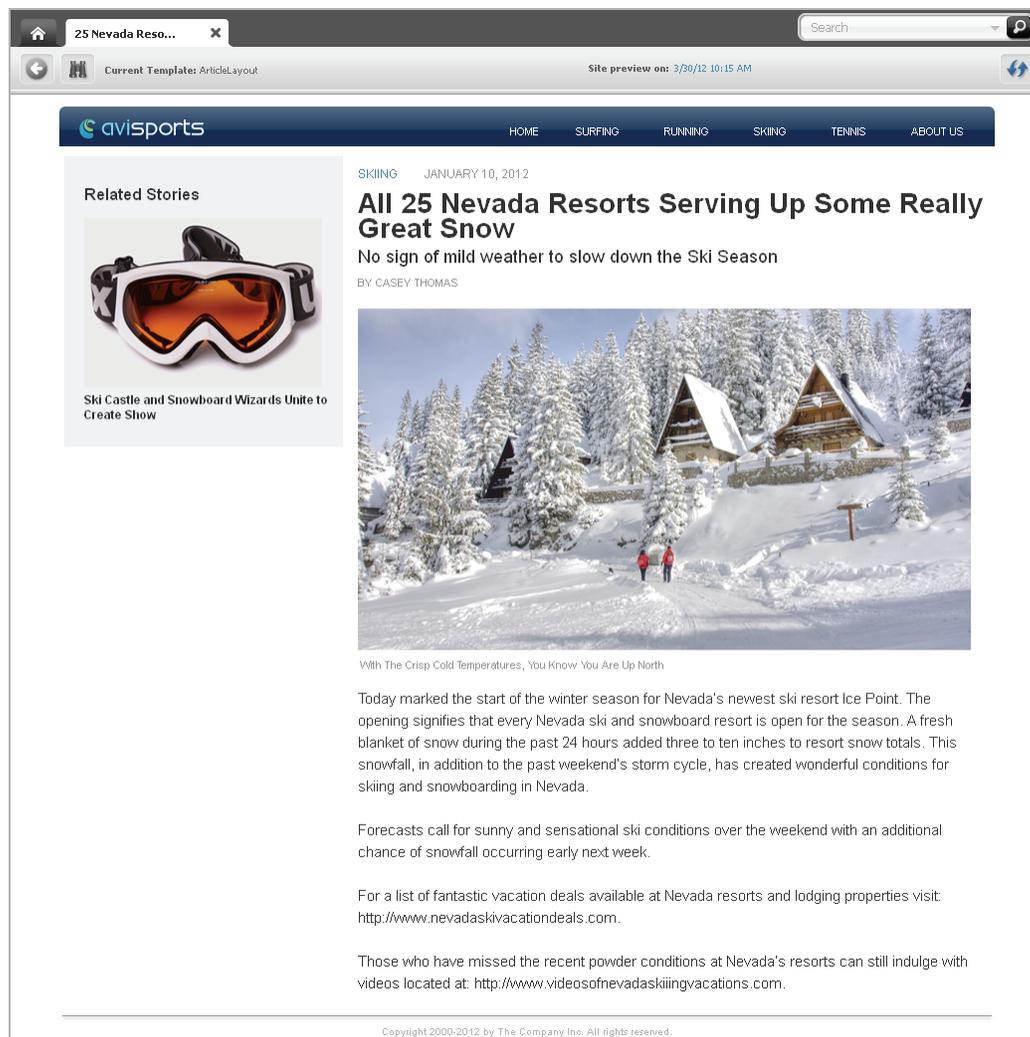
スロットにコンテンツをドロップすると、パブリッシュ後に Web サイトに表示される場合と同様にコンテンツがレンダリングされます (このコンテンツ・タイプがスロットによってサポートされる場合)。

Web モードでのコンテンツ作成に関する詳細および手順は、第4章「Web モードでのアセットの作成、共有および編集」を参照してください。

コンテンツのプレビュー

「プレビュー」機能を使用すると、作成または編集しているコンテンツが、パブリッシュ後に Web サイトでどのように表示されるかを確認できます。Web モードでコンテンツを処理している場合とは異なり、プレビュー表示中のコンテンツは編集できません (図 6 を参照)。

図 6: コンテンツのプレビュー



プレビュー機能では、コンテンツの Web ページ・ビューが表示されるだけです。プレビューしているコンテンツを編集するためのオプションは提供されません。コンテンツを編集するには、フォーム・モードまたは Web モードでコンテンツを処理する必要があります。フォーム・モードまたは Web モードに切り替えて、プレビュー表示中のアセットを編集する方法の詳細は、「アセットのプレビュー」の 63 ページの手順 b を参照してください。

コンテンツ管理の概念について

WebCenter Sites では、コンテンツはアセットおよびアセット・タイプという形で定義されます。この定義は、このガイド全般で使用されます。

コンテンツ：アセット・タイプおよびアセット

WebCenter Sites を使用して管理するコンテンツ・アイテムは、**アセット**と呼ばれます。アセットには、たとえば記事、製品説明、広告、写真、ビデオ・クリップなどがあります。

アセット・タイプは、WebCenter Sites のユーザーに対し、許容されるコンテンツの種類を定義するオブジェクトです。アセット・タイプは、このタイプのアセットの作成に使用されます。たとえば、雑誌記事とスポーツ・カーの広告をパブリッシュする場合は、"記事"アセット・タイプから雑誌記事を作成し、"スポーツ・カー"アセット・タイプから広告を作成します。

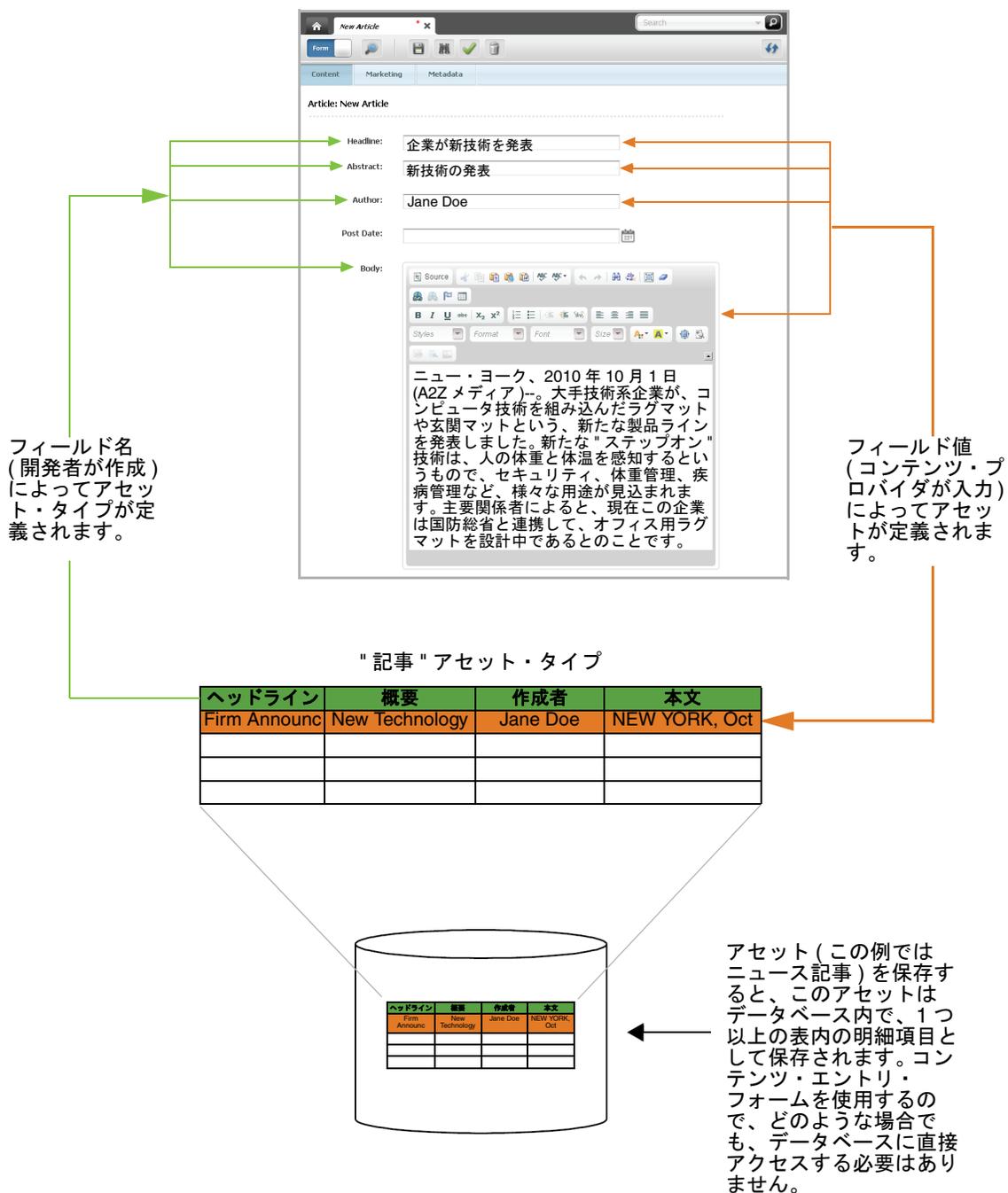
個々のアセット・タイプは、WebCenter Sites インタフェースではコンテンツ・エントリ・フォーム (21 ページの図 1 など) として表されます。このフィールド名は、フィールド値の格納に使用されるデータベース表 (1 つまたは複数) の列ヘッダーにマッピングされます。フィールド名のセットによってアセット・タイプが定義されるため、提供しようとするコンテンツの種類もこれによって定義されます。フィールド値を入力して保存すると、WebCenter Sites データベース表内にレコード (アセット) が作成されます。アセットとはコンテンツであり、編集や削除を行い、ワークフローを経てパブリッシュできます。

注意

コンテンツ・エントリ・フォームに情報を入力するため、どのような場合でも、データベースに直接アクセスする必要はありません。

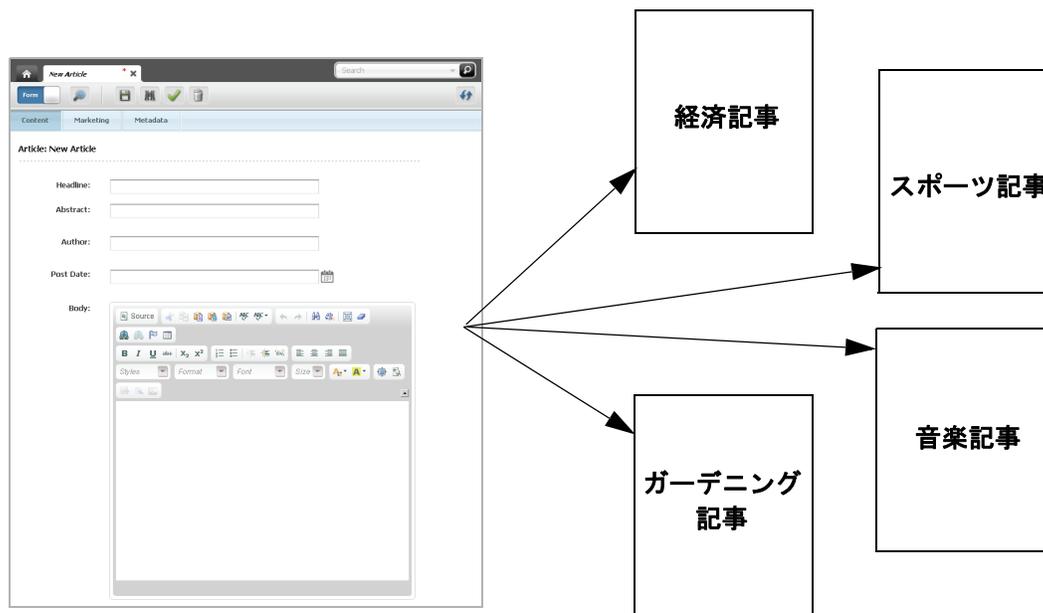
図 7 では、ニュース記事を "記事" アセット・タイプに関連付けることで、アセット・タイプおよびアセットの概念を示します。

図 7: アセットとそのアセット・タイプとの関係

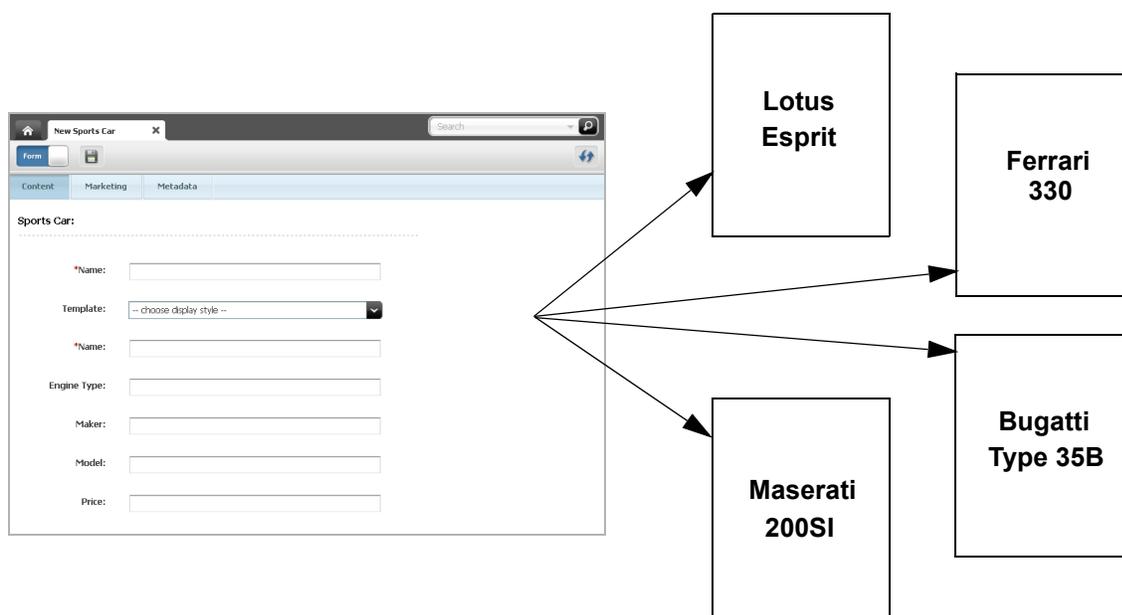


アセット・タイプは再使用可能であるため、1つのコンテンツ・エントリー・フォームから複数の一意のアセットを作成できます。各アセットは、そのアセット・タイプのインスタンスです。

28 ページの図 7 の例では、コンテンツ・プロバイダは "記事" アセット・タイプを基に、技術に関するニュース記事を作成しました。他のコンテンツ・プロバイダは、経済記事アセット、ガーデニング記事アセット、スポーツ記事アセット、音楽記事アセットなどを作成でき (下図)、これらはすべて "記事" アセット・タイプのインスタンスとなります。各インスタンスは、"記事" データベース表内のレコードとして保存されます。



次の例では、異なるフィールド・セットからなる "スポーツ・カー" アセット・タイプを使用します。コンテンツ・プロバイダはこれを基に、Lotus、Ferrari、Maserati および Bugatti アセットを作成できます。これらすべては、"スポーツ・カー" アセット・タイプのインスタンスです。各インスタンスは、"スポーツ・カー" という名前のデータベース表内のレコードとして保存されます。



開発者は通常、十分な範囲とタイプによるコンテンツを作成およびパブリッシュできるように、多くの種類のアセット・タイプを作成します。個々のアセット・タイプには、それぞれ固有のコンテンツ・エントリ・フォームがあります。これは 28 ページに示すフォーマットですが、フィールド・セットはそれぞれ一意です。保存したアセットは WebCenter Sites データベースに格納されます。アセットは、編集、調査、削除、複製、ワークフローへの組込み、リビジョン追跡による追跡、検索、および Web サイトへの配信が可能です。

注意

技術的に正確に言うと、コンテンツ・エントリ・フォームのフィールド名は属性です。この区別は管理者や開発者にとっては重要ですが、コンテンツ・プロバイダの作業、および WebCenter Sites でのコンテンツ管理についての理解には影響しません。このため、このガイド全般では、"フィールド" と "属性" はほぼ同じ意味で使用されます。

構造化コンテンツ・アセットとドキュメント・アセット

コンテンツ・プロバイダは多くの場合、**構造化コンテンツ・アセット**と**ドキュメント・アセット**という、2種類のアセットを管理します。両者の違いは、構造化コンテンツ・アセットでは所定のコンテンツを WebCenter Sites インタフェースに直接入力する必要がある一方、ドキュメント・アセットでは、任意のコンテンツ(またはレイアウト)によって構成されるファイルを提供する必要があることです。アセット・タイプを作成する開発者は、アセット・タイプが構造化コンテンツとドキュメントのどちらをサポートするのか、または両方をサポートするのかを指定します。

構造化コンテンツは、統一性、標準および再利用性を実現するために使用します。一方、ファイルベースのコンテンツは、自由形式での手法が許容される場合に使用します。ファイルベース・コンテンツでは、任意のコンテンツを構成し、これを独自の形式で表現できる自由があります。

- **構造化コンテンツ・アセットを作成する場合は**、コンテンツをフォームに直接入力します(前述の例を参照)。各フィールドでは、見出し、署名欄、本文など特定の情報の入力を要求することで、コンテンツの構造を適用します(右図参照)。

コンテンツをパブリッシュすると、そのフォーマットとレイアウト(サイト・デザイナーによって事前定義されたもの)が、コンテンツのレンダリング用に選択したテンプレートに実装されます。

構造化コンテンツ・アセット

The screenshot shows the 'New Content' form for 'Articles'. It has tabs for 'Form', 'Marketing', and 'Metadata'. The main form area contains the following fields:

- *Name: [text input]
- Template: [dropdown menu with "-- choose display style --"]
- *Content Category: [drag zone with "Drop Zone" label]
- *Headline: [text input]
- Subheadline: [text input]
- Byline: [text input]
- *Abstract: [text area]

- **ドキュメント・アセットを作成する場合は**、任意のフォーマットのファイル(Word ドキュメントなど)にコンテンツを入力して、このファイルをドキュメント・アセットに添付します。オプションとして、ファイルとそのコンテンツを説明しやすいように開発者によって作成された追加フィールドがある場合は、ファイル名、ファイル・サイズ、フォーマット、関連キーワードなど、コンテンツを説明する情報を入力できます。

開発者がサイトをどのようにデザインしたかによって、構造化コンテンツとドキュメントベース・コンテンツの両方を許容するアセットを使用できます。たとえば、イメージ・ファイルを記事テキスト

ドキュメント・アセット

The screenshot shows the 'New Document' form. It has tabs for 'Form', 'Marketing', and 'Metadata'. The main form area contains the following fields:

- *Name: [text input]
- Template: [dropdown menu with "-- choose display style --"]
- Folder: [drag zone with "Drop Zone" label]
- *Document file: [Browse button]
- Title: [text input]
- Subject: [text input]
- Author: [text input]
- Keyword: [text input with a search icon]

に組み合わせることが許容される "記事" アセットのような種類です。このようなアセットを作成または編集する場合は、両方のタイプのコンテンツを提供します。

多言語アセット

いくつもの地理的領域向けにローカライズしたサイトを管理する組織では、作成する各コンテンツが、最初に作成したコンテンツに使用された言語以外の複数の言語に翻訳される可能性があります。

WebCenter Sites では、各アセットにロケール指定を割り当て、同一原典の翻訳であるアセットをグループ化することができます。これにより、コンテンツの複数の翻訳版を簡単に追跡、管理およびパブリッシュできます。

たとえば、英語で記述された世界規模のプレス・リリースが、フランス語、スペイン語およびドイツ語に翻訳され、それぞれの地域サイトで各翻訳版がパブリッシュされる場合があります。プレス・リリースとその翻訳版は、別個のアセットとして WebCenter Sites データベース内に格納されますが、多言語セットとして互いにリンクされます。多言語セットのメンバーは、ローカライズされていないアセットとまったく同様に、管理され、ワークフローを通過し、承認され、1つ以上の宛先にパブリッシュされます。

一方、異なる言語でのアセットを作成し、翻訳リンクを作成することなく、互いに依存せずに各アセットにロケール指定を割り当てることもできます。たとえば、ある地域だけに固有であり、他の地域向けには翻訳またはパブリッシュするべきではないコンテンツを、この方法で管理できます。

多言語をサポートするようにサイトを構成する場合は、サイト・ビジターが任意の言語を選択するための手段が、開発者によって提供されます。これに基づき、各アセットのどの翻訳版を Web サイトに表示するかが、配信システムによって決定されます (サイトに対してどのロケールが有効化されているかをチェックし、使用可能な場合はロケール・フィルタリングを使用)。

デザイン・アセット

構造化コンテンツ・アセットは、Web サイト・コンテンツのフォーマットと編成に使用される場合、**デザイン・アセット**と呼ばれます。デザイン・アセットは、開発者によって作成されたものを使用します。デザイン・アセットにアクセスできるかどうかは、作成されたデザイン・アセットの種類、および WebCenter Sites 管理者によって付与された権限に依存します。次のリストは、使用可能なデザイン・アセットについて説明します (適切な権限がある場合)。

- **テンプレート・アセット**は、Web サイトのルック・アンド・フィールを作成します。コンテンツ・プロバイダはテンプレート・アセットを構造化コンテンツ・アセットに割り当て、コンテンツに固有のフォーマットを適用します。個々のテンプレート・アセットは、特定タイプのアセットをフォーマットします。サイト開発者がテンプレートをどのようにコーディングしているかによって、アセットのコンテンツ・エントリ・フォームの Web モードでの表示方法、および Web サイトでのアセットの表示方法が決まります。使用可能なテンプレート・アセットの処理方法は、サイト開発者に問い合せてください。

- ページ・アセットは、Web サイト内のページ (またはページの一部) を構成する各アセットを参照するコンテナであり、表示されるコンテンツの構造と構成を提供します。

ページ・アセットを作成する場合、開発者によって提供されたオプションからレイアウト (テンプレート・アセット) を選択して、外観を決定します。既存のページ・アセットを変更するには、**サイト・ツリー**または**検索結果リスト**からこれ呼び出します。

WebCenter Sites のデータ・モデル

アセットのデータ・モデルは、WebCenter Sites データベース内にコンテンツがフラット構造 (単一レベル) で格納されるのか、または階層構造 (複数レベル) で格納されるのかを定義します。WebCenter Sites では、フラット・モデルをベーシック・モデルと呼び、階層モデルをフレックス・モデルと呼びます。

データ・モデルは、開発者がアセット・タイプの作成時に、サイトの設計要件に適合するものを選択します。コンテンツ・プロバイダのほとんどの作業においては、アセット・モデルの種類の違いは重要ではありません。WebCenter Sites で実行する機能のほとんどは、対象がベーシック・アセットであってもフレックス・アセットであっても同じであるためです。このガイドでは、機能や状況がベーシック・アセットまたはフレックス・アセットに固有である場合には、そのように明記します。サイトで使用されているアセット・モデルの種類については、管理者に問い合せてください。

ベーシックとフレックスの違い

次に、ベーシック・アセット・モデルとフレックス・アセット・モデルとの違いを要約します。

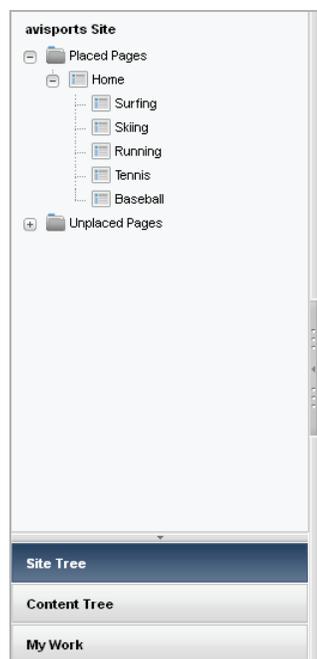
- **ベーシック・アセット**はベーシック・アセット・タイプのインスタンスであり、アセット・タイプによって定義されたとおりの同一のプロパティ (属性) セットを常に保持します。他のアセットに関連付けることで、単一レベルの親子依存関係を構築できますが、互いのプロパティを継承することはできません。したがって、ベーシック・アセット・モデルによって複雑な階層を作成することはできません。
- **フレックス・アセット**は、複数の親および祖父母から構造とコンテンツを継承できます。したがって、複雑な階層データ構造の構築に最適です (大規模なオンライン製品カタログの作成など)。ベーシック・アセットとは異なり、フレックス・ファミリにおけるフレックス・アセットは、確立された階層、および開発者によって設定された継承ルールに基づき、互いに異なるプロパティ (属性) を保持することができます。詳細は、[付録 A 「フレックス・アセット・モデル」](#)を参照してください。

コンテンツ管理サイト

コンテンツ管理 (CM) サイトは、Web サイト、またはその一部のセクションのバックエンドであり、WebCenter Sites の他のすべての機能と同様、WebCenter Sites データベース内に格納されます。CM サイトは構造化された論理フレームワークであり、次のような何種類かの情報を参照します。

- CM サイトは、実際の Web サイト (またはその一部のセクション) を構成するすべてのアセット、アセット・タイプおよびアセット・リレーションシップを参照します。

ログインしている CM サイトのサイト・デザインを階層表示するには、ナビゲーション・ペインで「サイト・ツリー」バーをクリックします。たとえば、avisports サンプル・サイトのサイト・ツリーのセクションは、次のように表示されます。



コンテンツを編成している階層構造に注目してください。

- また、CM サイトは、サイト・コンテンツの管理および編成に使用されるユーザー、ロールおよびワークフロー・プロセスも参照します。これらのオブジェクトの管理は、WebCenter Sites 管理者が担当します。処理可能な CM サイトは、WebCenter Sites 管理者によって付与された権限によって決定されます。

複数サイトを処理する権限を付与されている場合は、Oracle WebCenter Sites へのログイン時にサイト選択画面が表示されます。ここでは、処理する CM サイトおよびアプリケーションを選択できます。サイトに関連付けられた複数のアプリケーションを処理する権限を付与されている場合は、

Contributor インタフェースのアイコンを選択します。アプリケーション・バーの「サイト」ドロップダウン・メニューを使用すると、セッション中に CM サイト間を切り替えることもできます。アプリケーション・バーにアクセスするには、メニュー・バーの右端の下矢印をクリックします。

サイトへのアクセス権限が付与されていれば、サイト内の特定タスクを実行する権限も開発者によって付与されます。たとえば、アセットの編集が許可され、削除は禁止される権限などが与えられます。

CM サイトは、ビジターのブラウザ上で表示される Web サイトと同じではないことに注意が必要です。たとえば、小規模な Web サイトであれば、1 つの CM サイト内にすべてのアセットが収容される可能性があります。しかし、非常に大規模な Web サイトの場合は、いくつかのセクションに分割され、個々のセクションはそれぞれ個別の CM サイトに収容および管理される可能性があります。したがって、WebCenter Sites CM サイトは、実際の Web サイト (またはその一部のセクション) の背後の構造をサポートしますが、Web サイトとまったく同じものではありません。

注意

このガイド全般では、「現在のサイト」という言葉は、コンテンツ・プロバイダがその時点でログインしている CM サイトを指します。ビジターがアクセスする Web サイトではありません。

Contributor インタフェースで実行可能な機能

Contributor インタフェースは、アセットの処理において使用する、[36 ページの表 1](#) に示す各機能を提供します。アセットにアクセスできるかどうか、およびアセットに対してどのような処理を実行できるかは、次の条件によって決定されます。

- 管理者によってユーザー名に割り当てられているロール。これらのロールによって、Contributor インタフェースの各機能を処理するための権限が付与されます。適切な権限がない場合は、その機能 (コンテンツの作成など) は使用できません。その機能はグレー表示されるか、インタフェースから非表示となるか、または、その使用を試みた際にエラー・メッセージが表示されます。
- アクセス権限 (ロールベース) により、個々のアセットに対して実行可能なコンテンツ管理機能 (アセットの作成、表示、編集などの機能) が決定されます。
- アセットがワークフローの一部であるかどうか、および、アセットが自分または別のユーザーのどちらかに割り当てられているか。アセットが別のユーザーに割り当てられている場合は、このアセットを処理できません。
- リビジョン追跡が有効化されており、処理しようとするアセットが別のユーザーによってチェックアウトされている場合は、このユーザーがアセットを再度チェックインするまで、このアセットを編集または削除することはできません。
- 別のサイトから共有されているアセットが現在のサイト上に存在する場合は、このアセットは、ネイティブ・サイト (アセットが最初に作成されたサイト) 上でしか処理できません。
- パブリッシュ・セッションの実行中に、パブリッシュ対象のアセットにアクセスしようとしても、パブリッシュ・セッションが完了するまで、このアセットを編集または削除することはできません。

Contributor インタフェースの機能

表1は、Contributor インタフェースで使用可能な各機能を示します。Contributor インタフェースでサポートされない機能は、WebCenter Sites 管理インタフェースのみで使用できます。

表1: Contributor インタフェースの機能

機能	Contributor	Admin
管理コントロール		
管理タスクの実行		✓
システム定義されたアセット・タイプの処理: テンプレート CSElement SiteEntry DimensionSet ディメンション 親定義 属性 フレックス定義	システム定義された次のアセット・タイプは、Contributor インタフェースから調査することはできませんが、作成および編集は管理インタフェースでしか実行できません。	✓
システム定義されたアセット・タイプのアプリケーション登録のための処理: FW_Application FW_View		✓
アセット・モデル		
ベーシック・アセットの処理	✓	
フレックス・アセットの処理	✓	
編集機能		
フォーム・モードでのアセットの作成およびコピー	✓	
Web モードでのアセットの作成およびコピー	✓	
フォーム・モードでのアセットの編集	✓	
Web モードでのアセットの編集	✓	
ページ上のアセットの追加、置換、削除および配置 (Web モード)	✓	
アセットの削除	✓	
アセットの検索		
簡易検索の実行	Lucene 検索エンジン使用	システム定義アセット・タイプのフォームベースの検索

表 1: Contributor インタフェースの機能

機能	Contributor	Admin
詳細検索の実行	Lucene 検索エンジン使用	システム定義アセット・タイプのフォームベースの検索
検索結果のソート	✓	✓
検索基準の保存	✓	✓
属性値の検索	✓	
サイト構造 (サイト・プラン) の視覚的な参照	✓	✓
フレックス・ファミリ階層の視覚的な参照	✓	✓
アセットの編成		
履歴リスト (現在のセッション内で処理したアセットのリスト) の処理	✓	
サイト間でのアセットの共有	✓	✓
将来参照するためのアセットのブックマーク	✓	✓
WYSIWYG エディタ		
CKEditor の使用	✓	
Date Picker の使用	✓	
イメージ・ピッカーの使用	✓	
Clarkii Online Image Editor(Clarkii OIE) の使用	フォーム・モードのみ	
アセットのプレビュー		
アセットがプレビュー可能となる開始日および終了日の設定	✓	
現在時刻で表示されるとおりにアセットをプレビュー	✓	
将来の日付で表示されるとおりにアセットをプレビュー (サイト・プレビュー)	✓	
アセットのアソシエーション		
アセットを他のアセットに関連付け	✓	
アセットへのテンプレートの割当て	✓	
アセットのページへの割当て	✓	
コレクションの処理	✓	
ページの配置および配置取消し	✓	✓
CKEditor を使用したアセット間のリンク		
他のアセットへのハイパーテキスト・リンクの作成	✓	

表 1: Contributor インタフェースの機能

機能	Contributor	Admin
2つのアセットの包含によるリンク	✓	
イメージ・アセットによる2つのアセットのリンク	✓	
イメージ・ピッカーによる2つのアセットのリンク	✓	
URL へのリンクの作成	✓	
リンクの埋込み		
注意: 標準テキスト・フィールド、およびサポートされる WYSIWYG エディタ (CKEditor) によって有効となるフィールドに適用されます。		
他のアセットへのリンクの埋込み	✓	
他のアセットのコンテンツの参照による埋込み	✓	
外部 Web サイトへのリンクの埋込み	✓	
多言語アセット		
アセットへのロケール指定の割当て	✓	
コンテンツにリンクされた翻訳版の処理	✓	
ワークフロー		
ワークフロー内にアセットを通過させる	✓	
ワークフロー・グループの処理		✓
ワークフロー・レポートの処理		✓
Engage		
セグメントの処理	✓	
セグメントのアセットの評価	✓	
プロモーションの処理	✓	
推奨の処理	✓	
パブリッシュ		
アセットのパブリッシュの承認	✓	
パブリッシュ・キューからのアセットの削除	✓	
アセットのパブリッシュ		✓
パブリッシュ・セッションの監視および管理		✓
リビジョン追跡		
アセットのリビジョン追跡	✓	
前バージョンへのアセットのロールバック	✓	

第 2 部

Contributor インタフェースでの作業

アセットは、Web サイトの構築ブロックとなるオブジェクトです。アセットは、作成、編集、調査、削除、複製、翻訳が可能であり、ワークフローへの割当て、リビジョン追跡を使用した追跡、検索、プレビュー、パブリッシュに向けた承認の実施対象でもあります。アセットには様々に異なるタイプがありますが、どれも同じように、同じ手順で操作します。

この部では、WebCenter Sites の Contributor インタフェースを使用して、単純なものから高度なものまで、各種のアセット管理タスクを実行する方法を説明します。この部は、次の章で構成されています。

- 第 2 章 「スタート・ガイド」
- 第 3 章 「フォーム・モードでのアセットの作成、共有および編集」
- 第 4 章 「Web モードでのアセットの作成、共有および編集」
- 第 5 章 「アセットの削除」
- 第 6 章 「アセットの検索と編成」
- 第 7 章 「アセットのプレビュー」
- 第 8 章 「アセットの関連付け」
- 第 9 章 「サイトのナビゲーションの作成」
- 第 10 章 「アセットのリンク」
- 第 11 章 「多言語アセットでの作業」
- 第 12 章 「パブリッシュの承認」
- 第 13 章 「リビジョン追跡」
- 第 14 章 「ワークフロー」

第 2 章

スタート・ガイド

この章では、WebCenter Sites の Contributor インタフェースへのログイン方法とその使用方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [このガイドで使用するサンプル・サイト](#)
- [ログイン](#)
- [クイック・ツアー](#)

このガイドで使用するサンプル・サイト

このガイドの手順説明では、avisports と FirstSite II というサンプル・サイトを使用して、WebCenter Sites の Contributor インタフェースのコンテンツ管理機能を使用する方法を詳しく示しています。これらのサンプル・サイトアクセスできるのは、これらが WebCenter Sites システムとともにインストールされている場合だけです。サンプル・サイトがインストールされていない場合は、WebCenter Sites 管理者にお問い合わせください。

このガイドで使用するサンプル・サイトは、次のとおりです。

- **avisports:** スポーツを中心としサンプル・サイトで、イメージを添えたスポーツ記事が掲載されています。このガイドでは、avisports を使用して、WebCenter Sites の Contributor インタフェースの機能を示しています。このような機能には、フォーム・モードおよび Web モードでのアセットの作成や編集、アセットの削除、アセットの関連付け、アセットのリンク、アセットのパブリッシュの承認、アセットの検索と編成、リビジョン追跡を使用したアセット追跡、サイトのナビゲーション作成などがあります。
- **FirstSite II:** 電子機器のオンライン小売サイトで、記事、イメージ、いくつかの製品エントリが記載された製品カタログ、ドキュメント、サンプル・ユーザー・アカウントなどが含まれます。このガイドでは、FirstSite II を使用して、WebCenter Sites の Contributor インタフェースのワークフロー、多言語およびプレビューの各機能を説明しています。また、FirstSite II は、Engage の説明と、Contributor インタフェースにおけるセグメント、推奨およびプロモーションの作成手順と操作手順の説明にも使用されます。

FirstSite II と avisports は、どちらも WebCenter Sites の CM サイト開発のベスト・プラクティスを活用しています。また、どちらのサンプル・サイトのコードも、再利用や組織のビジネス・ニーズに合わせた変更が可能です。

ログイン

WebCenter Sites の Contributor インタフェースにログインするには、この項の手順に従います。

Oracle WebCenter Sites にログインするには：

1. ブラウザを開いて Oracle WebCenter Sites の URL を入力します。

`http://<server>:<port>/<context>/login`

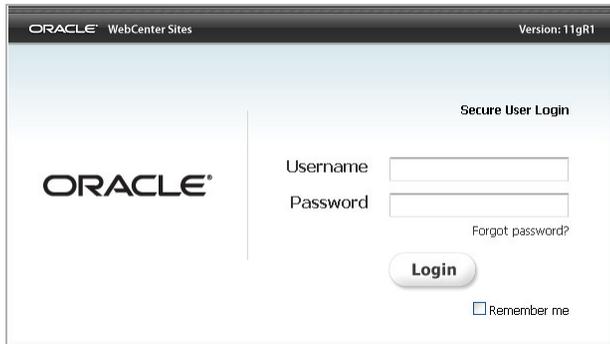
ここで <server> は WebCenter Sites を実行しているサーバーのホスト名または IP アドレス、<port> は WebCenter Sites アプリケーションのポート番号、<context> は、サーバー上にデプロイされた WebCenter Sites Web アプリケーションの名前です。

注意

- ログイン情報が必要な場合は、WebCenter Sites 管理者に問い合せて、WebCenter Sites の URL、自分のユーザー名とパスワード、およびサポートされるブラウザのリストを入手してください。
- このガイドの手順を実行しやすくなるように、avisports または FirstSite II のサンプル・サイトにログインすることができます。どちらのサイトも、WebCenter Sites アプリケーションを詳しく説明するために、このガイド全体で交互に使用されています。手順 2 では、次の資格証明を使用してください。

ユーザー名 : fwadmin
パスワード : xceladmin

Oracle WebCenter Sites のログイン・フォームが表示されます。



2. WebCenter Sites にログインします。
 - a. ログイン画面にユーザー名とパスワードを入力します。
 - b. WebCenter Sites で資格証明を保存して、次回のログイン時に情報が自動的に入力されるようにするには、「ユーザー情報の保存」を選択します。
 - c. 「ログイン」をクリックします。

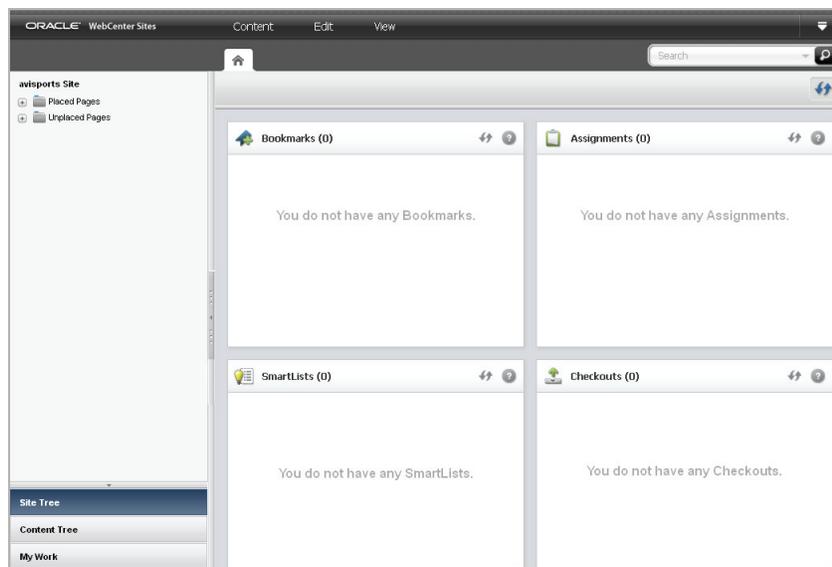
- 初めてログインする場合は、次の画面が開きます。それ以外の場合は、最後にアクセスしたアプリケーションにログインされます。



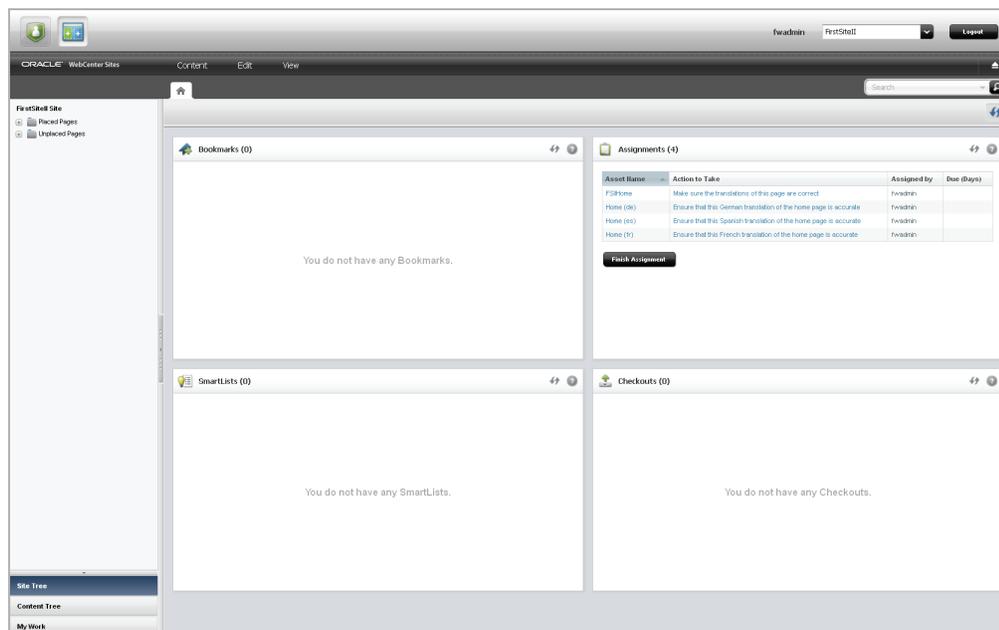
Contributor アプリケーションが割り当てられているサイトを選択して、**Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。

WebCenter Sites の Contributor インタフェースがロードされます。

- avisports にログインした場合は、次の画面が表示されます。



- FirstSite II にログインした場合は、次の画面が表示されます。



4. 45 ページの「クイック・ツアー」に進みます。

クイック・ツアー

1. WebCenter Sites にまだログインしていない場合は、fwadmin ユーザー (パスワードは xceladmin) でログインして、avisports にアクセスします。手順については、43 ページの「ログイン」を参照してください。

WebCenter Sites の Contributor インタフェースが開き、「ホーム」タブ () にダッシュボードが表示されます。

2. Contributor インタフェースを参照して、実行できる各種のコンテンツ管理操作を理解してください。

図 8: Contributor インタフェースの avisports サンプル・サイト用ダッシュボード

メニュー・バー

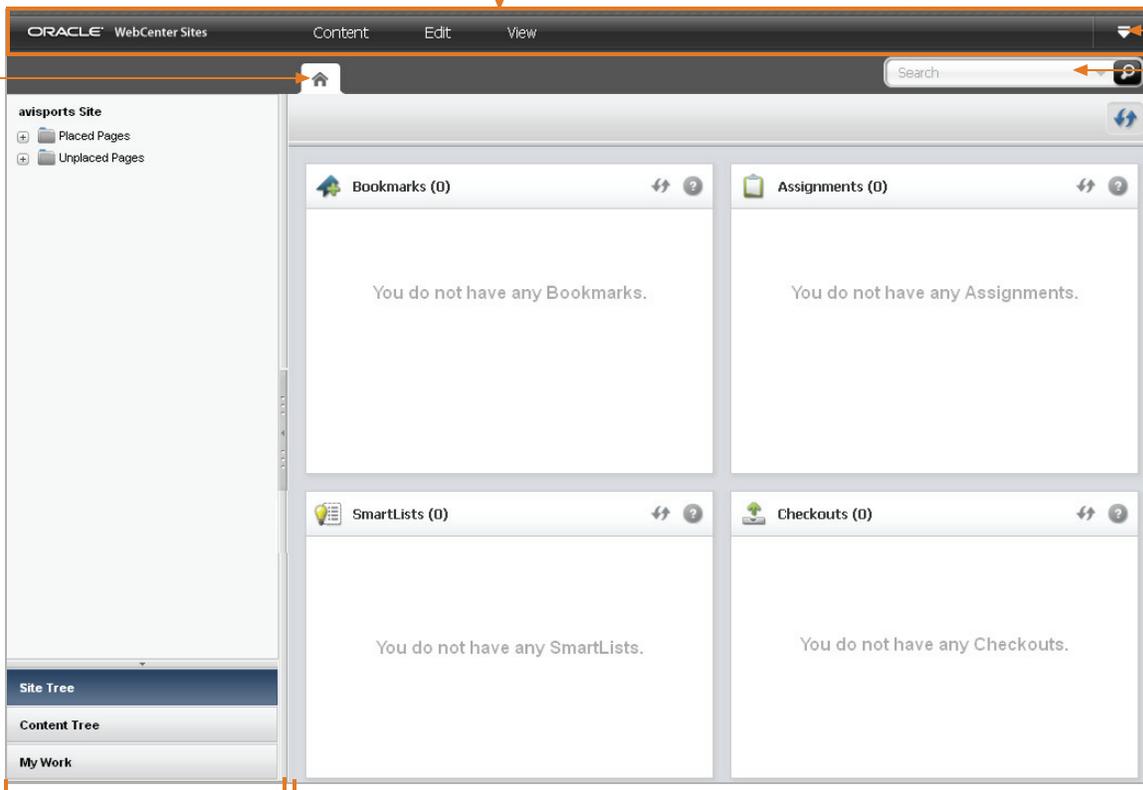
- コンテンツ: アセットの作成、パブリッシュの承認、ブックマーク付け、別のサイトと
のアセット共有、およびアセットのアクセス権限変更
- 編集: アセットの調査、変更、コピーおよび削除、リビジョン追跡の使用、アセットに
割り当てられたレイアウト(テンプレート)の変更
- 表示: アセットのプレビュー、アセットのステータスのサマリー表示(ワークフローや
承認ステータスも含む)、およびフォーム・モードと Web モードの切替え

検索機能

ここに検索条件を入力します。

アプリケーション・バーを開く
別のサイトまたはアプリケー
ションに切り替えたり、
WebCenter Sites からログアウト
します。

「ホーム」タブ



ナビゲーション・ペイン

- 「サイト・ツリー」、「コンテンツ・ツリー」、および「ワーク」ツリーを使用してアセットにアクセスします。
- サイトにページを配置したり、配置を取り消します。

ダッシュボード/ワークスペース

- ダッシュボード(「ホーム」タブ内)のアイテム(SmartList、ブックマークを付けたアセット、割当て、自分がチェックアウトしているアセットなど)を表示および操作します。
- フォーム・モードか Web モードのいずれかでアセットを操作します。操作対象として選択したアセットごとに、新しいタブが開きます。
- 検索結果やその他のアセット・リスト内を移動します。

ダッシュボードには、保存した検索条件にすばやくアクセスできるウィジェット (SmartList)、ブックマークを付けたアセット、ワークフローの割当て、およびリビジョン追跡を使用してチェックアウトしたアセットが表示されます。

注意

コンテンツに対するユーザーの権限とは何でしょうか。ここでは `fwadmin` でログインしていますが、このユーザーの場合は Contributor インタフェース全体へのアクセス権が付与されます。実際には、ユーザーが Contributor インタフェースに対して持つアクセス権は、コンテンツの作成または編集、あるいはその両方など、特定のタスクに着目して設定されています。権限の詳細は、[36 ページの「Contributor インタフェースの機能」](#)を参照してください。

この項の残りの部分では、次の演習を完了します。

- アセットの作成 ([48 ページ](#))
- アセットの検索とオープン ([51 ページ](#))
- フォーム・モードと Web モードの切替え ([55 ページ](#))
- フォーム・モードでのアセットの編集 ([56 ページ](#))
- Web モードでのアセットの編集 ([59 ページ](#))
- アセットのプレビュー ([63 ページ](#))
- アセットにアクセスするその他の方法 ([64 ページ](#))
- 別のサイトへの切替え ([65 ページ](#))
- ログアウト ([66 ページ](#))

アセットの作成

1. メニュー・バーで、「コンテンツ」→「新規」を選択して、**作成するアセットのタイプ**(この例では**記事**アセット・タイプ)を選択します。

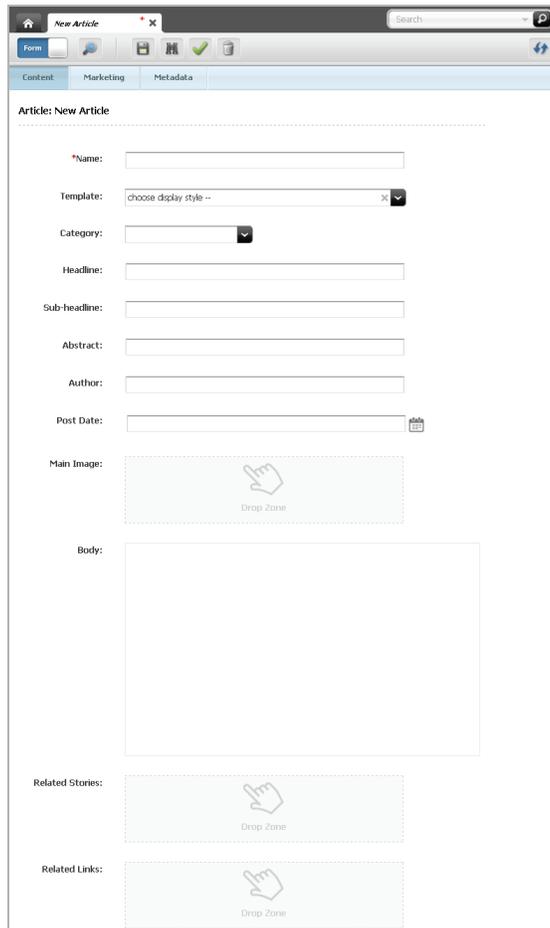
注意

Contributor インタフェースでは、メニュー・バーからほとんどのコンテンツ管理機能にアクセスできます。

2. Contributor インタフェースには、アセット操作のために、フォーム・モードと Web モードの2つのモードが用意されています。ユーザーがアセットを作成するときのモードは、サイト管理者によって決定されます。次のいずれかまたは両方の項に進んでください。
 - フォーム・モードでアセットを作成するには：
 - Web モードでアセットを作成するには：

フォーム・モードでアセットを作成するには：

該当するタイプのアセットがすべてフォーム・モードで開くようにアセット・タイプが構成されている場合は、新規アセットのコンテンツ・エントリ・フォームがタブに表示されます。

The image shows a web browser window with a tab titled 'New Article'. The browser's address bar shows a search engine. Below the browser window, there is a navigation bar with three tabs: 'Content', 'Marketing', and 'Metadata'. The 'Content' tab is active. The main content area is titled 'Article: New Article' and contains a form with the following fields: *Name: (text input), Template: (dropdown menu with 'choose display style --'), Category: (dropdown menu), Headline: (text input), Sub-headline: (text input), Abstract: (text input), Author: (text input), Post Date: (text input with a calendar icon), Main Image: (a dashed box with a hand icon and the text 'Drop Zone'), Body: (a large empty text area), Related Stories: (a dashed box with a hand icon and the text 'Drop Zone'), and Related Links: (a dashed box with a hand icon and the text 'Drop Zone').

- a. フィールドに入力します。各フィールドの詳細は、[71 ページの手順 4](#)を参照してください。
- b. アセットを保存してタブを閉じます。メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存して閉じる」を選択します。

次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。

- 1つ以上のセクションで1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
- 1つ以上のセクションで許可されていない値の入力または選択が行われている

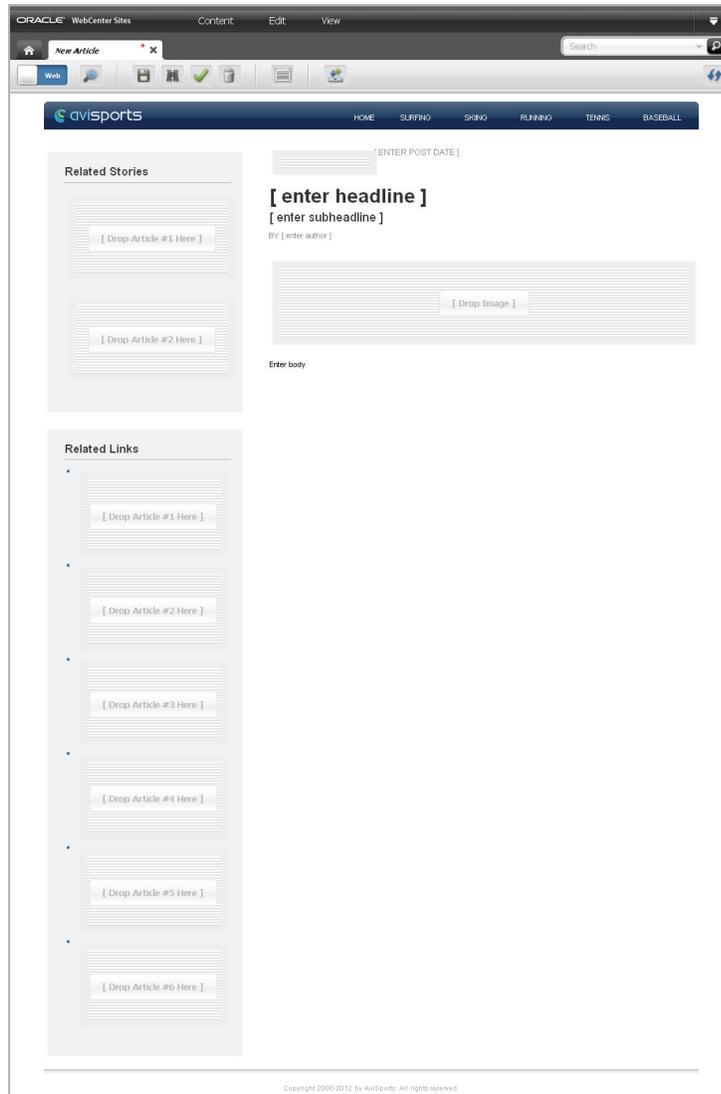
このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。

Web モードでアセットを作成するには：

該当するタイプのアセットがすべて Web モードで開くようにアセット・タイプが構成されている場合は、次の手順を実行します。

- a. アセットの作成ダイアログ・ボックスで、作成するアセットの名前を入力して、「**続行**」をクリックします。

タブに、新しいアセットの作成ビューが Web モードで表示されます。



- b. アセットの様々な領域をポイントし、コンテンツが受け入れられる領域を確認します。コンテンツが受け入れられる領域をポイントすると、その領域が強調表示されます。
- c. 強調表示された領域をクリックして、各領域でサポートするコンテンツのタイプを決定します。その後、アセットの作成ビューに値を移入します。各フィールドの詳細は、[102 ページの手順 7](#)を参照してください。

- d. アセットに割り当てられたレイアウト (テンプレート) を開発者がどのようにコーディングしているかによって、特定のフィールドがフォーム・モードでのみ使用可能になる場合があります。このような場合は、フォーム・モードに切り替えてフィールドへの入力を行ってください。フォーム・モードと Web モードの切替え手順については、55 ページの「[フォーム・モードと Web モードの切替え](#)」を参照してください。
- e. アセットを保存してタブを閉じます。メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存して閉じる」を選択します。
次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。
 - 1 つ以上のセクションで 1 つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
 - 1 つ以上のセクションで許可されていない値の入力または選択が行われている
 このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。

アセットの検索とオープン

アセットの作成が終わったので、Contributor インタフェースで検索を実行してみると、そのアセットが見つかります。たとえば、前の項で作成したアセットに "ski" という単語が含まれている場合は、次の手順を実行します。

1. 「検索」フィールドに **ski** と入力します。



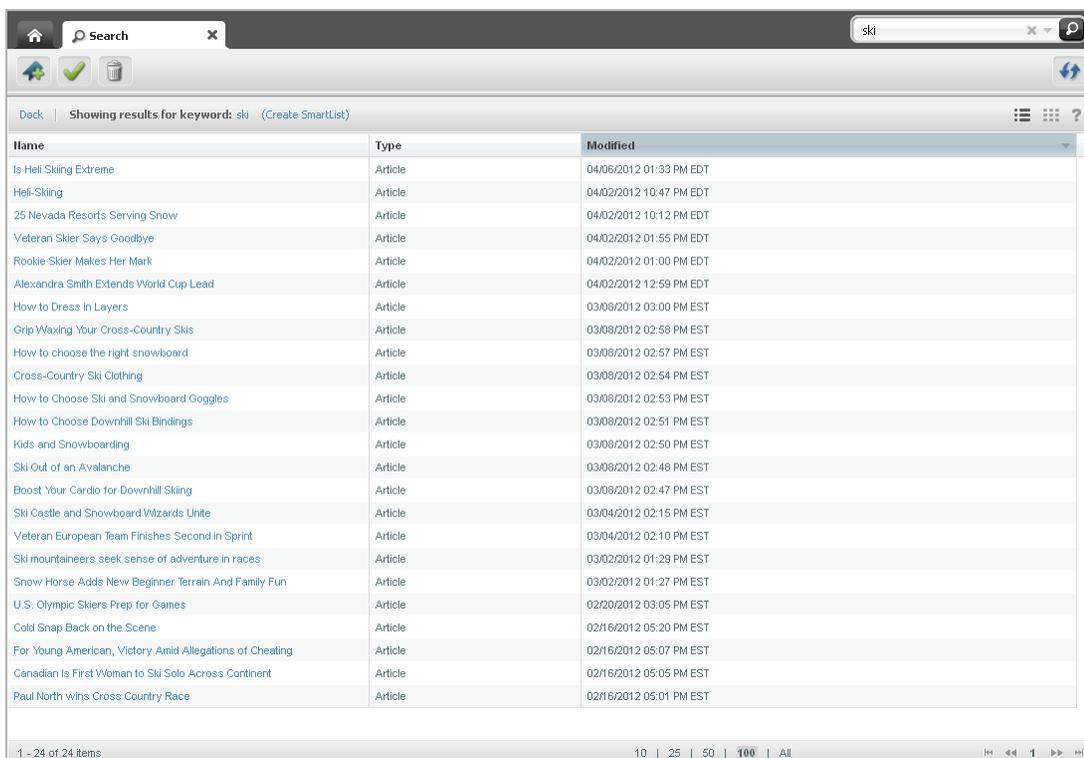
検索フィールドの下矢印ボタンをクリックして、アセット・タイプによる検索か、詳細検索を実行します。

- a. 検索結果を特定のアセット・タイプに絞り込む場合は、「検索」フィールドの下矢印アイコンをクリックします。「検索タイプ」リストで、目的のアセット・タイプを選択します。
アセット・タイプによる検索の絞り込みをしない場合は、"ski" という単語を含むすべてのアセットが検索されます。
- b. さらに検索を絞り込む場合 (特定の属性を検索するなど) は、詳細検索を実行できます。
 - 1) 「検索」フィールドで下矢印アイコンを選択します。
 - 2) 「検索タイプ」リストで、「詳細検索」をクリックします。
 - 3) 「詳細検索」フォームで、用意されているフィールドに目的の検索条件を入力します。

アセット検索の詳細は、第6章「[アセットの検索と編成](#)」を参照してください。

2. 通常検索またはアセット・タイプ検索を実行する場合は、「検索」フィールドの虫めがねボタン () をクリックします。詳細検索を実行する場合は、「詳細検索」フォームの「[詳細検索の実行](#)」をクリックします。

ワークスペースに「検索」タブが開き、検索条件に一致するアセットが表示されます。

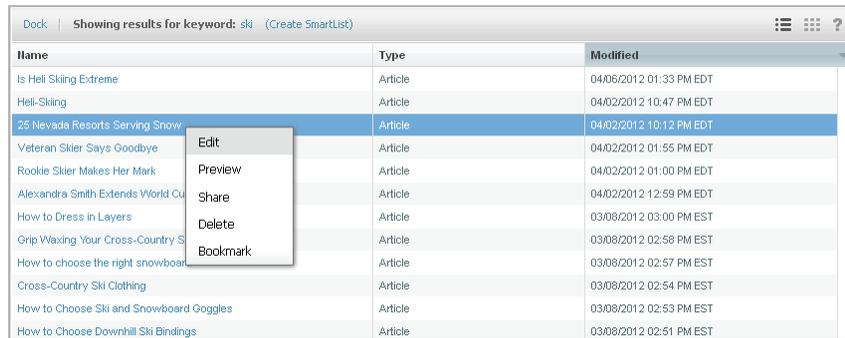


検索結果リストには、リスト内の各アイテムに関する簡潔なサマリー情報（名前、アセット・タイプ、変更日など）が表示されます。

3. 検索結果リストで、次の操作を実行します。
 - a. 列ヘッダーをクリックして、選択した条件で検索結果をソートします。ソート順序を逆にするには、同じ列ヘッダーをもう一度クリックします。
 - b. 画面右下の「次」の矢印 (▶▶) をクリックして結果の次のページに進むか、「前」の矢印 (◀◀) をクリックして前のページに戻ります。
 - c. 選択したアセットを「ブックマーク」して、後で簡単に取得できるようにします。アセットにブックマークを付けると、「ワーク」ツリー（ナビゲーション・ペイン内）にある「ブックマーク」ノードと、ダッシュボードの「ブックマーク」ウィジェットに、そのアセットが追加されます。

アセットにブックマークを付ける手順については、[151 ページの「アセットへのブックマーク付け」](#)を参照してください。ナビゲーション・ペインのツリーからのアセットへのアクセスについては、[64 ページの「アセットにアクセスするその他の方法」](#)を参照してください。

4. 検索結果リストからアセットの調査ビューを開きます。
 - a. 検索結果リストで、目的のアセットの名前をクリックします(この例では、**25 Nevada Resorts Serving Snow** という "記事" アセットを開きます)。
また、アセットの名前を右クリックすると、実行できるコンテンツ管理機能のメニューがレンダリングされます。



Name	Type	Modified
Is Heli Skiing Extreme	Article	04/06/2012 01:33 PM EDT
Heli-Skiing	Article	04/02/2012 10:47 PM EDT
25 Nevada Resorts Serving Snow	Article	04/02/2012 10:12 PM EDT
Veteran Skier Says Goodbye	Article	04/02/2012 01:55 PM EDT
Rookie Skier Makes Her Mark	Article	04/02/2012 01:00 PM EDT
Alexandra Smith Extends World Cup	Article	04/02/2012 12:59 PM EDT
How to Dress in Layers	Article	03/08/2012 03:00 PM EST
Grip Waxing Your Cross-Country Skis	Article	03/08/2012 02:58 PM EST
How to choose the right snowboard	Article	03/08/2012 02:57 PM EST
Cross-Country Ski Clothing	Article	03/08/2012 02:54 PM EST
How to Choose Ski and Snowboard Goggles	Article	03/08/2012 02:53 PM EST
How to Choose Downhill Ski Bindings	Article	03/08/2012 02:51 PM EST

ワークスペースにタブが開き、アセットの調査ビューがフォーム・モードまたは Web モードで表示されます。この例では、アセットはフォーム・モードで表示されています。

フォーム・セクションのセレクタ

操作しているアセットの名前

アセット・ツールバー

調査フォームにアセットを表示したアセット・タブ

b. アセットと、アセットに関連する情報を調査します。

- フォーム・モードの場合は、フォームの各種セクションを選択してください。フォームに表示されるセクションは、WebCenter Sites 開発者がそのアセットのタイプをどのように構成しているかによって異なります。
- Web モードの場合、アセットは、Web サイトに表示される場合と同じようにタブに表示されます。そのため、フォーム・セクション・セレクタは表示されません。アセットに割り当てられたレイアウト (テンプレート) を開発者がどのようにコーディングしているかによって、(フォーム・モードで表示される) 特定のフィールドが Web モードでは表示されない場合があります。これらのフィールドを表示および変更するには、フォーム・モードに切り替える必要があります。

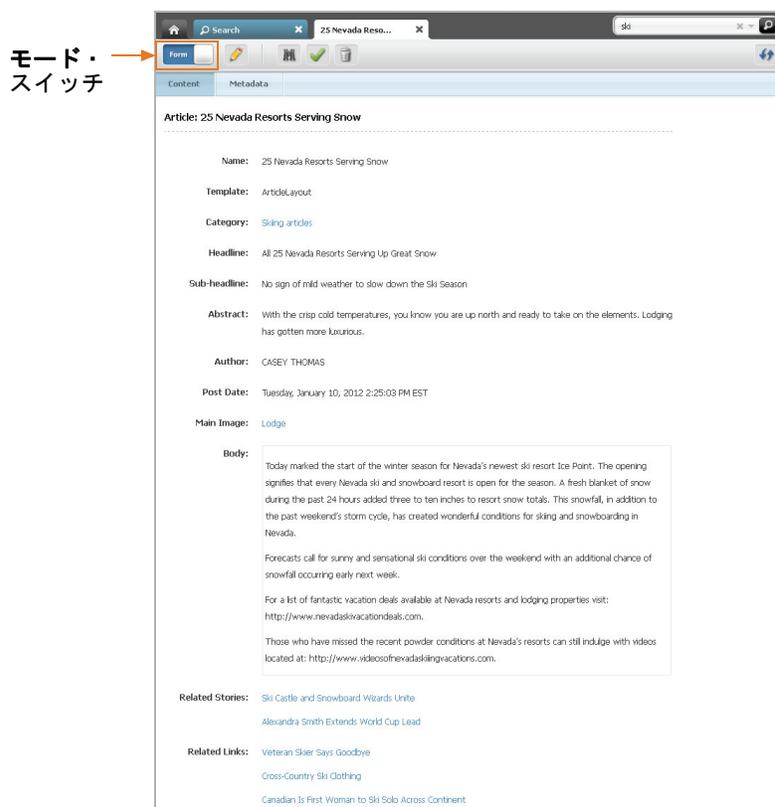
フォーム・モードと Web モードの切替え

アセットの操作中に、フォーム・モードと Web モードを切り替えることができます。たとえば、フォーム・モードで開かれているアセットを Web モードで操作する必要がある場合は、アセットのツールバーにある「モード」スイッチを使用すると、Web モードに切り替えられます（その逆の操作もできます）。

1. アセットが開いていない場合は、目的のアセットを見つけて開きます。手順については、51 ページの「アセットの検索とオープン」を参照してください。

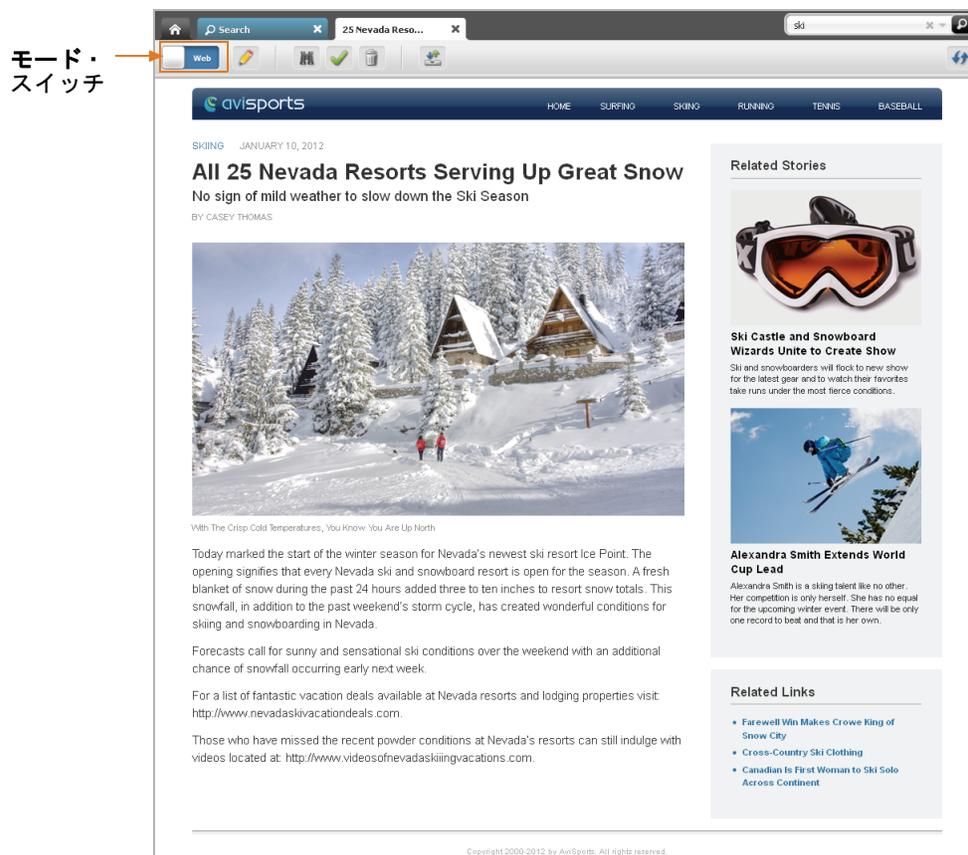
アセットの調査ビューを（フォーム・モードまたは Web モードで）表示するタブが開きます。

2. フォーム・モードと Web モードを切り替えます。次を実行します。
 - アセットがフォーム・モードで開いている場合は、アセットのツールバーの「モード」スイッチをクリックして Web モードに切り替えます。



タブにアセットが Web モードで再表示されます。

- アセットが Web モードで開いている場合は、アセットのツールバーの「モード」スイッチをクリックしてフォーム・モードに切り替えます。



タブにアセットがフォーム・モードで再表示されます。

フォーム・モードでのアセットの編集

アセットがフォーム・モードで開く場合は、タブにそのアセットのコンテンツ・エントリ・フォームが表示されます。フォームのフィールドに表示された情報を変更することにより、アセットを変更できます。

1. 目的のアセットがまだ開いていない場合は、目的のアセットを見つけて調査ビューでアセットを開きます。手順については、51 ページの「アセットの検索とオープン」を参照してください。
2. アセットが Web モードで開かれている場合は、フォーム・モードに切り替えます。手順については、55 ページの「フォーム・モードと Web モードの切替え」を参照してください。
3. アセットをフォーム・モードで編集します。たとえば、コンテンツになんらかのエラーを発見し、それを修正する場合は、次の手順を実行します。
 - a. アセットのツールバーで、「編集」アイコン () をクリックします。

タブに、アセットの編集可能なフォームが表示されます。

アセット・ツールバー

フォーム・セクションのセレクト

作業中のアセットのアセット・タイプとアセット名

横にアスタリスクの付いたフィールドは必須

アセットのフォーム・セクション・セレクトのすぐ下に、アセットのアセット・タイプとアセット名が表示されます。

b. 「名前」 および 「ヘッドライン」 フィールドの内容を変更します。

名前の横にアスタリスクの付いたフィールドは必須であるため、空白のままにはできません。必須フィールドを空白のままにすると、WebCenter Sites でアセットを保存できません。

注意

サイトの設定によっては、アセットの1つ以上のフィールドが WYSIWYG 対応になっている場合があります。WYSIWYG 対応フィールドでは、MS Word スタイルの書式をアセットの「編集」ビューでコンテンツに適用できます。詳細は、84 ページの「CKEditor の使用」を参照してください。

- c. 「本文」フィールドの内部をクリックして、CKEditor をロードします。

WYSIWYG
エディタの
コントロール

CKEditor が表示されたら、表示されているテキストを変更します。Microsoft Word に習熟している場合は、CKEditor の機能をいろいろ試してみてください。このエディタの機能は Word の機能によく似ています。

- d. 変更が終わったら、アセットを保存します。アセットのツールバーで、「保存」アイコン()をクリックします。

「保存」アイコンをクリックすると、アセットの編集ビューが開いた状態で、それまでにアセットに加えた変更が保存されます。(メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択しても、同じ結果が得られます。)

- e. アセットを調査します。アセットのツールバーで、「調査」アイコン()をクリックします。

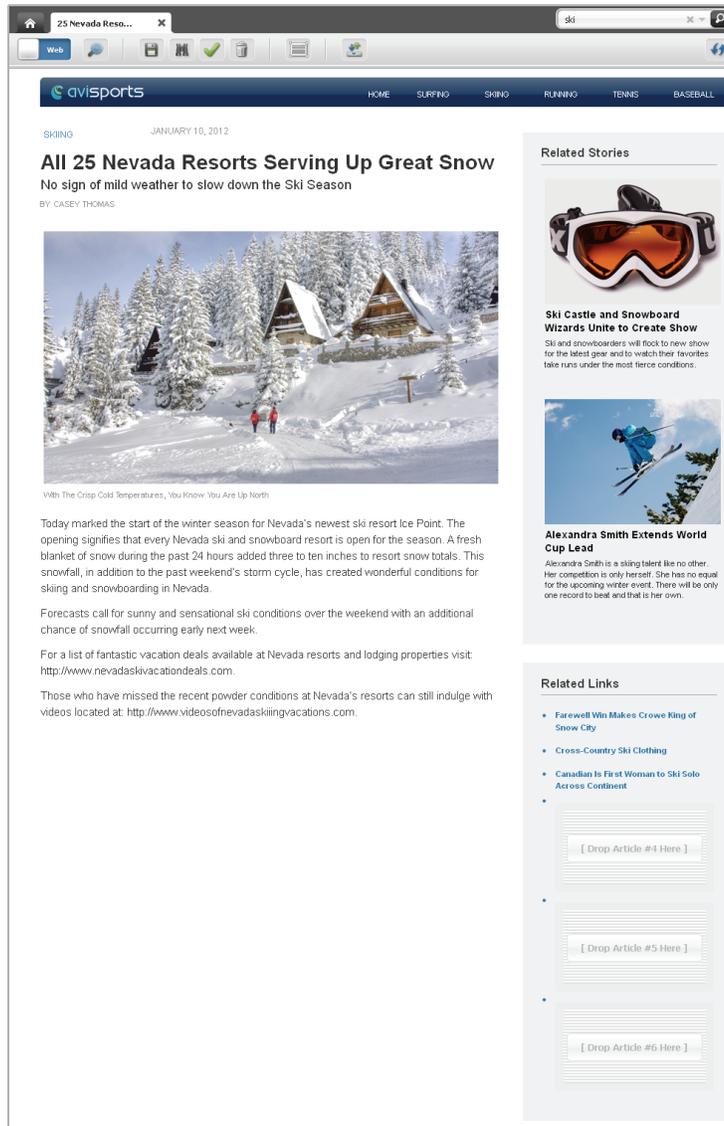
アセットの調査ビューがタブにフォーム・モードで再表示され、アセットに加えられた変更が反映されています。

Web モードでのアセットの編集

Web モードでは、コンテキスト編集が提供されます。これは、アセットを Web サイトのコンテキストで作成および編集できることを意味します。Web モードでは、パブリッシュした場合に Web サイトに表示されるとおりにアセットが表示されます。Web モードでアセットのコンテンツを編集するには、次の手順を実行します。

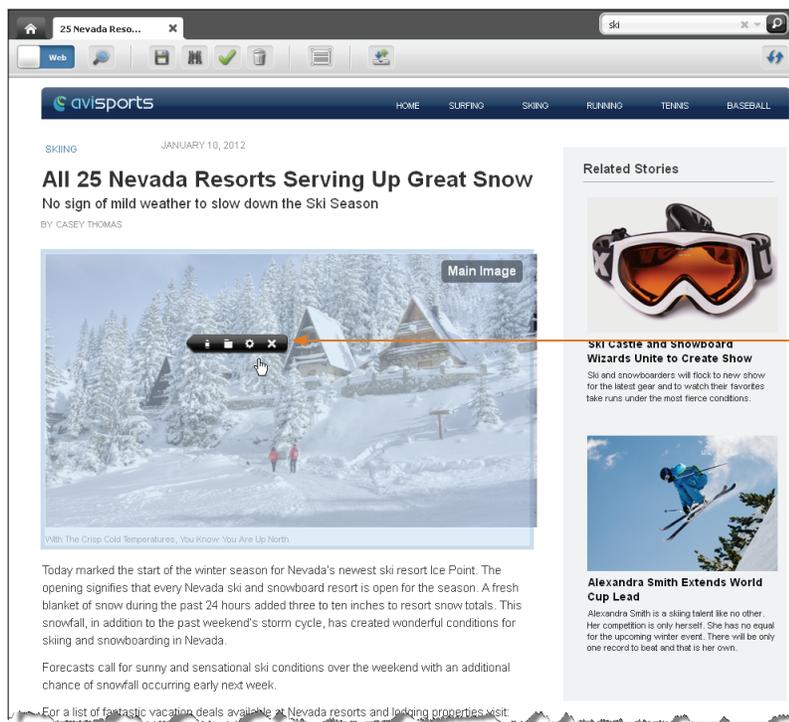
1. アセットが開いていない場合は、目的のアセットを見つけて開きます。手順については、[51 ページの「アセットの検索とオープン」](#)を参照してください。
2. アセットがフォーム・モードで表示されている場合は、Web モードに切り替えます。手順については、[55 ページの「フォーム・モードと Web モードの切替え」](#)を参照してください。
タブにアセットの調査ビューが Web モードで表示されます。
3. アセットのツールバーで、「編集」アイコン () をクリックします。

タブにアセットの編集ビューが Web モードで表示されます。



4. アセットの様々な領域をポイントし、編集可能な領域を確認します。編集可能な領域をポイントすると、その領域が強調表示されます。

5. 強調表示された領域をクリックして、各領域でサポートするコンテンツのタイプを決定します。
 - スロット内をクリックすると、そのスロットに含まれるアセットに対して実行できるコンテンツ管理オプションを含むツールバーが表示されます。



スロット・
ツールバー

「コンテンツ・ツリー」、「ワーク」ツリーまたは検索結果リストから目的のスロットにアセットをドラッグ・アンド・ドロップすると、そのスロットのコンテンツを別のアセットで置き換えることができます。また、現在スロットに含まれているアセットのコンテンツを編集したり、アセットが含まれるスロットのレイアウトを変更してアセットの Web サイトでの表示方法を変更したりすることもできます。

- テキスト領域内をクリックすると、次のように、単純なテキスト・フィールドまたは WYSIWYG 対応テキスト・フィールドが表示されます。

The screenshot shows a web page editor interface for a website. The main content area displays a news article titled "All 25 Nevada Resorts Serving Up Great Snow" with a sub-headline "No sign of mild weather to slow down the Ski Season" and a byline "BY CASEY THOMAS". Below the headline is a large image of a snowy mountain landscape with a cabin. To the right of the main article is a "Related Stories" sidebar with two items: "Ski Castle and Snowboard Wizards Unite to Create Show" and "Alexandra Smith Extends World Cup Lead". Below the main article is a WYSIWYG text editor window. The editor shows the text of the article, including a paragraph about the start of the winter season for Nevada's newest ski resort, Ice Point, and a paragraph about forecasts for the weekend. The editor has a toolbar with "Styles" and "Source" buttons. On the right side of the editor, there is a "Related Links" sidebar with a list of links: "Farewell Win Makes Crowe King of Snow City", "Cross-Country Ski Clothing", and "Canadian Is First Woman to Ski Solo Across Continent". Below the links are two placeholder boxes: "[Drop Article #4 Here]" and "[Drop Article #5 Here]".

単純なテキスト領域

WYSIWYG 対応テキスト領域

スロットとテキスト領域の操作の詳細は、102 ページの手順 7 を参照してください。

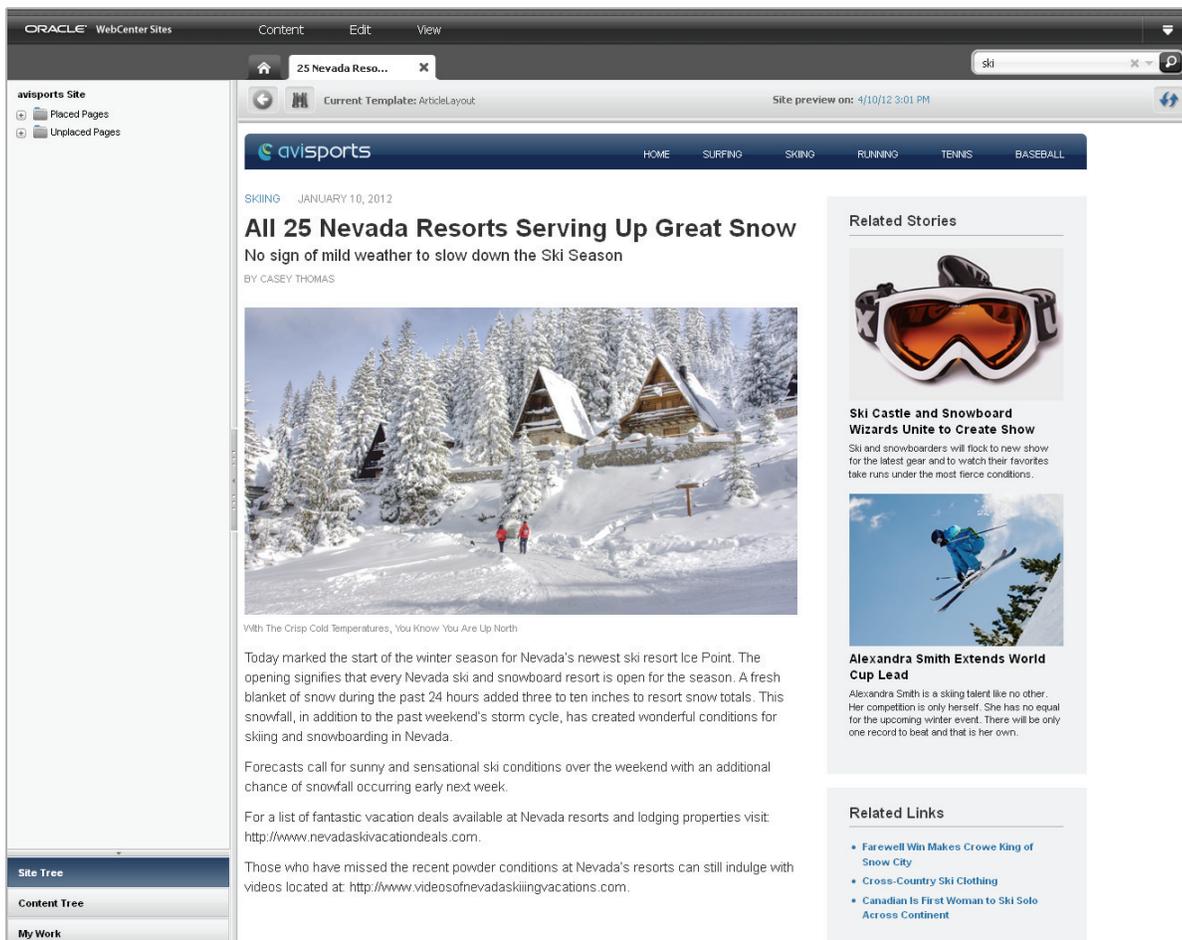
6. 変更が終わったら、「保存」アイコン () をクリックして、変更を保存します。

アセットのプレビュー

アセットをプレビューすると、アセットを Web サイトにパブリッシュしたときにどのように見えるかを確認できます。Web モードでアセットを操作しているときとは異なり、アセットのプレビューではアセットのコンテンツは変更できません。ただし、別のレイアウト (テンプレート) でアセットを表示することができます。

1. アセットが開いていない場合は、目的のアセットを見つけて開きます。手順については、51 ページの「アセットの検索とオープン」を参照してください。
2. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。
3. アセットにテンプレートが割り当てられていない場合は、「プレビュー template の選択」ダイアログ・ボックスが開きます。アセットのプレビューに使用するテンプレートを選択して、「適用」をクリックします。

タブに、アセットのプレビュー (パブリッシュ後にアセットが Web サイトにどのように表示されるか) が表示されます。



The screenshot shows the Oracle WebCenter Sites interface in preview mode. The browser address bar shows '25 Nevada Reso...'. The page title is 'All 25 Nevada Resorts Serving Up Great Snow' with the subtitle 'No sign of mild weather to slow down the Ski Season'. The article is dated 'JANUARY 10, 2012' and written by 'CASEY THOMAS'. The main image shows a snowy mountain landscape with ski resorts. The right sidebar contains 'Related Stories' with two items: 'Ski Castle and Snowboard Wizards Unite to Create Show' and 'Alexandra Smith Extends World Cup Lead'. The bottom of the page shows 'Related Links' with three items: 'Farwell Win Makes Crowe King of Snow City', 'Cross-Country Ski Clothing', and 'Canadian Is First Woman to Ski Solo Across Continent'.

- a. アセットのプレビューで、編集したコンテンツを確認します。さらに変更したい点があれば、メモしておきます。
- b. アセットにさらに変更を加える場合は、次の手順を実行します。

- 1) アセットのツールバーで、「戻る」アイコン () をクリックします。
タブに、アセットの調査ビューが再表示されます (フォーム・モードまたは Web モード)。
- 2) アセットのツールバーで、「編集」アイコン () をクリックします。
- 3) 必要な変更を行って、アセットを保存します。

アセットにアクセスするその他の方法

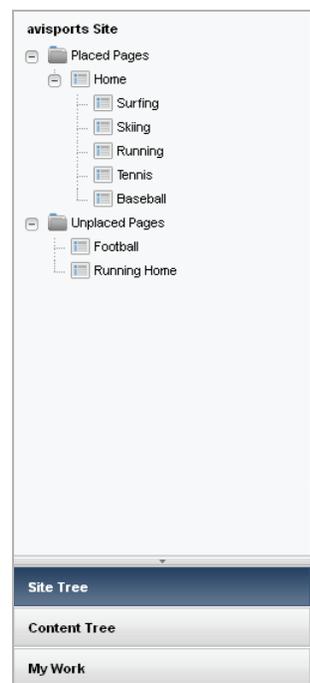
アセットにアクセスする場合は、検索を実行するだけでなく、ナビゲーション・ペインにある「サイト・ツリー」、「コンテンツ・ツリー」および「ワーク」ツリーを使用することもできます。

1. ナビゲーション・ペインで、次のいずれかのバーをクリックします。
 - **サイト・ツリー**: 自分の Web サイトにすでにパブリッシュ済、および今後パブリッシュ予定のページを、サイト上で編成されている階層に従って参照できます。
 - **コンテンツ・ツリー**: 自分のサイトに存在するフレックス・アセット階層を視覚的に参照できます。
 - **ワーク**: 「ブックマーク」ノードと「履歴」ノードが含まれます。

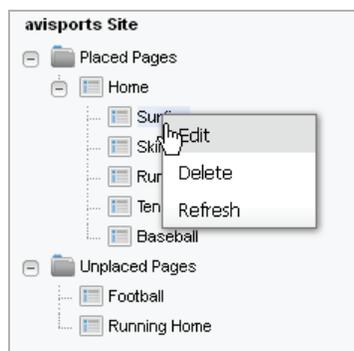
これらのツリーの詳細は、[389 ページの「ナビゲーション・ペイン」](#)の項を参照してください。「ワーク」ツリー内のノードの使用の詳細は、[150 ページの「アセットの編成」](#)を参照してください。

ナビゲーション・ペインには、該当のツリーが表示されます。

2. ツリー内のアセットを参照します。アセットを右クリックして、そのアセットに対して実行可能なコンテンツ管理オプションを含むコンテキスト・メニューを開きます。次を実行します。
 - a. **階層をドリルダウンします。**ノードの横のプラス記号をクリックしてノードを開き、関連付けられたアセットを表示します。**コンテンツ・ツリー**を操作している場合は、目的の親アセットをダブルクリックして、子のリストを含む「参照」タブを開きます。



- b. 目的の**アセット**を右クリックします。そのアセットに対して実行可能なコンテンツ管理機能を含むコンテキスト・メニューが開きます。次の例は、「**サイト・ツリー**」のサーフィン・ページ・アセットの右クリック・メニューを示しています。



「**コンテンツ・ツリー**」または「**ワーク**」ツリーのアセットでは、ツリー内で選択したアセットのタイプと、サイト内でそのユーザーに割り当てられた権限によって、コンテキスト・メニューに表示されるコンテンツ管理オプションが異なる場合があります。

別のサイトへの切替え

WebCenter Sites で作業しているときには、ログアウトして WebCenter Sites にログインし直さなくても、ユーザーが操作権限を持つ複数のサイトを切り替えることができます。

別のサイトに切り替えるには：

1. アプリケーション・バーをまだ開いていない場合は、メニュー・バーの右端の下矢印アイコンをクリックしてバーを開きます。



2. サイトのドロップダウン・リストで、切替え先のサイトを選択します。



注意

サイトのドロップダウン・リストには、ユーザーが適切な権限を持つサイトのみが含まれます。

WebCenter Sites の選択したサイトにログインされます。

WebCenter Sites からのログアウト

WebCenter Sites からログアウトして、セッションを終了します。次を実行します。

1. アプリケーション・バーをまだ開いていない場合は、メニュー・バーの右端の下矢印アイコンをクリックしてバーを開きます。
アプリケーション・バーがメニュー・バーの上に表示されます。
2. アプリケーション・バーで、「ログアウト」をクリックします。

終了

これで、Contributor インタフェースで作業するたびに実行する可能性のあるアセット管理タスクについて理解することができました。もう一度ログインして、Contributor インタフェースでの作業を続けてください。このガイドの残りの部分では、この項で完了した各演習についてさらに詳細に説明します。Contributor インタフェースの概要とその機能については、[付録 B「ナビゲーションのリファレンス」](#)を参照してください。

第 3 章

フォーム・モードでのアセットの作成、共有および編集

この章では、フォーム・モードでアセットを作成および編集する基本的な手順について説明し、avisports サンプル・サイトからのいくつかの例を示します。

この章は、次の項で構成されています。

- [フォーム・モードでのアセットの作成](#)
- [フォーム・モードでのアセットの編集](#)
- [属性エディタの使用](#)

フォーム・モードでのアセットの作成

WebCenter Sites の Contributor インタフェースは、開発者ではなく、コンテンツ・プロバイダが使用することを目的に設計されています。そのため、Contributor インタフェースでは、テンプレート、CSElement、SiteEntry、DimensionSet、ディメンション、属性エディタ、親定義、属性およびブレックス定義などのシステム定義のアセット・タイプを表示(調査)することはできませんが、作成(または編集)することはできません。同様に、Contributor インタフェースで FW_Application および FW_View のシステム定義のアセット・タイプを表示することはできません。これらのタイプのアセットは、WebCenter Sites の Admin インタフェースでのみ作成(編集)および表示できます。

アセットの作成も権限に基づきます。適切な権限を持つユーザーであれば、WebCenter Sites の Contributor インタフェースを使用して新しいアセットを一から作成できます。作成するアセットに類似した既存のアセットがある場合は、その既存のアセットをコピーして変更を行うことでいくつかの手順を省略できます。また、あるサイトに存在する同じアセットを別のサイトにも作成したい場合は、そのアセットを共有することで同じアセットを複数作成する必要がなくなります。これらのすべての手法については、この章内で後述します。

アセット・タイプを構成した管理者によって、そのタイプのすべてのアセットがフォーム・モードで開かれるように設定されている場合は、このタイプのアセットを作成すると、事前定義されたフィールドを保持するコンテンツ・エン트리・フォームが表示されます。これらのフィールドには、作成するアセットの情報を入力できます。

注意

アセットを新規作成する場合、Contributor インタフェースにはフォーム・モードおよび Web モードの2つのモードが用意されています。この項では、フォーム・モードでのアセットの作成だけに限定した情報を提供します。Web モードでのアセットの作成の詳細は、98 ページの「Web モードでのアセットの作成」を参照してください。

アセット作成方法の種類

- アセットを完全に新規作成
- 既存のアセットをコピーし、コピーしたアセットを処理

作成可能なアセットは、各自のロールに対して管理者がパーソナライズした「新規」メニュー(「コンテンツ」→「新規」)によって決定されます。「新規」メニューの内容をパーソナライズする目的は、各自のジョブを簡易化することです。たとえば、自分が作成可能なアセット・タイプだけが表示されます。

フォーム・モードでの新規アセットの作成

アセット・タイプが、フォーム・モードで作成されるように管理者によって構成され、自分の「新規」メニュー(「コンテンツ」→「新規」)にもリストされている場合は、コンテンツ・エントリ・フォームの各フィールドに情報を入力して、このタイプのアセットを作成できます。

フォーム・モードでアセットを作成するには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 作成するアセットのタイプを選択します。メニュー・バーで、「コンテンツ」→「新規」→**作成するアセットのタイプを選択**を選択します(この例では記事アセット・タイプを使用します)。

注意

avisports サンプル・サイトでは、記事アセット・タイプが Web モードで開かれるように構成されています。したがって、記事アセットの作成を選択すると、記事の作成ダイアログ・ボックスが表示されません。

この手順に従い、記事アセットをフォーム・モードで作成するには：

1. 記事の作成ダイアログ・ボックスで、次の手順を実行します。
 - a. 「レイアウトの選択」フィールドで、アセットに割り当てるレイアウトを選択します。
 - b. 「名前」フィールドに、アセットの名前を入力します。アセットの命名の詳細は、[71 ページの手順 a](#) を参照してください。次に「**続行**」をクリックします。

アセットの「作成」ビューが Web モードで表示されます。

2. フォーム・モードに切り替えます。アセットのツールバーで、「**モード**」スイッチをクリックします。
アセットの「作成」ビューがフォーム・モードで表示されます。
3. [72 ページの手順 b](#) に進みます。

3. アセット・タイプを構成した管理者によって、このタイプのすべての新規アセットが、作成後にワークフロー内に配置されるように設定されている場合は、「割当て先の選択」フォームを表示するタブが開きます。

Choose Assignees

The workflow associated with this asset requires you to select assignees. Select at least one user from each role.

Workflow Process: FSII: Approval for Content

Assignees:

Role	Users
*ContentEditor:	Connie firstsite fwadmin

Set Assignees

必要とされるそれぞれのロールに対し少なくとも 1 人のユーザーを選択し、「割当て先の設定」をクリックします。これらのユーザーのいずれでも、ワークフローにおいて次のステップを完了できます。詳細は、[第 14 章「ワークフロー」](#)を参照してください。

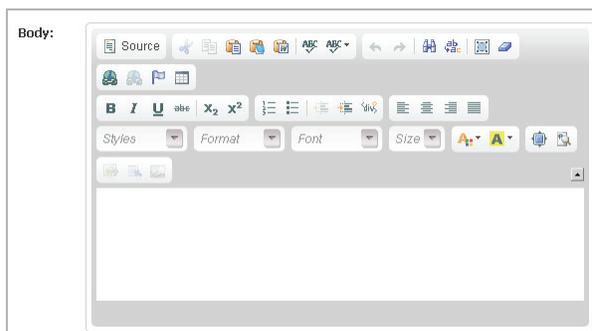
タブに、アセットの「作成」ビューがコンテンツ・エントリ・フォームとして表示されます(この例では記事アセット)。

The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying 'Article'. The browser's toolbar includes a search bar and several icons. Below the browser window, there are three tabs: 'Content', 'Marketing', and 'Metadata'. The 'Content' tab is active, showing the 'Article: Article' form. The form has the following fields:

- *Name:** A text input field.
- Template:** A dropdown menu with the text 'choose display style --' and a close button (X).
- Category:** A dropdown menu.
- Headline:** A text input field.
- Sub-headline:** A text input field.
- Abstract:** A text input field.
- Author:** A text input field.
- Post Date:** A text input field with a calendar icon.
- Main Image:** A dashed box containing a hand icon and the text 'Drop Zone'.
- Body:** A large empty text area.
- Related Stories:** A dashed box containing a hand icon and the text 'Drop Zone'.
- Related Links:** A dashed box containing a hand icon and the text 'Drop Zone'.

4. アセットの「作成」ビューで、次の手順を実行します。
 - a. 「名前」フィールドに、アセットの名前を入力します。アセットの名前を入力する場合は、次の規則に注意してください。
 - 1-64 文字までの英数字で指定する必要があります。
 - 次の文字は使用できません。一重引用符 (')、二重引用符 (")、セミコロン (;)、コロン (:)、疑問符 (?)、パーセント記号 (%)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)。
 - 空白を含めることはできますが、名前の先頭を空白することはできません。

- b. アセットのコンテンツ・エントリ・フォームに入力します。フォームへの入力では、次に注意してください。
- **必須フィールド**。アセットを保存するには、すべての必須フィールド (アスタリスクの付いたフィールド) を入力する必要があります。その他のすべてのフィールドは、必要に応じて入力します。
 - **WYSIWYG テキスト・フィールド**。CKEditor などの WYSIWYG エディタを使用すると、WYSIWYG 対応のテキスト・フィールドが 1 つ以上表示される場合があります。これらのテキスト・フィールドでは、Microsoft Word で使用されるようなコントロールを使用して、コンテンツを入力およびフォーマットできます。例を示します。



CKEditor 対応のフィールドを処理するには、このフィールドをクリックして、このフィールドに対して CKEditor を起動する必要があります。フィールド内をクリックすると、CKEditor ツールバーが開きます。詳細は、84 ページの「CKEditor の使用」を参照してください。

- **日付フィールド**。日付を選択可能な 1 つ以上のフィールドが表示される場合があります。次に例を示します。



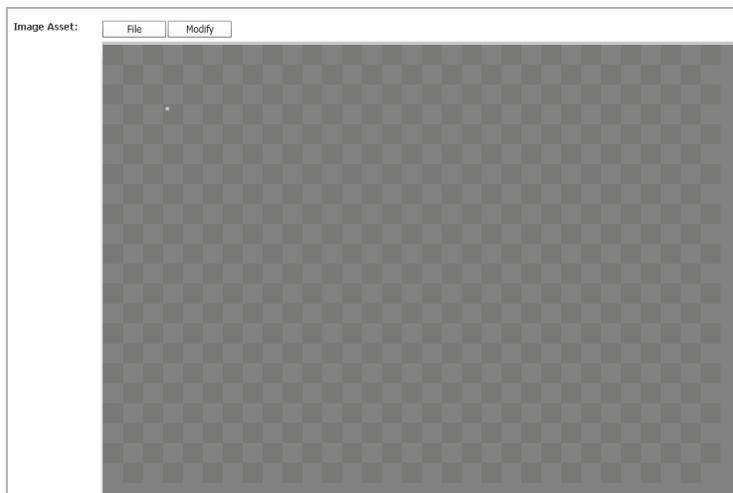
「日付の選択」アイコン (📅) をクリックして、Date Picker 属性エディタを起動します。詳細は、89 ページの「Date Picker の使用」を参照してください。

- **イメージ・ピッカー・フィールド**。1 つ以上のフィールドで、イメージ・ピッカー属性エディタでイメージ・アセット (作成するアセットに関連付けるためのもの) を選択するように要求される場合があります。このような場合は、ドロップ・ゾーンの下に「参照」ボタンが表示されます。例を示します。



「参照」ボタンをクリックすると、アセットを表示しているタブの右側にイメージ・ピッカーが開かれ、選択可能なイメージ・アセットの名前またはサムネイルが表示されます。詳細は、85 ページの「イメージ・ピッカーの使用」を参照してください。

- **Clarkii Online Image Editor** フィールド。Clarkii OIE を使用して、アセット・フォーム内で直接イメージを編集可能なフィールドが1つ以上表示される場合があります。例を示します。



手順の詳細は、87 ページの「Clarkii Online Image Editor の使用」を参照してください。

- 「先行入力」フィールド。ドロップダウン・メニューに「先行入力」というテキストが表示されたフィールドが1つ以上表示される場合があります。次に例を示します。



このフィールドにアセットを移入する場合は、フィールドに移入するアセット名の入力を開始するか、またはドロップダウン・メニューから任意のアセットを選択します。このフィールドがサポートするアセットのタイプは、開発者によって定義されています。

- **アップロード・フィールド**。ローカル・マシンからイメージ・ファイルをアップロードできるフィールドが1つ以上表示される場合があります。例を示します。



このようなフィールドに移入するには、「参照」ボタンをクリックして、ローカル・マシンから任意のイメージ・ファイルをアップロードします。

- **アセット・アソシエーション・フィールド**。ドロップ・ゾーンを表示するフィールドが1つ以上表示される場合があります。このフィールドではドラッグ・アンド・ドロップ機能がサポートされ、作成するアセットに関連付けるアセットをツリーまたは検索結果リストから選択するように要求されます。アソシエーション・フィールドに値を移入するには、次の手順を実行します。

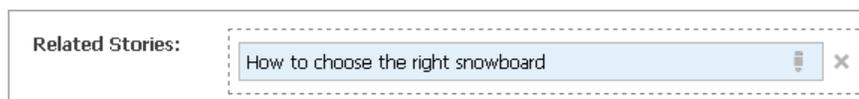
- 1) コンテンツ・ツリー、ワーク・ツリー、または検索結果リストからアセット名をクリックし、マウスのボタンを押しながら、アソシエーション・フィールドまでこのアセットをドラッグします。



許容されるタイプのアセットをフィールド上に置くと、フィールドの周囲に緑の枠線が表示されます。

- 2) マウスのボタンを放して、アセットをフィールド内にドロップします。

移入されたアソシエーション・フィールドは、次のようになります。



アソシエーション・フィールドにドロップされたアセットは、WebCenter Sites により、現在処理中のアセットとリンクされます。アソシエーション・フィールドには、関連付けたアセットの名前が表示されます。アセットの関連付けの詳細は、[第8章「アセットの関連付け」](#)を参照してください。

- c. フォーム・セクション・セレクトで次のセクションを選択して、[72 ページの手順 b](#)の説明に従い、各フィールドに値を入力します。手順を繰り返して、すべての必須フィールド(アスタリスクが付いたフィールド)に値を移入します。その他のフォーム・セクションは、必要に応じて値を移入します。
 - d. アセットの翻訳の作成を計画している場合、または作成するコンテンツの言語を指定する必要がある場合は、「ロケール」ドロップダウン・リスト(フォームの「メタデータ」セクション)からアセットのターゲット言語を選択します。詳細は、[第11章「多言語アセットでの作業」](#)を参照してください。
5. 次のいずれかを実行してアセットを保存します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン()をクリックします。
 - メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。
 次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。
 - 1つ以上のセクションで1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
 - 1つ以上のセクションで許可されていない値の入力または選択が行われている
 このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。
 6. アセットを調査します。次のいずれかを行います。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン()をクリックします。

- メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。
タブにアセットの調査ビューがフォーム・モードで表示されます。調査ビューで表示されているアセットのコンテンツを変更することはできません。
- 7. アセットがワークフローに事前に割り当てられていないときに、ワークフロー機能を使用する場合は、[270 ページの「ワークフローへのアセットの割当て」](#)の説明に従って、アセットをワークフロー・プロセスに割り当てることができます。
- 8. アセットをプレビューします。
 - a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。
 - b. アセットにテンプレートが割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ダイアログが開きます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。
タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、[第7章「アセットのプレビュー」](#)を参照してください。
 - c. さらにアセットを変更する場合は、次の手順を実行します。
 - 1) アセットのツールバーで、「戻る」アイコン () をクリックします。
このタブでは、アセットの調査ビューが表示されます。
 - 2) アセットのツールバーで、「編集」アイコン () をクリックします。
タブにアセットの編集ビューが表示されます。アセットをフォーム・モードで編集する方法の詳細は、[81 ページの「フォーム・モードでのアセットの編集」](#)を参照してください。
- 9. アセットの処理が完了したら、アセットを保存してタブを閉じます。メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存して閉じる」を選択します。
アセットが保存され、アセットを表示しているタブが閉じます。

既存アセットのコピーによるアセットの作成

既存のアセットをコピーすることで、新規アセットを作成できます。このコピーを対象として、必要に応じてコンテンツを変更します。アセットが別のユーザーによってチェックアウトされている場合でも、このアセットをコピーできます。アセットのコピーは、フォーム・モードまたは Web モードを使用して行えます。

既存アセットのコピーによって新規アセットを作成するには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. コピーするアセットを探して開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。

- 2) 検索結果のリストで、目的のアセットの名前を見つけてクリックします。
- 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。

アセットを検索する方法の詳細は、第6章「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビュー(フォーム・モードまたはWebモード)を表示するタブが開きます。

3. 目的のアセットをコピーします。メニュー・バーで「編集」→「コピー」を選択します。

注意

「コピー」オプションが表示されない場合は、ここで終了してください。アセットをコピーするための適切な権限がないことを意味します。権限についての詳細は、管理者に問い合わせてください。

コピーしたアセットの「編集」ビューがフォーム・モードまたはWebモードで表示されたタブが開きます。コピーしたアセットの名前は、アセット名_ランダムに生成された番号のコピーとして、タブに表示されます。

4. アセットのコピーがWebモードで開かれている場合は、次のいずれかを実行します。
 - コピーしたアセットをWebモードで処理する場合は、[108 ページの「Webモードでのアセットの編集」](#)を参照してください。
 - コピーしたアセットをフォーム・モードで処理する場合は、フォーム・モードに切り替えます。
 - 1) アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
 - 2) タブ上でアセットがフォーム・モードで表示されたら、次の手順に進みます。
5. コピーしたアセットの「編集」ビューで、各フィールドの内容を、作成する新規アセットの内容で置換します。次を実行します。
 - a. 「名前」フィールドで、アセットのシステム生成名を、コピーしたアセットを一意に識別する名前に置き換えます。アセットの名前を入力する場合は、次の規則に注意してください。
 - 1-64文字までの英数字で指定する必要があります。
 - 次の文字は使用できません。一重引用符 (')、二重引用符 (")、セミコロン (;)、コロン (:)、疑問符 (?)、パーセント記号 (%)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)。
 - 空白を含めることはできますが、名前の先頭を空白することはできません。

- b. (オプション) 新規アセットのロケール指定を設定または変更します。
- 1) アセットのフォーム・セクション・セレクトアで、「メタデータ」を選択します。
 - 2) 「メタデータ」セクションの「ロケール」ドロップダウン・リストに移動し、アセットに対して必要なロケール指定を選択します。
- ここで選択しない場合は、次のいずれかの結果となります。
- ソース・アセットにロケールが指定されている場合は、新規アセットもソース・アセットのロケール指定を維持します。
 - ソース・アセットにロケールが指定されていない場合は、手動で割り当てないかぎり、新規アセットにはロケールが指定されません。
- 詳細は、[第11章「多言語アセットでの作業」](#)を参照してください。
- c. 残りのフィールドに、新規アセットの必要なコンテンツを移入します。フォーム・モードでアセットを処理する場合に表示される可能性のある、各種のフィールドの詳細は、[72 ページの手順 b](#)を参照してください。
6. アセットを保存します。次のいずれかを行います。
- アセットのツールバーで、「保存」アイコン()をクリックします。
 - メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。
- 次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。
- 1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
 - 1つ以上のフィールドで許可されていない値の入力または選択が行われている
- このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。
7. 次のいずれかを実行してアセットを調査します。
- アセットのツールバーで、「調査」アイコン()をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。
- タブにアセットの調査ビューがフォーム・モードで表示されます。調査ビューで表示されているアセットのコンテンツを編集することはできません。
8. (オプション) アセットがワークフローに事前に割り当てられていないときに、ワークフロー機能を使用する場合は、[270 ページの「ワークフローへのアセットの割当て」](#)の説明に従って、アセットをワークフロー・プロセスに割り当てることができます。
9. アセットをプレビューします。
- a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン()をクリックします。
 - b. アセットにテンプレートが割り当てられていない場合は、プレビュー・テンプレートの選択ダイアログ・ボックスが開きます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。
- タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、[第7章「アセットのプレビュー」](#)を参照してください。

他のサイトとのアセットの共有

複数のサイトでの使用が想定されるアセットを処理する場合は、このアセットを共有することで、何度も同じものを作成しなくても、複数のサイト間でこれを管理できます。

注意

他のサイトとアセットを共有する場合は、共有先のサイトで、このアセット・タイプが有効にされていることを確認してください。

共有可能なアセットの条件

アセットを共有する際は、次の点を念頭に置いてください。

- アセットを共有するための権限が必要です。
- アセットを共有できるのは、アクセス権限を持つサイトのみです。1つのサイトにしかアクセス権限がない場合は、「コンテンツ」メニューの「共有オプション(「コンテンツ」→「共有」)は使用不可となります。
- ページ・アセットは共有できません。
- アセットの共有は、このアセットに含まれるコンテンツが、ターゲット・サイトで一意である必要がない場合にのみ行います。たとえば、会社のロゴを保持するアセットの場合、同じイメージが同社の全サイトで使用されることが考えられるため、このアセットは共有可能です。
コンテンツの性質上、サイトごとに個別かつ独自のバージョンが必要となる場合は、アセットを共有しないでください。かわりに、一意のバージョンのコンテンツが必要となるサイトごとにアセットを新規作成します。
- アセット共有の性質上、1つの共有アセットを削除すると、共有先のすべてのサイトからこのアセットが自動的に削除されます。
- アセットがワークフローに含まれる場合は、アセットのネイティブ・サイトで作業をしている場合にかぎり、このワークフローのステータスを変更できます。
- アセットの共有は、パブリッシュの準備ができているアセットのみとすることを推奨します。つまり、承認されるまで、アセットの共有を待機することになります。
- ローカライズされたアセットを別のサイトと共有する場合は、このアセットのロケールをターゲット・サイトで有効にする必要があります。
- 依存関係を持つアセットを共有する場合は(共有アセットが記事アセットに関連付けられている場合など)、このアセットのすべての依存アセットをターゲット・サイトで共有する必要があります。こうしないと、共有するプライマリ・アセットが、共有先サイトでのパブリッシュを正常に承認されません。

他のサイトとアセットを共有しようとする場合に、適切な権限がない場合は、WebCenter Sites 管理者に問い合せてください。

他のサイトとアセットを共有する方法

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 他のサイトと共有するアセットを見つけて開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、共有するアセットの名前に移動してクリックします。

ヒント

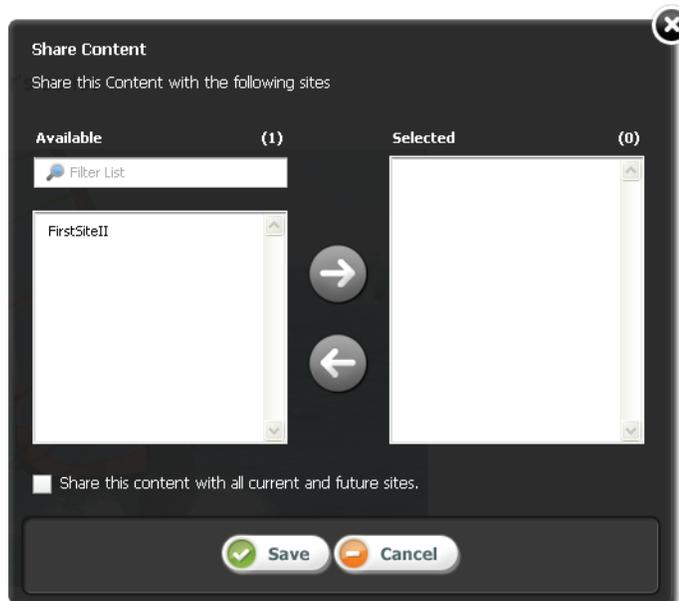
最初に調査せずにアセットを共有するには、検索結果リストで目的のアセットを右クリックし、コンテキスト・メニューから「共有」を選択します。手順 4 に進みます。

- 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。

アセットを検索する方法の詳細は、第6章「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの「調査」ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。

3. メニュー・バーで、「コンテンツ」→「共有」を選択します。
「コンテンツの共有」ダイアログ・ボックスが開きます。



4. 「コンテンツの共有」ダイアログ・ボックスで、次の手順を実行します。
 - a. 「使用可能」リスト・ボックスで、アセットを共有するサイトを選択し、このサイトを「選択済」リスト・ボックスに移動します。
 - b. このアセットを、現在および将来のすべてのサイトで共有するには、「このコンテンツを現在および将来のすべてのサイトと共有します」チェック・ボックスを選択します。
 - c. 「保存」をクリックします。
共有先のサイトで、アセットがアクセス可能になりました。

フォーム・モードでのアセットの編集

アセットの編集は、権限に基づきます。サイト管理者によって、どのユーザーがどのアセットを処理できるかが決定されます。適切な権限を所持する場合は、WebCenter Sites の Contributor インタフェースでアセットを編集できます。アセットの編集に必要な権限の詳細は、管理者に問い合わせてください。

該当するタイプのアセットがすべてフォーム・モードで開くように、アセット・タイプが構成されている場合は、アセットのコンテンツ・エントリ・フォームが表示されたタブが開きます。フォーム・モードでは、アセットのコンテンツ・エントリ・フォームの各フィールドに表示された情報を修正または置換することで、アセットのコンテンツを編集できます。

注意

共有アセットを編集する必要がある場合は、アセットのネイティブ・サイト (アセットが最初に作成されたサイト) で編集する必要があります。

フォーム・モードでアセットを編集するには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. アセットを見つけて開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、目的のアセットの名前を見つけてクリックします。
 - 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。

ヒント

最初に調査せずにアセットを編集するには、アセット・リストで目的のアセットを右クリックし、コンテキスト・メニューから「編集」を選択します。手順 4 に進みます。アセットの「編集」ビューが Web モードで表示されている場合は、アセットのツールバーで「モード」スイッチをクリックして、フォーム・モードに切り替えます。

アセットの検索の詳細は、139 ページの「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。

3. フォーム・モードで、アセットの「編集」ビューにアクセスします。
 - a. アセットが Web モードで表示されている場合は、フォーム・モードに切り替えます。アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
 - b. アセットのツールバーで、「編集」アイコン(✎)をクリックします。タブに、アセットの「編集」ビューが、フォーム・モードで表示されます。

The screenshot displays the 'Edit' view of an article in Oracle WebCenter Sites. The browser window title is '25 Nevada Reso...'. The interface includes a search bar and a toolbar with icons for 'Form', 'Save', 'Publish', 'Checkmark', and 'Trash'. Below the toolbar are tabs for 'Content', 'Marketing', and 'Metadata'. The article title is 'Article: 25 Nevada Resorts Serving Snow'. The form fields are as follows:

- Name:** 25 Nevada Resorts Serving Snow
- Template:** ArticleLayout
- Category:** Skiing articles
- Headline:** All 25 Nevada Resorts Serving Up Great Snow
- Sub-headline:** No sign of mild weather to slow down the Ski Season
- Abstract:** With the crisp cold temperatures, you know you are up north and r
- Author:** CASEY THOMAS
- Post Date:** Jan 10, 2012 2:25:03 PM
- Main Image:** Lodge
- Body:** Today marked the start of the winter season for Nevada's newest ski resort Ice Point. The opening signifies that every Nevada ski and snowboard resort is open for the season. A fresh blanket of snow during the past 24 hours added three to ten inches to resort snow totals. This snowfall, in addition to the past weekend's storm cycle, has created wonderful conditions for skiing and snowboarding in Nevada. Forecasts call for sunny and sensational ski conditions over the weekend with an additional chance of snowfall occurring early next week. For a list of fantastic vacation deals available at Nevada resorts and lodging properties visit: <http://www.nevadaskivacationdeals.com>. Those who have missed the recent powder conditions at Nevada's resorts can still [include with videos located at http://www.widescenefound.com](http://www.widescenefound.com)
- Related Stories:** Ski Castle and Snowboard Wizards Unite; Alexandra Smith Extends World Cup Lead
- Related Links:** Veteran Skier Says Goodbye; Cross-Country Ski Clothing; Canadian Is First Woman to Ski Solo Across Continent

4. アセットのコンテンツを、必要に応じて変更します。フォーム・モードでアセットを処理する場合に表示される可能性のある各フィールドへの情報入力の詳細は、[71 ページの手順 4](#)を参照してください。

5. 次のいずれかを実行してアセットを保存します。

- アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
- メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。

次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。

- 1つ以上のセクションで1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
- 1つ以上のセクションで許可されていない値の入力または選択が行われている

このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。

6. 次のいずれかを実行してアセットを調査します。

- アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
- メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。

タブにアセットの調査ビューがフォーム・モードで表示されます。調査ビューで表示されているアセットのコンテンツを編集することはできません。

7. アセットがワークフローに事前に割り当てられていないときに、ワークフロー機能を使用する場合は、[270 ページの「ワークフローへのアセットの割当て」](#)の説明に従って、アセットをワークフロー・プロセスに割り当てることができます。

8. アセットをプレビューします。

- a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。

- b. アセットにテンプレートが割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ダイアログが開きます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。

タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー手順の詳細は、[第7章「アセットのプレビュー」](#)を参照してください。

属性エディタの使用

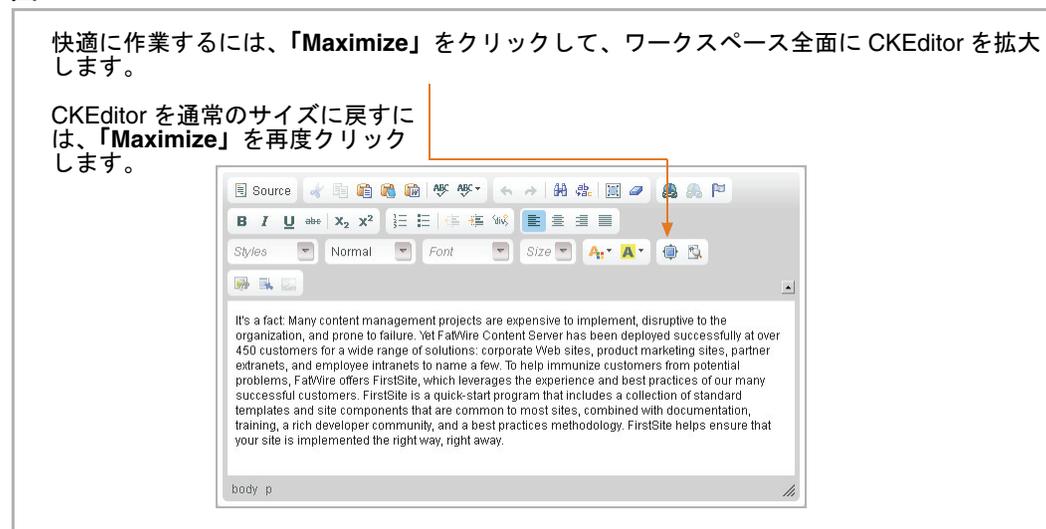
この項では、アセットの作成または編集時に表示される可能性のある、属性エディタ対応フィールドについて説明します。この項は、次で構成されています。

- [CKEditor の使用](#)
- [イメージ・ピッカーの使用](#)
- [Clarkii Online Image Editor の使用](#)
- [Date Picker の使用](#)

CKEditor の使用

CKEditor は、人気の高いサード・パーティ製 WYSIWYG エディタであり、WYSIWYG 対応のテキスト・フィールドでデフォルト・エディタとして使用されます。CKEditor を使用すると、MS Word スタイルの、幅広い種類の書式をコンテンツに適用できます。

図 9: CKEditor

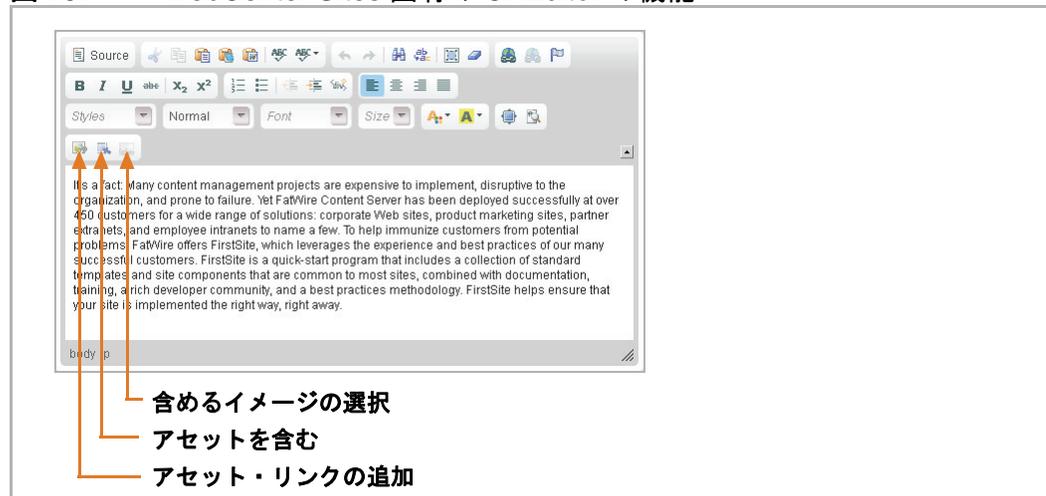


CKEditor には、コンテンツの基礎となる HTML コードへのアクセス、MS Word ドキュメントから書式設定前のコンテンツを受け入れる機能など、高度な機能も用意されています。

ツールバーから使用可能な機能のほとんどは、CKEditor にネイティブの機能です。CKEditor とその各機能の詳細は、<http://docs.cksource.com> で入手可能なエディタのドキュメントを参照してください。

CKEditor ツールバー上のいくつかの機能は、WebCenter Sites に固有のもので、これらの機能を、次に表示および説明します。

図 10: WebCenter Sites 固有の CKEditor の機能



- **アセット・リンクの追加**: あるアセットから別のアセットへのハイパーテキスト・リンクを作成します。詳細は、[196 ページの「2つのアセットの直接リンク」](#)を参照してください。
- **アセットを含む**: アセットのプレビュー可能なコンテンツを、別のアセット内にレンダリングします。詳細は、[202 ページの「2つのアセットを包含によりリンクするには」](#)を参照してください。

注意

含めるアセットがイメージの場合は、このイメージを別のアセットにリンクできます。詳細は、[205 ページの「イメージ・アセットによる2つのアセットのリンク」](#)を参照してください。

- **含めるイメージの選択**: イメージ・ピッカーからイメージを選択し、参照アセットでのCKEditor 対応フィールドに含めることができます。
イメージをフィールドに含めた後は、このイメージを別のアセットにリンクすることもできます。詳細は、[214 ページの「イメージ・ピッカーからのイメージを通じたリンク」](#)を参照してください。

イメージ・ピッカーの使用

1つ以上のイメージ・アセットに関連付けることが可能なアセットを処理する場合、イメージ・ピッカー属性エディタをサポートするフィールドが表示されることがあります。イメージ・ピッカーを使用すると、イメージ・アセットを視覚的に選択して、作成または編集しているアセットに関連付けることができます。

注意

開発者が親アセットのアセット・タイプを構成する際に、次の項目が定義されます。

- イメージ・ピッカーが有効化されるフィールド
- イメージ・ピッカーによって表示されるイメージ・アセットのタイプ

イメージ・ピッカーを使用してイメージ・アセットを他のアセットに関連付けるには:

1. フォーム・モードで表示されているアセットの「作成」ビューまたは「編集」ビューで、イメージ・ピッカーに関連付けられているフィールドに移動し、「参照」をクリックします。



検索結果リストにイメージ・ピッカーが表示されます(アセットのフォームの右側)。



イメージ・ピッカーでは各イメージ・アセットに対して、イメージのサムネイルとそのファイル名、またはアセットのファイル名のみが表示されます(開発者の構成によって異なる)。

2. 目的のイメージ・アセットに移動し、このイメージをフィールドにドラッグ・アンド・ドロップします。

選択したイメージ・アセットが、現在処理中のアセットに関連付けられます。フィールドにすでにイメージ・アセットが移入されている場合は、新たに選択したアセットによって既存のアセットが置換されます。フィールドには、対応するイメージのサムネイルが表示されます。



3. 「保存」アイコン(📁)をクリックして、アセットへの変更を保存します。

Clarkii Online Image Editor の使用

Clarkii Online Image Editor (Clarkii OIE) を使用すると、フォーム・モードでのアセットの「新規」または「編集」ビューで、イメージを直接編集できます。たとえば、Clarkii OIE を使用すると、イメージの切取りや回転を行えます。また、Clarkii OIE では、グラフィックやテキストの追加によってイメージを拡張することもできます。

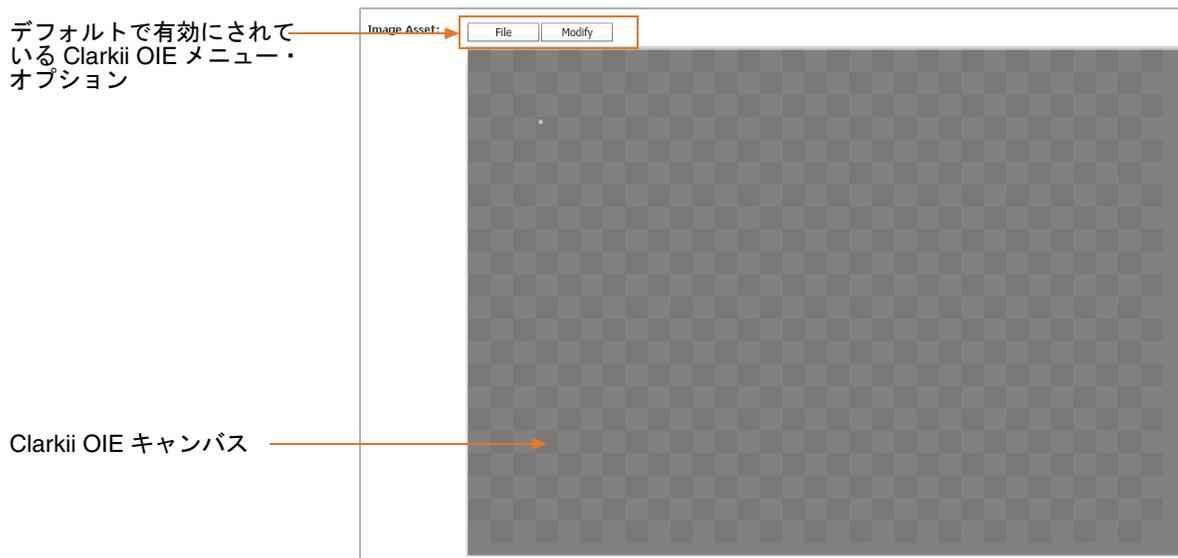
注意

Clarkii OIE を使用する場合は、次の点を念頭に置いてください。

- Clarkii OIE は、フォーム・モードのみでサポートされます。
- 開発者がアセット・タイプを構成する際、フィールドごとに Clarkii OIE の有効化が定義されます。詳細は、『Oracle WebCenter Sites 開発者ガイド』を参照してください。

図 11 は、Clarkii OIE を使用してアセット・フィールドで編集されたイメージの例を示します。

図 11: アセット・フィールドにレンダリングされた Clarkii Online Image Editor



Clarkii OIE を使用するには、Flash をインストールしておく必要があります。Flash がインストールされていない場合は、Clarkii OIE のかわりに、Flash をダウンロードするためのリンクが表示されます。リンクをクリックして、Flash をダウンロードしてください。Flash がインストールされると、適切なフィールド内に Clarkii OIE がロードされます(上図参照)。

Clarkii OIE を使用してアセット・フィールドを処理する場合は、開発者が Clarkii OIE をどのように構成しているかに応じて、次の一部、またはすべての機能を実行できます。

- イメージを選択して Clarkii OIE キャンバス上に配置します。または、選択したイメージによって、キャンバス上の既存のイメージを置換します。使用可能なイメージは、開発者によって定義されます。
- Clarkii OIE ウィンドウで使用可能なツールバーおよびメニュー・オプションを使用して、キャンバス上のイメージに対し、必要に応じて他の編集を行います。

Clarkii OIE のツールバーおよびメニュー内で使用可能な機能は、開発者によってカスタマイズが可能です。これらの機能は完全に Clarkii OIE に関連するもので、このガイドでは説明していません。Clarkii OIE のツールバーおよびメニュー・オプションを使用する手順については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.online-image-editor-clarkii.com/>

Clarkii Online Image Editor を使用してイメージを編集するには：

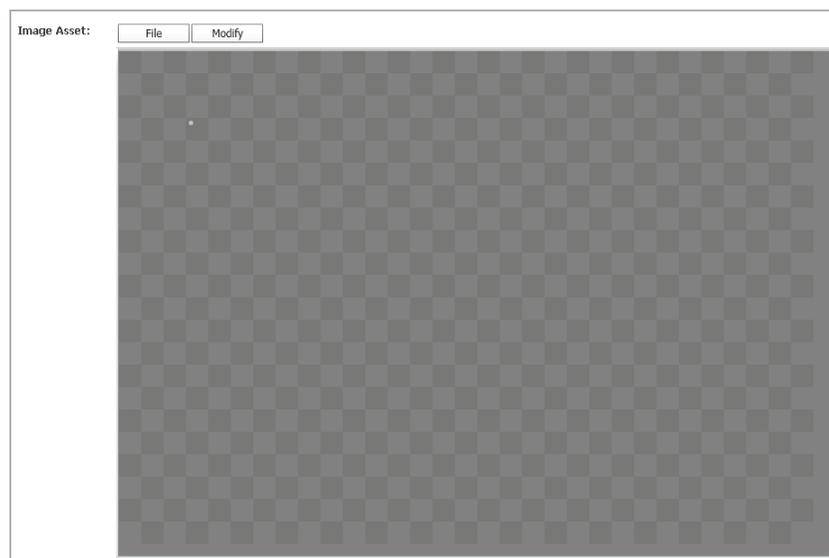
注意

- この機能を使用する前に、Clarkii OIE に関連付けられた属性フィールドがどのアセット・フォームに含まれるかを確認してください。
- 手順2の指示は、Clarkii OIE を使用する場合に実行可能な機能の例を示すガイドラインです。この手順で実際に実行可能な機能は、Clarkii OIE の各プロパティを構成した開発者によって定義されています。

不明な点がある場合は、開発者に問い合せてください。

1. 目的のアセットの「作成」または「編集」ビューで、Clarkii OIE にアクセスします。

フィールドに Clarkii OIE が表示され、次のような外観になります。



2. 次の手順は、WebCenter Sites のインストール時にすぐに使用可能となる、デフォルトで有効な Clarkii OIE 機能のメニュー・オプションのみが対象となっています。たとえば、必要に応じてイメージの挿入やその他の修正 (キャンバス上のイメージのサイズ変更など) を行います。
 - Clarkii OIE キャンバスにイメージを挿入し、キャンバス上の既存のイメージをすべて置き換えるには、次の手順を実行します。
 - a) Clarkii OIE メニューで、「File」→「Open」を選択します。
「Select file to open」ダイアログ・ボックスが開きます。
 - b) Clarkii OIE キャンバスに挿入するイメージ・ファイルを選択して、「Open」をクリックします。
イメージがキャンバスに挿入され、キャンバス上に配置されていた既存のイメージがすべて置換されます。
 - c) (オプション) 選択したイメージを別のイメージで置換するには、手順 a および b を繰り返し、必要なイメージを選択します。
 - Clarkii OIE キャンバス上に表示されているイメージを修正するには (イメージのサイズ変更など)、Clarkii OIE メニューの「Modify」オプションをクリックします。「Modify」メニューでは、以下のオプションを使用できます。
 - Rotate
 - Crop
 - Resample

これらの機能、および他の機能の使用手順については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.online-image-editor-clarkii.com/>
3. アセットのツールバーで「保存」アイコン () をクリックして、アセットの Clarkii OIE 対応フィールドで行った変更を保存します。

Date Picker の使用

フォームに日付フィールド (投稿日、リリース日、開始日、終了日など) が含まれるアセットを処理する場合、標準テキスト・ボックスに加え、Date Picker 属性エディタを使用すると、日付を視覚的に選択できます。

Date Picker はカレンダー型のインタフェースであり、多くの個人情報管理アプリケーション (Microsoft Outlook など) で見られる日付セレクタに似ています。

Date Picker を使用して日付を入力するには :

1. アセットの「作成」ビューまたは「編集」ビューで、Date Picker 対応フィールドにスクロールし、「日付の選択」アイコン () をクリックします。

Post Date:	<input type="text"/>	
------------	----------------------	---

WebCenter Sites で Date Picker ポップアップ・ウィンドウが開きます。

1. 左右の矢印(<, >)を使用するか、または月名をクリックすると開かれるドロップダウン・リストを使用して、月を選択します。

2. 年をクリックします。選択した年が中央に表示されます。

3. 時間を増減するには、時、分および秒選択メニューの隣の上下矢印をクリックして、各単位の値を1ずつ増減します。

4. 目的の日をクリックします。(Date Picker が閉じられます)

2. Date Picker ポップアップ・ウィンドウで、必要な月、年、日および時間を選択します。日は最後に選択してください。目的の日をクリックすると、Date Picker ポップアップ・ウィンドウが自動的に閉じられ、対応するフィールドに選択内容が反映されます。
3. アセットのツールバーで「保存」アイコン()をクリックして、アセットへの変更を保存します。

第 4 章

Web モードでのアセットの作成、共有および編集

この章では、Web モードでアセットを作成および編集する基本的な手順を説明し、avisports サンプル・サイトからのいくつかの例を示します。

この章には次の項が含まれます。

- [「概要」](#)
- [「Web モードでのアセットの作成」](#)
- [「Web モードでのアセットの編集」](#)

概要

WebCenter Sites の Contributor インタフェースは、開発者ではなく、コンテンツ・プロバイダが使用することを目的に設計されています。そのため、Contributor インタフェースでは、テンプレート、CSElement、SiteEntry、DimensionSet、ディメンション、属性エディタ、親定義、属性およびブレイクス定義などのシステム定義のアセット・タイプを表示 (調査) することはできませんが、作成 (または編集) することはできません。同様に、Contributor インタフェースで FW_Application および FW_View のシステム定義のアセット・タイプを表示することはできません。これらのタイプのアセットは、WebCenter Sites の Admin インタフェースでのみ作成 (編集) および表示できます。

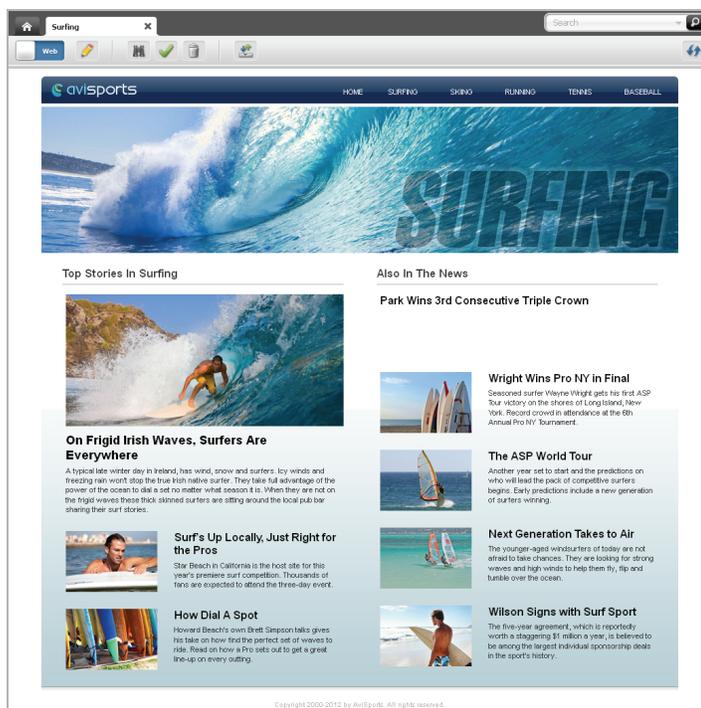
同様に、アセットの操作も権限に基づきます。適切な権限を所持する場合は、WebCenter Sites の Contributor インタフェースでアセットを作成および編集できます。アセット・タイプが、そのタイプのすべてのアセットが Web モードで開くように構成されている場合、そのタイプのアセットを作成または編集すると、アセットの Web ページ・ビューが (図 12 のように) 表示されます。

注意

アセットを新規作成する場合、Contributor インタフェースにはフォーム・モードおよび Web モードの 2 つのモードが用意されています。この項では、Web モードでのアセットの作成に限定した情報を提供します。フォーム・モードでのアセットの作成の詳細は、68 ページの「[フォーム・モードでのアセットの作成](#)」を参照してください。

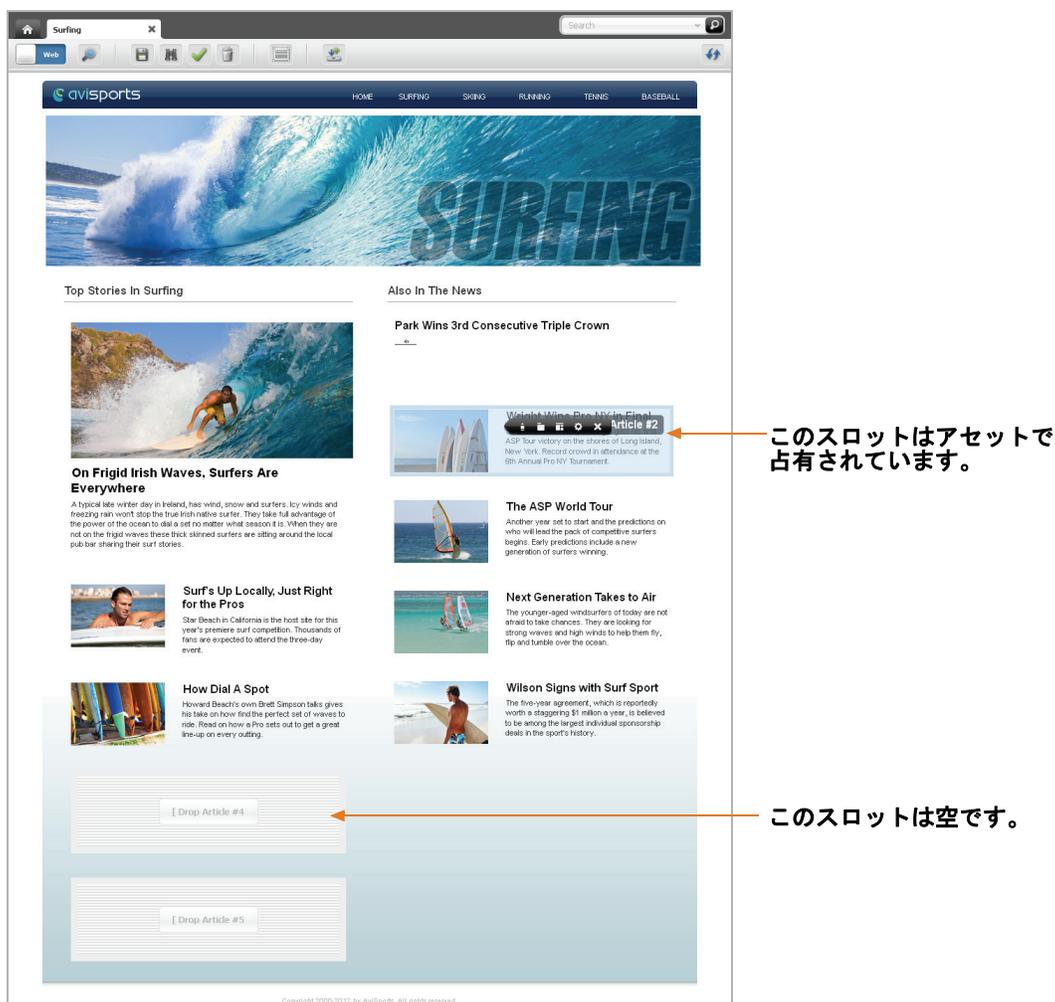
開発者が WebCenter Sites システムに対して行った構成によっては、Web モードが無効になっている場合があります。この項では、Web モードが有効になっていることを前提とします。インストールで Web モードが有効になっているかどうかの詳細は、開発者に確認してください。

図 12: Web モードで表示されるサーフィン・ページ・アセットの調査ビュー



Web モードでは、コンテキスト編集が提供されます。これは、パブリッシュする形式 (Web ページ・ビュー) でアセットを直接操作できることを意味します。コンテンツ・エントリ・フォーム内のフィールドのかわりに、アセットには Web ページ・レイアウト (テンプレート) が割り当てられ、これによって Web モードでレンダリングされるアセットの編集可能領域が決まります。編集可能領域には、単純なテキスト領域、WYSIWYG エディタが使用できるテキスト領域、スロットなどがあります。次の図は、空のスロットと占有されたスロットを表示する、Web モードでレンダリングされたサーフィン・ページ・アセットの編集ビューの例を示しています。

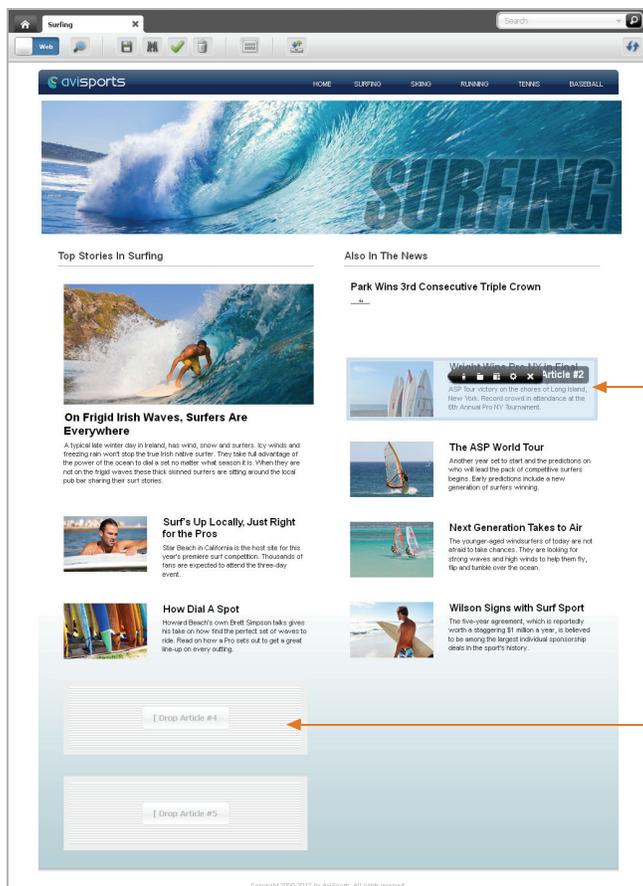
図 13: Web モードで表示されるサーフィン・ページ・アセットの編集ビュー



スロットとは

アセットに割り当てられた Web ページ・レイアウト (テンプレート) がスロットをサポートするよう構成されている場合、そのアセットの作成および編集ビューには、空のスロットや占有されたスロットが (図 13 および図 14 のように) 表示されます。各スロットでは、単一のコンテンツ、つまり単一のアセットが受け入れられます (スロットが複数值の場合、そのスロットでは複数のアセットが受け入れられます)。スロットでドラッグ・アンド・ドロップ機能がサポートされる場合は、アセットをツリーまたは検索結果リストからドラッグし、そのアセットを目的のスロット内にドロップできます。スロットでドラッグ・アンド・ドロップ機能がサポートされない場合、通常そのスロットには事前定義済アセット (推奨アセットなど) が含まれます。これは、開発者や管理者がそのアセットに割り当てられた Web ページ・レイアウト (テンプレート) 内で構成したものです。

図 14: 空のスロットおよび占有されたスロット (サーフィン・ページ・アセット)



このスロットはアセットで占有されています。スロットのツールバーを表示するには、そのスロット内をクリックします。このスロットでは、アセットの削除、別のアセットとの置換、スロットのコンテンツ・レイアウトの変更、スロットのプロパティの表示またはスロット内に含まれるアセットの編集が可能です。

このスロットは空です。アセットを「コンテンツ・ツリー」、「ワーク」ツリーまたは検索結果リストからドラッグし、そのアセットをスロット内にドロップできます。

アセットをスロットに追加すると、操作しているアセットとスロット内に配置したアセットとの間にアソシエーションが作成されます。各スロットでサポートされるアセットのタイプは、開発者がそのアセットに割り当てられた Web ページ・レイアウト (テンプレート) に対して行った構成によって決まります。

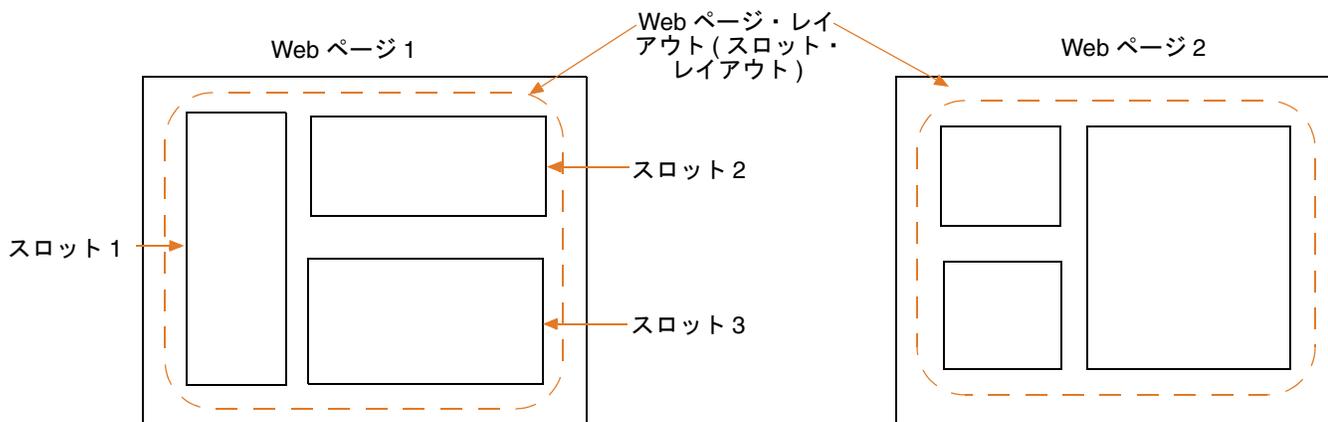
スロット内をクリックすると、そのスロット上で実行できるコンテンツ管理オプションを含むツールバーが (図 13 のように) 表示されます。このツールバーを使用すると、スロット内に含まれるアセットのコンテンツの編集、スロットのコンテンツ・レイアウトの変更 (これによってスロット内のアセットの外観が変更されます)、スロットのプロパティの表示、スロットからのアセットの削除などが可能になります。(複数のアセットを受け入れる) 複数値スロットを操作している場合、「管理」オプションが表示されます。このオプションを使用すると、そのスロット内に含まれるアセットが Web ページに表示される順序を変更できます。スロットのツールバーで提供されるオプションは、操作中のアセットに割り当てられた Web ページ・レイアウト (テンプレート) に対して開発者が行った構成によって決まります。

Web ページ・レイアウトとコンテンツ・レイアウトの相違点

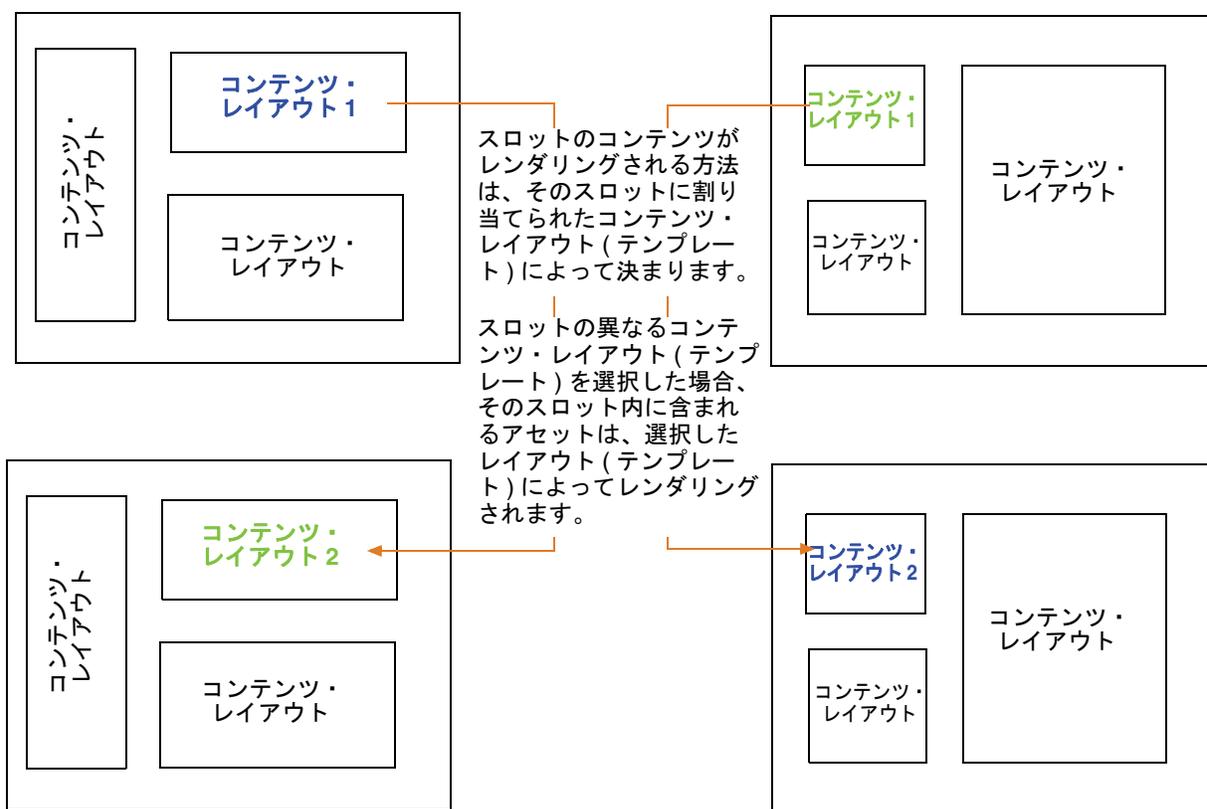
Web ページ・レイアウトは、操作しているアセットに割り当てられたレイアウト (テンプレート) です。アセットを Web モードで操作する場合、アセットに割り当てられた Web ページ・レイアウトによって、そのアセットの Web ページ・ビューにおけるスロットの配置が決まります (図 13 および 14 を参照)。コンテンツ・レイアウト (テンプレート) は、個々のスロットに割り当てられるレイアウト (テンプレート) です。スロットに割り当てられるコンテンツ・レイアウトによって、そのスロット内に含まれるアセットの外観が決まります。

スロットを使用すると、そのスロット内に含まれるコンテンツのレンダリングに使用する、異なるコンテンツ・レイアウトを選択できます。スロットのコンテンツ・レイアウトを変更すると、そのスロット内に含まれるアセットは、選択したレイアウトを使用してレンダリングされます。図 15 では、Web ページ・レイアウトとコンテンツ・レイアウトの相違点を示すダイアグラムが提供されます。

図 15: Web ページ・レイアウトとコンテンツ・レイアウト



選択する Web ページ・レイアウト (テンプレート) によって、アセットの Web ページ・ビューに表示されるスロットの位置が決まります。異なるレイアウト (テンプレート) を選択すると、どのように Web ページ・レイアウト (テンプレート) のコードが記述されたかによって、スロットが異なる位置にレンダリングされます。



Web モードでのアセットの作成

作成できるアセットのタイプは、Contributor インタフェースで提供されるアセット・タイプおよび割り当てられた権限によって決まります。適切な権限を持つユーザーであれば、WebCenter Sites の Contributor インタフェースを使用して新しいアセットを一から作成できます。作成するアセットに類似した既存のアセットがある場合は、その既存のアセットをコピーして変更を行うことでいくつかの手順を省略できます。また、あるサイトに存在する同じアセットを別のサイトにも作成したい場合は、そのアセットを共有することで同じアセットを複数作成する必要がなくなります。

アセット作成方法の種類

Contributor インタフェースで使用できるアセット作成方法の詳細は、68 ページの「アセット作成方法の種類」を参照してください。

Web モード使用時にフォーム・モードに切り替える必要性

アセットを Web モードで操作している場合、表示される編集可能領域は、そのアセットに割り当てられた Web ページ・レイアウト(テンプレート)に対して開発者が行った構成によって決まります。(アセットをフォーム・モードで操作するときに)アセットのコンテンツ・エントリ・フォームに表示されるフィールドは、そのアセットを Web モードで操作するときに提供されるフィールドと同一である必要はありません。このため、日付フィールドやロケール・フィールドなどの特定のフィールドは、Web モードで提供されない場合があります。また、特定の属性エディタはフォーム・モードでのみサポートされます(Clarkii Online Image Editor など)。そのような場合は、フォーム・モードに切り替えて該当フィールドへの入力を行う必要があります。フォーム・モードに切り替える手順については、「Web モードでの新規アセットの作成」の 106 ページの手順 8 を参照してください。

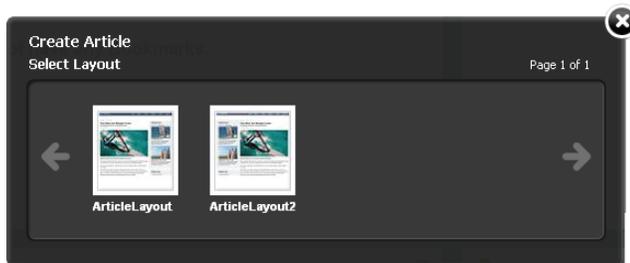
Web モードでの新規アセットの作成

管理者がアセット・タイプを Web モードで作成するよう構成し、「新規」メニュー(「コンテンツ」→「新規」)にリストした場合、アセットの Web ページ・ビューに情報を入力することによって、そのタイプのアセットを作成できます。

Web モードで新規アセットを作成するには

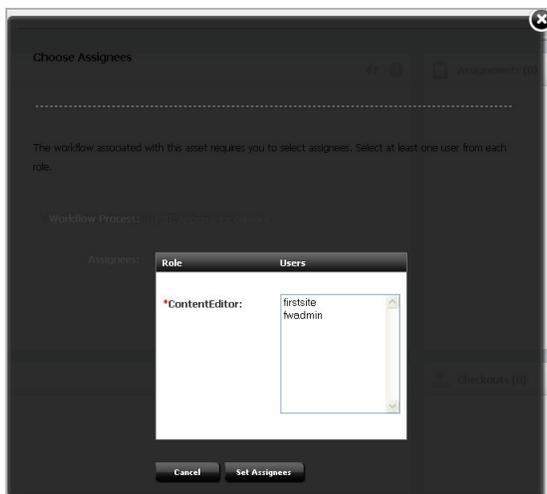
1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの Contributor インタフェースのアイコンを選択します。
2. 作成するアセットのタイプを選択します。メニュー・バーで、「コンテンツ」→「新規」をクリックし、**作成するアセットのタイプを選択します**(この例に従うには、**アーティクル・アセット・タイプ**を選択します)。

アセットの作成ダイアログ・ボックスが表示されます。



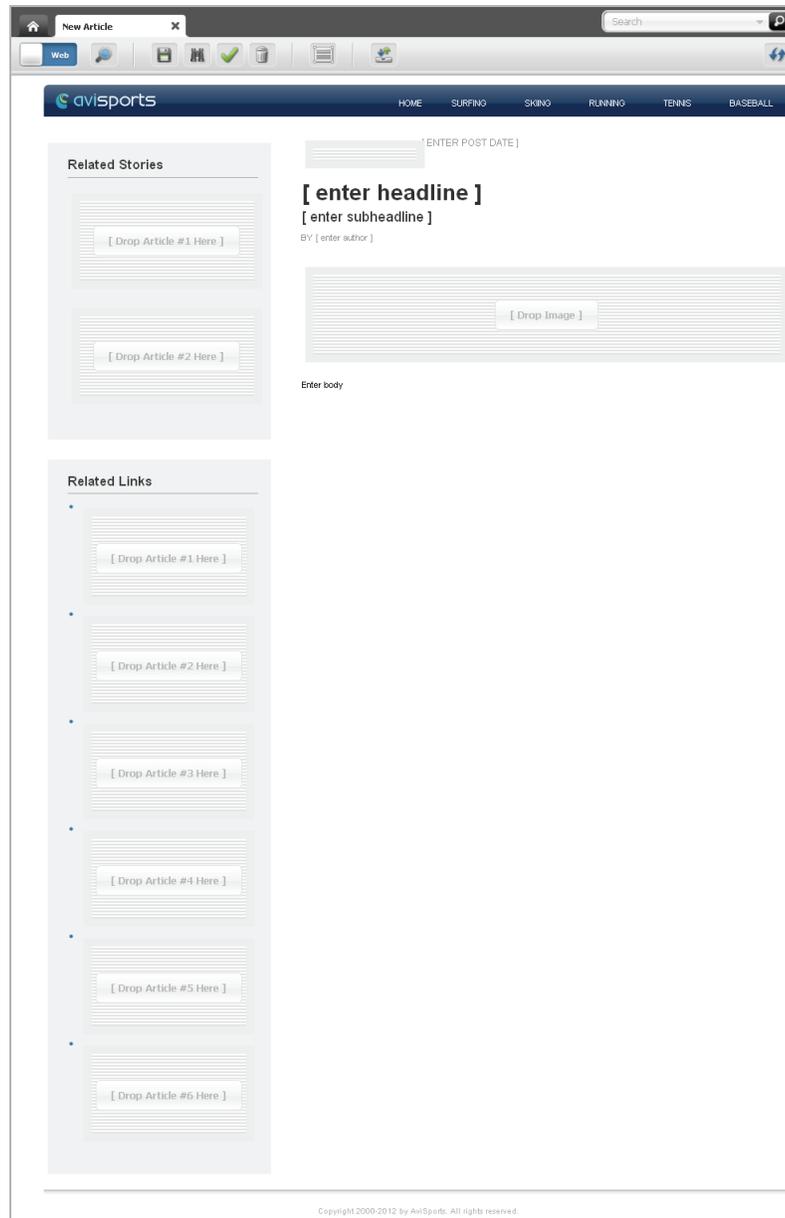
3. アセットの作成ダイアログ・ボックスで、次の手順を実行します。
 - a. 「レイアウトの選択」フィールドで、アセットに割り当てるレイアウトを選択します。

選択するレイアウトによって、アセットの作成ビューが Web モードでどのように表示されるかが決まります。
 - b. 「名前」フィールドに、アセットの名前を入力します。次のことに留意してください。
 - 1-64 文字までの英数字で指定する必要があります。
 - 次の文字は使用できません。一重引用符 (')、二重引用符 (")、セミコロン (;)、コロン (:)、疑問符 (?)、パーセント記号 (%)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)。
 - 空白を含めることはできますが、名前の先頭を空白することはできません。
 - c. 「続行」をクリックします。
4. 管理者が、同じタイプのすべての新規アセットが作成後にワークフローに配置されるようアセット・タイプを構成している場合は、「割当て先の選択」ダイアログ・ボックスが表示されます。



必要とされるそれぞれのロールに対し少なくとも 1 人のユーザーを選択し、「割当て先の設定」をクリックします。これらのユーザーのいずれでも、ワークフローにおいて次のステップを完了できます。詳細は、[第 14 章「ワークフロー」](#)を参照してください。

新しいタブが開き、アセットの作成ビューが Web モードで表示されます(この例ではアーティクル・アセット)。



アセットに割り当てたレイアウトによって、アセットの作成ビューに表示される編集可能領域が決まります。

5. アセットの作成ビューの様々な領域をポイントし、コンテンツが受け入れられる領域を確認します。ドラッグ・アンド・ドロップ機能およびその他のコンテンツ管理アクションをサポートする領域は、それらをポイントしたときに(次のように)強調表示されます。



6. 強調表示された領域内をクリックして、各領域でサポートされるコンテンツのタイプを確認します。表示される編集可能領域のタイプ、およびそれらの領域がアセットの Web ページ・ビューにどのように表示されるかは、開発者がどのようにアセットの Web ページ・レイアウト(テンプレート)をコーディングしたかによって決まります。アセットを Web モードで操作するときに表示される可能性がある領域の例を、次に示します。

The screenshot displays a web editor interface for a 'New Article' page. The page layout includes a header with navigation links (HOME, SURFING, SKIING, RUNNING, TENNIS, BASEBALL) and a main content area with several slots:

- Related Stories:** A slot containing two article placeholders. A callout points to this slot with the text: "単純なテキスト" (Simple text).
- Main Image:** A slot for a main image. A callout points to it with the text: "イメージを受け入れることを示すようにコーディングされた単一値スロット。" (Single-value slot coded to show image acceptance).
- Related Links:** A slot containing six article placeholders. A callout points to this slot with the text: "複数値スロット。複数値スロット内の個々のスロットを操作するには、「編集」オプションをクリックします。" (Multiple-value slot. To operate individual slots within a multiple-value slot, click the 'Edit' option).
- WYSIWYG Editor:** A large text area at the bottom right, labeled "WYSIWYG エディタが使用できるテキスト領域" (Text area where WYSIWYG editor can be used).

The interface also shows a 'Styles' panel on the right side of the editor.

7. アセットの作成ビューを移入します。編集可能領域内をクリックして、その領域で受け入れられるコンテンツのタイプを確認します。アセットの移入時に確認できる可能性がある、各編集可能領域間の相違点を次に示します。
- **テキスト領域。** テキストを入力できる1つ以上の領域が表示される場合があります。これらの領域には、入力する必要があるコンテンツのタイプを説明する事前定義済のサンプル・テキストが表示される場合があります。テキスト領域をポイントすると、その領域がグレーで強調表示され、

カーソルがテキスト選択用の I 型カーソルとして表示されます。次に例を示します。

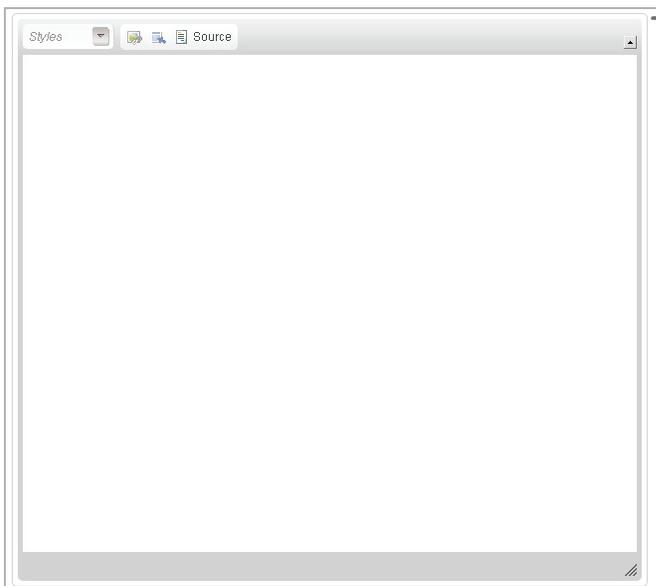
Enter Headline Here

テキスト領域内をクリックして、任意のテキストを入力します。テキスト領域内をクリックすると、次のいずれかが表示されます。

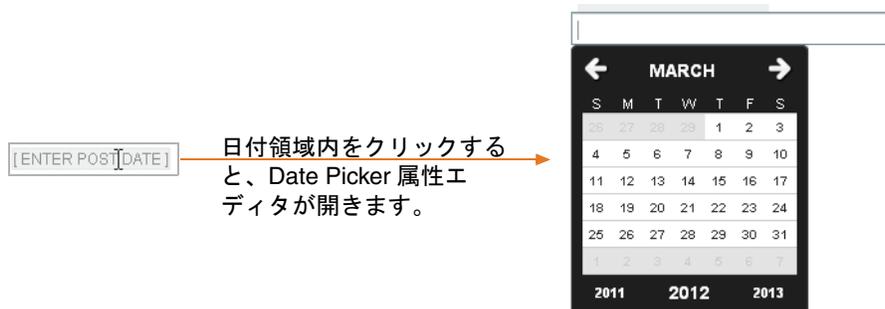
- **簡易テキスト・フィールド**。簡易テキスト・フィールドにはテキストを入力できますが、そのテキストの書式は設定できません。



- **WYSIWYG テキスト・フィールド**。テキスト領域で埋込み WYSIWYG エディタ (CKEditor など) がサポートされる場合、その WYSIWYG エディタが表示されます。これらのテキスト・フィールドでは、Microsoft Word のようなコントロールを使用して、コンテンツを入力したり、その書式を設定できます。



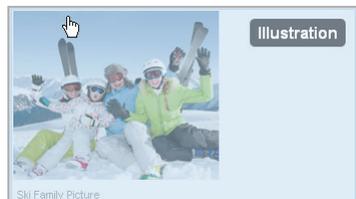
- **日付領域**。日付を選択できる 1 つ以上の領域が表示される場合があります。例を示します。



これらのうち、いずれかの領域内をクリックすると、Date Picker 属性エディタが起動します。詳細は、89 ページの「Date Picker の使用」を参照してください。

- **スロット**。事前定義済のコンテンツまたは空のスロットが表示された1つ以上の領域を確認できる場合があります。これらの領域をポイントすると、青のオーバーレイで強調表示されます。

事前定義済のコンテンツが表示されたスロット



空のスロット



スロットを操作するには、次の手順を実行します。

- 1) 目的のスロット内をクリックして、そのツールバーを表示します。スロットがアセットに割り当てられた Web ページ・レイアウト (テンプレート) 内でどのようにコーディングされるかに応じて、次の1つ以上のコンテンツ管理オプションが表示される場合があります。



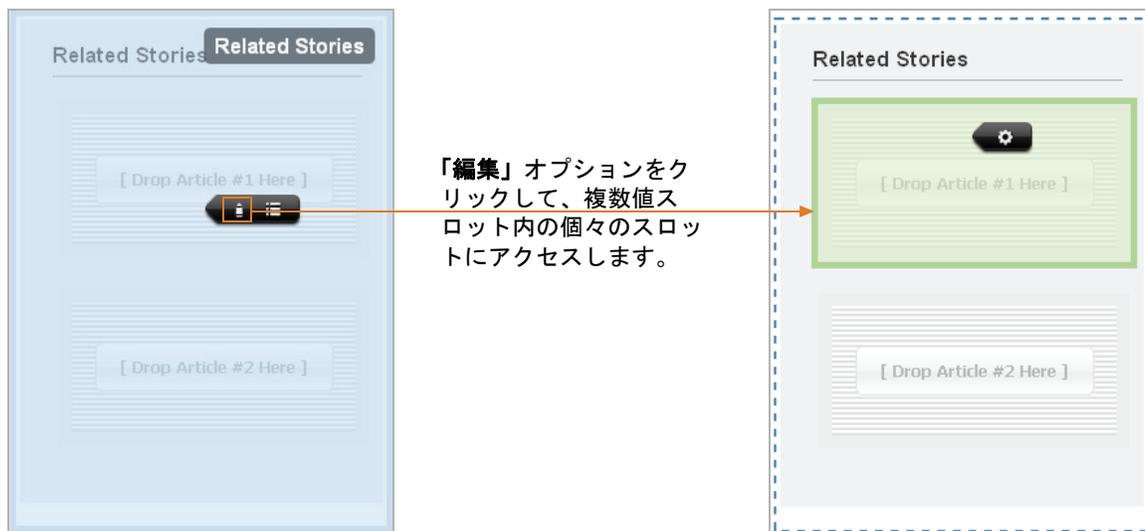
ツールバー (上部に表示されます) の左から右に、次のオプションが表示されます。

- **編集** : スロット内に含まれるアセットのコンテンツを、作成しているアセットの Web ページ・ビュー内で直接編集できます。詳細は、121 ページの「関連付けられたアセットのコンテンツの編集」を参照してください。
- **新しいタブで開く** : スロット内に含まれるアセットの調査ビューが表示されたタブを開きます。詳細は、121 ページの「関連付けられたアセットのコンテンツの編集」を参照してください。
- **コンテンツ・レイアウトの変更** : スロットのコンテンツのレンダリングに使用するコンテンツ・レイアウト (テンプレート) を選択できます。詳細は、114 ページの「コンテンツ・レイアウトの変更」を参照してください。
- **スロット・プロパティ** : スロットでサポートされるアセット・タイプのリストを提供します。詳細は、105 ページの手順 3 を参照してください。
- **スロットのクリア** : スロットからコンテンツを削除します。詳細は、124 ページの「アソシエーションの削除」を参照してください。

次のオプションは、複数値スロットのツールバーでのみ提供されません。

- **管理** : 複数値スロット内に含まれるアセットの位置を管理できます。複数値スロットの詳細は、126 ページの「複数値スロット内に表示されるコンテンツの位置の変更」を参照してください。

- 2) スロットが複数値の場合、そのスロット内をクリックすると、スロットのツールバーに「編集」および「管理」オプションが表示されます。「編集」をクリックして、次のように複数値スロット内の個々のスロットにアクセスします。



- 3) スロットでサポートされるコンテンツのタイプを確認します。スロット内をクリックし、そのスロットのツールバー内の「スロット・プロパティ」オプションをクリックします。



- 4) スロットでドラッグ・アンド・ドロップ機能がサポートされるかどうかを確認します。これを行うには、「コンテンツ・ツリー」、「ワーク」ツリーまたは検索結果リストから目的のスロットにアセットをドラッグします。
- スロットの境界線が緑色に変わった場合、そのタイプのアセットはスロットで受け入れられます。この場合は、アセットをスロット内にドロップします。
 - スロットの境界線が赤色に変わった場合は、スロットでこのタイプのアセットが受け入れられないか、ドラッグ・アンド・ドロップ機能がサポートされません。

コンテンツのスロットへの追加の詳細は、118 ページの「アソシエーションの追加または置換」を参照してください。

8. 作成しているアセットに割り当てられた Web ページ・レイアウト (テンプレート) が、特定のフィールド (日付フィールドやロケール・フィールドなど) を Web モードで表示するようにコーディングされていない場合、それらのフィールドはフォーム・モードでのみ提供されます。これらのフィールドを移入するには、次のようにフォーム・モードに切り替える必要があります。
 - a. アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
タブにアセットがフォーム・モードで再表示されます。
 - b. 必須フィールドに入力します。手順については、72 ページの手順 b を参照してください。
 - c. Web モードに再度切り替えます。アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
タブにアセットが Web モードで再表示されます。
9. アセットを保存します。次のいずれかを行います。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。
 - 1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
 - 1つ以上のフィールドで許可されていない値の入力または選択が行われているこのいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正し、アセットを保存します。
10. アセットを調査します。次のいずれかを行います。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。タブにアセットの調査ビューが Web モードで表示されます。調査ビューで表示されているアセットのコンテンツを変更することはできません。
11. (オプション) アセットがワークフローに事前に割り当てられていないときに、ワークフロー機能を使用する場合は、270 ページの「ワークフローへのアセットの割当て」の説明に従って、アセットをワークフロー・プロセスに割り当てることができます。
12. アセットをプレビューします。
 - a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。
タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、第7章「アセットのプレビュー」を参照してください。
 - b. さらにアセットを変更する場合は、次の手順を実行します。
 - 1) アセットのツールバーで、「戻る」アイコン () をクリックします。
このタブでは、アセットの調査ビューが表示されます。
 - 2) アセットのツールバーで、「編集」アイコン () をクリックします。

タブにアセットの編集ビューが表示されます。Web モードでのアセットの編集の詳細は、108 ページの「Web モードでのアセットの編集」を参照してください。

13. アセットの操作が完了したら、アセットを保存して閉じます。メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存して閉じる」を選択します。

アセットが保存され、アセットを表示しているタブが閉じます。

既存アセットのコピーによる新規アセットの作成

アセットをコピーする場合、フォーム・モードと Web モードの両方で同じ手順を使用します。既存アセットのコピーによって新規アセットを作成する手順については、75 ページの「既存アセットのコピーによるアセットの作成」を参照してください。

他のサイトとのアセットの共有

様々なサイトとアセットを共有する場合、フォーム・モードと Web モードの両方で同じ手順を使用します。別のサイトとアセットを共有する手順については、78 ページの「他のサイトとのアセットの共有」を参照してください。

Web モードでのアセットの編集

この項では、アセットを Web モードで編集する手順を説明します。内容は次のとおりです。

- 「Web モードでのアセットのコンテンツの編集」
- 「Web ページ・レイアウトの変更」
- 「コンテンツ・レイアウトの変更」
- 「アソシエーションの編集」

Web モードでのアセットのコンテンツの編集

Web モードでは、コンテキスト編集が提供されます。これは、アセットのコンテンツを直接 Web ページ・ビューで編集できることを意味します。アセットの Web ページ・レイアウト (テンプレート) のコードがどのように記述されるかによって、Web モードで編集できる領域が決まります。特定のフィールド (日付フィールドやロケール・フィールドなど) には、アセットを Web モードで操作するときのみアクセスできる場合があります。このため、これらのフィールドのコンテンツを編集するには、フォーム・モードに切り替える必要があります。

Web モードでアセットのコンテンツを編集するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. アセットを見つけて開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、アセットの名前をクリックします。
 - 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前をダブルクリックします。

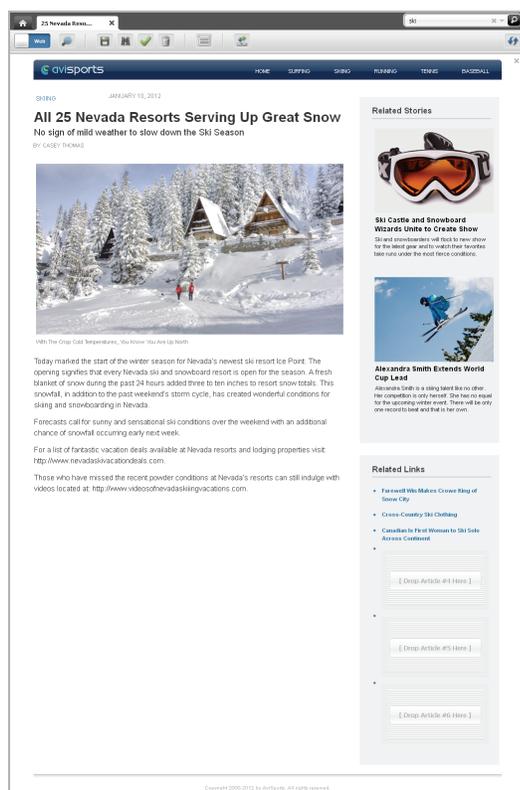
ヒント

最初に調査せずにアセットを編集するには、アセット・リストで目的のアセットを右クリックし、コンテキスト・メニューから「編集」を選択します。109 ページの手順 b に進みます。アセットの編集ビューがフォーム・モードで表示されている場合は、アセットのツールバーで「モード」スイッチをクリックして、Web モードに切り替えます。

アセットを検索する方法の詳細は、第 6 章の「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) を表示するタブが開きます。(この例では、**25 Nevada Resorts Serving Snow** の記事アセットを使用します)。

3. アセットがフォーム・モードで表示されている場合は、Web モードに切り替えます。
 - a. アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
 - b. アセットがテンプレート (Web ページ・レイアウト) に割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ダイアログ・ボックスが表示されます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。
タブにアセットの調査ビューが Web モードで再表示されます。
4. 次のようにアセットを編集します。
 - a. アセットのツールバーで、「編集」アイコン (✎) をクリックします。
タブに、アセットの編集ビューが、Web モードで表示されます。



- b. 任意の変更をアセットに加えます。アセットを Web モードで操作するときに表示される可能性がある編集可能領域の詳細は、101 ページの**手順 5-8**を参照してください。
5. 次のいずれかを実行してアセットを保存します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン (💾) をクリックします。
 - メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。
 次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。
 - 1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない

- 1つ以上のフィールドで許可されていない値の入力または選択が行われている
- このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。
6. 次のいずれかを実行してアセットを調査します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。

タブにアセットの調査ビューが Web モードで表示されます。アセットを調査する場合、そのコンテンツを変更することはできません。
 7. アセットがワークフローに事前に割り当てられていないときに、ワークフロー機能を使用する場合は、270 ページの「ワークフローへのアセットの割当て」の説明に従って、アセットをワークフロー・プロセスに割り当てることができます。
 8. アセットをプレビューします。
 - a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。

タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、第7章「アセットのプレビュー」を参照してください。
 - b. アセットのプレビューが完了したら、「戻る」アイコン () をクリックします。

タブにアセットが Web モードで再表示されます。

Web ページ・レイアウトの変更

アセットに割り当てられる Web ページ・レイアウト (テンプレート) によって、アセットの Web ページ・ビューに表示されるスロットの位置が決まります。アセットの異なるレイアウト (テンプレート) を選択すると、Web ページ・レイアウト (テンプレート) のコードがどのように記述されているかによって、スロットとその他の編集可能領域が異なる位置にレンダリングされます。この項では、アセットを Web モードで操作するとき、そのアセットの異なる Web ページ・レイアウト (テンプレート) を選択する手順を説明します。

アセットの Web ページ・レイアウトを変更するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. アセットを見つけて開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、アセットの名前をクリックします。

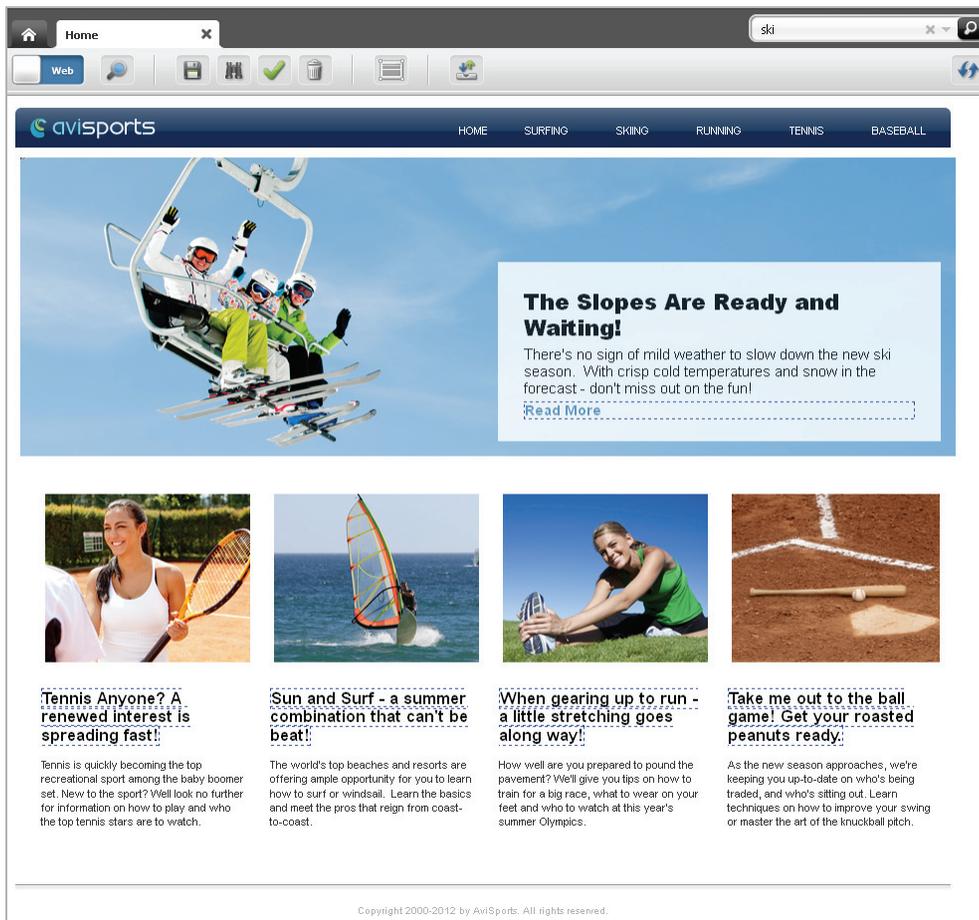
- 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前をダブルクリックします。

アセットを検索する方法の詳細は、第 6 章の「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。(この例では **Home** ページ・アセットを使用します)。

3. アセットがフォーム・モードで表示されている場合は、Web モードに切り替えます。
 - a. アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
 - b. アセットがテンプレート (Web ページ・レイアウト) に割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ダイアログ・ボックスが表示されます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。タブにアセットの調査ビューが Web モードで再表示されます。
4. アセットのツールバーで、「編集」アイコン () をクリックします。

タブに、アセットの編集ビューが、Web モードで表示されます。

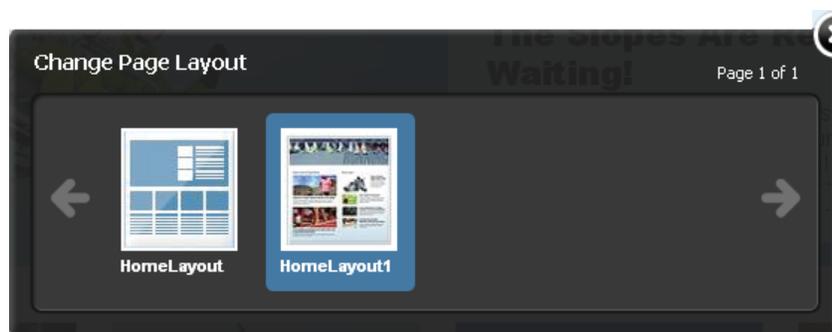


5. アセットの Web ページ・レイアウト (テンプレート) を次のように変更します。

a. 次のいずれかを行います。

- アセットのツールバーで、「ページ・レイアウトの変更」アイコン () をクリックします。
- メニュー・バーで「編集」→「ページ・レイアウトの変更」を選択します。

「ページ・レイアウトの変更」ダイアログが開きます。



- b. アセットに割り当てる Web ページ・レイアウト (テンプレート) を選択し、「適用」をクリックします。

WebCenter Sites によって、アセットの Web ページ・レイアウトが、選択したレイアウトに更新されます。選択する Web ページ・レイアウト (テンプレート) によって、スロットの位置と、アセットの他の編集可能領域が決まります。

6. 次のいずれかを実行してアセットを保存します。

- アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
- メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。

次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。

- 1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
- 1つ以上のフィールドで許可されていない値の入力または選択が行われている

このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。

7. 次のいずれかを実行してアセットを調査します。

- アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
- メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。

タブにアセットの調査ビューが Web モードで表示されます。アセットを調査する場合、そのコンテンツを変更することはできません。

8. アセットをプレビューします。

- a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。

タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、第7章「アセットのプレビュー」を参照してください。

- b. アセットのプレビューが完了したら、「戻る」アイコン () をクリックします。

タブにアセットが Web モードで再表示されます。

コンテンツ・レイアウトの変更

各スロットにはコンテンツ・レイアウト (テンプレート) が割り当てられます。スロットのコンテンツ・レイアウトによって、そのスロット内に含まれるアセットがどのように表示されるかが決まります。スロットのコンテンツ・レイアウトを変更すると、スロット・アセットが作成され、WebCenter Sites データベースに格納されます。アセットを承認するときは、そのアセットに関連付けられたスロット・アセットも承認する必要があります。この項では、スロットのコンテンツ・レイアウト (テンプレート) を変更する手順を説明します。

スロットのコンテンツ・レイアウトを変更するには

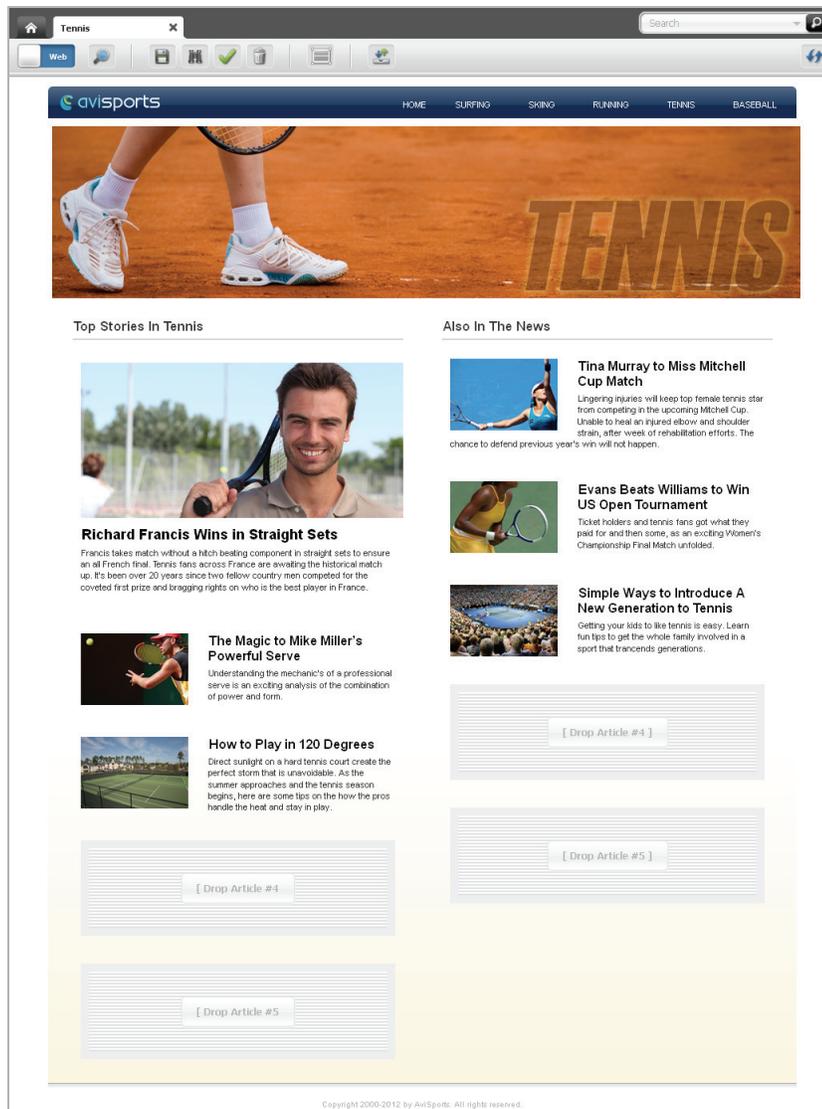
1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. アセットを見つけて開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、アセットの名前をクリックします。
 - 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前をダブルクリックします。

アセットを検索する方法の詳細は、第 6 章の「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) を表示するタブが開きます。(この例では「テニス」ページ・アセットを使用します)。

3. アセットがフォーム・モードで表示されている場合は、Web モードに切り替えます。
 - a. アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
 - b. アセットがテンプレート (Web ページ・レイアウト) に割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ダイアログ・ボックスが表示されます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。
タブにアセットの調査ビューが Web モードで再表示されます。

4. アセットのツールバーで、「編集」アイコン() をクリックします。タブに、アセットの編集ビューが、Web モードで表示されます。



5. アセットを含むスロットのコンテンツ・レイアウト(テンプレート)を次のように変更します。
 - a. コンテンツ・レイアウト(テンプレート)を変更するスロット内をクリックします。次に例を示します。



スロットが複数値の場合、そのスロットをクリックすると、コンテンツ・レイアウトを変更するスロットとともに複数のスロットが強調表示されます。この場合、ツールバーには「編集」および「管理」オプションのみが(次のように)表示されます。「編集」オプションをクリックします。



これで、複数値スロット内の個々のスロットをクリックできるようになります。目的のスロットをクリックして、そのツールバーを表示します。

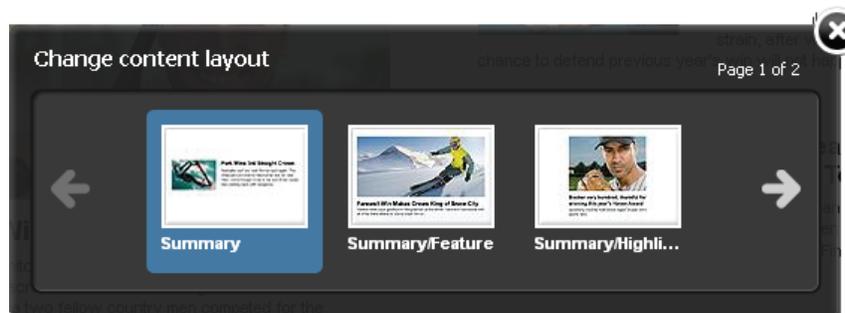
- b. スロットのツールバーで、「コンテンツ・レイアウトの変更」オプションをクリックします。



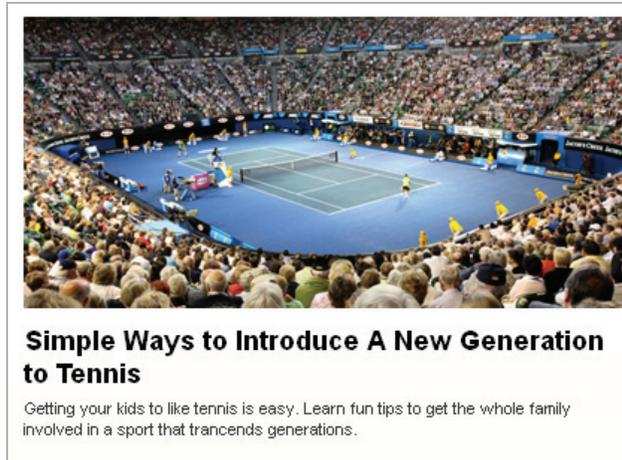
注意

ツールバーに「コンテンツ・レイアウトの変更」オプションが表示されない場合は、ここで終了します。スロットでこのタイプの編集がサポートされていません。

「コンテンツ・レイアウトの変更」ダイアログが開きます。



- c. 目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。
スロット内に含まれるコンテンツが、選択したレイアウトでレンダリングされます。例を示します。



6. 次のいずれかを実行してアセットを保存します。
- アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。
- 次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。
- 1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
 - 1つ以上のフィールドで許可されていない値の入力または選択が行われている
- このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。
7. 次のいずれかを実行してアセットを調査します。
- アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。
- タブにアセットの調査ビューが Web モードで表示されます。アセットを調査する場合、そのコンテンツを変更することはできません。
8. アセットをプレビューします。
- a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。
- タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、第7章「アセットのプレビュー」を参照してください。
- b. アセットのプレビューが完了したら、「戻る」アイコン () をクリックします。
- タブにアセットが Web モードで再表示されます。

アソシエーションの編集

アセットを Web モードで操作する場合、そのアソシエーションを編集できます。これを行うには、アセットを空のスロットに追加し、スロット内に現在表示されているアセットを異なるアセットに置換します。次に、複数值スロット内に表示されているアセットの配置を変更し、アセットをスロットから削除します。

この項では、次の手順を説明します。

- 「アソシエーションの追加または置換」
- 「関連付けられたアセットのコンテンツの編集」
- 「アソシエーションの削除」
- 「複数值スロット内に表示されるコンテンツの位置の変更」

アソシエーションの追加または置換

この項では、2つのアセット間のアソシエーションを作成または置換する方法を説明します。この操作を行うには、関連付けるアセットを、Web モードで操作しているアセットの任意のスロット領域内にドラッグ・アンド・ドロップします。

アソシエーションを追加または置換するには

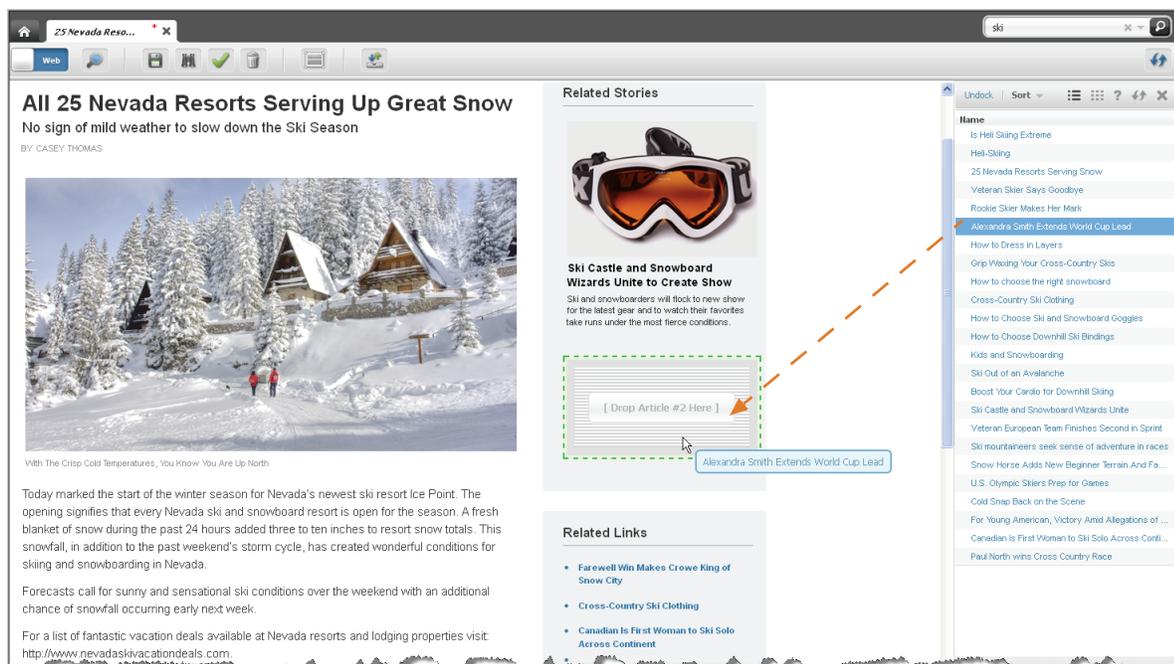
1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. アセットを見つけて開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、アセットの名前をクリックします。
 - 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前をダブルクリックします。

アセットを検索する方法の詳細は、第 6 章の「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) を表示するタブが開きます。(この例では、**25 Nevada Resorts Serving Snow** の記事アセットを使用します)。

3. アセットがフォーム・モードで表示されている場合は、Webモードに切り替えます。
 - a. アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
 - b. アセットがテンプレート (Web ページ・レイアウト) に割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ダイアログ・ボックスが表示されます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。
タブにアセットの調査ビューが Web モードで再表示されます。
4. アセットのツールバーで、「編集」アイコン (✎) をクリックします。
タブに、アセットの編集ビューが、Web モードで表示されます。
5. アセットを配置するスロットを決定します。スロットがすでに移入されている場合は、置換するスロットのコンテンツを決定します。
6. 操作しているアセットに、アセットを次のように関連付けます。
 - a. スロット内に配置するアセットを検索します。次のいずれかを行います。
 - 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン (🔍) をクリックします。
検索結果のリストは、操作中のアセットの右側に表示されます。
 - 以前にアセットにブックマークを付けた場合は、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードを開きます (「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)

アセットの検索の詳細は、第6章の「アセットの検索と編成」を参照してください。
 - b. アセットのリスト内で、スロットに追加するアセットの名前をクリックし、マウスのボタンを押しながら、アセットを目的のスロットまでドラッグします。



アセットを目的のロットまでドラッグするときに、そのアセットの名前がフローティング・オブジェクトとして表示されます。アセットをドロップするロットは、空でも占有されていてもかまいません。この例では、アセットが空のロット上にドラッグされています。

1. ロット内に配置するアセットの名前をクリックし、マウスのボタンを押しながら、その名前をドラッグします。

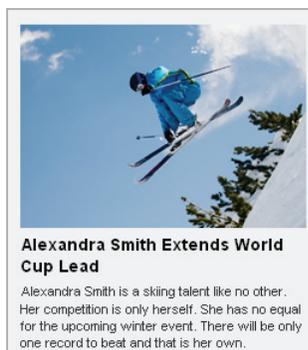


2. アセットの名前をロット上にドラッグします。

3. ロットが緑色の境界線で囲まれたら、アセットをそのロット内にドロップします。

アセットをロット上に移動すると、ロットでそのタイプのアセットがサポートされている場合、緑色の点の境界線が(前述のように)ロットの周りに表示されます。ロットでそのタイプのアセットがサポートされていない場合は、赤色の点の境界線が周りに表示されます。

- c. アセットをロット内にドロップします。



ロット内にドロップしたアセットが、操作中のアセットに関連付けられます。アセットをドロップするロットがすでに移入されている場合、置換されたアセットは、操作中のアセットのアソシエーションとしてロットから削除されます。

7. 次のいずれかを実行して変更を保存します。

- アセットのツールバーで、「保存」アイコン()をクリックします。
- メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。

次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。

- 1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
- 1つ以上のフィールドで許可されていない値の入力または選択が行われている

このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。

8. 次のいずれかを実行してアセットを調査します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。タブにアセットの調査ビューが Web モードで表示されます。アセットを調査する場合、そのコンテンツを変更することはできません。
9. アセットをプレビューします。
 - a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。

タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、第7章「アセットのプレビュー」を参照してください。
 - b. アセットのプレビューが完了したら、「戻る」アイコン () をクリックして、アセットを Web モードで表示します。

関連付けられたアセットのコンテンツの編集

アセットを Web モードで操作する場合、それに関連付けられたアセットを編集できます。この操作は、関連付けられたアセットを表示するスロット内で直接行うか、新しいタブ内で行うことができます。関連付けられたアセットのコンテンツを新しいタブ内で編集する場合、そのアセットを保存すると、加えた変更が、アセットを表示するスロットに反映されます。

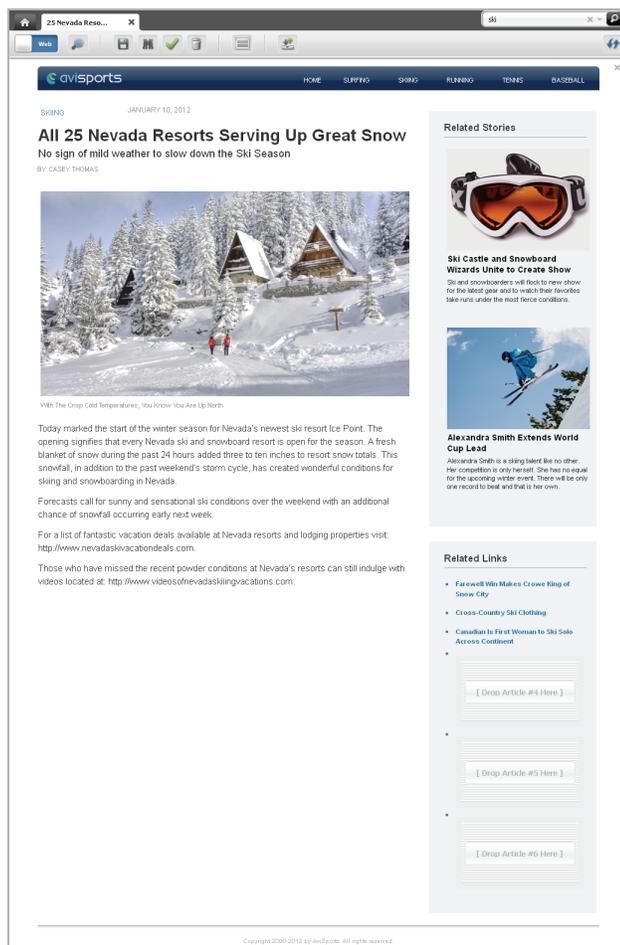
関連付けられたアセットのコンテンツを編集するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. アセットを検索して開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、アセットの名前をクリックします。
 - 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前をダブルクリックします。

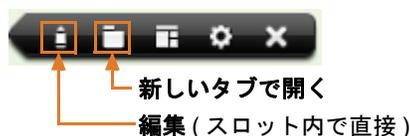
アセットを検索する方法の詳細は、第6章の「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) を表示するタブが開きます。(この例では、**25 Nevada Resorts Serving Snow** の記事アセットを使用します)。

3. アセットがフォーム・モードで表示されている場合は、Webモードに切り替えます。
 - a. アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
 - b. アセットがテンプレート (Web ページ・レイアウト) に割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ダイアログ・ボックスが表示されます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。
タブにアセットの調査ビューが Web モードで再表示されます。
4. アセットのツールバーで、「編集」アイコン () をクリックします。
タブに、アセットの編集ビューが、Web モードで表示されます。



5. 編集する関連付けられたアセットを含むスロットをクリックします。
スロット・ツールバーが表示されます。スロットがコンテンツの編集を許可するよう構成されている場合は、「編集」オプションと「新しいタブで開く」オプションのいずれかまたは両方が表示されます。



スロットが複数値の場合、そのスロットをクリックすると、「編集」および「管理」オプションのみが表示されます。「編集」オプションをクリックして、複数値スロット内の個々のスロットにアクセスします。(前述の)スロットのツールバーを表示するには、個々のスロットをクリックします。

6. スロット内に表示された、関連付けられたアセットを編集します。次のいずれかを行います。
 - 関連付けられたアセットを直接スロット内で編集するには、次の手順を実行します。
 - 1) スロットのツールバーで、「編集」オプションをクリックします。
 - 2) アセットの領域をポイントします。強調表示された領域が編集可能です。
 - 3) 関連付けられたアセットに変更を行います。
 - 関連付けられたアセットを新しいタブ内で編集するには、次の手順を実行します。
 - 1) スロットのツールバーで、「新しいタブで開く」オプションをクリックします。

関連付けられたアセットの調査ビューをフォーム・モードまたは Web モードで表示する新しいタブが開きます。
 - 2) 関連付けられたアセットのツールバーで、「編集」アイコン()をクリックします。
 - 3) 関連付けられたアセットに変更を行います。
 - アセットが Web モードで表示されている場合、表示される可能性があるフィールドの詳細は、[101 ページの手順 5-8](#)を参照してください。
 - アセットがフォーム・モードで表示されている場合、表示される可能性があるフィールドの詳細は、[71 ページの手順 4](#)を参照してください。
 - 4) アセットを保存して閉じます。メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存して閉じる」を選択します。
 - 5) 操作中のアセットを表示する([121 ページの手順 2](#)で開いた)タブに再度切り替えます。
 - 6) 編集した関連付けられたアセットをスロットに表示するアセットをリフレッシュします。アセットのツールバーで、「リフレッシュ」アイコン()をクリックします。

編集した関連付けられたアセットを含むスロットに、変更が反映されたアセットが表示されます。
7. 次のいずれかの操作を行って、変更を保存します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン()をクリックします。
 - メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。
 - 1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
 - 1つ以上のフィールドで許可されていない値の入力または選択が行われている

このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。

8. 次のいずれかを実行してアセットを調査します。

- アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
- メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。

タブにアセットの調査ビューが Web モードで表示されます。アセットを調査する場合、そのコンテンツを変更することはできません。

9. アセットをプレビューします。

- a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。

タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、第7章「アセットのプレビュー」を参照してください。

- b. アセットのプレビューが完了したら、「戻る」アイコン () をクリックして、アセットを Web モードで表示します。

アソシエーションの削除

アセットを Web モードで操作しているときに、スロットからアセットを削除すると、操作中のアセットとスロットから削除したアセットとの間のアソシエーションも削除されます。

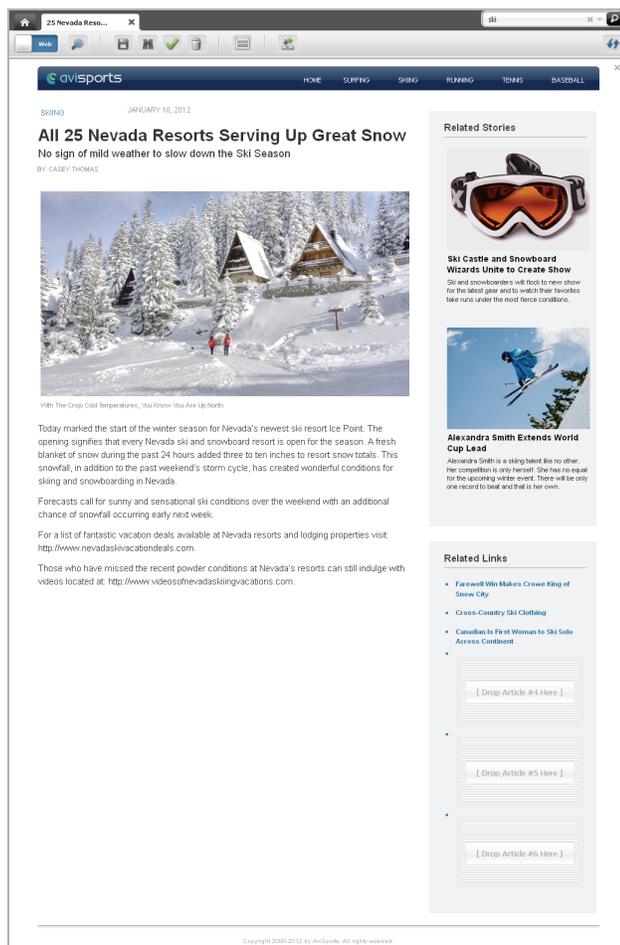
関連付けられたアセットを削除するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. アセットを見つけて開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、アセットの名前をクリックします。
 - 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前をダブルクリックします。

アセットを検索する方法の詳細は、第6章の「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。(この例では、**25 Nevada Resorts Serving Snow** の記事アセットを使用します)。

3. アセットがフォーム・モードで表示されている場合は、Web モードに切り替えます。
 - a. アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
 - b. アセットがテンプレート (Web ページ・レイアウト) に割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ダイアログ・ボックスが表示されます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。
タブにアセットの調査ビューが Web モードで再表示されます。
4. アセットのツールバーで、「編集」アイコン (✎) をクリックします。
タブに、アセットの編集ビューが、Web モードで表示されます。



5. 削除するアセットを含むスロットをクリックします。
スロットのツールバーが表示されます。



6. 「スロットのクリア」オプション (✕) をクリックして、スロットからアセットを削除します。
アセットがスロットから削除されます。削除したアセットと操作中のアセットとの間の関連付けは解除されます。

7. 次のいずれかを実行して変更を保存します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。
 - 1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
 - 1つ以上のフィールドで許可されていない値の入力または選択が行われているこのいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。
8. 次のいずれかを実行してアセットを調査します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。タブにアセットの調査ビューが Web モードで表示されます。アセットを調査する場合、そのコンテンツを変更することはできません。
9. アセットをプレビューします。
 - a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。

タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、第7章「アセットのプレビュー」を参照してください。
 - b. アセットのプレビューが完了したら、「戻る」アイコン () をクリックして、アセットを Web モードで表示します。

複数値スロット内に表示されるコンテンツの位置の変更

Web モードで操作しているアセットが複数値スロットである場合、アセットを1つのスロットから別のスロットに移動することによって、関連付けられたアセットが Web ページに表示される順序を変更できます。

コンテンツが複数値スロット内に表示される順序を変更するには

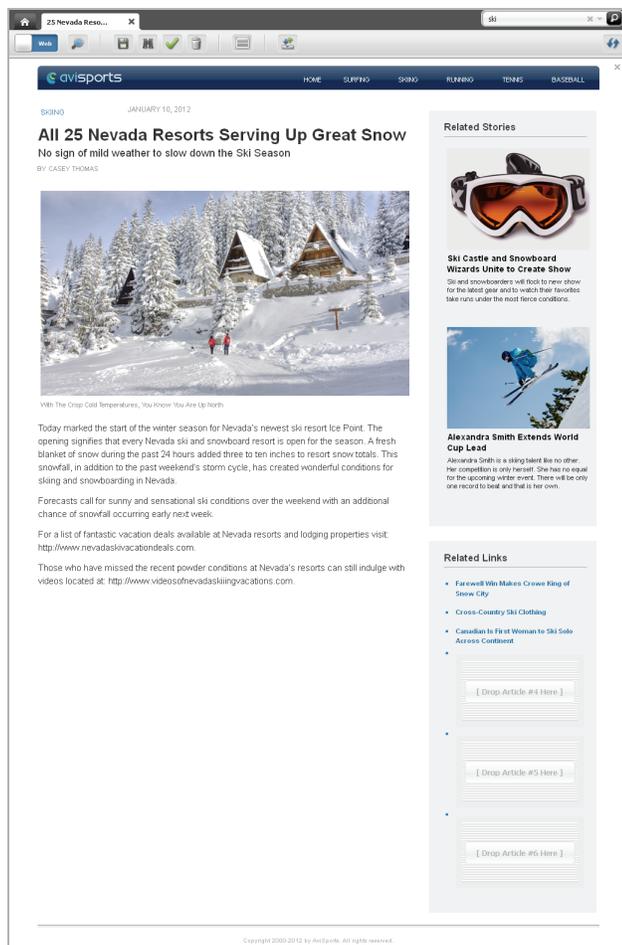
1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. アセットを見つけて開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、アセットの名前をクリックします。
 - 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、ナビゲーション・ペインで「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)

- 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前をダブルクリックします。

アセットを検索する方法の詳細は、第6章の「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビュー(フォーム・モードまたはWebモード)を表示するタブが開きます。(この例では、**25 Nevada Resorts Serving Snow**の記事アセットを使用します)。

3. アセットがフォーム・モードで表示されている場合は、Webモードに切り替えます。
 - a. アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
 - b. アセットがテンプレート(Webページ・レイアウト)に割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ダイアログ・ボックスが表示されます。目的のレイアウトを選択して、「適用」をクリックします。
タブにアセットの調査ビューがWebモードで再表示されます。
4. アセットのツールバーで、「編集」アイコン()をクリックします。
タブに、アセットの編集ビューが、Webモードで表示されます。



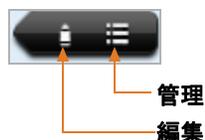
5. どのスロットが複数値であるかを確認します。アセットに割り当てられた Web ページ・レイアウト (テンプレート) に対して開発者が行った構成によって、複数値スロットがどのようにアセットの編集ビューに表示されるかが決まります。サイト上のどのスロットが複数値であるかは、開発者に確認してください。

この例 (25 Nevada Resorts Serving Snow アーティクル・アセットの操作) では、複数値スロットをポイントすると、その複数値スロットに関連付けられた複数のスロットが、青のオーバーレイで次のように強調表示されます。

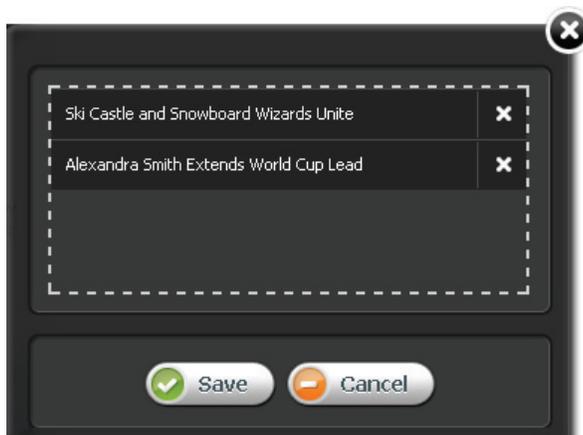


The screenshot shows a web page editor interface. The main content area displays an article titled "All 25 Nevada Resorts Serving Up Great Snow" with a sub-headline "No sign of mild weather to slow down the Ski Season". Below the article is a large image of a snowy mountain landscape. To the right of the main article is a "Related Stories" section, which is highlighted with a blue border and a blue background. This section contains two story items, each with a small image and a title. Below the "Related Stories" section is a "Related Links" section with three links. A blue box highlights the "Related Stories" section, and a line points to it with the label "複数値スロット".

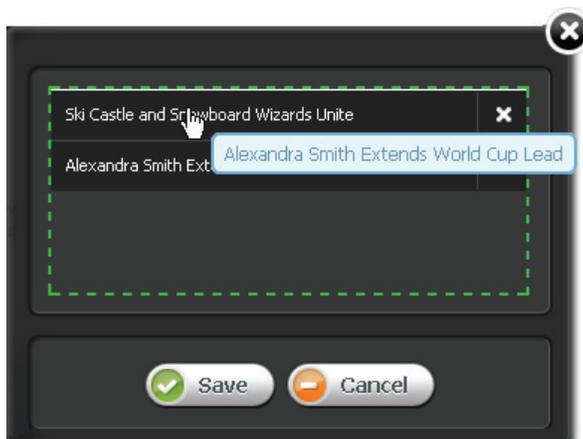
6. 目的の複数値スロット内をクリックします。複数値スロットのツールバーに、「編集」および「管理」オプションが表示されます。次に例を示します。



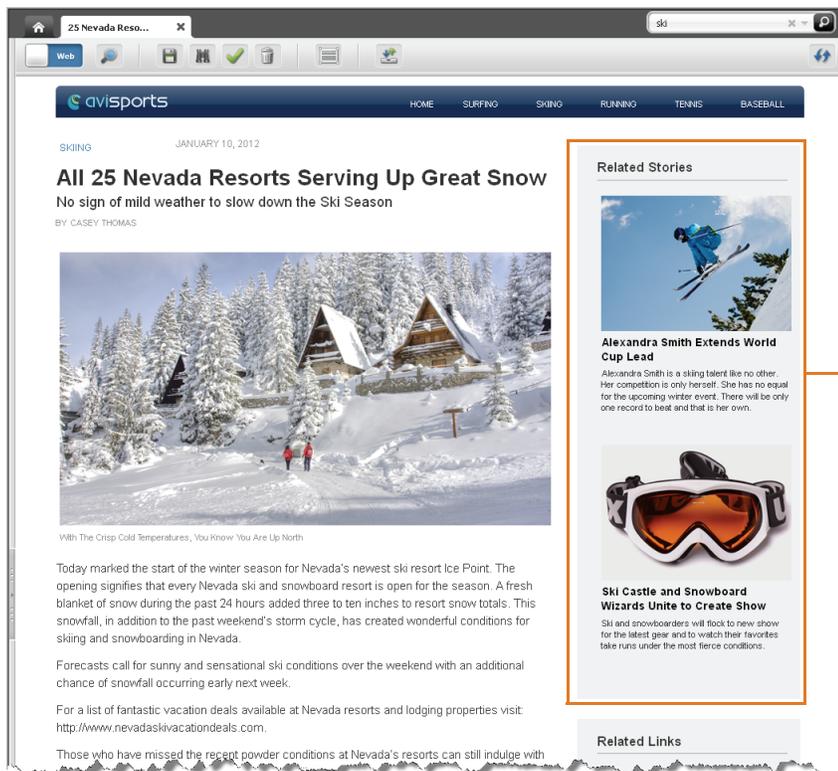
7. 複数値スロットのツールバーで、「管理」オプションをクリックします。次のダイアログ・ボックスが開きます。



8. 「管理」ダイアログ・ボックスで、複数値スロットに表示されるアセットの配置を変更します。目的のアセットの名前をクリックし、その名前を目的の位置にドラッグ・アンド・ドロップします。



9. 「管理」ダイアログ・ボックスで、「保存」をクリックします。
アセットが希望の順序で複数値スロット内に表示されます。



関連付けられたアセットを指定した位置に表示する複数値スロット。

10. 次のいずれかを実行して変更を保存します。
- アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「コンテンツ」→「保存」を選択します。
- 次の場合を除き、アセットがデータベースに保存されます。
- 1つ以上の必須フィールドに値が入力されていない
 - 1つ以上のフィールドで許可されていない値の入力または選択が行われている
- このいずれかに当てはまる場合は、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してアセットを保存します。
11. 次のいずれかを実行してアセットを調査します。
- アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。
- タブにアセットの調査ビューが Web モードで表示されます。アセットを調査する場合、そのコンテンツを変更することはできません。

12. アセットをプレビューします。

- a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。
タブにアセットのプレビューが表示されます。アセットのプレビュー方法の詳細は、第7章「アセットのプレビュー」を参照してください。
- b. アセットのプレビューが完了したら、「戻る」アイコン () をクリックして、アセットを Web モードで表示します。

第 5 章

アセットの削除

この章では、WebCenter Sites データベースからアセットを削除する手順を説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [概要](#)
- [アセットの削除ルール](#)
- [アセットの削除方法](#)

概要

WebCenter Sites データベースからアセットを削除するには、WebCenter Sites の削除機能を使用します。この機能を使用すると、必要に応じて複数のアセットを同時に削除できます。

削除機能を使用しても、アセットがデータベースから完全に削除されるわけではありません。アセットのコンテンツは空になりますが、ID はアセットの存在記録としてデータベース内に残ります。この単純な記録は、無効化されたアセットと呼ばれます。

以前にパブリッシュしたアセットがコンテンツ管理システム内で無効化されると、その無効化されたアセットは、以前のすべてのパブリッシュ先へのパブリッシュを自動的に承認されます。無効化されたアセットはパブリッシュ・キュー内に配置され、次のパブリッシュ・セッションでパブリッシュされます。その後、無効化されたアセットによって、以前にパブリッシュしたアセットが上書きされます。

無効化されたアセットは、検索結果には返されません。

アセットの削除ルール

アセットを削除する場合、次の制限が適用されます。

- 権限がある場合のみ、アセットを削除できます。
- アセットがワークフロー内にあり、自分以外のユーザーに割り当てられている場合は、アセットを削除する権限があってもそのアセットを削除できません。
- 配置済のページ・アセットは削除できません。
- 別のアセットに関連付けられているアセットは削除できません。操作を試行すると、WebCenter Sites によって、削除を妨げている参照のリストが表示されます。その場合、該当する参照を削除すると、削除を続行できます。

アセットの削除方法

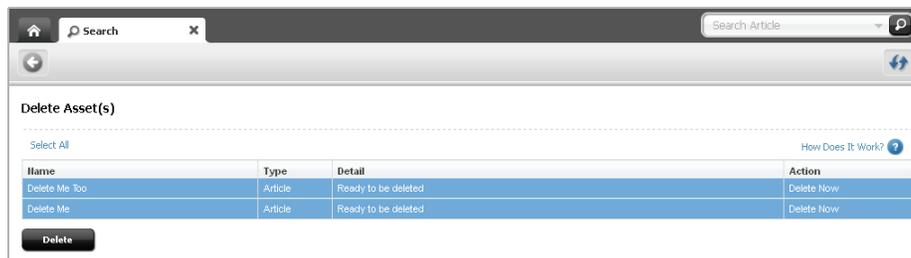
注意

アセットを削除する場合は注意が必要です。削除操作を元に戻すことはできません。

アセットを削除するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 削除するアセットを検索します。「**検索**」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、**虫めがねボタン** (🔍) をクリックします。
検索基準に一致するアセットのリストを表示する「**検索**」タブが開きます。アセットの検索の詳細は、[139 ページの「アセットの検索と編成」](#)を参照してください。
3. 削除するアセットを選択します。次のいずれかを行います。
 - **削除する前にアセットを調査する場合は、次の手順を実行します。**
 - 1) 検索結果のリストで、削除するアセットの名前をクリックします。
アセットの調査ビューを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。
 - 2) アセットのツールバーで、「**削除**」アイコン (🗑️) をクリックします。
 - **複数のアセットを削除する場合は、次の手順を実行します。**
 - 1) 検索結果のリストで、削除するアセットを選択 (**[Ctrl]** キーを押しながらクリック) します。
 - 2) 「**検索**」タブのツールバーで、「**削除**」アイコン (🗑️) をクリックします。

「アセットの削除」画面に、削除するアセットの削除の詳細を含む表が表示されます。

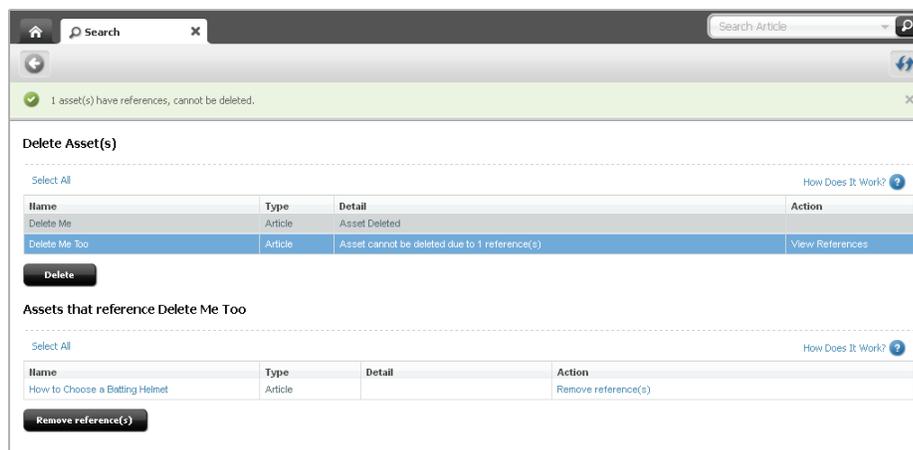


4. アセットを削除します。「アセットの削除」画面で、「すべて選択」をクリックし、「削除」をクリックします。

次のいずれかが行われます。

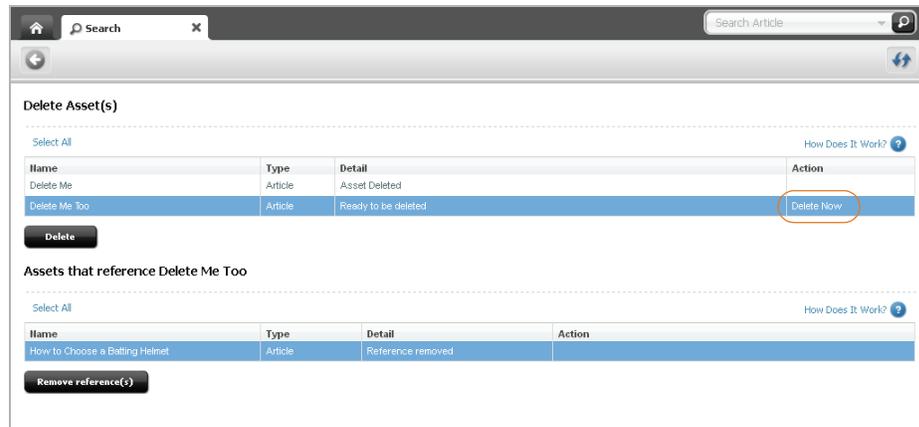
- 削除するアセットによって他のアセットが参照されていない場合、表の「詳細」列では、削除する各アセットに関連付けられた行に「アセットが削除されました」というメッセージが表示されます。
- 削除対象として選択したいずれかのアセットに、削除を妨げる依存性がある場合、表の「詳細」列には、「*n*参照のためアセットを削除できません」というメッセージが表示されます。この場合は、アセットの「アクション」列にある「参照の表示」をクリックします。

削除をブロックしているアセットが、「アセット名を参照するアセット」セクションの、削除するアセットを含む表の下に表示されます。アセットに対する参照を削除しなかった場合、そのアセットは削除できません。



- 1) 削除するアセットに対する参照を削除します。
- 参照を個別に削除するには、参照されている各アセットの行の「アクション」列にある「参照の除去」をクリックします。
 - 参照されているすべてのアセットを一度に削除するには、「すべて選択」をクリックし、「参照の除去」をクリックします。
 - この時点でどの参照も削除しない場合は、「戻る」アイコン (🏠) をクリックして削除を取り消すこともできます。

削除するアセットに対する参照を削除すると、そのアセットの「アクション」列に「今すぐ削除」リンクが表示されます。



- 2) アセットを削除します。「アセットの削除」セクションで、削除するアセットを選択し、「削除」をクリックします。削除する各アセットの「アクション」列にある「今すぐ削除」リンクをクリックして、アセットを個別に削除することもできます。

削除したアセットのデータベースのステータスが無効に変化します。

第 6 章

アセットの検索と編成

WebCenter Sites は、作業対象のアセットを検索するための簡単で効果的な手段となります。検索が終わったら、アセットの検索に使用した検索条件を保存し、さらに後で簡単にアクセスできるように、アセットをパーソナライズしたリストに編成できます。

この章では、avisports サンプル・サイトからの例をいくつか示しながら、アセットを作成および編成する基本的な手順を説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [アセットの検索](#)
- [詳細検索の実行](#)
- [アセットの編成](#)

アセットの検索

WebCenter Sites では、指定した条件に一致するアセットを簡単に検索できます。検索結果に含まれるアセットは、ユーザーが操作権限を持つもののみです。(権限は管理者が設定します。)

WebCenter Sites の Contributor インタフェースの検索動作

WebCenter Sites の Contributor インタフェースは、Lucene 検索エンジンと統合されています。この統合により、Contributor インタフェースの検索動作は次のようになっています。

- Contributor インタフェースで検索を実行する前に、管理者はシステムで検索索引を有効にしておく必要があります (WebCenter Sites 管理インタフェースを使用)。
- Contributor インタフェースでは、特定のサイトのすべてのアセット・タイプにわたって検索を実行できます。検索を始めるときに、検索対象アセットのアセット・タイプがわからなくてもかまいません。検索対象を特定のアセット・タイプに限定するためのオプションが用意されています。
- Contributor インタフェースでは、すべてのアセットのすべてのフィールドの名前と値を使用して検索が実行されます。たとえば、特定の属性名を選択して検索しなくても、**flowers** という単語を含むすべてのアセットを検索できます。
- Contributor インタフェースでは、検索問合せを作成して検索をカスタマイズできます。詳細は、「[検索のガイドライン](#)」を参照してください。

検索のガイドライン

Contributor インタフェースで検索を実行する場合は、表 2 に示すガイドラインに従って検索問合せを作成します。検索問合せをカスタマイズすると、より緻密な検索を実行できます。

Contributor インタフェースでは大文字と小文字は区別されません。たとえば、**Jack** を検索すると、**Jack** を含むアセットと **jack** を含むアセットが返されます。

表 2: Lucene 検索問合せのガイドライン

検索対象	手順	例
特定のフレーズを含むアセット。	フレーズを引用符で囲みます。	blue flowers というフレーズを含むアセットを検索するには、検索問合せとして " blue flowers " と入力します。

表 2: Lucene 検索問合せのガイドライン (続き)

検索対象	手順	例
用語のバリエーションを含むアセット。(バリエーションは用語と文字長が一致している必要があります。)	? (疑問符) 記号を使用して、1文字のワイルドカードを示します。検索用語の先頭をワイルドカードにすることはできません。	test または text を含むアセットを検索するには、検索問合せとして te?t と入力します。 book または back を含むアセットを検索するには、検索問合せとして b??k と入力します。
用語のバリエーションを含むアセット。(バリエーションは用語と文字長が一致しても、しなくてもかまいません。)	* 記号を使用して、複数文字のワイルドカードを示します。検索用語の先頭をワイルドカードにすることはできません。	test 、 tester または testing を含むアセットを検索するには、検索問合せとして test* と入力します。 jeanne または jeanine を含むアセットを検索するには、検索問合せとして jea*e と入力します。
指定されたすべての用語を含むアセット。	AND 演算子で用語を結合します。	jack と jill の両方を含むアセットを検索するには、検索問合せとして jack AND jill と入力します。
特定の用語を含むが、指定した別の用語は含まないアセット。	NOT 演算子を使用して、不要な用語を除外します。	jack は含むが、 jill は含まないアセットを検索するには、検索問合せとして jack NOT jill と入力します。
特定の用語を必ず含み、かつ、指定した別の用語を含んでいるか含んでいないアセット。	用語の前に +(必須) 演算子を付け、必須の用語であることを示します。	jack を必ず含み、かつ、 jill が含まれる場合も対象としてアセットを検索するには、検索問合せとして +jack jill と入力します。
特定の用語を含むアセット。ただし、指定した別の用語も含まれている場合、そのアセットは除外します。	用語の前に -(禁止) 演算子を付け、除外を示します。	jack を含むが、 jill も含まれている場合は対象から除外してアセットを検索するには、検索問合せとして jack -jill と入力します。
指定した用語に似た綴りの用語を含むアセット。	用語の後ろに ~ (チルダ) 演算子を付け、その用語のファジー検索を実行します。	jack を含むアセットを、スペルミスのもも含めて検索するには、検索問合せとして jack~ と入力します。

アセットの検索

注意

検索できるアセットのタイプは、ユーザーの権限と、Contributor インタフェースで使用可能なアセット・タイプによって決まります。

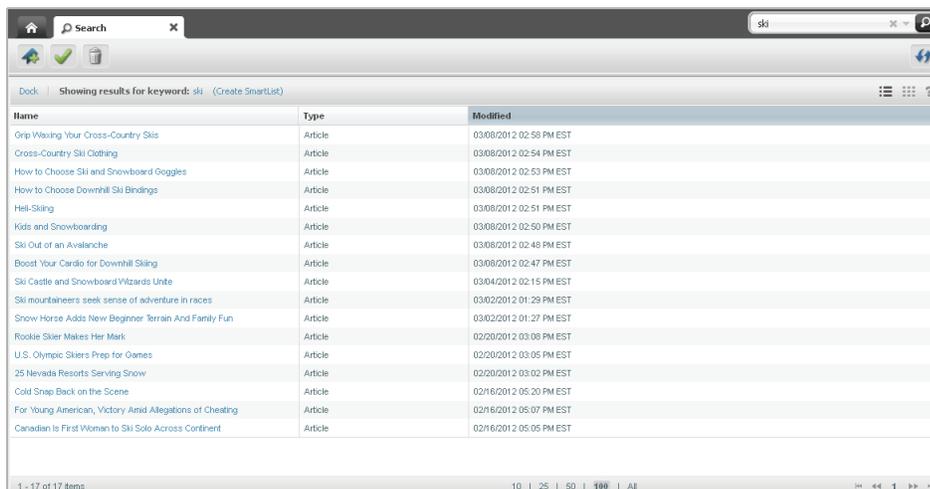
アセットを検索するには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 次のように検索条件を指定します。
 - a. 「検索」フィールドで、適切な検索条件を入力します。検索問合せを作成して検索範囲を絞り込む方法の詳細は、140 ページの「[検索のガイドライン](#)」を参照してください。
 - b. (オプション)「検索」フィールドで、下矢印をクリックし、「検索タイプ」ドロップダウン・ボックスをレンダリングします。検索の対象とするアセット・タイプを選択します。選択しないと、WebCenter Sites では現在のサイトにあるすべてのアセット・タイプにおいて検索します。
3. 虫めがねボタン () をクリックします。

注意

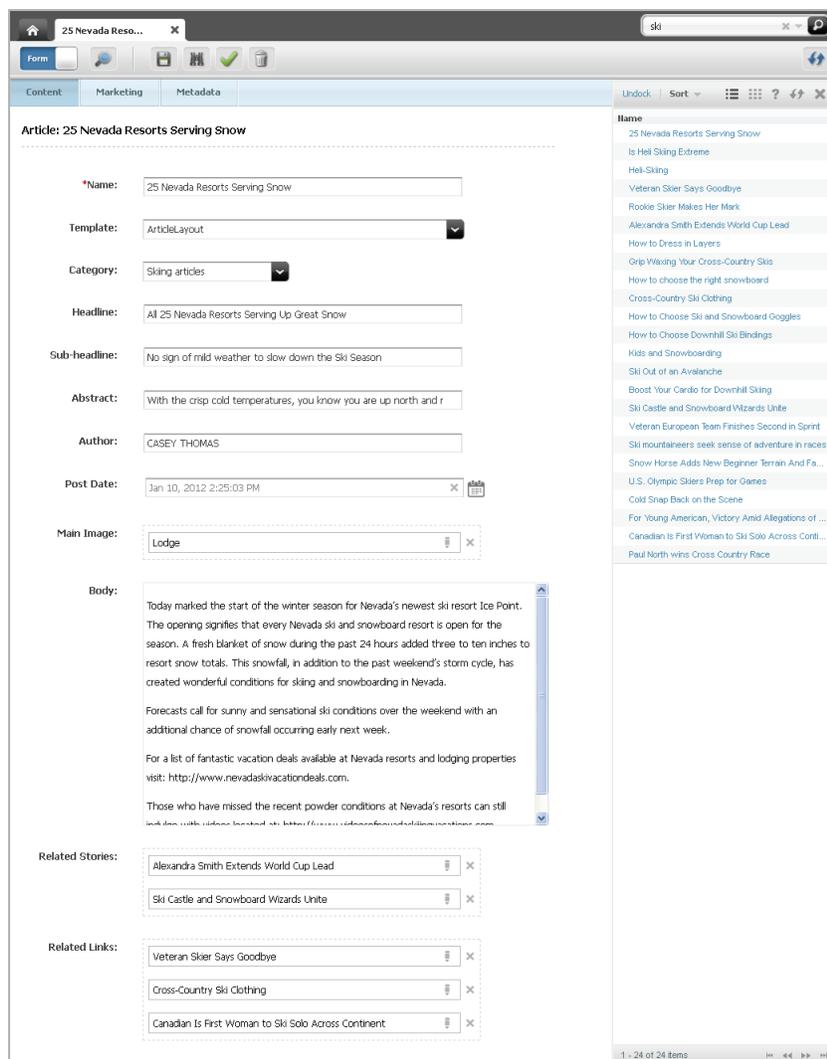
Contributor インタフェースにおける検索結果は、一定間隔で更新されるデータベース索引から得られた情報に基づいています。アセットの作成または編集後、変更が検索結果に反映されるまでにわずかな遅延がある場合があります。不明な点がある場合は、WebCenter Sites 管理者に問い合わせてください。

- どのアセットも操作していない場合は、「検索」タブに検索結果リストが表示されます。

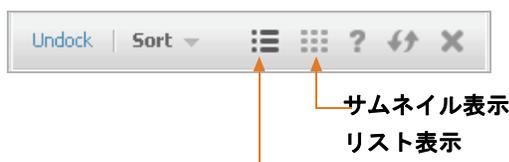


Name	Type	Modified
Grip Waxing Your Cross-Country Skis	Article	03/08/2012 02:50 PM EST
Cross-Country Ski Clothing	Article	03/08/2012 02:54 PM EST
How to Choose Ski and Snowboard Goggles	Article	03/08/2012 02:53 PM EST
How to Choose Downhill Ski Bindings	Article	03/08/2012 02:51 PM EST
Heli-Skiing	Article	03/08/2012 02:51 PM EST
Kids and Snowboarding	Article	03/08/2012 02:50 PM EST
Ski Out of an Avalanche	Article	03/08/2012 02:48 PM EST
Boost Your Cardio for Downhill Skiing	Article	03/08/2012 02:47 PM EST
Ski Castle and Snowboard Wizards Unite	Article	03/04/2012 02:15 PM EST
Ski mountaineers seek sense of adventure in races	Article	03/02/2012 01:29 PM EST
Snow Horse Adds New Beginner Terrain And Family Fun	Article	03/02/2012 01:27 PM EST
Rookie Skier Makes Her Mark	Article	02/20/2012 03:06 PM EST
U.S. Olympic Skiers Prep for Games	Article	02/20/2012 03:05 PM EST
25 Nevada Resorts Serving Snow	Article	02/20/2012 03:02 PM EST
Cold Snap Back on the Scene	Article	02/16/2012 05:20 PM EST
For Young American, Victory Amid Allegations of Cheating	Article	02/16/2012 05:07 PM EST
Canadian Is First Woman to Ski Solo Across Continent	Article	02/16/2012 05:05 PM EST

- 特定のアセットを操作中の場合は、ワークスペースの右側に検索結果リストが自動的にドッキングされます。



4. 検索結果リストをドッキングまたはドッキング解除します。「ドッキング」をクリックすると、ワークスペースの右側に検索結果リストが表示されます。「ドッキング解除」をクリックすると、「検索」タブに検索結果リストが表示されます。
5. 検索結果をリスト表示とサムネイル表示のどちらで表示するかを選択します。



- 検索結果をリストとして表示するには、検索結果リストの上部にある「リスト表示」オプションをクリックします。
 - 検索結果に含まれる各アセットをサムネイル・イメージとして表示するには、検索結果リストの上部にある「サムネイル表示」オプションをクリックします。
6. 検索結果をソートします。
- 検索結果が「検索」タブに（ドッキングされずに）リスト表示されている場合は、次の列のいずれかをクリックして検索結果をソートします。
 - 名前
 - タイプ
 - ロケール
 - 修正日

ヒント

結果のソート後、同じ列を再度クリックすると、ソート順序が逆になります。

- 検索結果リストがワークスペースの右側に（ドッキングされて）表示されているか、検索結果がサムネイル表示されている場合は、検索結果リストの上部にある「ソート」オプションをクリックし、（結果のソート方法に応じて）次のオプションのいずれかを選択します。
 - 名前 (A-Z)
 - 名前 (Z-A)
 - アセット・タイプ
 - ロケール
 - 修正済 (新しいものから)
 - 修正済 (古いものから)
- 検索結果が指定した順序で表示されます。

検索結果内の移動

検索結果リストには、結果のページごとに 100 アセットが表示されます。次の手順を実行すると、検索結果内を簡単に移動できます。

- リストに表示される検索結果数を制限します。検索結果リストの下部にある「すべて」をクリックすると、リスト内のすべての検索結果が同時に表示されます。



10 | 25 | 50 | 100 | All

- 検索結果リストの下部にある「次のページ」アイコンをクリックすると、検索結果の次のページに進みます。



« ‹ 1 2 3 4 5 › »

- 検索結果リストの下部にある「前のページ」アイコンをクリックすると、検索結果の前のページに戻ります。



- 検索結果リストの下部にある「最後のページ」アイコンをクリックすると、検索結果の最後のページにスキップします。



- 検索結果リストの下部にある「最初のページ」アイコンをクリックすると、検索結果の最初のページにスキップします。



- 検索結果リストの下部にある、目的のページ番号を選択すると、結果の特定のページに進みます。



検索条件の保存 (SmartList の作成)

WebCenter Sites には、特定の検索を実行したときに使用した検索条件を保存できる、**SmartList** 機能があります。作成したすべての SmartList には、ダッシュボード(「ホーム」タブ)の「SmartLists」セクションからアクセスできます。SmartList は、その保存方法に応じて、パブリック(一定のロールを割り当てられたユーザーで共有する)とプライベート(作成者のみがアクセスできる)のいずれかにすることができます。

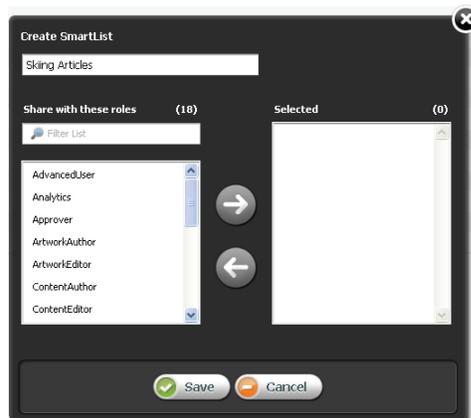
SmartList を作成するには：

- WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
- 「検索」フィールドに、検索する条件を入力します。詳細検索を実行する場合は、[148 ページの「詳細検索の実行」](#)を参照してください。
- 虫めがねボタン(🔍)をクリックします。詳細検索を実行する場合は、「[詳細検索の実行](#)」をクリックします。
検索結果リストは、「検索」というタブか、ワークスペースの右側にドッキングされて表示されます。
- 検索結果リストが「検索」タブに表示されていることを確認します。検索結果リストがドッキングされている場合は、「[ドッキング解除](#)」をクリックします。

5. カッコ内の「**SmartList の作成**」をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



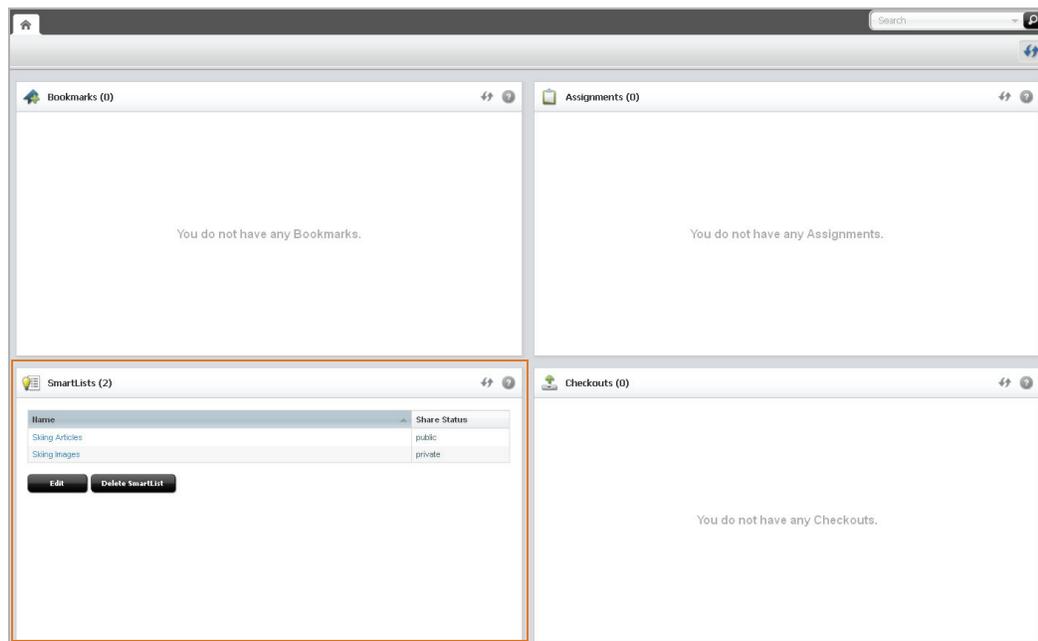
- a. 「名前の入力」フィールドに、作成する SmartList が一意に識別される名前を入力します。
- b. この SmartList を他の WebCenter Sites ユーザーと共有する場合は、次の手順を実行します。
 - 1) 「共有」をクリックします。



- 2) 「使用可能」リスト・ボックスで、この SmartList を共有するロールを 1 つ以上選択し、「選択済」リスト・ボックスに移動します。

- c. 「保存」をクリックします。

ダッシュボード(「ホーム」タブ)の「SmartLists」セクションに、SmartListが表示されます。SmartListを共有した場合は、指定したロールのすべてのユーザーのダッシュボードにもそのSmartListが表示されます。



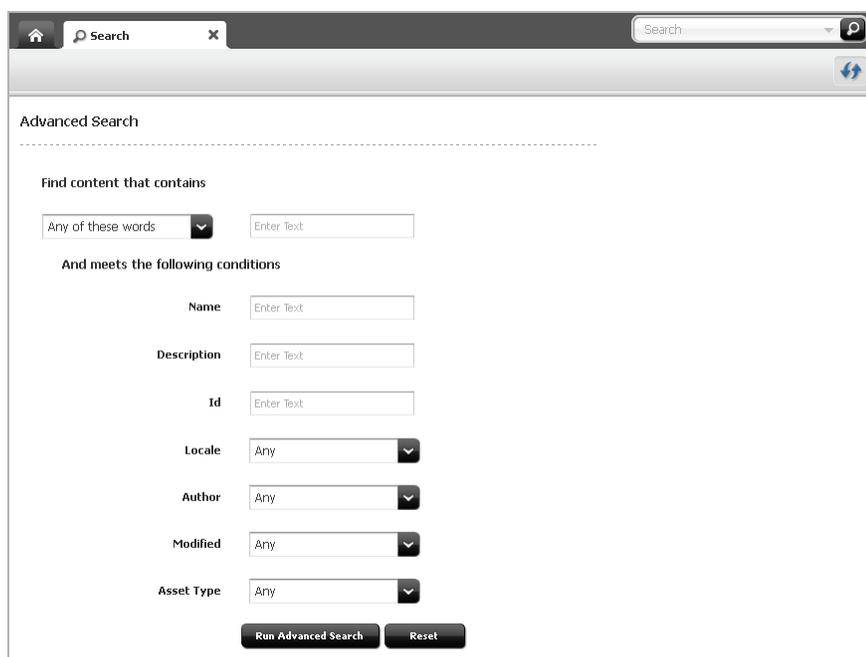
6. SmartListを作成したときに指定した検索条件と同じ条件を使用して検索を実行する場合は、次の手順を実行します。
- 「ホーム」(🏠)タブをクリックして、ダッシュボードにアクセスします。
 - ダッシュボードの「SmartLists」セクションで、目的の検索条件を含むSmartListを選択します。
「検索」タブが開き、保存された検索条件に一致する最新の結果が表示されます。

詳細検索の実行

詳細検索を使用すると、作成日、開始日と終了日、ロケール、一意の ID、名前、説明、作成者、タイプ、およびこれらの任意の組合せによってアセットを検索できます。

アセットの詳細検索を実行するには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 「検索」フィールドで下矢印を選択し、「詳細検索」をクリックします。「検索」タブに「詳細検索」画面が表示されます。



3. 「詳細検索」画面で、検索の絞り込みに必要なだけ、後続のフィールドに条件を指定します。
 - a. 「次を含むコンテンツの検索」セクションで、検索条件とどのように一致するものを対象とするかを指定します。
 - 1) テキスト・ボックスに、検索対象の単語またはフレーズを入力します。このフィールドでは、[140 ページの「検索のガイドライン」](#)で説明しているオプションと同じオプションを使用できます。
 - 2) 検索結果が満たす必要のある条件を指定します。
 - 指定したすべての検索条件を満たす検索結果を得るには、ドロップダウン・リストから「これらの単語すべて」を選択します。
 - 指定した検索条件のいずれかを満たす検索結果を得るには、ドロップダウン・リストから「これらの単語のいずれか」を選択します。

- b. 検索結果が満たす必要のある条件が他にもある場合は、「また次の条件を満たす」セクションで指定します。
- 「名前」フィールドは、ここに指定した条件が名前に含まれているアセットの検索に使用します。
 - 「説明」フィールドは、ここに指定した条件が説明に含まれているアセットの検索に使用します。
 - 「ID」フィールドは、ここに指定した条件が一意的 ID に含まれているアセットの検索に使用します。
 - 会社がロケールを使用して多言語コンテンツを管理している場合は、「ロケール」ドロップダウン・リストからオプションを選択することにより、検索対象を選択したロケーションのアセットに制限できます。多言語コンテンツ管理と「ロケール」フィールドの詳細は、223 ページの「多言語アセットでの作業」を参照してください。
 - 特定のユーザーが作成したアセットを検索する場合は、「作成者」ドロップダウン・リストから目的のコンテンツ・プロバイダの名前を選択します。
 - アセットが作成された時間範囲を検索する場合は、「修正日」フィールドから時間を選択します。「カスタム範囲」を選択した場合は、開始と終了の各フィールドに検索範囲の開始と終了の日付を入力してください。
 - 特定のタイプのアセットのみを検索する場合は、「アセット・タイプ」ドロップダウン・リストからアイテムを選択します。サイト管理者が Lucene 検索エンジンに対して行った構成に応じて、次の1つまたは両方のフィールドが表示されます。
 - 選択したアセット・タイプに複数のサブタイプが関連付けられている場合は、「アセット・サブタイプ」フィールドでサブタイプを指定して、アセット・タイプ検索を特定のサブタイプに絞り込みます。
 - サイト管理者が WebCenter Sites 管理インタフェースでアセット・タイプ検索とアセット・タイプ索引の属性検索を構成している場合は、「アセット属性の検索キーワードの入力」セクションが表示されます。ドロップダウン・メニューから属性を選択し、「追加」をクリックして、アセット・タイプの特定の属性に絞って検索を行います。

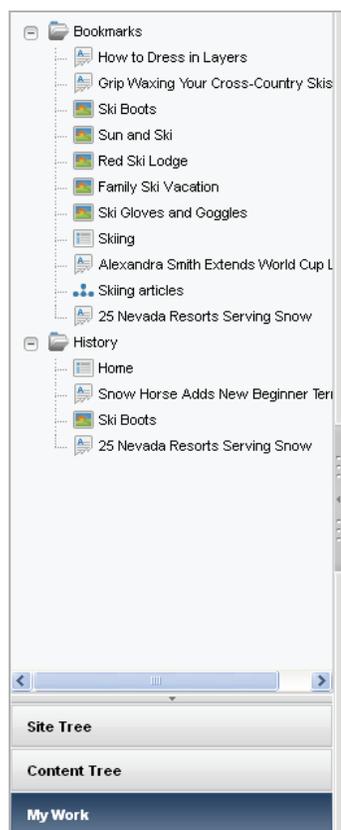
注意

WebCenter Sites 管理インタフェースの検索機能の構成の詳細は、『Oracle WebCenter Sites 管理者ガイド』を参照してください。

4. 「詳細検索の実行」をクリックして、指定した条件を使用した検索を実行します。「詳細検索」画面のフィールドをリセットするには、「リセット」をクリックします。

アセットの編成

WebCenter Sites では、ナビゲーション・ペインにある「ワーク」ツリーで自分のワークロードを追跡、管理できます。「ワーク」ツリーには、次に示すように、「ブックマーク」ノードと「履歴」ノードが含まれます。



- **ブックマーク**: ブックマークを付けたアセットのリストを返します。ブックマークを付けたアセットは、ダッシュボード(「ホーム」タブ内)の「ブックマーク」セクションにも表示されます。アセットにブックマークを付ける手順については、151 ページの「アセットへのブックマーク付け」を参照してください。
- **履歴**: 現在のサイトの現行セッションでこれまでに作業したアセットのリストを返します。このリストは、WebCenter Sites からログアウトするたびに消去されます。

「ワーク」ツリーでは、ノードの作成、変更、削除はできません。ただし、「ブックマーク」ノードに追加するアセットは制御できます。「ブックマーク」ノードにアセットを追加することにより、パーソナライズしたリストを作成し、後で簡単に取得することができます。「ブックマーク」ノードのアセットは、いつでも追加および削除できます。これに対して、「履歴」ノードでは、現行セッションで操作したアセットが追跡されます。これにより、セッション中にいつでもこれらのアセットに戻って内容を参照できます。ノード(「ブックマーク」または

「履歴」)を開くと、そのノードに含まれるアセットが下に表示されます。1つのアセットが同時に両方のツリー・ノードに含まれることもあります。

注意

「ワーク」ツリーは、作業を管理、編成する目的にのみ使用されます。「ワーク」ツリーを使用して配信用にアセットをグループ化することはできません。

アセットへのブックマーク付け

ブックマークを付けると、選択したアセットを「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードに追加し、後で簡単に取得できるようにすることがあります。ブックマークを付けたアセットは、ダッシュボード(「ホーム」タブ内)の「ブックマーク」セクションにも表示されます。ブックマークは、現在操作しているアセットと、検索結果リストに含まれる複数のアセットに付けることができます。

アセットにブックマークを付けるには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 140 ページの「アセットの検索」の説明に従って、検索を実行します。
3. 検索結果リストがワークスペースの右側にドッキングされている場合は、「ドッキング解除」をクリックして、検索結果リストを「検索」タブに表示します。
4. 目的のアセット(複数も可)にブックマークを付けます。次のいずれかを行います。
 - ブックマークを付ける前にアセットのコンテンツを調査するには：
 - a) 検索結果リストで、目的のアセットに移動してアセット名をクリックします。

アセットの調査ビューを(フォーム・モードまたは Web モードで)表示するタブが開きます。
 - b) メニュー・バーで「コンテンツ」→「ブックマーク」を選択します。
 - 検索結果リストで直接複数のアセットにブックマークを付けるには：
 - a) 検索結果リストで、ブックマークを付ける複数のアセットを選択([Ctrl] キーを押しながらクリック)します。
 - b) 「検索」タブのツールバーで、「ブックマーク」アイコン()をクリックします。

作成されたブックマーク数を示すメッセージが表示されます。選択したアセットが、「ブックマーク」ノード(「ワーク」ツリー内)と、ダッシュボード(「ホーム」タブ内)の「ブックマーク」セクションに追加されます。

5. 選択したアセットがブックマークを付けたアセットのリストに追加されたことを確認します。手順については、152 ページの「ブックマークを付けたアセットへのアクセス」を参照してください。

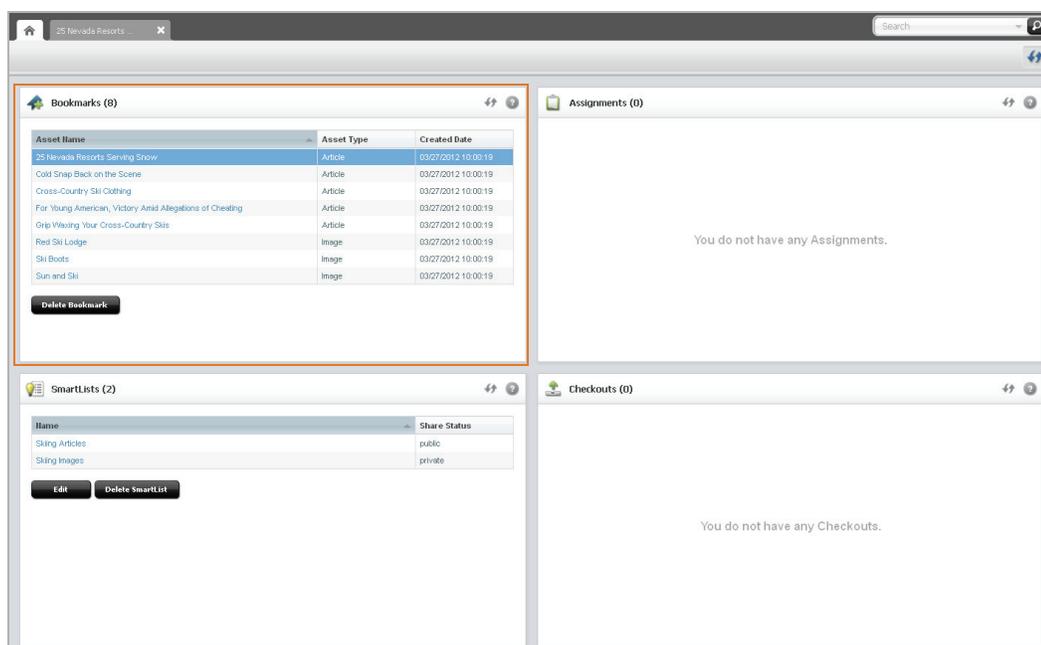
ブックマークを付けたアセットへのアクセス

ブックマークを付けたアセットには、次の方法でアクセスできます。

- ダッシュボード(「ホーム」タブ内)の「ブックマーク」セクションから。
- 「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから。

ブックマークを付けたアセットにダッシュボードからアクセスするには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 「ホーム」(🏠) タブ内で、ダッシュボードの「ブックマーク」セクションに移動します。



3. ダッシュボードの「ブックマーク」セクションで、目的のアセットに移動してアセット名をクリックします。

アセットの調査ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。

ブックマークを付けたアセットに「ワーク」ツリーからアクセスするには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. ナビゲーション・ペインで、「ワーク」バーを選択します。
3. 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードの横にあるプラス記号をクリックしてこのノードを開きます。

ブックマークを付けたアセットのリストが「ブックマーク」ノードの下に表示されます。

4. 目的のアセットに移動して、ダブルクリックします。
アセットの調査ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。

アセットのブックマーク解除

アセットにブックマークを付けておく必要がなくなった場合は、ブックマークを付けたアセットのリストからそのアセットを削除できます。アセットのブックマークを解除すると、そのアセットは「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノード、およびダッシュボードの「ブックマーク」セクションから削除されます。

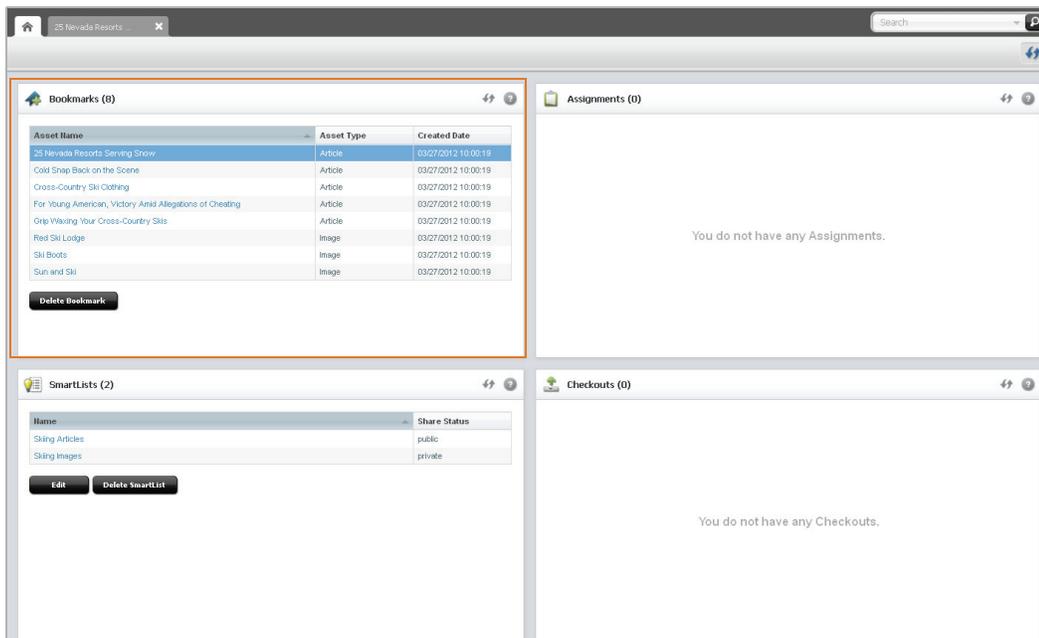
「ワーク」ツリーからアセットのブックマーク解除を行うには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. ナビゲーション・ペインで、「ワーク」ツリーが閉じている場合は、「ワーク」バーをクリックして開きます。
3. 「ワーク」ツリーで、プラス記号をクリックして「ブックマーク」ノードを開きます。
ブックマークを付けたアセットのリストが「ブックマーク」ノードの下に表示されます。
4. ブックマークをつけたアセットのリストで、ブックマークを解除するアセットをダブルクリックします。
アセットの調査ビューを(フォーム・モードまたは Web モードで)表示するタブが開きます。
5. メニュー・バーで「コンテンツ」→「ブックマーク解除」を選択します。
アセットのツールバーの下に、ブックマークが正常に削除されたことを示すメッセージが表示されます。アセットが、「ワーク」ツリー内の「ブックマーク」ノードと、ダッシュボード(「ホーム」タブ内)の「ブックマーク」セクションから削除されます。

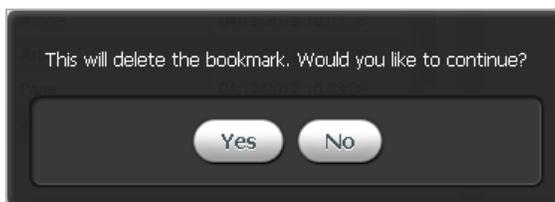
ダッシュボードからアセットのブックマーク解除を行うには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 「ホーム」() タブをクリックして、ダッシュボードにアクセスします。

3. ダッシュボードの「ブックマーク」セクションに移動します。



4. ブックマークをつけたアセットのリストで、このリストから削除するアセットの行を選択します。
5. 「ブックマークの削除」をクリックします。
ポップアップ・ウィンドウに次のメッセージが表示されます。



6. 「はい」をクリックします。
アセットが、ダッシュボードの「ブックマーク」セクションと、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから削除されます。

「履歴」ノードからのアセットへのアクセス

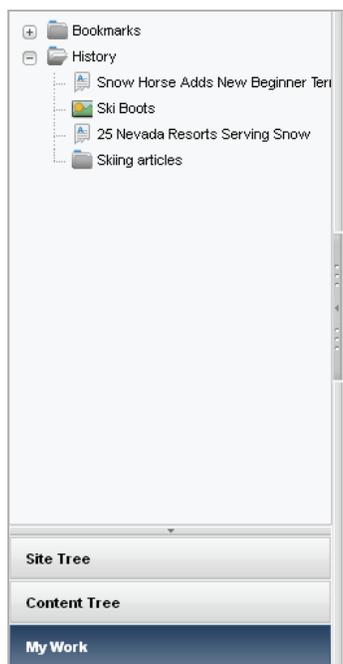
「ワーク」ツリーの「履歴」ノードでは、現行セッションで操作したすべてのアセットが追跡されるため、セッション中にこれらのアセットに戻って内容を参照できます。

注意

「履歴」ノードから手動でアセットを除去することはできません。ただし、「履歴」ノードに含まれるアセットのリストは、WebCenter Sites からログアウトするたびに消去されます。

「履歴」ノードからアセットにアクセスするには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. ナビゲーション・ペインで、「ワーク」バーを選択します。
3. 「ワーク」ツリーで、プラス記号をクリックして「履歴」ノードを開きます。
4. 「履歴」ノードで、目的のアセットに移動してダブルクリックします。



アセットの調査ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) を表示するタブが開きます。

第 7 章

アセットのプレビュー

この章では、プレビュー機能を使用して、アセットをパブリッシュしたときの Web サイトでの表示をプレビューする方法について説明します。Web サイトは日々刻々と変化するため、WebCenter Sites では、将来プレビュー機能が提供されています。将来プレビューを使用すると、将来の特定の時点で Web サイトに表示されるサイト・アセットを確認できます。この章では、FirstSite II サンプル・サイトの例で説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [概要](#)
- [アセットのプレビュー方法](#)
- [将来サイトのプレビュー](#)

概要

Contributor インタフェースを使用すると、アセットをパブリッシュしたときに Web サイトにどのように表示されるかをプレビューできます (図 16 を参照)。アセットをプレビューするときは、内容の変更はできません。ただし、別のテンプレートまたはラッパーを使用してレンダリングした場合にアセットがどのように表示されるかを選択してプレビューすることはできます。

図 16: FirstSite II サンプル・サイトの FSIIAbout アセットのプレビュー



アセットをプレビューするときは、将来の任意の日付にアセットが Web サイトにどのように表示されるかをプレビューできます。この将来プレビュー機能については、この章で後述します。将来プレビューでは、開始日と終了日 (同じくこの章で後述) をプレビュー機能と組み合わせて、将来の特定の日にアセットが Web サイトにどのように表示されるかを示します。

アセットのプレビュー方法

アセットをプレビューすると、パブリッシュした場合に Web サイトに表示されるとおりにアセットがレンダリングされます。アセットをプレビューするには、次の条件が満たされている必要があります。

- 適切な権限があること
- アセットにテンプレートが割り当てられていること

アセットは様々な方法でプレビューできます。例を示します。

- **Contributor** インタフェースの「**検索**」フィールドを使用して必要なアセットを見つけます。アセットを開いてからプレビューするか、検索結果リストからアセットを直接プレビューします。
- ナビゲーション・ペインで「**サイト・ツリー**」または「**ワーク**」ツリーをドリル・ダウンします。必要なアセットを右クリックしてツリーから直接プレビューするか、必要なアセットを「**調査**」ビューまたは「**編集**」ビューで開いてからプレビューします。
- 「**コンテンツ・ツリー**」をドリル・ダウンして、プレビューするアセットに関連付けられている親アセットをダブルクリックします。「**参照**」タブの、選択した親アセットに関連付けられているアセットのリストで、必要なアセットに移動してプレビューします。
- 現在作業中のアセットをプレビューします。

注意

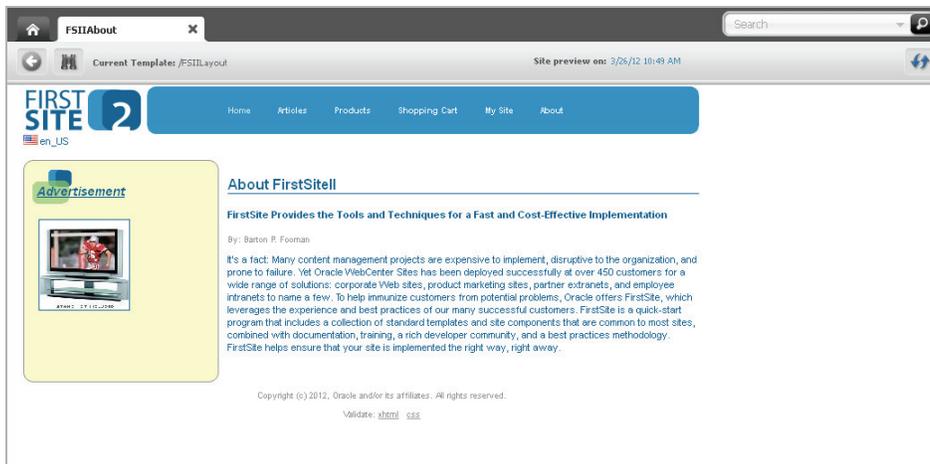
この章では、WebCenter Sites Contributor インタフェースの「**検索**」フィールドを使用してアセットをプレビューする方法を示します。

アセットをプレビューするには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. プレビューするアセットを見つけて開きます。次の手順を実行します。
 - a. 「**検索**」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、**虫めがね**ボタン () をクリックします。
アセットの検索の詳細は、140 ページの「**アセットの検索**」を参照してください。
 - b. 検索結果のリストで、必要なアセットの名前に移動してクリックします。
タブが開き、アセットの「**調査**」ビューがフォーム・モードまたは Web モードで表示されます。

3. アセットをプレビューします。アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。

タブにアセットのプレビューが表示されます。

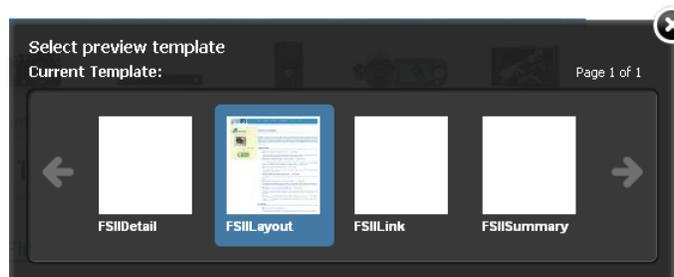


4. 別のテンプレートでレンダリングした場合にアセットが Web サイトにどのように表示されるかをプレビューします。

- a. 次のいずれかを実行します。

- アセットのツールバーで、「ページ・レイアウトを使用したプレビュー」アイコンをクリックします。
- メニュー・バーで、「表示」→「ページ・レイアウトを使用したプレビュー」を選択します。

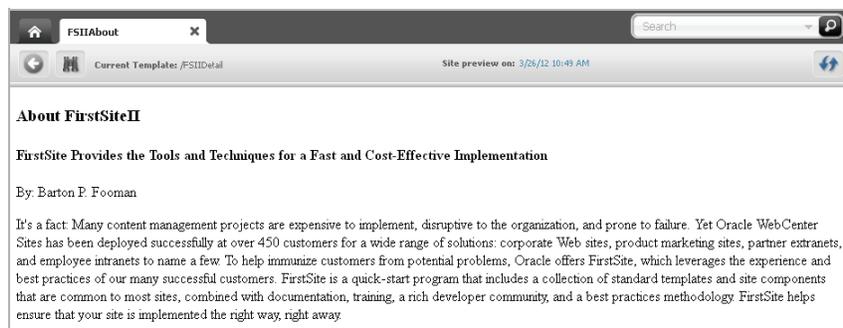
プレビュー・テンプレートの選択ダイアログ・ボックスが表示されます。



- b. アセットのプレビューに使用するテンプレートを選択します。(この例では、/FSIIDetail テンプレートを選択しています。このテンプレートでは、周囲のレイアウトなしでアセットの内容がレンダリングされます)。

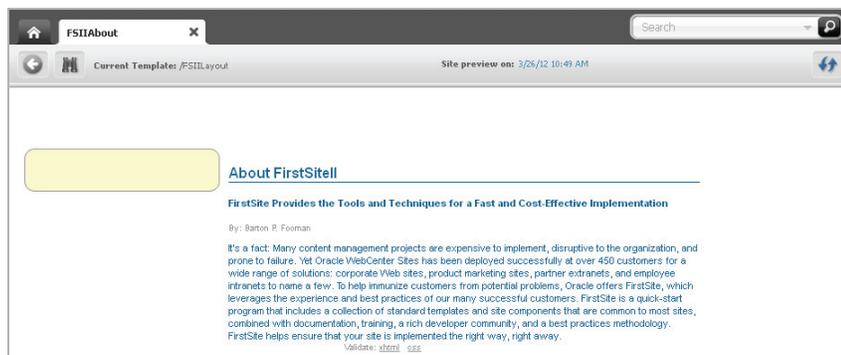
c. 「適用」をクリックします。

選択したテンプレートでレンダリングした場合に Web サイトに表示されるとおりに、アセットがタブに表示されます。例を示します。



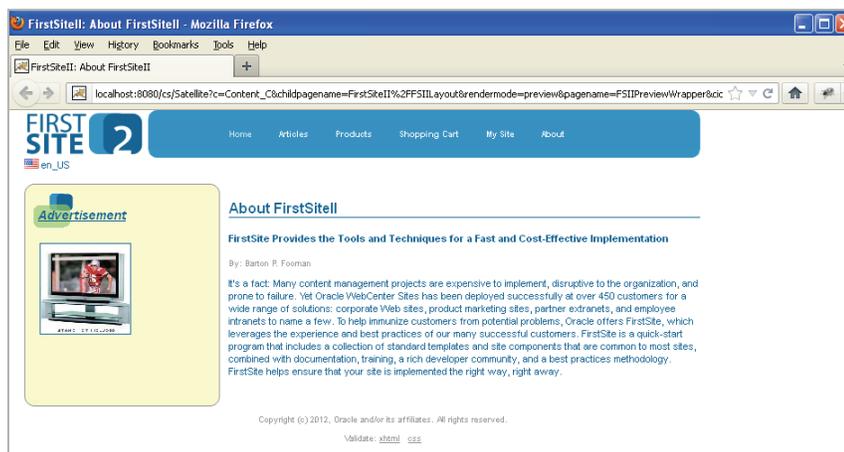
5. 別のサイト・ラッパーを使用してアセットをプレビューします。メニュー・バーで、「表示」→「ラッパーを使用したプレビュー」を選択し、アセットのプレビューに使用するラッパーを選択します。

アセットのプレビューが、選択したラッパーを使用してタブに表示されます。



6. アセットを新しいウィンドウでプレビューします。メニュー・バーで、「表示」→「新しいウィンドウでプレビュー」を選択します。

新しいブラウザ・ウィンドウが開き、アセットのプレビューが表示されます。



将来サイトのプレビュー

Web サイトへの変更を計画するときに、開始日と終了日をアセットに割り当てるができます。開始日と終了日が割り当てられたら、将来の様々な時点でサイトに表示されるサイト・アセットをプレビューできます。Web サイトの将来バージョンを生成する際に使用する機能を「将来プレビュー」といいます。

開始日と終了日は、将来プレビューの重要な部分であり、サイト・プレビューの強化された機能です。アセットの表示方法をプレビューする際に、開始日と終了日を設定する(通常サイト・プレビュー)のではなく、開始日と終了日の範囲をアセットに割り当てることにより、Web サイトに対して今後行われる変更を視覚化できます。開始日または終了日、あるいはその両方をアセットに割り当てると、プレビューが表示された状態でアセットのツールバーにある **Date Picker** から日付を選択することにより、時間の経過に従ってアセットがどのように変化するかを確認できます。

この項の内容は、次のとおりです。

- [開始日と終了日について](#)
- [将来プレビューについて](#)
- [開始日と終了日の将来プレビューへの影響](#)
- [開始日と終了日の割当て](#)
- [将来の任意の時点に表示されるサイトのプレビュー](#)
- [パブリッシュの承認](#)

開始日と終了日について

開始日と終了日は、アセットに割り当てることができるオプションのフィールド値です。この日付範囲は、アセットがパブリッシュされた場合に Web サイトに表示される時期を示します。フォーム・モードでアセットを処理しているときに、これらの日付を入力します(「**メタデータ**」タブ)。

開始日と終了日は、この章で説明するように、将来プレビューの機能に反映されます。

開始日と終了日は「詳細検索」オプションにも表示され、Web サイトに表示される日付範囲に基づいてアセットを検索できます。

将来プレビューについて

将来プレビューは、今後のコンテンツ変更の計画を立てるときに Web サイトを視覚化するためのツールです。将来プレビューを使用すると、将来の任意の時点を選択してアセットの Web ページの表示をプレビューできます。Web ページの考えられるバージョンを生成することにより、何をいつパブリッシュするかをより簡単に決定できます。

将来プレビューを使用すると、将来の任意の日付を選択して、自分自身および他のコンテンツ・コントリビュータが行っている変更が、その時点で Web サイトにどのように表示されるかを確認できます。WebCenter Sites では、割り当てられている開始日と終了日を使用して、アセットのプレビューを表示するかどうか

を決定します。アセットのプレビューが表示されるのは、選択されている日付がアセットの開始日と終了日の範囲内である場合のみです。

注意

将来の日付に表示されるアセットをプレビューするには：

- 開始日と終了日は、アセットのコンテンツ・エントリ・フォーム (フォーム・モード) の「メタデータ」セクションで割り当てる必要があります。
- アセットが表示されるページのテンプレートには、`asset:filterassetsbydate` タグを含める必要があります。詳細は、サイト管理者に問い合わせてください。

開始日と終了日の将来プレビューへの影響

開始日と終了日を割り当てるときは、次の点を考慮する必要があります。

- 開始日と終了日の範囲は、アセットが Web サイトに表示されることが見込まれる期間です。

開始日と終了日の範囲を設定したら、将来プレビューを使用して、その範囲の間および前後の日付におけるアセット表示ページの外観を比較できます。

アセットを初めてプレビューすると、そのアセットの開始日に表示される Web ページを確認できます。開始日が割り当てられていない場合は、現在の日付がプレビューに使用されます。

アセットのツールバーの **Date Picker** から将来の日付を選択すると、選択した時間に表示されるページを確認できます。アセットの開始日と終了日の範囲内の日付を選択すると、アセットが Web サイトに表示されている期間のアセットの Web ページの外観がプレビューで示されます。逆に、この日付範囲外の日付を選択すると、アイテムがパブリッシュされる前、またはアイテムがページに表示されなくなった後の、アセットの Web ページを確認できます。

注意

アセットのパブリケーション日は、アセットが Web サイトに表示される時期や期間には影響しません。これは開始日と終了日によって制御されます。

- 開始日も終了日も、必須フィールドではありません。
 - 開始日も終了日も設定されていないアセットは、プレビュー用に選択した日付にかかわらず、サイト・プレビューに常に表示されます。
 - 開始日と終了日が明示的に設定されているアセットは、次のように、条件に従って表示されます。
 - 開始日も終了日も設定されているアセットは、その特定の日付範囲が選択されている場合のみ表示されます。
 - 開始日のみが設定されているアセットは、開始日以降のすべての日に表示されます。(期限切れになることはありません。)

- 終了日のみが設定されているアセットは、終了日以前のすべての日に表示されます。

開始日と終了日の割当て

開始日と終了日は、アセットに割り当てることのできるオプションのフィールドです。この日付範囲は、アセットが Web サイトに表示される時期と、特定の時間にアセットがどのように表示されるかを示します。

アセットに日付範囲を割り当てるには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 開始日または終了日、あるいはその両方を割り当てるアセットを見つけます。次のいずれかを実行します。
 - 「**検索**」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、**虫めがね**ボタン (🔍) をクリックします。
 - 開始日または終了日、あるいはその両方が以前に割り当てられたことのあるアセットを変更する場合は、「**詳細検索**」機能を使用して、以前に割り当てた日付を基準として検索できます。詳細検索の詳細は、[148 ページの「詳細検索の実行」](#)を参照してください。
 - 以前にアセットにブックマークを付けていた場合は、ナビゲーション・ペインで、「**ワーク**」ツリーの「**ブックマーク**」ノードを展開します。（「**ワーク**」ツリーが閉じられている場合は、「**ワーク**」バーをクリックして開きます。）

アセットの検索の詳細は、[第6章の「アセットの検索と編成」](#)を参照してください。

3. フォーム・モードでアセットを編集します。
 - a. アセットのリストで、必要なアセットに移動して右クリックし、コンテキスト・メニューから「**編集**」を選択します。

タブに、アセットの「**編集**」ビューがフォーム・モードまたは Web モードで表示されます。
 - b. アセットが Web モードで開く場合は、アセットのツールバーの「**モード**」スイッチをクリックしてフォーム・モードに切り替えます。
4. アセットのフォーム・セクション・セレクトアで、「**メタデータ**」を選択します。

5. アセットの「メタデータ」セクションで、アセットの開始日または終了日、あるいはその両方と、(オプションで)時刻を設定します。

「開始日」フィールドまたは「終了日」フィールド、あるいはその両方で、フィールドの横の「日付の選択」アイコン(📅)をクリックして、Date Picker から日時を選択します。

Content	Marketing	Metadata
Article: FSIIAbout		
Description:	<input type="text" value="About FirstSiteII"/>	
ID:	<input type="text" value="1124813172330"/>	
Filename:	<input type="text"/>	
Path:	<input type="text"/>	
Start Date:	<input type="text"/> 📅	
End Date:	<input type="text"/> 📅	

注意

管理者が、このアセット・タイプに関してデフォルトの開始日と終了日を選択している場合があります。この設定は、必要に応じて変更できます。

Date Picker の使用方法の詳細は、89 ページの「Date Picker の使用」を参照してください。

6. アセットのツールバーで、「保存」アイコン(💾)をクリックしてアセットを更新します。
7. 将来の任意の時点におけるアセットの表示をプレビューするには、166 ページの「将来の任意の時点に表示されるサイトのプレビュー」を参照してください。

将来の任意の時点に表示されるサイトのプレビュー

開始日または終了日、あるいはその両方がアセットに割り当てられたら、アセットおよびアセットが表示されるページの、将来の選択した日時における表示をプレビューできます。

注意

将来の日付に表示されるアセットをプレビューするには：

- 開始日と終了日は、アセットのコンテンツ・エントリ・フォームの「メタデータ」セクションで割り当てる必要があります。
- アセットが表示されるページのテンプレートには、`asset:filterassetsbydate` タグを含める必要があります。詳細は、サイト管理者に問い合せてください。

サイトの将来の表示をプレビューするには：

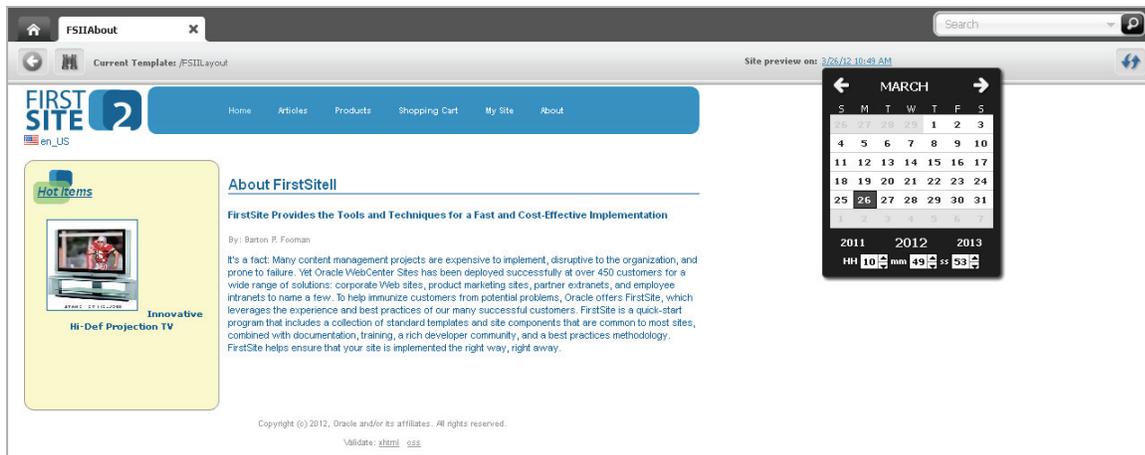
1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 開始日または終了日、あるいはその両方を割り当てたアセットを見つけます。次のいずれかを実行します。
 - 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 開始日または終了日、あるいはその両方を基準としてアセットを検索するには、「詳細検索」オプションを使用します。詳細検索の詳細は、[148 ページの「詳細検索の実行」](#)を参照してください。
 - 以前にアセットにブックマークを付けていた場合は、ナビゲーション・ペインで、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードを展開します。（「ワーク」ツリーが閉じられている場合は、「ワーク」バーをクリックして開きます。）

アセットの検索の詳細は、[第6章「アセットの検索と編成」](#)を参照してください。

3. アセットのリストで、目的のアセットの名前をクリックします。
タブが開き、アセットの「調査」ビューがフォーム・モードまたは Web モードで表示されます。
4. アセットをプレビューします。アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。

現在の日付に Web サイトに表示されるアセットのプレビューが、タブに表示されません。

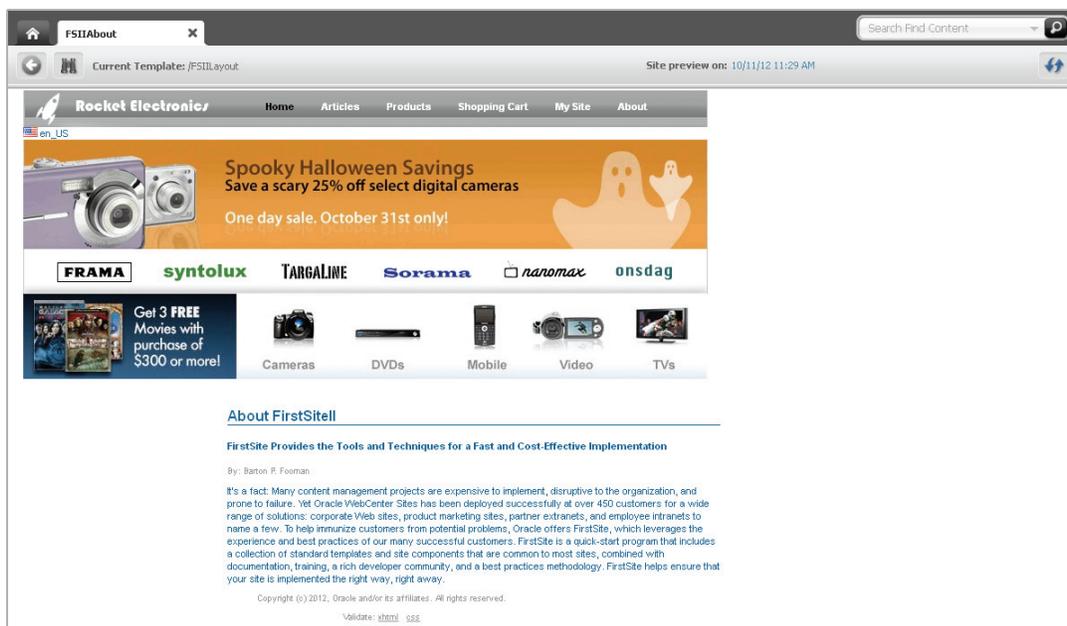
5. 将来の日付に表示されるアセットをプレビューします。
 - a. アセットのツールバーで、「サイト・プレビュー」セクションの日付リンクをクリックして **Date Picker** をレンダリングします。



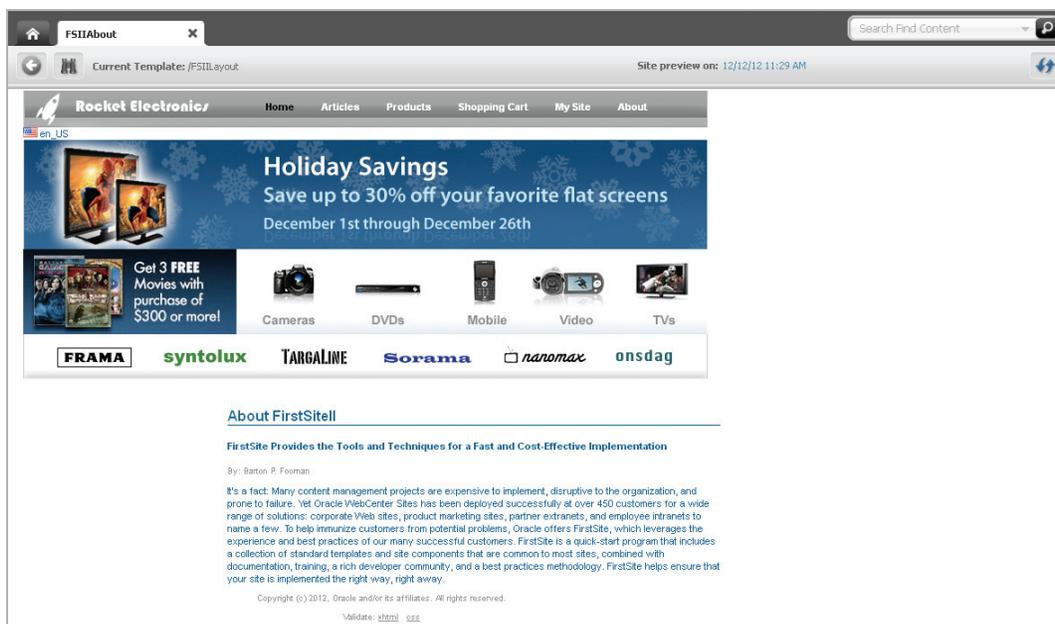
- b. **Date Picker** で、必要な日時を選択します。Date Picker の使用手順は、89ページの「Date Picker の使用」を参照してください。

プレビューでは、選択した日付に表示されるアセットの Web ページが表示されます。

たとえば、2012年10月の任意の日付を指定して **FSIIAbout** アセットの Web ページをプレビューすると、次の画面が表示されます。



2012年12月の任意の日付を指定して同じページをプレビューすると、次の画面が表示されます。



パブリッシュの承認

アセットを Web サイトにパブリッシュする前に、そのアセットおよびすべての依存アセットをパブリッシュ用に承認する必要があります。このプロセスにより、同時にパブリッシュされるアセットがすべて最新の状態であることを確認してからパブリッシュできます。

設定する開始日は、アイテムがパブリッシュされる日付と同じである必要はありません。ただし、アセットが Web サイトに表示されるのは、開始日以降となります。これは、承認対象となるすべての依存アセットにも該当します。

終了日より後にパブリッシュしたアセットは、ターゲットに対してパブリッシュされますが、Web サイトには表示されません (アセットは期限切れになっています)。

注意

定義した開始日から終了日までの期間だけアセットが Web サイトに表示されるようにするには、開発者は、アセットを表示するページのテンプレートに `asset:filterassetsbydate` タグを含める必要があります。このタグの詳細は、サイト管理者に問い合せてください。

アセットの承認の詳細は、235 ページの「パブリッシュの承認」を参照してください。

第 8 章

アセットの関連付け

WebCenter Sites により、ユーザーはページの配置および配置取消しを行い、アセットを相互に関連付けることができます。この章では、avisports サンプル・サイトを使用して、Contributor インタフェースで作業している場合にアセットを関連付ける方法を説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [アセットのアソシエーションでの作業](#)
- [親子関係](#)
- [グループ化アセットでの作業](#)

アセットのアソシエーションでの作業

一部のアセットの作成ビューまたは編集ビューには、別のアセットを作業しているアセットにリンクするフィールド(フォーム・モード)またはスロット(Webモード)が含まれます。こうしたタイプのフィールドは、アソシエーションといえます。図17では、他の5つの記事アセットに関連する(avisports サンプル・サイトの)記事アセットをフォーム・モードおよびWebモードで示しています。

図 17: アソシエーション・フィールドのフォーム・モード表示および Web モード表示

フォーム・モードでの記事アセットの表示

フォーム・モードでは、記事アセットに関連付けられたアセットがフィールドに示されます。

Webモードでの記事アセットの表示

Webモードでは、記事アセットに関連付けられたアセットがスロットに表示されます。

アソシエーション・フィールドは、アセット間の関係を作成するために使用できます。あるアセットを別のアセットに関連付ける場合、それらのアセット間の依存性を定義します。あるアセットが別のアセットに依存する場合、両方のアセットをまとめてパブリッシュする必要があります。

たとえば、イメージ・アセットを受け入れるアソシエーション・フィールドの記事タイプのアセットが持つ場合を考えます。この場合、野球に関する記事を野球場の写真に関連付けることができます。イメージ・アセットの記事アセットに関連付けることによって、記事テキストを適切に表すイメージを示します。これ

で、記事アセットとその関連するイメージ・アセットは相互に依存するようになります。記事アセットをパブリッシュする場合、イメージ・アセットもパブリッシュする必要があります。

関連付けることができるアセットは、データ・モデルによって決定します。Webサイト上でのアソシエーションの提示方法は、コンテンツ・レンダリング・テンプレートによって決定します。たとえば、テンプレートにより関連アセットを表示するか、またはリンクとしてレンダリングできます。

アソシエーションのタイプ

アソシエーション・フィールドでは、その設定に応じて、次のいずれかのことができます。

- **単一値アソシエーション・フィールド**では、作業中のアセットに単一のアセットを関連付けることができます。たとえば **avisports** サンプル・サイトで記事タイプのアセットには、記事アセットを単一のイメージ・アセットとペアにするために使用できる単一値アソシエーション・フィールドが含まれます。
- **複数値アソシエーション・フィールド**では、複数のアセットを作業中のアセットに関連付けることができます。たとえば、**avisports** サンプル・サイトでは、記事タイプの異なる複数のアセットを作業中の記事アセットに関連付けることができる2つの複数値アソシエーション・フィールドが記事タイプのアセットに含まれます。

サイト・デザインに応じて、アソシエーション・フィールドでは、特定のタイプやサブ・タイプのアセットに受け入れを制限することや、様々なタイプのアセットを無制限に受け入れることができます。

アセットの関連付け

この手順では、avisports サンプル・サイトを使用して、フォーム・モードまたは Web モードのいずれかによって、1 つ以上のアセットを別のアセットに関連付ける方法を説明します。フォーム・モードでは、アソシエーション・フィールドはコンテンツ・エントリ・フォームでドラッグ・アンド・ドロップ・フィールドとして表示されます。Web モードではアソシエーション・フィールドは、作業中のアセットの Web ページ・ビューに表示されるスロットによって表されます。この手順は、単一値および複数値のアソシエーションに対応します。

アセットを別のアセットに関連付けるには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 次のいずれかを行います。
 - アセットを作成する前：
 - アセットをフォーム・モードで作成する方法の詳細は、[69 ページの「フォーム・モードでの新規アセットの作成」](#)を参照してください。
 - アセットを Web モードで作成する方法の詳細は、[98 ページの「Web モードでの新規アセットの作成」](#)を参照してください。
 - 既存のアセットを開き編集します。
 - アセットをフォーム・モードで編集する方法の詳細は、[81 ページの「フォーム・モードでのアセットの編集」](#)を参照してください。
 - アセットを Web モードで編集する方法の詳細は、[108 ページの「Web モードでのアセットの編集」](#)を参照してください。

アセットの作成ビューまたは編集ビューを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。(この例では、**25 Nevada Resorts Serving Snow** の記事アセットを開きます)。

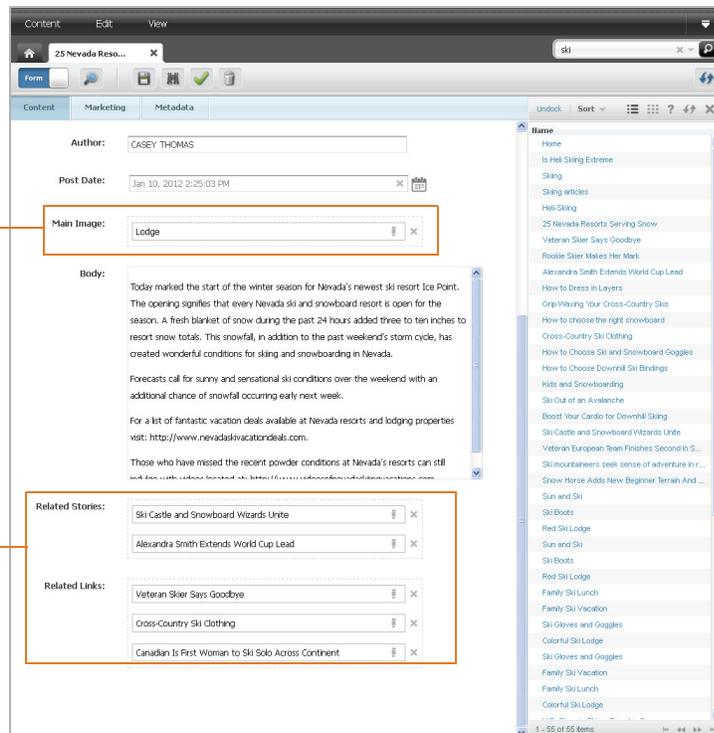
3. 関連付けるアセットを見つけます。
 - a. 「検索」フィールドで、適切な検索条件を入力します。
 - b. アソシエーション・フィールドで特定のタイプのアセットのみを受け入れる場合は、「検索」フィールドで下矢印をクリックしてアセット・タイプの名前を選択することにより、必要なアセット・タイプに検索を制限します。
 - c. 虫めがねボタン () をクリックします。

検索結果のリストは、作業中のアセットの右側にドッキングされます。次に、フォーム・モードおよび Web モードでの **25 Nevada Resorts Serving Snow** の記事アセットの編集ビューと、アセットの右側にドッキングされた検索結果のリストを示します。

フォーム・モードでのアセットの作成ビューまたは編集ビューでは、単一のアセットや複数のアセットを受け入れるアソシエーション・フィールドが表示されます。

単一値のアソシエーション・フィールド

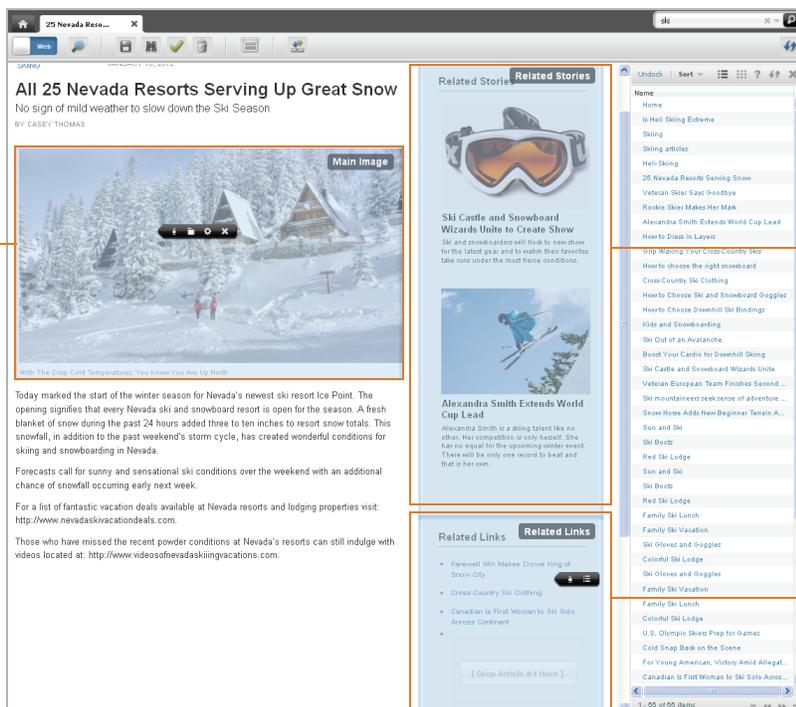
複数値のアソシエーション・フィールド



Web モードでのアセットの作成ビューまたは編集ビューでは、単一のアセットまたは複数のアセットを受け入れる空のスロットや占有されたスロットが表示されます。

単一値のスロット

複数値のスロット

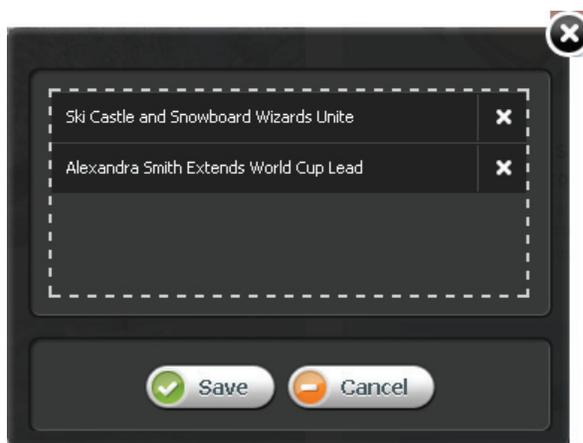


4. 作業中のアセットに該当するアセットを関連付けます。
 - a. (作業中のアセットの右側にドッキングされた)アセットのリストで、該当するアセットの名前をクリックし、アソシエーション・フィールド (フォーム・モード) またはスロット (Web モード) にアセットをドラッグします。
 - b. マウス・ボタンを放すことによりアソシエーション・フィールド (またはスロット) にアセットをドロップします。
 - c. 複数値のアソシエーションで作業している場合は、作業中のアセットに該当アセットをすべて関連付けるまで、**手順 ab** を繰り返します。
選択したアセットがアソシエーション・フィールドに追加されます。
5. (オプション) 複数値のアソシエーションで作業しており、複数のアセットを関連付けた場合は、次の要領で関連するアセットを配置します。

注意

リスト (フォーム・モード) またはスロット (Web モード) にアセットが表示される順序は、Web サイトに表示される順序と同じです。

- フォーム・モードで作業している場合は、該当するアセットの名前をクリックし、それをフィールドの適切な位置にドラッグ・アンド・ドロップすることにより、リスト内でアセットを上下に移動します。
- Web モードで作業している場合は、アセットを別のスロットに移動します。次を実行します。
 - 1) 複数値のスロットでクリックします。
スロットのツールバーが表示されます。
 - 2) スロットのツールバーで、「管理」アイコン (☰) をクリックします。
次のダイアログ・ボックスが表示されます。



- 3) 該当するアセットの名前をクリックし、それをリスト内で上下に移動します。
 - 4) 「保存」をクリックします。
6. 終了したら、アセットのツールバーで「保存」(☑) アイコンをクリックします。

7. アセットを調査するには、アセットのツールバーで「調査」() アイコンをクリックします。

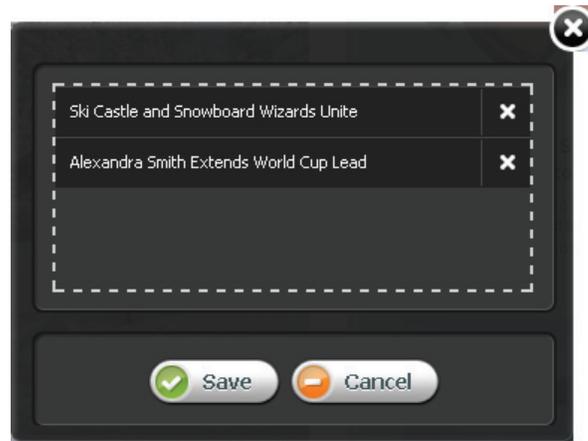
このタブでは、調査ビューにアセットが表示されます。アセットは調査ビューで修正できません。

アセットのアソシエーションの解除

別のアセットに対するアセットのアソシエーションを解除するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 1 つ以上のアセットのアソシエーションを解除するアセットを見つけて開きます。
 - a. 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン()をクリックします。
「検索」タブが開き、検索結果が表示されます。
アセットを検索する方法の詳細は、139 ページの「アセットの検索と編成」を参照してください。
 - b. 検索結果のリストで、該当するアセットに移動して、アセットの名前を右クリックし、右クリック・メニューから「編集」を選択します。
アセットの編集ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。
3. 関連するアセットのリストから該当アセットを削除します。
 - フォーム・モードで作業している場合は、アセットのアソシエーションを表すフィールドに移動し、アソシエーションを解除する各アセットの隣にある「削除」(**X**) ボタンをクリックします。
 - Web モードで作業している場合：
 - 単一値のアソシエーションを表すスロットからアセットを削除する場合は、アソシエーションを解除するアセットを含むスロットをクリックします。スロットのツールバーで、「**X**」ボタンをクリックします。
 - 複数値のアソシエーションを表すスロットからアセットを削除する場合は、次のことを行います。
 - 1) 複数値のスロットでクリックします。
スロットのツールバーが表示されます。
 - 2) スロットのツールバーで、「管理」アイコン()をクリックします。

次のダイアログ・ボックスが表示されます。



- 3) 削除するアセットの隣にある「X」をクリックします。
- 4) 「保存」をクリックします。

WebCenter Sites により、アソシエーション・フィールドからアセットが削除されます。

4. 終了したら、アセットのツールバーで「保存」() アイコンをクリックします。
5. アセットを調査するには、アセットのツールバーで「調査」() アイコンをクリックします。

このタブでは、アセットの調査ビューが表示されます。アセットは調査ビューで修正できません。

親子関係

別のアセットの親としてアセットを指定する場合、2つのアセット間で階層関係を作成します。親にリンクされているアセットは、子アセットといいます。

子アセットは、親からの属性値を継承します。つまり、子アセットが親アセットにリンクされると、子アセットは親の属性および値を継承し、またすでに持つ属性は維持します。親および子が同じ複数値の属性を共有する場合は、子は親のアセットの値を継承し、また元の値を維持します。親と子が同じ単一値の属性を共有する場合は、子は属性の現在値を保持します。親の値は継承しません。

親子関係は、**コンテンツ・ツリー**に示されます。親子関係は、公開済サイト上で機能しないリンクが生じないように、パブリッシュ承認時に考慮されます。パブリッシュ承認の詳細は、[235 ページの「パブリッシュの承認」](#)を参照してください。

The screenshot illustrates the relationship between two assets in Oracle WebCenter Sites. On the left, the 'Shark Parks' asset form is shown with the 'Category' dropdown set to 'Surf Articles'. On the right, the 'Browse' window displays a list of articles, with 'Shark Parks' highlighted. The 'Site Tree' on the left of the 'Browse' window shows the hierarchy, with 'Surf Articles' highlighted as the parent of 'Shark Parks'.

Name	Type	Modified
Surf Up Locally, Just Right for the Pros	Article	04/02/2012 02:02 PM EDT
On Figid Irish Waves	Article	04/02/2012 02:01 PM EDT
Next Generation Takes to the Air	Article	04/02/2012 01:41 PM EDT
Wayne Wright Wins Pro	Article	04/02/2012 12:10 PM EDT
Jules Wilson Signs Monumental Deal with Surf Sport	Article	04/02/2012 12:07 PM EDT
The ASP World Tour	Article	04/02/2012 12:05 PM EDT
How Dial A Spot	Article	04/02/2012 12:02 PM EDT
Battle Over Lagoon Cleanup Divides a Surfing Heaven	Article	03/07/2012 03:47 PM EST
Big Boards, Banana Stalks and Everybody in the Waves	Article	03/07/2012 03:45 PM EST
Earning Miles, Burning Muscle	Article	03/07/2012 03:43 PM EST
Surfing in Greece	Article	03/07/2012 03:42 PM EST
Ride surfer uses knife to battle sharks	Article	03/07/2012 03:27 PM EST
Whale Watching Excursion	Article	03/07/2012 03:26 PM EST
Stand Up Paddling	Article	03/07/2012 03:24 PM EST
Windsurfers: Most Challenging Part	Article	03/07/2012 03:23 PM EST
Wave Champ Reunion	Article	03/07/2012 03:21 PM EST
Shark Parks	Article	03/07/2012 03:20 PM EST
Park Wins 3rd Consecutive Triple Crown	Article	02/27/2012 10:52 PM EST

Shark Parks 記事アセットには、**親アセット**として指定された **Surf Articles** が含まれます。

コンテンツ・ツリーでは、この階層関係が反映されます。Surf Articles はツリー上のノードであり、Shark Parks はその内部に子として含まれます。「コンテンツ・ツリー」で親アセットをダブルクリックすると、その子が「参照」タブに表示されます。

アセットは、複数の親を持つことができます。アセットは、複数の親に割り当てられた場合、各親にリンクする子として、**コンテンツ・ツリー**内の複数の場所に表示されます。

親アセットを指定するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 次のいずれかを行います。
 - アセットを作成する前：
 - アセットをフォーム・モードで作成する方法の詳細は、[69 ページの「フォーム・モードでの新規アセットの作成」](#)を参照してください。
 - アセットを Web モードで作成する方法の詳細は、[98 ページの「Web モードでの新規アセットの作成」](#)を参照してください。
 - 既存のアセットを開き編集します。
 - アセットをフォーム・モードで編集する方法の詳細は、[81 ページの「フォーム・モードでのアセットの編集」](#)を参照してください。
 - アセットを Web モードで編集する方法の詳細は、[108 ページの「Web モードでのアセットの編集」](#)を参照してください。

アセットの作成ビューまたは編集ビューを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。

3. アセットの作成ビューまたは編集ビューで、親アセットを指定するアソシエーション・フィールドを見つけます。

注意

Web モードで作業している場合は、アソシエーション・フィールドがスロットとして表示されることがあります。親アセットを受け入れるスロットが表示されない場合は、ここで終了してください。アセットに割り当てられたレイアウト (テンプレート) がこのタイプのフィールドを表示するようにコーディングされていません。アセットを親に割り当てるには、アセットのツールバーで「**モード**」スイッチをクリックすることにより、フォーム・モードに切り替える必要があります。

4. 作業中のアセットの親として指定する親アセットを見つけます。
 - 検索結果のリストから関連付ける親アセットを選択します。
 - a) 「**検索**」フィールドで、該当する親アセットを記述する条件を入力します。
 - b) 「**検索**」フィールドで**下矢印**をクリックし、該当するアセット・タイプの名前を選択することにより、検索を特定の[アセット・タイプ](#) (たとえば記事カテゴリのタイプのアセットのみ) に制限します。
 - c) **虫めがねボタン** () をクリックします。
 - 関連付ける親アセットを「**コンテンツ・ツリー**」から選択します。
 - a) ナビゲーション・ペインで、「**コンテンツ・ツリー**」バーを選択します。

- b) 「コンテンツ・ツリー」で、各ノードに関連する親アセットを公開するためにノードを開きます。

5. 親アセットを指定します。

注意

表示されるフィールドのタイプは、開発者によるアセット定義の構成に応じて異なります。この例では、avisports サンプル・サイトで、ドロップダウン・メニューを表示する記事アセットの親アセットを指定しています。FirstSite II サンプル・サイトでは、親アセットを指定するフィールドはドロップ・ゾーンです。

たとえば、フォーム・モードで作業している場合は、該当する親アセットを選択するために、「カテゴリ」フィールドでドロップダウン・メニューを使用します。

WebCenter Sites により、選択した親アセットにアセットが関連付けられます。フィールドには、関連付けた親アセットの名前が表示されます。

6. 終了したら、アセットのツールバーの「保存」() アイコンをクリックします。

グループ化アセットでの作業

アセットでの作業時に、グループ内にアセットを編成し、特定の順序で配置することが必要になる場合があります。自身がマーケティング担当者であり、作業中のサイトでコレクションのアセット・タイプが有効である場合、コンテキストに基づいてなんらかの方法で他のアセットに関連するアセットのリスト、または現在の日時など変数に基づいて変化するアセットのリストを作成できます。また、訪問者の統計データに応じて、異なるアセット・グループを提供することが必要になる場合もあります。このような場合は、コレクション・アセットおよび推奨アセットを使用します。

この項は、次で構成されています。

- [コレクションの使用](#)
- [コレクションの作成](#)
- [推奨の作業](#)

コレクションの使用

ランク順序を選択し、訪問者がサイトを表示したときに望む可能性が最も高いコンテンツ・セットを提供する場合を考えます。たとえば、毎朝のサイトのホームページで、重要度の順に編成された上位5つの政治ニュース記事を配置します。このような場合では、コレクション・アセットを使用して、上位5つの記事リストを作成できます。

コレクション・アセットは、特定の順序で編成された単一アセット・タイプのベーシック・アセットのリストを格納します。コレクションに含めることができるアセットは、1つ以上の問合せによって返された結果から得られます。問合せ結果のリスト内で選択した順序でランク付けすることにより、コレクションに含

めるアセットを選択します。このランク付けおよび順序付けされたアセットのリストがコレクションです。

通常、サイト・デザイナーまたは管理者はコレクション・アセットを作成し、それらに適切な問合せおよびテンプレートを割り当てます。ここでの作業は、コレクションに含める最も適切なコンテンツを選択することです。

注意事項としては、コレクションを作成した後、適切な権限を持つ他のユーザーにより、自身が作業したコレクション・アセットにアクセスされ、アセット・ランキングが変更される場合があります。

注意

コレクション・アセットでは、ベーシック・アセットのリストのみを格納できます。フレックス・アセットでは、コレクション・アセットに類似する機能 (および、さらに多くの機能) が推奨アセットによって提供されます (この項で後述します)。

コレクションの作成

必要なコレクションを作成するには、作業中のサイトでコレクション・アセットがすでに存在していることが必要です。サイト・デザイナーまたは管理者が通常、新規のコレクション・アセットの作成および既存のコレクション・アセットの編集を担当します。

コレクションを作成するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 作成するコレクションを見つけます。
 - a. 「検索」フィールドで、アセットを識別する検索条件を入力します。
 - b. (オプション) 「検索」フィールドで、**下矢印**をクリックし、「検索タイプ」ドロップダウン・ボックスをレンダリングします。検索をコレクション・アセットに制限するために、**コレクション・アセット・タイプ**を選択します。選択しないと、**WebCenter Sites** では現在のサイトにあるすべてのアセット・タイプにおいて検索します。
 - c. **虫めがねボタン** () をクリックします。
「検索」タブが開き、検索結果が表示されます。
アセットを検索する方法の詳細は、[139 ページの「アセットの検索と編成」](#)を参照してください。
3. 検索結果のリストで、該当するコレクション・アセットに移動し、その名前をクリックします。
コレクション・アセットの調査ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) を表示するタブが開きます。
4. コレクション・アセットが **Web** モードで開く場合は、アセットのツールバーの「**モード**」スイッチをクリックしてフォーム・モードに切り替えます。

5. アセットの調査ビュー (フォーム・モード) で、コレクション・アセット名の隣にある **コレクションの作成** をクリックします (次の図を参照してください)。

Collection: HelloCollectionHello [Build Collection](#)

Name: HelloCollectionHello

Description: A collection of articles in the HelloAssetWorld site

Subtype: HelloArticle

Template: HelloCollectionTemplate

Status: Created

ID: 1028054041886

Keywords:

Query 1: [spacejunk](#) (HelloArticle)
[survey](#) (HelloArticle)
[dogs](#) (HelloArticle)
[food](#) (HelloArticle)
[robots](#) (HelloArticle)
[roswell](#) (HelloArticle)

Associated queries: HelloQuery returns HelloArticles

Referenced by: [Show](#)

Created: Friday, August 2, 2002 11:26:26 AM EDT by Coco

Modified: Friday, August 2, 2002 2:11:11 PM EDT by Coco

このリンクをクリックして
コレクションを作成します

WebCenter Sites により、コレクション内の問合せが実行され、次の図のように、その結果が表示されます。

Build Collection:HelloCollection>Hello

Current HelloArticles

Rank	Remove	Name	Description	Start Date	End Date
1	<input type="checkbox"/>	dogs	story about the DogsFromMars	-	-
2	<input type="checkbox"/>	food	story about where to eat on planet Earth	-	-
3	<input type="checkbox"/>	movies	story about movies	-	-
4	<input type="checkbox"/>	robots	story about robot combat games	-	-
5	<input type="checkbox"/>	roswell	story about Roswell, New Mexico	-	-
6	<input type="checkbox"/>	spacejunk	story about space debris	-	-
7	<input type="checkbox"/>	survey	survey for first-time visitors to planet Earth	-	-

Query 1: HelloQuery

Rank	Name	Locale	Modified	Start Date	End Date
1	dogs	🇯🇵	8/2/02 11:18 AM	-	-
2	food	🇯🇵	8/2/02 11:19 AM	-	-
3	movies	🇯🇵	8/2/02 11:19 AM	-	-
4	robots	🇯🇵	8/2/02 11:20 AM	-	-
5	roswell	🇯🇵	8/2/02 1:56 PM	-	-
6	spacejunk	🇯🇵	8/2/02 11:20 AM	-	-
7	survey	🇯🇵	8/2/02 11:21 AM	-	-
	new	🇯🇵	3/28/12 3:34 PM	-	-

Cancel Save Changes

6. 表の「ランク」列に、適切な数 (最大 3 桁) を入力することにより、アセットをランク付けします。最上位のリストに含まれるアセットを除去する場合は、「除去」列で除去するアセットの名前の隣にあるチェック・ボックスをオンにします。問合せリストからアセットのランク番号を削除しても、コレクションから除去されません。

注意

コレクション内でアセットのランク付けを行う場合、ページをレンダリングするテンプレート要素に対して適切な順序で指定します。たとえば、コレクションに 50 個のアセットが含まれていても、それをレンダリングするテンプレートが 5 つのアセットのみを表示するようにコーディングされていると、コレクション内の最初の 5 つの高ランク・アセットのみがページに表示されます。使用中のテンプレートのプロパティが明確でない場合は、サイト開発者に問い合わせてください。

7. 「変更の保存」をクリックします。

WebCenter Sites によりコレクションが作成され、その「調査」ビューにコレクションが表示されます。

推奨の作業

推奨アセットでは、各サイト訪問者に表示される製品の配置および販促用の提供品をパーソナライズできます。推奨では、サイト訪問者について入手可能な情報（年齢や前回表示した製品など）に基づいて、ページで特集アセットまたは推奨アセット（たとえば製品）が決定されます。

訪問者に表示するコンテンツは、次の方法でパーソナライズできます。

- 静的リスト推奨を作成します。これらは、サイト訪問者のプロフィールの年齢、収入、その他の情報など、統計的な基準に従って表示されるアセットのリストです。（この基準は、セグメントで定義されており、指定の静的リスト推奨に関連付けられています）。たとえば、トップ・ダンス・クラブのリストを作成し、18歳から24歳の年齢を指定した訪問者にのみそれを表示できます。年齢がこの範囲外の訪問者には、別の静的リスト推奨（たとえばトップ・テン・ビーチ・リゾートのリスト）を表示できます。
- 関連アイテム推奨を作成します。関連アイテム推奨により、ある種の関係を持つアセットを相互にリンクできます。この方法ではまた、訪問者が関連アイテム推奨によって別のアセットにリンクされたアセットを表示する場合に常に、関連するアセットも表示されます。したがって、関連アイテム推奨を使用してアセットを相互に連続的にリンクすることにより、訪問者が従う「パス」または「リンク証跡」を作成できます。

この目的は、メイン・コンテンツとともに関連するコンテンツのティーザを表示することにより、所定時に示されるコンテンツに関連する追加コンテンツを表示するように訪問者に促すことです。したがって関連アイテム推奨は、アップセルや抱合せ販売のマーチャンダイジングなどのビジネス手法に最適です。

たとえば、ゴッドファーザーの3部作など、同じテーマやジャンルを共有する多数の映画を相互にリンクできます。関連アイテム推奨を使用して、3部作のパートIをパートIIに、そしてパートIIをパートIIIにリンクします。これによって、訪問者に3部作のパートIが表示されたときに、サイトではパートIIも表示されます。その後、訪問者にパートIIが表示されると、サイトではパートIIIも表示されます。さらに、パートIIおよびパートIIIをパートIにリンクすることにより、パートIIまたはパートIIIを見る前にまずパートIを見る必要があることに訪問者が気付きます。

- 動的リスト推奨を作成します。静的リストおよび関連アイテム推奨とは異なり、動的リスト推奨の機能は開発者によって記述されるカスタマイズ・コードによって定義されます。そのために動的リスト推奨は、特定のビジネス・ニーズに応じた観点から、3タイプの推奨アセットのうちで最も柔軟です。たとえば開発者は、関連アイテム推奨のように動作する動的リスト推奨をコーディングできますが、関連アセットの手動によるリンクを必要とすることなく、訪問者が過去に購入した映画を動的リスト推奨で追跡し、テーマまたはジャンルの観点から過去の購入作品に最も一致する映画をお勧めできます。このような場合は、推奨に含めるアセットに対する推奨を単純に割り当てます。

使用される推奨タイプに関する選択は主に、サイト・デザイナーが望むサイトの動作に応じて異なります。推奨アセットの作成の詳細は、[第17章「推奨の作成および構成」](#)を参照してください。

第 9 章

サイトのナビゲーションの作成

この章では、Contributor インタフェースの「サイト・ツリー」を使用してページの配置および配置取消しを行うことによる、Web サイトのナビゲーションの作成について説明します。

注意

WebCenter Sites では、Web サイトのナビゲーションを作成する方法が複数提供されます。サイト・デザインによって、Web サイトのナビゲーションの作成方法が決まります。この項では、サイト・デザインが、WebCenter Sites の Contributor インタフェース内にある「サイト・ツリー」を使用して Web サイトのナビゲーションを作成できるよう構成されていることを前提としています。Web サイトのナビゲーションがどのように作成されるかについては、サイトの開発者に確認してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [概要](#)
- [ページの配置および配置取消し](#)

概要

Web サイトのナビゲーションを使用すると、訪問者はサイトの様々なセクション(ページや記事など)にアクセスできるようになります。サイトのナビゲーションは、Contributor インタフェースの「**サイト・ツリー**」(ナビゲーション・ペイン内にあります)内におけるページ・アセットの配置によって決まります。「**サイト・ツリー**」を使用すると、サイト上のページの階層を作成できます。これは、サイトのナビゲーションの構造が全体レベルから始まり、特定の項目に掘り下げられていくことを意味します。

たとえば、「**サイト・ツリー**」内にすでに配置されたページの下にページを配置する場合、配置したページは、上にあるページのサブレベルになります。ページが Web サイトにパブリッシュされると、サブレベルとして配置したページは、トップレベル・ページのナビゲーション・メニューからアクセス可能になります。[図 18](#) は、avisports サンプル・サイトを例として使用し、Contributor インタフェースの「**サイト・ツリー**」内におけるページの配置と Web サイトのナビゲーションとの間の動的な関係を示しています。

図 18: 「サイト・ツリー」とサイトのナビゲーションとの関係

avisports サンプル・サイトの「サイト・ツリー」

The image shows the relationship between a site tree and a website's navigation. On the left, the 'avisports Site' tree is displayed, showing a hierarchy of pages under 'Placed Pages' and 'Unplaced Pages'. The 'Home' page is at the top level, followed by 'Surfing', 'Skiing', 'Running', 'Tennis', and 'Baseball'. On the right, the website's navigation menu is shown, with 'HOME' as the first item and the other categories as secondary items. The main content area of the website features a large banner for skiing and several smaller articles for tennis, surfing, running, and baseball. Arrows indicate the mapping from the site tree to the website's navigation and content.

「サイト・ツリー」内のトップレベルにある Home ページ・アセットは、avisports Web サイトのホーム・ページです。

「サイト・ツリー」内の Home ページの下に配置されたページは、ホーム (トップ・レベル) ページのナビゲーション・メニュー内のリンクとして表示されます。

ページの配置および配置取消し

(管理者によって構成された) 適切なロールを割り当てられた場合、「サイト・ツリー」を使用して、Web サイト上にページを配置したり、サイト上に現在表示されているページの配置を取り消すことができます。ページの配置および配置取消しを行うことによって、サイトのナビゲーションを(図 18 のように)整理できます。このツリーを通じて加える変更は、次のパブリッシュ・セッションで Web サイトに適用されます。ページ・アセットの詳細は、『Oracle WebCenter Sites 開発者ガイド』を参照するか、開発者に確認してください。

注意

「サイト・ツリー」では、ページを順序付けられた階層内に配置することが求められます。この項の手順を実行する前に、Web サイトの構造を開発者に確認して理解し、サイト階層における各ページの位置を把握してください。

この項は、次の各項で構成されています。

- ページの配置
- ページの配置取消し

ページの配置

この項では、「サイト・ツリー」を使用したページ・アセットの配置方法を説明します。このツリーでは、次に示す2つのページ配置方法がサポートされます。

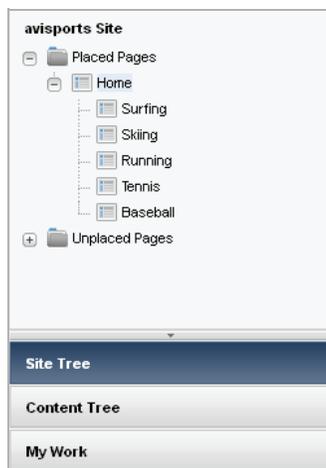
- ページの最高位のサブレベルとして直接トップレベル・ページの下に配置します。
- 階層内の同じレベルに別のページとして配置します。選択したページは、(選択した場所に応じて)別のページの前または後に配置されます。

ページを配置した後、そのページを承認およびパブリッシュして、Web サイト上に表示する必要があります。

Web サイト上にページを配置するには

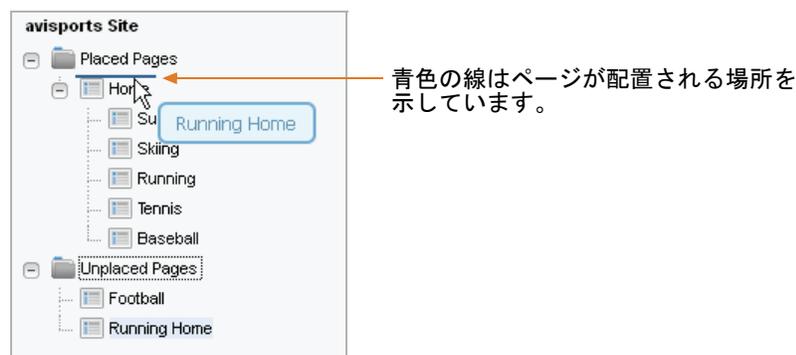
1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. ナビゲーション・ペインで、「サイト・ツリー」バーをクリックします。ペインに「サイト・ツリー」が表示されます。

3. ツリー内の各ノードの横にあるプラス記号をクリックして、サイト階層を開きます。次の図は、avisports サンプル・サイトの「サイト・ツリー」を示しています。



4. 配置するページを見つけ、階層内でのターゲット位置を決定します。
- 目的のページを次のように見つけます。
 - すでに配置されたページを配置する場合は、「**配置済ページ**」階層に移動して、目的のページを見つけてます。
 - 未配置ページを配置する場合は、「**未配置ページ**」階層に移動して、目的のページを見つけてます。
 - 「**配置済ページ**」階層に移動して、サイト階層内におけるページのターゲット位置を決定します。
5. ページを階層内のターゲット位置にドラッグすることによって、ページを配置します。次のいずれかを行います。
- ページを別のページと同じレベルに配置するには。選択したページを別のページの名前の下または上にドラッグします。選択したページは、リスト内の別のページの前または後に配置されます。

たとえば、**Running Home** ページ・アセットを **Home** ページ・アセットと同じレベル (かつ前) に配置するには、次のように **Home Running** ページを **Home** ページの名前の上にドラッグします。

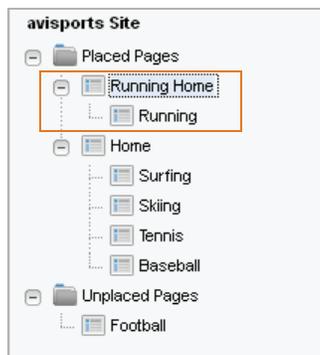


- ページを別のページの最高位のサブレベルとして配置するには、ページを下に配置する目的のページの名前上に、選択したページをドラッグします。

たとえば、**Running** ページを **Home Running** ページの最高位の子として配置するには、次のように **Running** ページを **Home Running** ページ上にドラッグします。



ページを離すと、選択した位置にそのページが表示されます。例を示します。



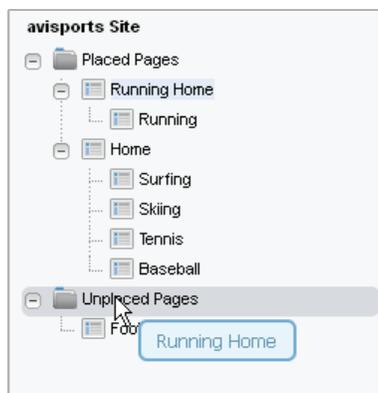
加えた変更を次のパブリッシュ・セッションで Web サイトに反映して更新するには、配置したページを承認する必要があります。

ページの配置取消し

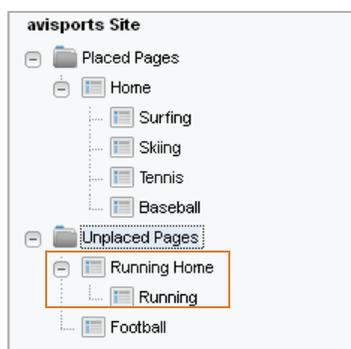
この項では、ページ・アセットの配置を取り消す、つまり Web サイトからの削除対象としてマークする方法を説明します。ページの配置を取り消すと、そのページは次のパブリッシュ・セッションで Web サイトから削除されます。

Web サイト上のページの配置を取り消すには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. ナビゲーション・ペインで、「サイト・ツリー」バーをクリックします。ペインに「サイト・ツリー」が表示されます。
3. 各ノードの横にあるプラス記号をクリックして、サイト階層を開きます。
4. 「配置済ページ」階層に移動して、配置を取り消すページを見つけます。
5. ページを「未配置ページ」ノード上にドラッグして、そのページの配置を取り消します。たとえば、**Home Running** ページの配置を取り消すには、そのページを次のように「未配置ページ」上にドラッグします。



ページを離すと、そのページが「未配置ページ」ノードの下に表示されます。配置を取り消したページにサブレベルが含まれる場合、そのサブレベル・ページの配置も取り消されます。



加えた変更を次のパブリッシュ・セッションで Web サイトに反映して更新するには、配置を取り消したページを承認する必要があります。

第 10 章

アセットのリンク

アセットを作成および更新する場合、アセットが同じサイト上にあるかぎり、複数の方法でアセットを相互にリンクできます。

この章には次の項が含まれます。

- [概要](#)
- [2つのアセットの直接リンク](#)
- [イメージ・アセットによる2つのアセットのリンク](#)
- [URL へのアセットのリンク](#)

概要

一部のアセットの作成ビューまたは編集ビューには、CKEditor 対応フィールドがあります。CKEditor では、CKEditor のツールバーにあるリンク・アイコンを使用してアセットを相互にリンクするオプションなど、様々なフォーマット・オプションがサポートされます。次の表に、次のリンク手順で使用する CKEditor ツールバーのアイコンを示します。

表 3: アセットをリンクするために使用する CKEditor アイコン

リンクのタイプ	アイコン	説明	リンクの手順についての参照先
2つのアセットの直接リンク	 アセット・リンクの追加	参照元アセットからターゲット・アセットへのハイパーリンクを作成するために使用します。	199 ページの「他のアセットへのハイパーテキスト・リンクを作成するには」
	 アセットを含む	あるアセットのプレビュー可能なコンテンツを別のアセットに動的に含めるために使用します。	202 ページの「2つのアセットを包含によりリンクするには」

表 3: アセットをリンクするために使用する CKEditor アイコン

リンクのタイプ	アイコン	説明	リンクの手順についての参照先
画像・アセットによる2つのアセットのリンク	 <ol style="list-style-type: none"> 1. アセットを含む 2. アセット・リンクの追加 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「アセットを含む」アイコンは、参照元アセットの CKEditor 対応フィールドに、(「ワーク」ツリーにある)「ブックマーク」ノードからの画像を含めるために使用します。注意: 目的の画像をブックマークしていない場合は、画像を検索するための検索機能を使用できます。 2. 画像を含めた後、別のアセットに画像をハイパーリンクするために「アセット・リンクの追加」アイコンを使用します。 	209 ページの「「ブックマーク」ノードからの画像を通じたリンク」
	 <ol style="list-style-type: none"> 1. 含める画像の選択 2. アセット・リンクの追加 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「含める画像の選択」アイコンは、画像・ピッカーから画像を選択し、参照アセットでの CKEditor 対応フィールドに含めるために使用します。 2. 画像を含めた後、ターゲット・アセットに画像をハイパーリンクするために「アセット・リンクの追加」アイコンを使用します。 	214 ページの「イメージ・ピッカーからの画像を通じたリンク」

表 3: アセットをリンクするために使用する CKEditor アイコン

リンクのタイプ	アイコン	説明	リンクの手順についての参照先
URL へのアセットのリンク	 リンク	<p>参照元アセットの CKEditor 対応フィールドに URL へのハイパーリンクを挿入するために使用します。</p> <p>また、「リンク」アイコンでは「電子メール」などの追加オプションが使用可能ですが、このガイドでは取り上げません。追加オプションの詳細は、次で CKEditor のドキュメントを参照してください。 http://docs.cksource.com</p>	219 ページの「URL へのアセットのリンク」

2つのアセットの直接リンク

この項には、次に示すように、2つのアセットをリンクするための前提条件となるステップおよび説明が含まれます。

- 他のアセットへのハイパーテキスト・リンクの作成

ハイパー・リンクによって結合する関連コンテンツとともに、2つのアセット(たとえば記事アセット)が含まれることがあります。メイン記事で作業している場合は、関連記事にハイパーテキスト・リンクを挿入するために、CKEditor ツールバーの「アセット・リンクの追加」アイコンを使用します。サイトの訪問者がメイン記事のコンテンツにアクセスする場合は、挿入されたハイパーテキスト・リンクをクリックして、関連記事のコンテンツをレンダリングできます。

- 2つのアセットの包含によるリンク

一般的に実行される CM 操作の 1 つに、手動でコンテンツをコピーすることなく、あるアセットから別のアセットにプレビュー可能なコンテンツを挿入することがあります。そのかわりに、コンテンツは参照により挿入されるので、ターゲット・アセット(コンテンツのソース)が変更されたときに、挿入ポイントで動的に更新できます。

このシナリオでは、アセットを挿入するために、CKEditor ツールバーの「アセットを含む」アイコンを使用します。これによって、プレビュー可能なコンテンツは、挿入ポイントで動的に描画されます。

「アセットを含む」を使用する場合、実際にはターゲット・アセットへのリンクを挿入しますが、ターゲット・アセットのプレビュー可能なコンテンツの形式でリンクを描画することになります。このリンクは、ターゲット・アセットを含めた後も残ります。したがってコンテンツは、挿入ポイントでは編集可能ではありませんが、ターゲット・アセット(コンテンツのソース)

が変更された場合に更新されます。更新されたコンテンツを表示するには、参照元アセットのツールバーの「リフレッシュ」() アイコンをクリックすることにより、参照元アセットを更新する必要があります。

これらの機能の使用可能な範囲は、サイト・デザイナーがカスタム・アセット設計の一部として実装されている方法に応じて異なります。たとえば、avisports サンプル・サイトに同梱されている記事アセット・タイプは、CKEditor で「本文」フィールドにおいて構成されています。したがって、「本文」フィールドでは、前述のリンク・タイプがサポートされます。

前提条件

アセットをリンクする前に、リンクが可能であることを確認する必要があります。この項をチェックリストとして使用してください。(必要に応じて、アセットの編集、プレビューおよび作成を行う方法を理解していることが前提になります。基本的な手順は、様々なステップで提供されています)。

参加アセット

この手順では、次の 2 つのアセットが関与し、両アセットが同じサイト上にあります。

- 参照元アセット (ここで、ターゲット・アセットへのリンクを作成します)
- ターゲット・アセット (リンクがクリックされるとレンダリングされます)

参照元アセット

- リンクを配置したフィールドに CKEditor が参照元アセットにより表示されます。CKEditor が表示されることを確認する手順が必要な場合、次の手順を完了します。

注意

新しい参照元アセットを作成する場合、この手順をアセットの作成ビューで開始できます。ただし、アセットを保存してから編集ビューで開くことをお勧めします (あるステップから別のステップに移ると既存のコンテキストが失われる危険性を回避するため)。

1. 参照元アセットを編集ビューで開きます。参照元アセットを検索する必要がある場合、次の手順を実行します。
 - a) 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - b) 検索結果のリストで、目的のアセットの名前を見つけて右クリックします。右クリック・メニューで「編集」を選択します

2. リンクを配置するフィールドに移動します。フィールドをクリックして、CKEditor が表示されることを確認します。

注意

アセットの編集ビューが開かれる際、デフォルトで CKEditor は自動的に表示されません。CKEditor を表示するために、フィールドをクリックします。CKEditor が表示されない場合、フィールドは CKEditor 対応ではなく、アセットはリンクできません。フィールドの対応については、システム管理者に問い合わせてください。

- 参照元アセットをパブリッシュする場合、リンクを配置するフィールドを含めて、アセットはプレビュー可能であることが必要です。(アセットの「テンプレート」フィールドに表示されたテンプレートのいずれかによって、参照元アセットをレンダリングできることを確認してください。アセットのプレビューの手順については、第 7 章「アセットのプレビュー」を参照してください)。

ターゲット・アセット

- ターゲット・アセットがプレビュー可能 (アセットの「テンプレート」フィールドに表示されるいずれかのテンプレートによってターゲット・アセットをレンダリングできることを確認します)。
- (オプション) ターゲット・アセットがリンクで容易に使用可能 (ターゲット・アセットがナビゲーション・ペインの「ワーク」ツリーにある「ブックマーク」ノードに配置されていることを確認します)。

注意

多数のターゲット・アセットをソース・アセットにリンクする場合に、「ブックマーク」ノードにターゲット・アセットを配置する方法が最も効率的です。1つのターゲット・アセットのみをソース・アセットにリンクする場合、ソース・アセットの編集ビューで作業中にターゲット・アセットを検索できます。(多くのアセットをソース・アセットにリンクする場合、各ターゲット・アセットの個別の検索を実行する必要があります)。ターゲット・アセットを検索する場合、ソース・アセットの編集ビューの右側に検索結果がドッキングされて表示されます。アセットを検索する方法の詳細は、140 ページの「アセットの検索」を参照してください。

1. ターゲット・アセットを見つけ、「ブックマーク」ノードに配置します。
 - a) 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - b) 検索結果のリストで、目的のアセットに移動して右クリックします。右クリック・メニューで「ブックマーク」を選択します。
2. 「ブックマーク」ノードにターゲット・アセットが表示されることを確認します。
 - a) ナビゲーション・ペインで、「ワーク」バーを選択します。

- b) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードに移動して開きます。
「ブックマーク」ノードの下にあるアセットのリストにターゲット・アセットが表示されることを確認します。

次の手順

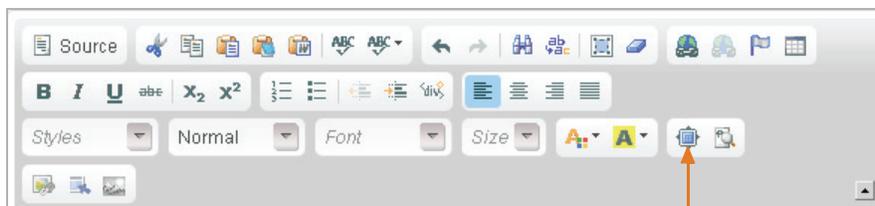
この時点で、アセットをリンクできます。アセットをリンクする方法に応じて、次のいずれかの項に進みます。

- 他のアセットへのハイパーテキスト・リンクを作成するには
- 2つのアセットを包含によりリンクするには

他のアセットへのハイパーテキスト・リンクを作成するには

1. 197 ページのすべての前提条件が満たされていることを確認します。
2. 参照元アセットを編集ビューで開きます。
3. ターゲット・アセットへのリンクを挿入します。
 - a. ナビゲーション・ペインで、「ワーク」バーを選択します。
 - b. 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードに移動して開きます。
ブックマークを付けたアセットのリストが「ブックマーク」ノードの下に表示されます。
 - c. 参照元アセットの該当フィールドで、ハイパーリンクするテキストを選択します。または、フィールドの任意の場所で新しいテキストを入力してから選択できます。

より快適に作業するために、CKEditor を最大化して作業領域を拡大できます。「最大化」アイコンをクリックします。



エディタのサイズの最大化

- d. CKEditor ツールバーで、「アセット・リンクの追加」アイコンをクリックします。



アセット・リンクの追加

埋込みリンクの挿入ダイアログ・ボックスが開きます。



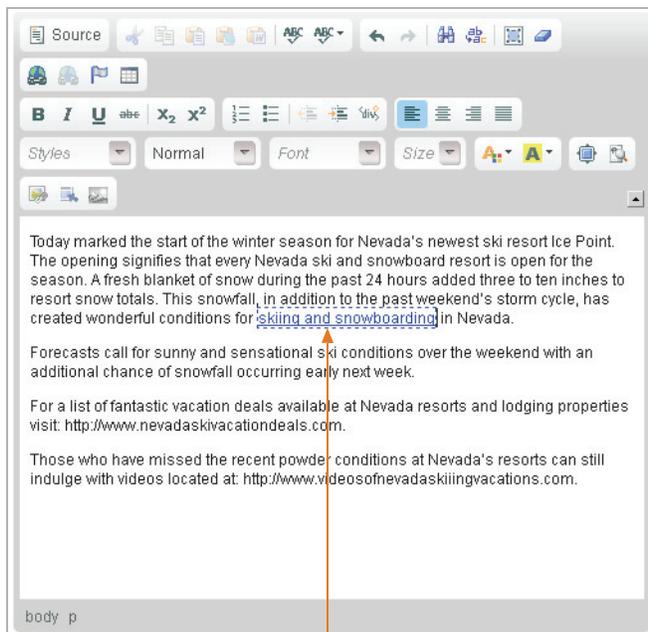
- 1) 「ワーク」ツリーで、展開された「ブックマーク」ノードに移動します。該当するアセットを選択して、埋込みリンクの挿入ダイアログ・ボックスのドラッグ・アンド・ドロップ・フィールドにドラッグします。次に、アセットをフィールドにドロップします。
このダイアログ・ボックスには、ターゲット・アセットに割り当て可能なレイアウト(テンプレート)が表示されます。
- 2) ターゲット・アセットに割り当てられるレイアウト(テンプレート)を選択します。ハイパーリンクをクリックすると、選択したレイアウト(テンプレート)によりターゲット・アセットがレンダリングされます。
- 3) 「ラッパー」フィールドで、ターゲット・アセットをレンダリングするラッパーを選択します。
- 4) (オプション)「リンク・アンカー」フィールドで、セカンダリ・リンクを指定します。ターゲット・アセットへのプライマリ・リンクがなんらかの方法で機能しない場合、セカンダリ・リンクが代用されます。
- 5) 「リンク・テキスト」フィールドで、ハイパーリンクにするために選択したテキストを確認します(199 ページの手順 c)。必要であれば、テキストを編集します。
- 6) テンプレート引数セクションに「名前」メニューおよび「値」メニューが表示される場合、ターゲット・アセットのプロパティを設定するために使用できます。必要なパラメータを一度に1つずつ選択してから値を入力し、「追加」をクリックします。

注意

「その他のパラメータ」セクションは、ターゲット・アセットに割り当てられたテンプレートのパラメータを開発者が構成している場合にのみ有効になります。そうでない場合は、テンプレート引数セクションに、テンプレート名前に引数が定義されていませんメッセージが表示されます。

- 7) 「適用」をクリックします。
- 8) 「OK」をクリックして、リンクを保存します。

ダイアログ・ボックスが閉じ、次の図に示すように、リンクしたテキストが青い枠線内に下線付きでフィールドに表示されます。



アセット・リンク
(青い枠線内に下線付きで示されています)

4. リンクされたテキストを右クリックし、コンテキスト・メニューを開きます。コンテキスト・メニューで次ができます。
 - リンク・アセットの切取り
 - リンク・アセットのコピー
 - プロパティの編集
 - リンク・アセットの除去

注意

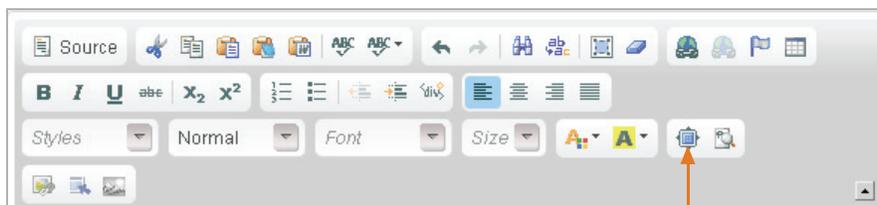
「リンク・アセットの除去」オプションにより、リンクのテキストではなく、リンク機能が除去されます。リンク機能をリストアするために、下線および青い枠線が再表示されるまで、**[Ctrl]** を押しながら **[Z]** を押します。

5. 参照元アセットを保存します。
 - a. CKEditor を拡張している場合は、「最大化」アイコンをクリックして CKEditor を縮小し、アセット全体を表示します。
 - b. 参照元アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。

6. 参照元アセットをプレビューすることにより、リンクをテストします。
 - a. 参照元アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。
 - b. ハイパーテキスト・リンクをクリックして、ターゲット・アセットを表示します。

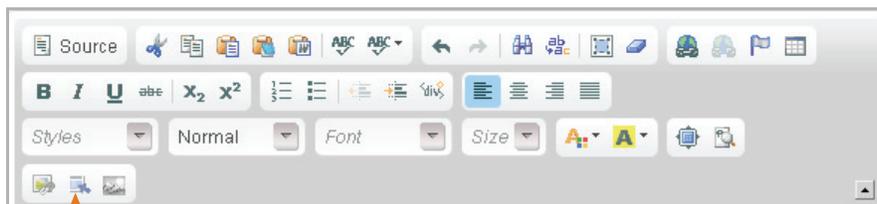
2つのアセットを包含によりリンクするには

1. 197 ページのすべての前提条件が満たされていることを確認します。
2. 参照元アセットを編集ビューで開きます。
3. ターゲット・アセットを含めます。
 - a. ナビゲーション・ペインで、「ワーク」バーを選択します。
 - b. 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードに移動して開きます。
ブックマークを付けたアセットのリストが「ブックマーク」ノードの下に表示されます。
 - c. 参照元アセットの該当フィールドで、ターゲット・アセットのプレビュー可能なコンテンツを含めるポイントにカーソルを配置します。
より快適に作業するために、CKEditor を最大化して作業領域を拡大できます。「最大化」アイコンをクリックします。



エディタのサイズの最大化

- d. CKEditor ツールバーで、「アセットを含む」アイコンをクリックします。



アセットを含む

含まれるアセットの挿入ダイアログ・ボックスが開きます。



- 1) 「ワーク」ツリーで、展開された「ブックマーク」ノードに移動します。該当するアセットを選択して、含まれるアセットの挿入ダイアログ・ボックスのドラッグ・アンド・ドロップ・フィールドにドラッグします。次に、アセットをフィールドにドロップします。
このダイアログ・ボックスには、ターゲット・アセットに割り当て可能なレイアウト(テンプレート)が表示されます。
- 2) ターゲット・アセットに割り当てるレイアウト(テンプレート)を選択します。選択したレイアウト(テンプレート)により、参照元アセットの挿入ポイントでターゲット・アセットがレンダリングされます。
- 3) テンプレート引数セクションに「名前」メニューおよび「値」メニューが表示される場合、含まれるアセットのプロパティを設定するために使用できます。必要なパラメータを一度に1つずつ選択してから値を入力し、「追加」をクリックします。

注意

テンプレート引数セクションは、含まれるアセットに割り当てられたテンプレートのパラメータを開発者が構成している場合にのみ有効になります。そうでない場合は、テンプレート引数セクションに、テンプレート名前に引数が定義されていませんメッセージが表示されます。

4) 「OK」をクリックします。

ダイアログ・ボックスが閉じ、選択したレイアウト(テンプレート)によってターゲット・アセットのプレビュー可能なコンテンツが参照元アセット内にレンダリングされます。

注意

含まれるアセットをクリックすると、そのすべてのコンテンツが選択されます。コンテンツの個々の部分は選択できません。コンテンツはターゲット・アセット(コンテンツのソース)でのみ編集可能です。

ターゲット・アセットが編集されると、参照元アセットに含まれるコンテンツは自動的に更新されます。ただしリアル・タイムに更新されません。更新を確認するには、参照元アセットを更新する必要があります。

4. これで、含まれるアセットを次の要領で使用できます。
 - a. 含まれるアセットを右クリックし、コンテキスト・メニューを開きます。コンテキスト・メニューで次ができます。
 - 含まれるアセットの切り取り
 - 含まれるアセットのコピー
 - プロパティの編集
 - 含まれるアセットの除去
 - b. 含まれるアセットをサイズ変更するかそのプロパティを表示する場合は、含まれるアセットをダブルクリックします。アセットをダブルクリックすると、プロパティ・ウィンドウが開きます。プロパティ・ウィンドウでアセットのサイズと位置合せを調整できます。
5. 参照元アセットを保存します。
 - a. CKEditor を拡張している場合は、「最大化」アイコンをクリックして CKEditor を縮小し、アセット全体を表示します。
 - b. 参照元アセットのツールバーで、「保存」アイコン()をクリックします。
6. 参照元アセットのツールバーで「プレビュー」()アイコンをクリックすることにより、含まれるアセットが適切にレンダリングされることを確認します。

イメージ・アセットによる2つのアセットのリンク

会社のロゴ(およびその他のイメージ)は、様々なタイプのコンテンツ(会社に関連するニュース、会社で提供されている製品やサービスなど)へのリンクとして頻繁に使用されています。WebCenter Sites により、あるアセットにイメージ・アセットを含めた後、そのイメージに別の(ターゲット)アセットに対するハイパーリンクを設定できます。イメージをクリックすると、ターゲット・アセットのプレビュー可能なコンテンツがレンダリングされます。

注意

2つのアセットをリンクするためにイメージが使用されている場合、そのイメージはイメージ・アセットの一部であることが必要です。

この項には、イメージ・アセットを通じて2つのアセットをリンクするための前提条件となるステップおよび説明が含まれます。この項の以降に進む前に、(ナビゲーション・ペインの「ワーク」ツリーにある)「ブックマーク」ノードまたはイメージ・ピッカーからイメージを含めるかどうかを決定します。

- **CKEditor を使用した「ブックマーク」ノードからのイメージを通じたリンク**

作業しているアセットの CKEditor 対応フィールドで、ブックマークしたイメージ・アセットを含める場合があります。CKEditor ツールバーから「アセットを含む」アイコンを使用してフィールドにイメージを含めます。「アセット・リンクの追加」アイコンを使用して、含まれるイメージを別のアセットにハイパーリンクします。

- **CKEditor を使用したイメージ・ピッカーからのイメージを通じたリンク**

イメージ・ピッカーが有効ではないアセットで作業する場合があります。イメージ・ピッカーからイメージ・アセットを選択する場合は、CKEditor でイメージ・ピッカーを起動できます。CKEditor ツールバーから「含めるイメージの選択」アイコンを使用することにより、イメージ・ピッカーにアクセスし、フィールドに含めるイメージを選択できます。「アセット・リンクの追加」アイコンを使用して、含まれるイメージをターゲット・アセットにハイパーリンクします。

注意

「含めるイメージの選択」アイコンは、サイトの開発者が有効にします。このアイコンが有効ではない場合、CKEditor ツールバーにグレー表示されます。この場合は、イメージ・アセットを通じて2つのアセットをリンクする代替の方法について、管理者に問い合わせるか、「ブックマーク」ノードからのイメージを通じたリンクを参照してください。

前提条件

アセットをリンクする前に、リンクが可能であることを確認する必要があります。この項をチェックリストとして使用してください。(必要に応じて、アセットの編集、プレビューおよび作成を行う方法を理解していることが前提になります。基本的な手順は、様々なステップで提供されています)。

参加アセット

この手順では、次の 3 つのアセットが関与し、3 つのアセットすべてが同じサイト上にあります。

- 参照元アセット (ここで、イメージ・アセットを含めてハイパーリンクします)
- イメージ・アセット (参照元アセットに含めます)
- ターゲット・アセット (イメージ・アセットのリンク先になります)

参照元アセット

- リンクを配置したフィールドに CKEditor が参照元アセットにより表示されます。CKEditor が表示されることを確認する手順が必要な場合、次の手順を完了します。

注意

新しい参照元アセットを作成する場合、この手順をアセットの作成ビューで開始できます。ただし、アセットを保存してから編集ビューで開くことをお勧めします (あるステップから別のステップに移ると既存のコンテキストが失われる危険性を回避するため)。

1. 参照元アセットを編集ビューで開きます。参照元アセットを検索する必要がある場合、次の手順を実行します。
 - a) 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - b) 検索結果のリストで、目的のアセットに移動して右クリックします。コンテキスト・メニューで「編集」を選択します。
2. イメージ・アセットを配置するフィールドに移動します。フィールドをクリックして、CKEditor が表示されることを確認します。

注意

アセットの編集ビューが開かれる際、デフォルトで CKEditor は自動的に表示されません。フィールドをクリックして、CKEditor を表示します。CKEditor が表示されない場合、リンクはフィールドで対応していません。CKEditor 対応フィールドについては、システム管理者に問い合わせてください。

- 参照元アセットをパブリッシュする場合、イメージを配置するフィールドを含めて、アセットはプレビュー可能であることが必要です。(アセットの「テンプレート」フィールドに表示されたテンプレートのいずれかによって、参照元アセットをレンダリングできることを確認してください。アセットのプレビューの手順については、第 7 章「アセットのプレビュー」を参照してください。

イメージ・アセット

- イメージ・アセットがプレビュー可能です。アセットの「テンプレート」フィールドに表示されるテンプレートのいずれかによって、**イメージのみがレンダリングされる**ことを確認してください。

注意

その他のコンテンツ (テキストなど) のレンダリングにより、リンク・プロセスの干渉および破損が生じることがあります。

- イメージ・ピッカーまたは (「ワーク」ツリーにある) 「ブックマーク」ノードからのイメージを含めるかどうかを決定します。
 - 「ブックマーク」ノードからのイメージを含めている場合。イメージ・アセットは、容易に含めることができます。リンク・プロセス中に容易に取得できるように、ナビゲーション・ペインの「ワーク」ツリーにある「ブックマーク」ノードにイメージ・アセットを配置します。
 - 1) イメージ・アセットを見つけ、それを「ブックマーク」ノードに配置します。
 - a) 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - b) 検索結果のリストで、目的のアセットに移動して右クリックします。コンテキスト・メニューで「ブックマーク」を選択します。
 - 2) 「ブックマーク」ノードにイメージ・アセットが表示されることを確認します。
 - a) ナビゲーション・ペインで、「ワーク」バーを選択します。
 - b) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードに移動して開きます。

イメージ・アセットは、「ブックマーク」ノードの下にあるアセットのリストに表示されます。
- イメージ・ピッカーからのイメージを含めている場合。含めるイメージは、イメージ・ピッカーから使用可能です (開発者が「含めるイメージの選択」に対してイメージ・ピッカーを有効にします)。開発者はまた、複数のイメージ・ピッカーが存在する場合に、「含めるイメージの選択」アイコンが選択されたときにレンダリングされるイメージ・ピッカーを決定します。

ターゲット・アセット

また、ターゲット・アセットはプレビュー可能であり、リンクで容易に使用できます。

- ターゲット・アセットは、アセットの「テンプレート」フィールドに表示されたテンプレートのいずれかによってレンダリングできます。
- (オプション) ターゲット・アセットは、リンク・プロセス中に容易に取得できるように、(「ワーク」ツリーの)「ブックマーク」ノードに配置されます。(「ブックマーク」ノードへのアセットの配置については、[207 ページの手順 1](#)を参照してください)。

注意

多数のターゲット・アセットをソース・アセットにリンクする場合に、「ブックマーク」ノードにターゲット・アセットを配置する方法が最も効率的です。1つのターゲット・アセットのみをソース・アセットにリンクする場合、ソース・アセットの編集ビューで作業中にターゲット・アセットを検索できます。(多くのアセットをソース・アセットにリンクする場合、各ターゲット・アセットの個別の検索を実行する必要があります)。ターゲット・アセットを検索する場合、ソース・アセットの編集ビューの右側に検索結果がドッキングされて表示されます。アセットを検索する方法の詳細は、[140 ページの「アセットの検索」](#)を参照してください。

次の手順

この時点で、アセットをリンクできます。イメージをどこから取得するかに応じて、次のいずれかの項に進みます。

- 「ブックマーク」ノードからのイメージを通じたリンク
- イメージ・ピッカーからのイメージを通じたリンク

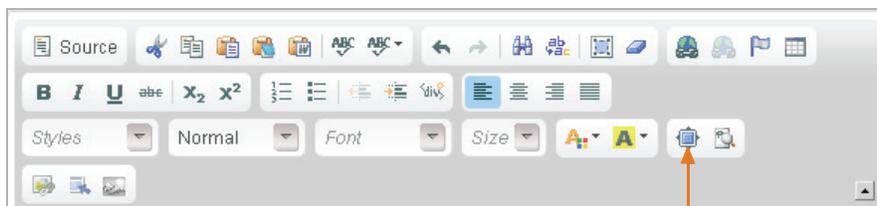
「ブックマーク」ノードからのイメージを通じたリンク

1. 206 ページのすべての前提条件が満たされていることを確認した場合、次のように続行します。

イメージ・アセットを参照元アセットに含めます。

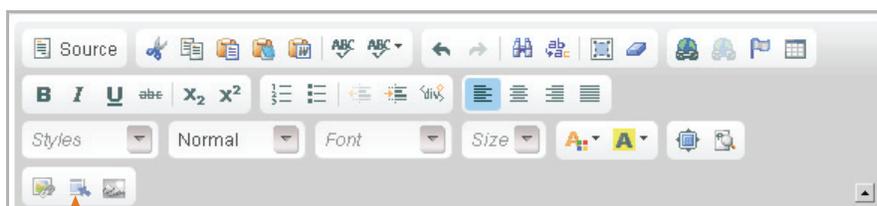
2. 参照元アセットを編集ビューで開きます。
3. イメージ・アセットを含めます。
 - a. ナビゲーション・ペインで、「ワーク」バーを選択します。
 - b. 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードに移動して開きます。
ブックマークを付けたアセットのリストが「ブックマーク」ノードの下に表示されます。
 - c. 参照元アセットの該当するフィールドで、イメージ・アセットをレンダリングするポイントにカーソルを配置します。

より快適に作業するために、CKEditor を最大化して作業領域を拡大できます。「最大化」アイコンをクリックします。



エディタのサイズの最大化

- d. CKEditor ツールバーで、「アセットを含む」アイコンをクリックします。



アセットを含む

含まれるアセットの挿入ダイアログ・ボックスが開きます。



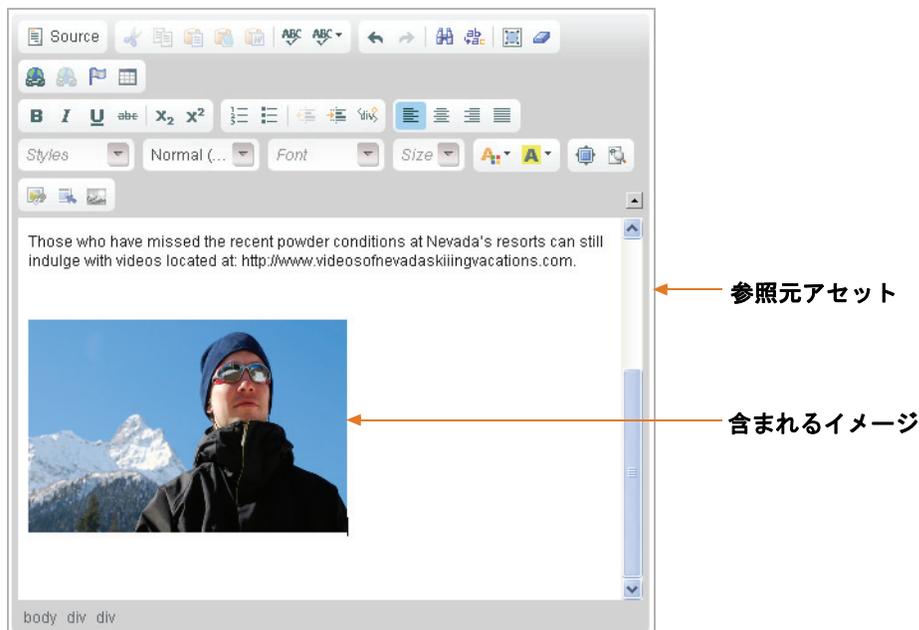
- 1) 「ワーク」ツリーで、展開された「ブックマーク」ノードに移動します。該当するアセットを選択して、含まれるアセットの挿入ダイアログ・ボックスのドラッグ・アンド・ドロップ・フィールドにドラッグします。次に、アセットをフィールドにドロップします。
このダイアログ・ボックスには、ターゲット・アセットに割り当て可能なレイアウト(テンプレート)が表示されます。
- 2) 含まれるアセットに割り当てるレイアウト(テンプレート)を選択します。選択したレイアウト(テンプレート)により、参照元アセットの挿入ポイントで含まれるアセットがレンダリングされます。
- 3) テンプレート引数セクションに「名前」メニューおよび「値」メニューが表示される場合、含まれるアセットのプロパティを設定するために使用できます。必要なパラメータを一度に1つずつ選択してから値を入力し、「追加」をクリックします。

注意

テンプレート引数セクションは、含まれるアセットに割り当てられたテンプレートのパラメータを開発者が構成している場合にのみ有効になります。そうでない場合は、テンプレート引数セクションに、テンプレート名前に引数が定義されていませんメッセージが表示されます。

- 4) 「OK」をクリックして、含まれるアセットを保存します。

ダイアログ・ボックスが閉じ、選択したレイアウト(テンプレート)によってイメージがフィールド内にレンダリングされます。

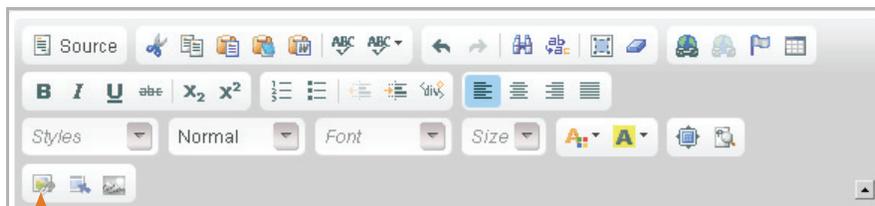


4. イメージについて気が変わった場合、またはその他の調整を行う場合は、リンクしたイメージを右クリックしてコンテキスト・メニューを開きます。コンテキスト・メニューで次ができます。
- 含まれるアセットの切取り
 - 含まれるアセットのコピー
 - プロパティの編集
 - 含まれるアセットの除去
5. 含まれるイメージをサイズ変更するかそのプロパティを表示する場合は、含まれるイメージをダブルクリックします。イメージをダブルクリックすると、プロパティ・ウィンドウが開きます。プロパティ・ウィンドウでアセットのサイズと位置合せを調整できます。

イメージ・アセットをターゲット・アセットにリンクします。

6. これで参照元アセットのフィールドでイメージがレンダリングされるので、イメージからターゲット・アセットへのハイパーリンクを作成します。
- ナビゲーション・ペインで、「ワーク」バーを選択します。
 - 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードに移動して開きます。
ブックマークを付けたアセットのリストが「ブックマーク」ノードの下に表示されます。
 - 参照元アセットのフィールドで、先ほど挿入したイメージを選択します。

- d. CKEditor ツールバーで、「アセット・リンクの追加」アイコンをクリックします。



アセット・リンクの追加

埋込みリンクの挿入ダイアログ・ボックスが開きます。



- 1) 「ワーク」ツリーで、展開された「ブックマーク」ノードに移動します。該当するアセットを選択して、埋込みリンクの挿入ダイアログ・ボックスのドラッグ・アンド・ドロップ・フィールドにドラッグします。次に、アセットをフィールドにドロップします。
このダイアログ・ボックスには、ターゲット・アセットに割り当て可能なレイアウト (テンプレート) が表示されます。
- 2) ターゲット・アセットに割り当てるレイアウト (テンプレート) を選択します。ハイパーリンクをクリックすると、選択したレイアウト (テンプレート) によりターゲット・アセットがレンダリングされます。
- 3) 「ラッパー」ドロップダウン・フィールドで、ターゲット・アセットをレンダリングするラッパーを選択します。
- 4) (オプション) 「リンク・アンカー」フィールドで、セカンダリ・リンクを指定します。ターゲット・アセットへのプライマリ・リンクがなんらかの方法で機能しない場合、セカンダリ・リンクが代用されます。
- 5) 含まれるイメージをターゲット・アセットにリンクしない場合は、含まれるイメージをテキストに置き換えることを選択できます。「リンク・テキスト」フィールドで、ハイパーリンクするテキストを入力します。イメージは、このフィールドに入力したテキストに置き換えられます。

- 6) テンプレート引数セクションに「名前」メニューおよび「値」メニューが表示される場合、ターゲット・アセットのプロパティを設定するために使用できます。必要なパラメータを一度に 1 つずつ選択してから値を入力し、「追加」をクリックします。

注意

テンプレート引数セクションは、ターゲット・アセットに関連するテンプレートのパラメータを開発者が構成している場合のみ有効になります。そうでない場合は、テンプレート引数セクションに、テンプレート名前に引数が定義されていませんメッセージが表示されます。

- 7) 「適用」をクリックします。
- 8) 「OK」をクリックして、リンクを保存します。
ダイアログ・ボックスが閉じ、フィールドに含めたイメージが青い枠線内にハイパーリンクとして表示されます。
7. この時点で、右クリックしてコンテキスト・メニューを開くことにより、リンクしたイメージを操作できます。コンテキスト・メニューで次のことができます。
 - リンク・アセットの切り取り
 - リンク・アセットのコピー
 - プロパティの編集
 - リンク・アセットの除去

注意

「リンク・アセットの除去」オプションにより、含まれるイメージではなく、リンク機能が除去されます。リンク機能をリストアするには、青い枠線が再表示されるまで、[Ctrl] を押しながら [Z] を押します。

- a. リンクされたイメージの前後にテキストを入力します。
8. 参照元アセットを保存します。
 - a. CKEditor を拡張している場合は、「最大化」アイコンをクリックして CKEditor を縮小し、アセット全体を表示します。
 - b. 「保存」() アイコンをクリックします。

リンクしたイメージをテストします。

9. 参照元アセットがプレビュー可能である場合は、アセットのツールバーの「プレビュー」() アイコンをクリックして、リンクしたイメージをプレビューおよびテストします。イメージをクリックして、ターゲット・アセットをレンダリングします。

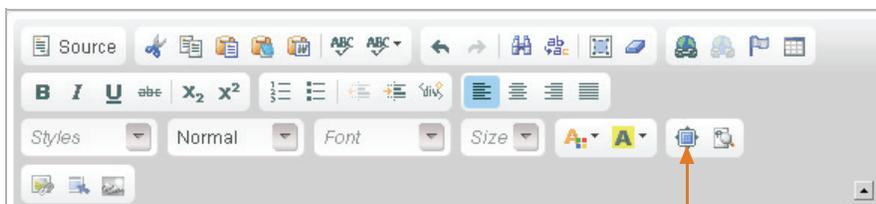
イメージ・ピッカーからのイメージを通じたリンク

1. 206 ページのすべての前提条件が満たされていることを確認した場合、次のように続行します。

イメージ・アセットを参照元アセットに含めます。

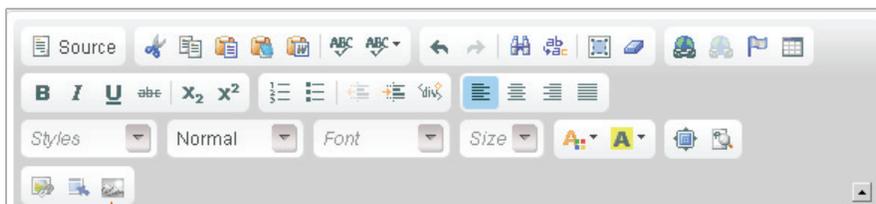
2. 参照元アセットを編集ビューで開きます。
3. イメージを含めます。
 - a. 参照元アセットの該当フィールドで、イメージを含めるポイントにカーソルを配置します。

より快適に作業するために、CKEditor を最大化して作業領域を拡大できます。「最大化」アイコンをクリックします。



エディタのサイズの最大化

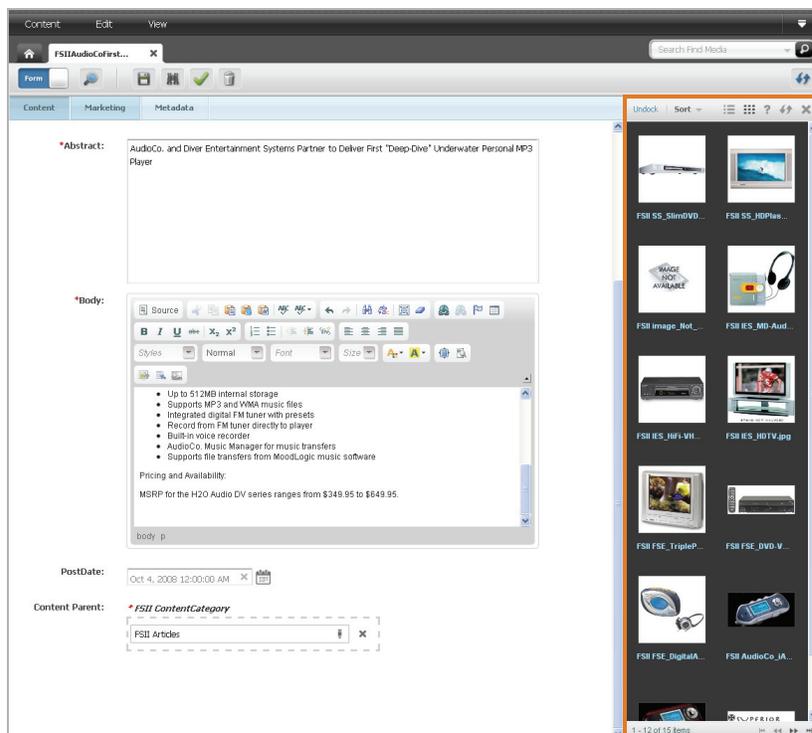
- b. CKEditor ツールバーで、「含めるイメージの選択」アイコンをクリックします。



含めるイメージの選択

次に示すように、イメージ・ピッカーおよび含まれるアセットの挿入ウィンドウが開きます。

- 参照元アセットの「編集」ビューの右側で、イメージ・ピッカーが開きます。



参照元アセットの「編集」ビューの右側にドッキングされた検索結果リストに表示されたイメージ・ピッカー。

- 含まれるアセットの挿入ポップアップ・ウィンドウが開きます。



- 1) イメージ・ピッカーに移動します (参照元アセットの「編集」ビューの右側にドッキングされています)。該当するイメージ・アセットを選択して、含まれるアセットの挿入ポップアップ・ウィンドウのドラッグ・アンド・ドロップ・フィールドにドラッグします。次に、イメージ・アセットをフィールドにドロップします。

このウィンドウには、イメージ・アセットに割り当て可能なレイアウト (テンプレート) が表示されます。

- 2) イメージ・アセットに割り当てられるレイアウト (テンプレート) を選択します。選択したレイアウト (テンプレート) により、参照元アセットの挿入ポイントでイメージ・アセットがレンダリングされます。

- 3) テンプレート引数セクションに「名前」メニューおよび「値」メニューが表示される場合、含まれるイメージ・アセットのプロパティを設定するために使用できます。必要なパラメータを一度に 1 つずつ選択してから値を入力し、「追加」をクリックします。

注意

テンプレート引数セクションは、イメージ・アセットに関連するテンプレートのパラメータを開発者が構成している場合にのみ有効になります。そうでない場合は、テンプレート引数セクションに、テンプレート名前に引数が定義されていませんメッセージが表示されます。

- 4) 「OK」をクリックして、含まれるイメージ・アセットを保存します。ポップアップ・ウィンドウが閉じ、選択したテンプレートによってイメージが参照元アセット内にレンダリングされます。
4. これで、含まれるイメージを次の要領で使用できます。

含まれるイメージを右クリックし、コンテキスト・メニューを開きます。コンテキスト・メニューで次ができます。

 - 含まれるアセットの切り取り
 - 含まれるアセットのコピー
 - プロパティの編集
 - 含まれるアセットの除去
5. 含まれるイメージをサイズ変更するかそのプロパティを表示する場合は、含まれるイメージをダブルクリックします。イメージをダブルクリックすると、プロパティ・ウィンドウが開きます。プロパティ・ウィンドウでアセットのサイズと位置合せを調整できます。

イメージ・アセットをターゲット・アセットにリンクします。

6. これでフィールドでイメージがレンダリングされるので、イメージからターゲット・アセットへのハイパーリンクを作成します。
 - a. ナビゲーション・ペインで、「ワーク」バーを選択します。
 - b. 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードに移動して開きます。

ブックマークを付けたアセットのリストが「ブックマーク」ノードの下に表示されます。
 - c. 参照元アセットのフィールドで、先ほど挿入したイメージを選択します。

- d. CKEditor ツールバーで、「アセット・リンクの追加」アイコンをクリックします。



アセット・リンクの追加

含まれるリンクの挿入ポップアップ・ウィンドウが開きます。



- 1) 「ワーク」ツリーで、展開された「ブックマーク」ノードに移動します。該当するアセットを選択して、含まれるリンクの挿入ウィンドウのドラッグ・アンド・ドロップ・フィールドにドラッグします。次に、アセットをフィールドにドロップします。
このウィンドウには、ターゲット・アセットに割り当て可能なレイアウト (テンプレート) が表示されます。
- 2) ターゲット・アセットに割り当てるレイアウト (テンプレート) を選択します。ハイパーリンクされたイメージをクリックすると、選択したレイアウト (テンプレート) によりターゲット・アセットがレンダリングされます。
- 3) 「ラッパー」ドロップダウン・メニューで、ターゲット・アセットをレンダリングするラッパーを選択します。
- 4) (オプション) 「リンク・アンカー」フィールドで、セカンダリ・リンクを指定します。ターゲット・アセットへのプライマリ・リンクがなんらかの方法で機能しない場合、セカンダリ・リンクが代用されます。

- 5) テンプレート引数セクションに「名前」メニューおよび「値」メニューが表示される場合、ターゲット・アセットのプロパティを設定するために使用できます。必要なパラメータを一度に 1 つずつ選択してから値を入力し、「追加」をクリックします。

注意

テンプレート引数セクションは、ターゲット・アセットに割り当てられたテンプレートのパラメータを開発者が構成している場合にのみ有効になります。そうでない場合は、テンプレート引数セクションに、テンプレート名前に引数が定義されていませんメッセージが表示されます。

- 6) 「OK」をクリックして、リンクを保存します。
7. この時点で、リンクしたイメージは次のように操作できます。
 - a. リンクされたイメージを右クリックし、コンテキスト・メニューを開きます。コンテキスト・メニューで次ができます。
 - リンク・アセットの切り取り
 - リンク・アセットのコピー
 - プロパティの編集
 - リンク・アセットの除去

注意

「リンク・アセットの除去」オプションにより、含まれるイメージではなく、リンク機能が除去されます。リンク機能をリストアするには、青い枠線が再表示されるまで、[Ctrl] を押しながら [Z] を押します。

- b. リンクされたイメージの前後にテキストを入力します。
8. 参照元アセットを保存します。
 - a. CKEditor を拡張している場合は、「最大化」アイコンをクリックして CKEditor を縮小し、アセット全体を表示します。
 - b. 参照元アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。

リンクしたイメージをテストします。

9. 参照元アセットがプレビュー可能である場合は、アセットのツールバーの「プレビュー」 () アイコンをクリックして、リンクしたイメージをプレビューおよびテストします。イメージをクリックして、ターゲット・アセットをレンダリングします。

URL へのアセットのリンク

CKEditor を使用すると、適切な Web サイトの URL へのハイパーテキスト・リンクを作成することにより、WebCenter Sites アセットを URL にリンクできます。URL へのリンクは、WebCenter Sites データベースの独自のフィールドには格納されません。リンクは、WebCenter Sites アセットの CKEditor 対応フィールドで直接作成できますが、アセットとして管理できません。したがって、URL へのリンクを作成するユーザーが手動で URL を検証する必要があります。

この機能の使用可能な範囲は、CKEditor がカスタム・アセット・タイプに対して構成されているかどうかに応じて異なります。たとえば、avisports サンプル・サイトに同梱されている記事アセット・タイプは、CKEditor で「本文」フィールドにおいて構成されています。したがって「本文」フィールドでは、前述のように URL へのリンクを作成できます。この項の以降では、アセットを URL にリンクする方法について説明します。

URL へのリンクを作成するには

1. 参照元アセット (ここで、URL を指定します) を見つけて、その編集ビューを開きます。参照元アセットを検索する必要がある場合、次の手順を実行します。
 - a. 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定して、虫めがねボタン (🔍) をクリックします。
 - b. 検索結果のリストで、目的のアセットに移動して右クリックします。コンテキスト・メニューで「編集」を選択します。

注意

新しい参照元アセットを作成する場合、この手順をアセットの作成ビューで開始できます。ただし、アセットを保存してから編集ビューで開くことをお勧めします (あるステップから別のステップに移ると既存のコンテキストが失われる危険性を回避するため)。

2. リンクを配置するフィールドに移動します。フィールドをクリックして、CKEditor が表示されることを確認します。

注意

アセットの編集ビューが開かれる際、デフォルトで CKEditor は自動的に表示されません。フィールドをクリックして、CKEditor を表示します。CKEditor が表示されない場合、リンクはフィールドで対応していません。CKEditor 対応フィールドについては、システム管理者に問い合わせてください。

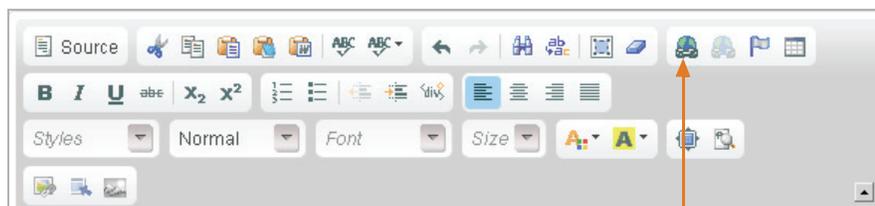
3. 該当フィールドで、ハイパーリンクにするテキストを選択します。または、フィールドの任意の場所で新しいテキストを入力してから選択できます。

より快適に作業するために、CKEditor を最大化して作業領域を拡大できます。「最大化」アイコンをクリックします。



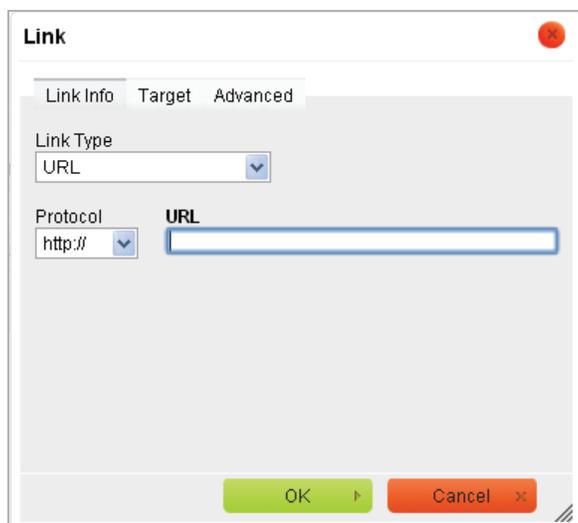
エディタのサイズの最大化

4. CKEditor ツールバーで、「リンク」アイコンをクリックします。



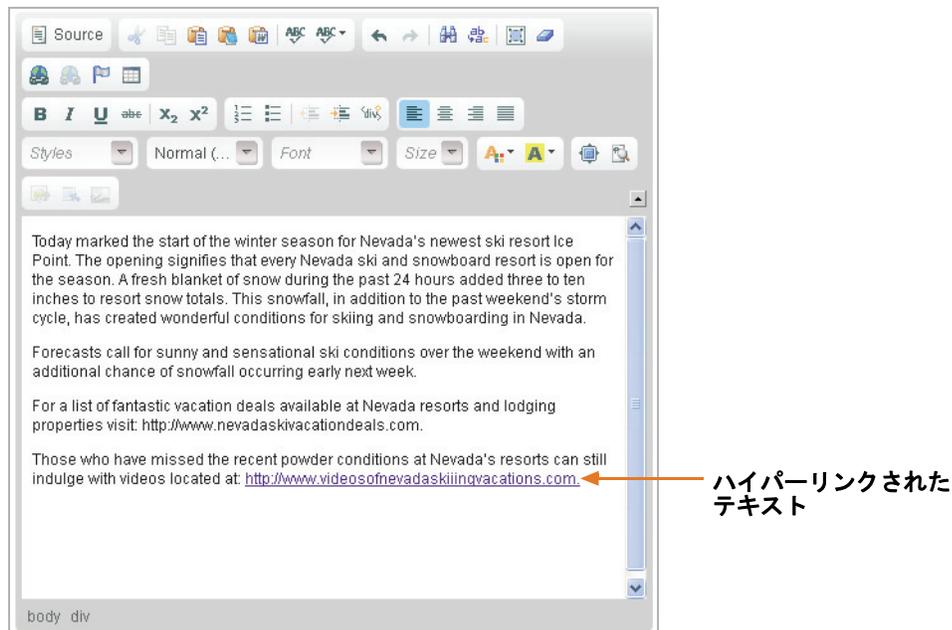
リンク

次のポップアップ・ウィンドウが開きます。



- a. 「リンク・タイプ」フィールドで、「URL」を選択します。
- b. 「URL」フィールドで、リンクする Web サイトの URL を入力します。

- c. 「OK」をクリックして、選択したテキストをリンクに変換します。
ポップアップ・ウィンドウが閉じ、次の図に示すように、ハイパーリンクされたテキストが下線付きでフィールドに表示されます。



5. リンクの調整を行う場合は、リンクを右クリックしてそのコンテキスト・メニューを開きます。コンテキスト・メニューで次ができます。
- 切り取り
 - コピー
 - リンクの編集
 - リンク解除

注意

「リンク解除」オプションにより、リンクのテキストではなく、リンク機能が除去されます。リンク機能をリストアするには、下線が再表示されるまで、**[Ctrl]** を押しながら **[Z]** を押します。

6. 参照元アセットを保存します。
- a. CKEditor を拡張している場合は、「最大化」アイコンをクリックして CKEditor を縮小し、アセット全体を表示します。
 - b. 参照元アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
7. リンクを表示およびテストします。
- a. 参照元アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。
 - b. 参照元アセットのプレビューで、リンクをクリックして対応する Web ページをブラウザのウィンドウで開きます。

第 11 章

多言語アセットでの作業

この章では、ローカライズされたアセットおよび多言語アセット・セットでの作業方法を示します。

この章は、次の項で構成されています。

- [概要](#)
- [アセットのロケール指定の設定または変更](#)
- [アセットの翻訳の作成](#)
- [アセットの使用可能な翻訳の確認](#)
- [多言語セットのマスター・アセットの変更](#)

概要

多くの場合、組織では、様々な地域に対応する 1 つ以上のローカライズされた Web サイトを管理しています。このようなサイトでは、対応する地域の 1 つ以上のローカル言語でコンテンツをホストします。その場合、1 つのコンテンツを翻訳して複数の言語、つまりロケールを作成できます。

サイトで 2 つ以上のロケールが設定されている場合は、そのロケールによって有効になる言語にアセットを翻訳できます。あるアセットの 1 つ目の翻訳を作成すると、そのアセットおよび翻訳は**多言語セット**となり、ソース・アセットは自動的にそのセットの**マスター・アセット**に指定されます。セットのマスターとして指定されたアセットは、セット内の別のアセットをマスターに指定しないかぎり、マスターのままになります。

その後の翻訳は、マスター・アセットまたは既存の翻訳のいずれかから作成できます。マスター・アセットとその翻訳は、多言語セットのメンバーであることを示すため、互いにリンクされます。各メンバーには、同じコンテンツが別々の言語で含まれます。セット内に翻訳が 1 つ以上存在する場合は、マスター・アセットを削除できません。マスター・アセットを削除するには、リンクされている翻訳をすべて削除する必要があります。

1 つのアセットの翻訳は、使用可能な言語ごとに 1 つだけです。たとえば、あるアセットにフランス語 (カナダ) の翻訳がある場合、同じ多言語セット内でフランス語 (カナダ) の翻訳をもう 1 つ作成することはできません。

アセットの翻訳を作成するには、次の手順を実行する必要があります。

1. 翻訳のターゲット言語を選択します。WebCenter Sites で次の処理が行われます。
 - a. ソース・アセットのコピーを作成します。
 - b. 選択に従ってコピーのターゲット言語を設定します。
 - c. コピーをマスター・アセットにリンクして、コピーをマスターの翻訳としてマークします。これがこのアセットの 1 つ目の翻訳である場合は、多言語セットが作成され、ソース・アセットはマスターに指定されます。
2. ソース・コンテンツを翻訳して、翻訳済のコンテンツを翻訳アセットに格納します。
3. (オプション) ソース・アセットに関連付けられているアセットを翻訳して、翻訳済バージョンをソース・アセットの翻訳に関連付けます。アセットの翻訳を作成するときの、アセットの関係の処理方法については、[225 ページの表 4](#) を参照してください。

注意

この章の手順を実行する前に、次の点に注意してください。

- WebCenter Sites のインタフェースにロケール関連の機能が含まれるのは、管理者が多言語をサポートするように設定しているサイトのみです。
- 英語以外の文字を使用する言語でコンテンツを処理する予定がある場合は、該当する文字での入力や表示が可能なようにマシンを構成する必要があります。

不明な点がある場合は、WebCenter Sites 管理者に問い合わせてください。

表 4: 多言語アセットのアセット関係の動作

関係のタイプ	動作
アセットのアソシエーション	アソシエーションを含むアセットの翻訳を作成すると、ソース・アセットに関連付けられているすべてのアセットが、翻訳とも自動的に関連付けられます。その後、関連付けられているアセットを翻訳し、翻訳済バージョンを翻訳済の親アセットに関連付けることができます。
静的リスト推奨	新しいロケールで静的リスト推奨を作成すると、新しい推奨アセットでは、ソース・アセットのメンバー・アセットが保持されます。その後、メンバー・アセットを翻訳し、翻訳済バージョンを新しい推奨アセットに配置して、古いコレクションから引き継いだメンバー・アセットを置き換えることができます。
アセット・タイプの属性	アセット・タイプの属性を使用したアソシエーションが含まれているアセットを翻訳すると、ソース・アセットに関連付けられているすべてのアセットが、翻訳とも自動的に関連付けられます。その後、関連付けられているアセットを翻訳し、翻訳済バージョンを翻訳済の親アセットに関連付けることができます。
埋込みリンク	埋込みリンクには影響はありません。埋込みリンクを含むアセットが翻訳された場合は、リンクされたコンテンツの対応する翻訳 (存在する場合) をポイントするように、リンクを手動で更新する必要があります。

詳細は、170 ページの「アセットのアソシエーションでの作業」を参照してください。

注意

ローカライズされたアセットを別のサイトと共有する場合は、このアセットに割り当てられているロケールをターゲット・サイトで有効にする必要があります。ロケールについて不明な点がある場合は、WebCenter Sites 管理者に問い合わせてください。

アセットのロケール指定の設定または変更

アセットの翻訳を作成する前に、アセットにロケール指定を割り当てる必要があります。(通常、ロケールの指定はアセットを作成するときに割り当てます。)

ロケール指定のないアセットの翻訳を作成する場合は、次の手順を実行してから、次のセクション、[227 ページの「アセットの翻訳の作成」の手順 5](#)に進んでください。

必要に応じて、ロケール指定がすでに割り当てられているアセットの指定も変更できます。たとえば、管理者がアセットのロケールをさらに分割することにした場合(フランス語をカナダのフランス語とベルギーのフランス語に分割する場合など)は、新しいロケール指定を使用するようにアセットを更新できます。

注意

割当てが可能なロケールは、WebCenter Sites 管理者がサイト上で有効にしているもののみです。

アセットのロケール指定を設定または変更するには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. ロケール指定を設定または変更するアセットを見つけて開きます。次のいずれかを実行します。
 - 目的のアセットを検索して開きます。
 - 1) 「**検索**」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、**虫めがね**ボタン()をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、目的のアセットの名前をクリックします。
 - 以前にこのアセットにブックマークを付けた場合は、「**ブックマーク**」ノードからアセットを開きます。
 - 1) 「**ワーク**」ツリーで、「**ブックマーク**」ノードを開きます。(「**ワーク**」ツリーが閉じられている場合は、「**ワーク**」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、目的のアセットの名前をダブルクリックします。
3. アセットのロケール指定を設定または変更します。
 - a. アセットが Web モードで表示される場合は、アセットのツールバーの「**モード**」スイッチをクリックしてフォーム・モードに切り替えます。
 - b. アセットのツールバーで、「**編集**」アイコン()をクリックします。
 - c. フォーム・セクション・セレクトで「**メタデータ**」をクリックして、フォームの「**メタデータ**」セクションに切り替えます。

アセットの検索の詳細は、[140 ページの「アセットの検索」](#)を参照してください。

アセットの「**調査**」ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。

- d. 「ロケール」ドロップダウン・メニューで、必要なロケールを選択します。
4. アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
選択したロケールにアセットが割当てられます。
5. アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「編集」→「調査」を選択します。タブに、アセットの「調査」ビューが、フォーム・モードで表示されます。アセットを調査するときは、内容の変更はできません。
6. (オプション) 次の手順でアセットの翻訳を作成する場合は、次のセクション、[227 ページの「アセットの翻訳の作成」の手順 5](#)に進みます。

アセットの翻訳の作成

注意

- アセットの翻訳を作成する前に、アセットにロケール指定を割り当てておく必要があります。(アセットのロケールは、アセット・フォームの「メタデータ」セクションにリストされており、通常はアセットを作成するユーザーによって割当てられます。) アセットにロケールが指定されていない場合は、[226 ページの「アセットのロケール指定の設定または変更」](#)の手順を実行してから、この手順の[手順 5](#)に進んでください。
- あるアセットの 1 つ目の翻訳を作成すると、ソース・アセットと翻訳で構成される多言語セットも自動的に作成されます。ソース・アセットは、自動的に、多言語セットのマスター・アセットに指定されます。

アセットの翻訳を作成するには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. ロケール指定を設定または変更するアセットを見つけて開きます。次のいずれかを実行します。
 - 目的のアセットを検索して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、目的のアセットの名前をクリックします。
 - 以前にこのアセットにブックマークを付けた場合は、「ブックマーク」ノードからアセットを開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じられている場合は、「ワーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、目的のアセットの名前をダブルクリックします。

アセットの検索の詳細は、140 ページの「アセットの検索」を参照してください。

アセットの「調査」ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) を表示するタブが開きます。

3. アセットが Web モードで表示される場合は、アセットのツールバーの「モード」スイッチをクリックしてフォーム・モードに切り替えます。
4. フォーム・セクション・セクタで「メタデータ」をクリックして、フォームの「メタデータ」セクションに切り替えます。
5. 翻訳のターゲット言語を設定します。「翻訳」フィールドで、必要なロケールの「アクション」列にある「翻訳」リンクを選択します。

Article: FSIIAbout

Description: About FirstSiteII

ID: 1124813172330

Filename: Not Available

Path: Not Available

Status: Edited

Start Date: Not Available

End Date: Not Available

Locale: en_US

Name	Locale	Action
Not Available	de_DE	Translate
FSIIAbout	en_US	(Master Asset)
Not Available	es_ES	Translate
Not Available	fr_FR	Translate

Content Definition: FSII Article

Referenced by: [Show](#)

Created: Tuesday, August 23, 2005 12:09:48 PM EDT by firstsite

Modified: Tuesday, August 23, 2005 1:52:24 PM EDT by firstsite

注意

「翻訳」フィールドが表示されない場合は、ここで終了してください。アセットを翻訳する権限がないか、サイトで設定されているロケールが2つ未満です。ロケールまたは権限について不明な点がある場合は、WebCenter Sites 管理者に問い合せてください。

新しいタブが開き、翻訳済アセットの「作成」ビューが表示されます。翻訳済アセットの名前は、(新規ロケール) アセット名_ランダムに生成された番号の翻訳として、タブに表示されます。

管理者が、すべての新規アセットが作成後にワークフローに配置されるようにアセット・タイプを構成している場合は、「割当て先の選択」ダイアログ・ボックスが表示されます。

必要なロールごとに 1 人以上のユーザーを選択し、「割当て先の設定」をクリックします。これらのユーザーはだれでも、ワークフロー・プロセスの次の手順を完了できます。詳細は、第 14 章「ワークフロー」を参照してください。

6. 翻訳の「作成」ビューで、次の手順を実行します。

a. 「名前」フィールドで、アセットのシステム生成名を、新しいアセットをソース・アセットの翻訳として一意に識別する名前に置き換えます。

アセットに名前を付ける際は、次の規則に注意してください。

- 名前には、1 から 64 文字の英数字を使用する必要があります。
- 次の文字は許可されていません。一重引用符 (')、二重引用符 (")、セミコロン (;)、コロンの (:)、疑問符 (?)、パーセント記号 (%)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)。
- 名前には空白を含めることができますが、空白で始まる名前は指定できません。

b. 次の手順でアセットを翻訳します。

作業内容を保存しながら進んでください。「保存」アイコン()をクリックして、アセット処理の進行状況を保存します。「保存」アイコンをクリックすると、WebCenter Sites では、データベースに対して変更がコミットされ、アセットは作業を続行できるように「編集」ビューで開いたままになります。

不明なフィールドやフォーム・セクションがある場合は、開発者または WebCenter Sites 管理者に相談してください。

- 1) フィールドごとに、コピーしたコンテンツを適切な翻訳に置き換えます。フォーム内のフィールドへの入力方法の詳細は、72 ページの手順 b を参照してください。
- 2) フォーム・セクション・セクタで次のセクションを選択して、必要に応じて各フィールドに値を入力します。手順を繰り返して、すべての必須セクション(アスタリスクが付けられたセクション)に値を入力します。

7. 次のいずれかを実行して、アセットを保存します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」 → 「保存」を選択します。次の場合を除き、WebCenter Sites でアセットがデータベースに保存されません。
 - 1 つ以上のセクションの 1 つ以上の必須フィールドが未入力
 - 1 つ以上のセクションに対する入力値または選択値が無効いずれかの条件が満たされている場合、WebCenter Sites では、問題のフィールドを示すエラー・メッセージが表示されます。エラーを修正してから、アセットを保存します。
8. アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「編集」 → 「調査」を選択します。タブに、アセットの「調査」ビューが、フォーム・モードで表示されます。アセットを調査するときは、内容の変更はできません。
9. (オプション) アセットがワークフローに事前に割り当てられていないときに、ワークフロー機能を使用する場合は、270 ページの「ワークフローへのアセットの割当て」の説明に従って、アセットをワークフロー・プロセスに割り当てることができます。
10. (オプション) アセットをパブリッシュした場合の外観を確認したい場合は、プレビューできます。次の手順を実行します。
 - a. アセットのツールバーで、「プレビュー」アイコン () をクリックします。
 - b. アセットにテンプレートが割り当てられていない場合は、「レイアウトの選択」ポップアップ・ウィンドウが開きます。目的のレイアウトを選択して「適用」をクリックします。

アセットのプレビューがタブに表示されます。アセットのプレビュー手順の詳細は、第 7 章「アセットのプレビュー」を参照してください。
 - c. アセットのプレビューが完了したら、アセットのツールバーで「戻る」アイコン () をクリックします。
11. 翻訳アセットに関連付けられているアセットを確認して、関連付けられたアセットのうち、ターゲット言語に翻訳する必要のあるものを特定します。
 - a. フォームの「コンテンツ」セクションで、関連付けられたアセットが表示されているフィールドに移動します。
 - b. 翻訳済アセットに関連付けられているアセットを確認して、翻訳が必要なものを特定します。

アセットの翻訳を作成すると、ソース・アセットに関連付けられているアセットが、翻訳アセットと自動的に関連付けられます。

関連付けられたアセットの性質によっては、翻訳して、翻訳済バージョンを、前述の手順で作成した翻訳アセットに関連付ける必要があります。たとえば、製品のイメージにはローカライズ・バージョンは必要ないものの、製品のデータ・シートは翻訳が必要な場合があります。

多言語アセットに関する、WebCenter Sites でのアセット関係の処理方法については、225 ページの表 4 を参照してください。

- c. (オプション) 手順 b で、翻訳アセットに関連付けられている 1 つ以上のアセットを翻訳する必要があると判断した場合は、この手順を繰り返して翻訳が必要なアセットをそれぞれ翻訳してから、172 ページの「アセットの関連付け」の手順に従って、翻訳済バージョンを、前述の手順で作成した翻訳アセットに関連付けます。

アセットの使用可能な翻訳の確認

あるアセットに関して、特定の言語の翻訳が存在するかどうかを確認するには、アセットを開いて、フォームの「メタデータ」セクションの「翻訳」フィールドを調べます。特定の言語の必要な翻訳が存在する場合は、「翻訳」フィールドで名前をクリックして開きます。

アセットの特定の翻訳が存在するかどうかを確認するには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 翻訳を確認するアセットを見つけて開きます。次のいずれかを実行します。
 - 目的のアセットを検索して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、目的のアセットの名前をクリックします。
 - 以前にこのアセットにブックマークを付けている場合は、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じられている場合は、「ワーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、目的のアセットの名前をダブルクリックします。

アセットの検索の詳細は、140 ページの「アセットの検索」を参照してください。

アセットの「調査」ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) を表示するタブが開きます。

3. アセットが Web モードで表示される場合は、アセットのツールバーの「モード」スイッチをクリックしてフォーム・モードに切り替えます。
4. フォーム・セクション・セレクタで「メタデータ」をクリックして、フォームの「メタデータ」セクションに切り替えます。

5. 「翻訳」フィールドの内容を確認します。特定の言語の翻訳が存在する場合は、翻訳アセットの名前がその言語の横に表示されます。

Name	Locale	Action
Home (de)	de_DE	Make Master
FSIIHome	en_US	(Master Asset)
Home (es)	es_ES	Make Master
Home (fr)	fr_FR	Make Master

マスター・アセット (英語)

翻訳アセット (スペイン語)

注意

「翻訳」フィールドの必要な言語の横に翻訳アセットの名前が表示されない場合、そのアセットは、該当する言語にまだ翻訳されていません。このアセットは、[227 ページ](#)の「アセットの翻訳の作成」の手順に従って翻訳できます。

6. (オプション) アセットの特定の翻訳を開いて確認する場合は、「翻訳」フィールドで、必要な翻訳アセットの名前をクリックします。

多言語セットのマスター・アセットの変更

あるアセットの 1 つ目の翻訳を作成すると、ソース・アセットが、アセット自体とその翻訳から成る多言語アセット・セットのマスター・アセットになります。ソース・アセットの翻訳がさらに作成されると、多言語セットは拡大します。

セット内の別のメンバーをマスターに指定する必要がある場合(たとえば、多言語セットを別の言語のサイトにコピーする場合など)は、任意のメンバーの「調査」ビューから処理できます。

次の手順は、セットの現在のマスター・アセットの「調査」ビューから新しいマスター・アセットを設定する方法を示しています。

多言語セットのマスター・アセットを変更するには：

注意

次のことに注意してください。

- 多言語セットのマスター・アセットは、アセットをフォーム・モードで表示したときに、「メタデータ」セクションの「翻訳」フィールドに表示されます。
- リビジョン追跡されている多言語セットの場合は、セットのすべてのメンバーを手動でチェックアウトしてから、セットのマスター・アセットを変更する必要があります。手順については、[249 ページの「アセットのチェックアウト」](#)を参照してください。

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 翻訳を確認するアセットを見つけて開きます。次のいずれかを実行します。
 - 目的のアセットを検索して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、目的のアセットの名前をクリックします。
 - 以前にこのアセットにブックマークを付けている場合は、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じられている場合は、「ワーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、目的のアセットの名前をダブルクリックします。

アセットの検索の詳細は、[140 ページの「アセットの検索」](#)を参照してください。

アセットの「調査」ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。

3. アセットが Web モードで表示される場合は、アセットのツールバーの「モード」スイッチをクリックしてフォーム・モードに切り替えます。

4. フォーム・セクション・セレクトで「**メタデータ**」をクリックして、フォームの「**メタデータ**」セクションに切り替えます。
5. 「翻訳」フィールドで、必要な翻訳アセットの「アクション」列にある「**マスターの作成**」リンクを選択します。
タブに、新しいマスター・アセットの「調査」ビューが、フォーム・モードで表示されます。

第 12 章

パブリッシュの承認

WebCenter Sites を使用する目的は、Web サイトにコンテンツをパブリッシュし、サイト訪問者がそのコンテンツを読み取ったり、対話したりできるようにすることです。アセットは、パブリッシュする前に、パブリッシュに向けて承認する必要があります。

この章では、アセットのパブリッシュを承認するための手順について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [概要](#)
- [承認タスク](#)

概要

アセットは、パブリッシュする前に、パブリッシュに向けて承認する必要があります。承認が必要となっているのは、依存アセットのパブリッシュ準備が整う前にアセットがパブリッシュされないようにするためです。これにより、配信システムでのリンク切れが防止されます。アセットの承認は、管理者によってサイトに設定されている 1 つ以上の宛先に対して実行します。複数の宛先に対応して、複数のパブリッシュ方法を使用できるようになっています。(各種の宛先と使用可能なパブリッシュ方法の詳細は、『Oracle WebCenter Sites 管理者ガイド』を参照。)

アセット承認は、手動または自動で実行できます。手動のアセット承認は、アセットのツールバーで「承認」アイコン()をクリックすることで実行できます。また、「コンテンツ・ツリー」または検索結果リストから、アセットを直接手動で承認することもできます。フォーム・モードを使用すると、プライマリ・アセット(操作中のアセット)を承認できます。Web モードでは、プライマリ・アセットと、プライマリ・アセットの Web ページ・ビューに表示されるすべてのアセットを承認できます。承認しているアセットの中に、承認を必要とする依存アセットを持つものがある場合は、依存アセットのリストが表示され、一括承認できるようになっています。

アセットは、自動承認することもできます。たとえば、管理者は、ワークフロー内のアセットを最終ステップで自動承認し、1 つ以上の宛先にパブリッシュするようなワークフロー・プロセスを構成できます。

依存性

依存性は、アセットをパブリッシュできるかどうかを決定する条件です。アセット間になんらかのアソシエーション(関連付け)がある場合、そこにはアセットの依存性が存在します。たとえば、「製品」アセットが「データシート」アセットとアソシエーションを持っているとします。「データシート」アセットは、3 つの「イメージ」アセットとアソシエーションを持っています。これらのイメージのうち 2 つは、「記事」アセットとアソシエーションを持っています。これらすべてのアセット間の親子の依存性は、このようなツリー階層によって形成されます。

アセットの承認ステータスは、アセットを安全にパブリッシュできるかどうか、つまり、どこにも依存性の矛盾が存在しないかどうかを示しています。アセットの承認ステータスは、そのアセットの依存関係(特定のアセットと関連付けられたすべてのアセットの承認ステータスを含む)と、そのような関連アセットの依存関係によって決定されます。

承認時およびパブリッシュ時の WebCenter Sites でのアセットの依存性の計算方法の詳細は、『Oracle WebCenter Sites 管理者ガイド』のパブリッシングに関する章を参照してください。

承認状態

アセット間に依存性があること、および依存性の本質にも起因して、アセットの承認には**承認状態**の概念が関係します。たとえば、"保留"は、アセットのパブリッシュが承認されたが、その依存アセットが未承認である場合の承認状態です。このような場合、そのアセットは、依存アセットが承認されるまでパブリッシュされません。

次の表に、アセットに対して設定されるすべての承認状態と、各状態の意味を示します。

状態	意味
承認済	(情報)アセットは、そのアセットまたは依存アセットのいずれか (Exact 依存関係) が編集されている場合を除き、この宛先に対する次回のパブリッシュ・セッションでパブリッシュされます。
保留	(アクションが必要)アセットは、依存アセットが承認されるまで保留されます。
承認が必要	(アクションが必要)アセットを承認する必要があります。「承認」をクリックして、承認プロセスを開始します。

アセットがパブリッシュできない承認状態になった場合は、承認を必要とする依存アセットのリストが表示されます。すべてのアセットが承認されると、パブリッシュできるようになります。

WebCenter Sites で使用されている承認とパブリッシュのメカニズムの詳細は、『Oracle WebCenter Sites 管理者ガイド』を参照してください。

承認タスク

この項では、アセットに対して実行できる次の承認タスクについて説明します。

- アセットのパブリッシュの承認
- アセットの承認ステータスの確認
- パブリッシュ・キューからのアセットの除去

アセットのパブリッシュの承認

次の手順は、アセットのパブリッシュを手動で承認する方法を説明しています。アセットのパブリッシュを承認する前に、まずアセットをプレビューする必要があります。

アセットのパブリッシュを承認するには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. パブリッシュを承認するアセットを見つけます。
 - 現在アセットが割り当てられている場合は、次の手順を実行します。
 - 1) 「ホーム」() タブをクリックして、ダッシュボードにアクセスします。
 - 2) ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
ダッシュボードの「割当て」セクションに、ユーザーに割り当てられているすべてのアセットが表示されます。
 - 3) アセットのリストで、承認するアセットの名前をクリックします。
アセットの調査ビューが表示されているタブが開きます。
 - 現在アセットが割り当てられていない場合は、次の手順を実行します。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン() をクリックします。
アセットを検索する方法の詳細は、140 ページの「アセットの検索」を参照してください。
 - 2) 検索結果リストで、次のいずれかを実行します。
 - 承認する前にアセットを調査する場合は、目的のアセットに移動して、アセット名をクリックします。
タブが開き、そのアセットの調査ビューが表示されます(フォーム・モードまたは Web モード)。
 - 検索結果リストからアセットを承認する場合は、承認する 1 対上のアセットを選択 (**[Ctrl]** を押しながらクリック) します。

3. 目的となる、アセットのパブリッシュ先を選択します。次のいずれかを行います。
 - アセットまたは検索のタブのツールバーで、「承認」アイコン (👍) をクリックします。アイコンの下に表示されるメニューで、目的のパブリッシュの宛先を選択します。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」→「承認」の順に選択し、*目的のパブリッシュの宛先を選択します。*

注意

- アセットは、一度に1つの宛先に対してのみ承認できます。アセットを追加の宛先に対して承認する場合は、この手順を繰り返してください。
- コンテンツが、システムからどこに(宛先)、どのようにパブリッシュされるか(パブリッシュ方法)については、管理者に問い合わせてください。

次のいずれかが行われます。

- フォーム・モードで表示されているアセットを承認する場合や、検索結果リストからアセットを承認する場合は、選択した宛先に対する承認対象として選択したアセットの詳細を記載した表が、タブに表示されます。

Name	Type	Last Published	Status	Detail	Action
Home (Skiing theme)	Page	Not yet published	Needs Approval	Not yet approved for publish.	Approve

プライマリ・アセットのパブリッシュの詳細

- Web モードで表示されているアセットを承認する場合は、選択した宛先に対するプライマリ・アセットの詳細と、プライマリ・アセットの Web ページ・ビューに表示されるすべてのアセットの詳細を記載した表が、タブに表示されます。

Name	Type	Last Published	Status	Detail	Action
Home (Skiing theme)	Page	Not yet published	Needs Approval	Not yet approved for publish.	Approve
Ski Banner (large)	Image	Not yet published	Needs Approval	Not yet approved for publish.	Approve
Cross Country Skier Male	Image	Not yet published	Needs Approval	Not yet approved for publish.	Approve
Skier Yellow	Image	Not yet published	Needs Approval	Not yet approved for publish.	Approve
Gold Goggles	Image	Not yet published	Needs Approval	Not yet approved for publish.	Approve
Ski Mountain View	Image	Not yet published	Needs Approval	Not yet approved for publish.	Approve
25 Nevada Resorts Serving Snow	Article	Not yet published	Needs Approval	Not yet approved for publish.	Approve

プライマリ・アセットのパブリッシュの詳細

プライマリ・アセットの Web ページ・ビューに表示されたアセットのパブリッシュの詳細

次に示す手順に進み、アセットを承認します。この時点でどのアセットも承認しない場合は、「戻る」をクリックします。

4. アセットと依存性 (存在する場合) を承認します。次のいずれかを行います。
 - アセットとすべての依存性を一度に承認する場合は、次の手順を実行します。
 - 1) 表内で、承認するアセットを含む行が選択 (強調表示) されていることを確認します。表内のすべてのアセットを承認する場合は、「すべて選択」をクリックします。表内の特定のアセットのみを承認する場合は、([Ctrl] を押しながら) 承認するアセットを含む行をクリックして強調表示します。
 - 2) 「依存性による承認」をクリックします。
 - 承認が成功した場合は、アセットとそのすべての依存性が選択した宛先へのパブリッシュに向けて承認されます。表の「ステータス」列のアセットのステータスが「承認済」に変化します。
 - アセットに承認できない依存性がある (たとえば、1 つ以上の依存アセットが別のユーザーにチェックアウトされている) 場合は、アセットのステータス (表の「ステータス」列内) が「保留」に変化し、承認をブロックしているアセットの数が「詳細」列に表示されます。
 - 承認する前に依存性を確認する場合は、次のいずれかを実行します。
 - 複数のアセットを承認する場合は、次の手順を実行します。
 - 1) 表内で、承認するアセットを含む行が選択 (強調表示) されていることを確認します。表内のすべてのアセットを承認する場合は、「すべて選択」をクリックします。表内の特定のアセットのみを承認する場合は、([Ctrl] を押しながら) 承認するアセットを含む行をクリックして強調表示します。
 - 2) 「承認」をクリックします。
 - 表内のアセットを 1 つずつ承認する場合は、表の「アクション」列で、承認するアセットの横にある「承認」をクリックします。
- 次のいずれかが行われます。
- アセットに依存性がない場合は、アセットのステータス (表の「ステータス」列内) が「承認が必要」から「承認済」に変化します。
 - アセットにパブリッシュを妨げている依存性がある場合は、アセットのステータス (表の「ステータス」列内) が「保留」に変化し、依存アセットの数が「詳細」列に表示されます。依存アセットを承認するには、次の手順を実行します。

- 1) 「詳細」列で、「*n* ブロッキング・アセット」(*n* は数字) のリンクをクリックすると、依存アセットのリストが表示されます。

Delivery
Assets pending approval for publish
No existing publish event

Select All How Does It Work? ?

Name	Type	Last Published	Status	Detail	Action
Home (Skiing theme)	Page	Not yet published	Held	6 blocking assets	Unapprove

Approve Approve With Dependencies

Dependencies for Home (Skiing theme)

Select All How Does It Work? ?

Name	Type	Last Published	Status	Detail	Action
25 Nevada Resorts Serving Snow	Article	Not yet published	Needs Approval		Approve
Skier Yellow	Image	Not yet published	Needs Approval		Approve
Ski Banner (large)	Image	Not yet published	Needs Approval		Approve
Cross Country Skier Male	Image	Not yet published	Needs Approval		Approve
Gold Goggles	Image	Not yet published	Needs Approval		Approve
Ski Mountain View	Image	Not yet published	Needs Approval		Approve

Approve

- 2) 次に示す手順に進んで、アセットを承認します (または、「戻る」をクリックします)。
- 3) 依存アセットのリストの上にある「すべて選択」をクリックして、リスト内のすべてのアセットを選択します。次に「承認」をクリックします。

WebCenter Sites により、依存アセットが承認され、その依存性が計算されます。依存アセットの中に、そのアセット固有の依存性を持っているものがある場合は、その依存アセットの依存性が表示されます。再度「すべて選択」をクリックして、「承認」をクリックします。すべてのアセットのすべての依存性が承認されるまで、この処理を続行します。

すべての依存性が承認されると、「保留」のアセットのステータスが「承認済」に変化します。これで、アセットとその依存性が、選択した宛先へのパブリッシュに向けて承認されました。

5. (オプション) アセットを承認した宛先に関して管理者がパブリッシュ・イベントを構成している場合は、次のように、「宛先のイベント・パブリッシュ予定」リンクが表示されます。

Delivery
Assets pending approval for publish
[Publish event scheduled for destination](#)

Hours: Every 6 Hours
Minutes: Every 5 Minutes of each selected hour
Dates: Any
Days: Sunday, Tuesday, Thursday, Saturday
Months: Monthly

Select All How Does It Work? ?

Type	Last Published	Status	Detail	Action
Page	Not yet published	Approved	Approved and ready to publish.	Unapprove

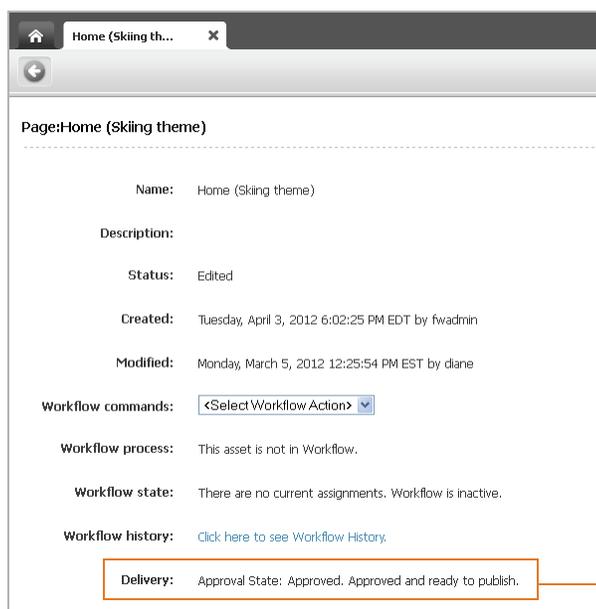
Approve Approve With Dependencies

このリンクをポイントすると、選択した宛先のパブリッシュ・イベント・スケジュールのサマリーが表示されます。パブリッシュ・セッションの詳細は『Oracle WebCenter Sites 管理者ガイド』を参照してください。

アセットの承認ステータスの確認

アセットの承認ステータスを確認するには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 承認ステータスを表示するアセットを見つけて開きます。
 - 現在アセットが割り当てられている場合は、次の手順を実行します。
 - 1) 「ホーム」() タブをクリックして、ダッシュボードにアクセスします。
 - 2) ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
ダッシュボードの「割当て」セクションに、ユーザーに割り当てられているすべてのアセットが表示されます。
 - 3) アセットのリストで、承認するアセットの名前をクリックします。
アセットの調査ビューが表示されているタブが開きます。
 - 現在アセットが割り当てられていない場合は、次の手順を実行します。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン() をクリックします。
アセットを検索する方法の詳細は、140 ページの「アセットの検索」を参照してください。
 - 2) 検索結果のリストで、目的のアセットに移動して名前をクリックします。
アセットの調査ビューが表示されているタブが開きます。
3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します。
タブに、アセットの承認ステータス情報を示す、アセットのステータス・サマリー画面が表示されます。



作業サイト内に用意されたパブリッシュ先ごとのアセットのパブリッシュ・ステータス

4. 目的のパブリッシュ宛先名に移動して、アセットの承認状態を確認します。アセットの承認状態の詳細は、[237 ページの「承認状態」](#)を参照してください。

パブリッシュ・キューからのアセットの除去

承認したアセットをパブリッシュしない場合は、そのアセットを**非承認**にできません。非承認にすると、そのアセットは(その特定の宛先用の)パブリッシュ・キューから除去され、ステータスは「承認が必要」に変更されます。非承認アセットがパブリッシュ・キュー内の1つ以上のアセットの子(参照先アセット)である場合は、その親(参照元)アセットもその宛先のパブリッシュ・キューから除去され、承認状態が「保留」に変更されます。

パブリッシュ・キューからアセットを除去するには：

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. パブリッシュ・キューから除去するアセットを見つけて開きます。
 - 現在アセットが割り当てられている場合は、次の手順を実行します。
 - 1) 「ホーム」() タブをクリックして、ダッシュボードにアクセスします。
 - 2) ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
ダッシュボードの「割当て」セクションに、ユーザーに割り当てられているすべてのアセットが表示されます。
 - 3) アセットのリストで、承認するアセットの名前をクリックします。
アセットの調査ビューが表示されているタブが開きます。
 - 現在アセットが割り当てられていない場合は、次の手順を実行します。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン()をクリックします。
アセットを検索する方法の詳細は、[140 ページの「アセットの検索」](#)を参照してください。
 - 2) 検索結果のリストで、目的のアセットに移動して名前をクリックします。
アセットの調査ビューが表示されているタブが開きます。
3. アセットを非承認にします。
 - a. 次のいずれかを行います。
 - アセットのツールバーで、「承認」アイコン()をクリックします。アイコンの下に表示されるメニューで、目的のパブリッシュの宛先を選択します。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」→「承認」の順に選択し、**目的のパブリッシュの宛先を選択**します。

タブに、選択した宛先用のアセットの詳細を記載した表が表示されます。

FSII Destination (RealTime)
Assets pending approval for publish (1)
No existing publish event

Select All How Does It Work? ?

Name	Type	Status	Detail	Action
FSIIFSEPresentsOnyxXVSSeries	Content	Approved		Unapprove

Approve Approve With Dependencies

- b. 「アクション」列で、「非承認」をクリックします。

パブリッシュ・キューからそのアセットが除去されます。表の「ステータス」列のアセットの承認状態が「承認が必要」に変化します。そのアセットがパブリッシュ・キュー内の1つ以上のアセットの子(参照先アセット)である場合は、その親(参照元)アセットもキューから除去され、承認状態が「保留」に変更されます。

第 13 章

リビジョン追跡

リビジョン追跡はオプションの機能であり、サイト上のアセット・タイプに関して WebCenter Sites 管理者が有効にする必要があります。リビジョン追跡を使用すると、アセットに対する変更を追跡および制御できます。

リビジョン追跡を使用すると、次のことが可能です。

- 一度に 1 人のユーザーのみがアセットを編集または削除できるように制限します。
- 過去のバージョンのアセットおよびそのアセットを処理したユーザーを追跡して表示します。
- アセットを前のバージョンにリストア (ロールバック) します。

この章では、リビジョン追跡およびアセットの追跡に使用する手順について、avisports サンプル・サイトの例を使用して説明します。avisports サンプル・サイトでは、リビジョン追跡はデフォルトでは有効になっていません。

この章は、次の項で構成されています。

- [概要](#)
- [アセットのチェックアウト](#)
- [チェックアウトの確認](#)
- [チェックアウトを元に戻す](#)
- [アセットのチェックイン](#)
- [リビジョン履歴の確認](#)
- [前のバージョンに戻す \(ロールバック\)](#)

注意

該当するリビジョン追跡について不明点や懸念がある場合は、管理者に問い合せてください。

概要

リビジョン追跡を使用すると、アセットをチェックアウトまたはロックできます。アセットをチェックアウトすると、そのアセットはロックされ、他のユーザーによる編集や削除ができなくなります。アセットの処理が終了したら、変更内容を含めてアセットを再度チェックインするか、チェックアウトを元に戻してアセットへの変更を破棄するかを選択できます。どちらの場合も、アセットは再度他のユーザーが変更可能になります。ただし、特定のユーザーに対してチェックアウトされているアセットも、他のユーザーが表示や検索することや、問合せやコレクションによって取得することはできません。

リビジョン追跡が有効なときは、アセットをチェックアウトおよびチェックインすることにより、他のユーザーが編集または削除できるかどうかを制御します。アセットは手動でもチェックアウトできますが、**WebCenter Sites** でチェックアウト・プロセスを自動的に処理するようにも設定できます。**WebCenter Sites** でアセットを自動的にチェックアウトする場合でも、作業終了後にはアセットを手動でチェックインしなおす必要があります。

チェックアウトとチェックイン

リビジョン追跡が有効なときは、次のコマンドでアセットへのアクセスを制御します。

- **チェックアウト**: アセットは、一度に 1 人のユーザーのみがチェックアウトできます。他のユーザーがそのアセットをチェックアウトして変更しようとするすると、**WebCenter Sites** では、アセットが他のユーザーによってロックされていると通知されます。

ワークフローでアセットを割り当てられているユーザーがアセットをチェックアウト済の場合、アセットをチェックインしなおすまでは、そのユーザーは割当てを終了できません。

チェックアウトされている (特定のユーザーによってロックされている) アセットは、チェックイン (ロック解除) されるまでは、パブリッシュの承認ができません。

- **チェックアウトを元に戻す**: アセットをチェックアウトし、その後、変更を保存しないことにした場合は、チェックアウトをキャンセル、つまり元に戻します。この場合、アセットは単純にロック解除され、変更はアセットの最新バージョンに戻されて、新しいバージョンは保存されません。
- **チェックイン**: チェックアウトしたアセットをチェックインします。チェックイン後のアセットは、他のユーザーが処理できます。また、ワークフローでそのアセットを割り当てられているユーザーは、割当てを終了できます。

チェックアウトしたアセットをチェックインすると、チェックインのレコードが作成され、アセットの最後に保存したバージョンが新しいバージョンとして保持されます (保持されるバージョンの数は管理者が設定)。

もう 1 つのオプションは、アーカイブ・バージョンを残すためにアセットをチェックインし、チェックアウトしたままにすることです。このオプションを使用すると、バージョンを作成しつつ、アセットを自分にチェックアウトしたままにできます。

自分にチェックアウトされていないアセットを編集すると、**WebCenter Sites** で、そのアセットがそのユーザーに自動的にチェックアウトされます。編集したア

セットを保存しても、WebCenter Sites によってアセットがチェックインされることはありません。したがって、行った変更を保存後は、新しいバージョンのアセットを手動でチェックインしなおす必要があります。同様に、自分にチェックアウトされたアセットに対する変更を保存しない場合は、チェックアウトを手動で元に戻す必要があります。

自分にチェックアウトされていないアセットを削除すると、WebCenter Sites で、そのアセットがそのユーザーに対して削除用にチェックアウトされます。これにより、WebCenter Sites から削除しようとしているアセットを他のユーザーが処理できなくなります。削除されたアセットは、システム内に存在しないため、チェックアウトされることはありません。

ロックされたアセットの解放

リビジョン追跡が有効なときにアセットを編集すると、そのアセットは自動的にそのユーザーにチェックアウトされます。このため、WebCenter Sites インタフェースで作業をしているときに、アセットを誤ってチェックアウトする可能性があります。特定のユーザーにチェックアウトされたアセットは、ロックされ、他のユーザーが処理できなくなります。誤ってチェックアウトしたアセットを他のユーザーが処理できなくなることを避けるために、ダッシュボードの「チェックアウト」セクション(「ホーム」タブ上)で自分にチェックアウトされているアセットを確認し、ロックする必要のないアセットをチェックインします(または、データベースに対して変更をコミットしない場合は、アセットのチェックアウトを元に戻します)。

アセットを自動的にチェックアウトする機能

次の表で、アセットを自動的にチェックアウトするアセット管理機能について説明します。

機能	リビジョン制御への影響
作成	新しいアセットを作成するとすぐに、そのアセットは作成したユーザーにチェックアウトされます。
編集	アセットをチェックアウトし、他のユーザーが編集または削除できないようにします。
コピー	アセットの新しいコピーを作成します。コピー操作中は、ソース・アセットはチェックアウトできません。アセットのコピーを作成するとすぐに、そのコピーは作成したユーザーにチェックアウトされます。

ロールバックとリビジョン履歴

チェックアウトしたアセットをチェックインすると、WebCenter Sites では、アセットの新しいバージョンが保存され、前のバージョンのリストに追加されます。後から、前のバージョンのいずれかにアセットをリストアできます。また、アセットのリビジョン履歴を調べることもできます。

注意

特定のアセットに関して保存するリビジョンの量は制限可能です (管理者の構成による)。したがって、アセットの早期のバージョンは上書きされる可能性があります。この場合、上書きされたバージョンは、アセットのリビジョン履歴に表示されません。上書きされたバージョンにアセットをロールバックすることはできません。

- **ロールバック**とは、アセットを前のバージョンにリストアすることです。チェックアウトしているアセットがある場合は、そのアセットを前のバージョンにロールバックできます (そのバージョンが上書きされていない場合)。ロールバックにより、アセットのコンテンツはリストアされますが、ステータス (作成済、編集済など) は前のバージョンの時点にリセットされず、ワークフローのステータスにも影響はありません。そのアセットがワークフローの一部である場合は、適切な権限を持つユーザーなら誰でも、前のバージョンにリストアできます。
- **リビジョン履歴**。どのユーザーも、アセットのリビジョン履歴のリストを表示し、調査できます。リビジョン履歴には、該当するアセットを現在チェックアウトしているユーザーも適宜表示されます。アセットをチェックアウトしたユーザーがコメントを入力した場合は、リビジョン履歴表の「コメント」セクションで確認できます。

Revision History Report

	Version	Date	User	Comments
	5	3/28/12 5:17 PM	fwadmin	
	4	3/28/12 5:17 PM	fwadmin	Reviewed content.
	3	3/28/12 5:17 PM	fwadmin	
	2	3/28/12 5:17 PM	fwadmin	Modified content.
	1	3/28/12 4:00 PM	SYSTEM	

アセットのチェックアウト

この項では、アセットを手動でチェックアウトする方法を説明します。

アセットをチェックアウトするには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. チェックアウトするアセットを見つけて開きます。次のいずれかを実行します。
 - 目的のアセットを検索して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - 2) 検索結果のリストで、目的のアセットの名前をクリックします。
 - 以前にこのアセットにブックマークを付けている場合は、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じられている場合は、ナビゲーション・ペインの「ワーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、目的のアセットの名前をダブルクリックします。

アセットの検索の詳細は、第 6 章「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの「調査」ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)を表示するタブが開きます。

3. アセットをチェックアウトします。

注意

該当するアセットが別のユーザーにチェックアウトされている場合、アセットの編集やチェックアウトを行おうとすると、次のようなエラー・メッセージが表示されます。



- フォーム・モードで作業している場合は、アセットのツールバーで、「チェックアウト」アイコン () をクリックします。

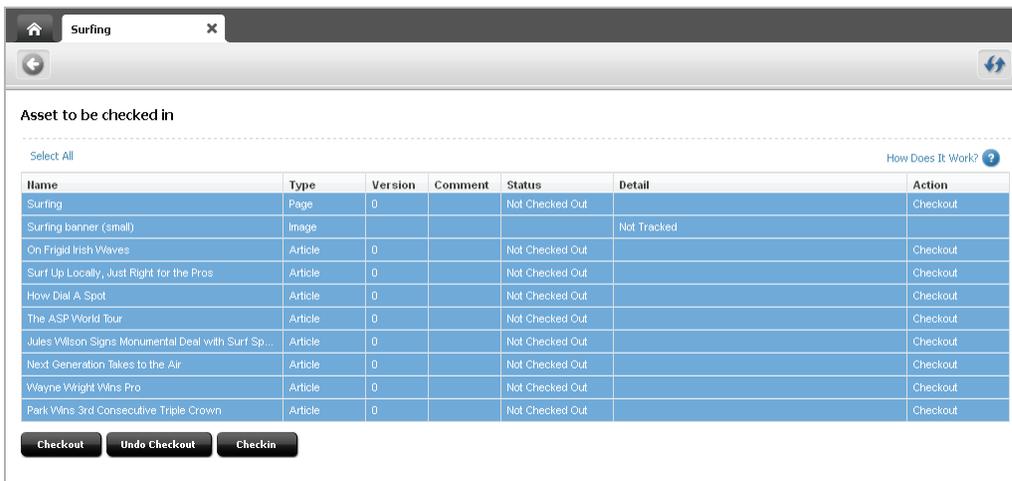
注意

アセットのツールバーに「チェックアウト」アイコンが表示されない場合は、該当するアセット・タイプのリビジョン追跡がサイト上で有効になっていないか、アセットがすでに自分にチェックアウトされています。

WebCenter Sites で、アセットがチェックアウトされます。

- Web モードで作業している場合は、次の手順を実行します。
 - 1) アセットのツールバーで、「チェックイン/チェックアウト」アイコン () をクリックします。

「チェックインされるアセット」画面がタブに表示されます。この画面には、次の図に示すように、プライマリ・アセット (Web モードで開いたアセット) およびすべての関連アセット (プライマリ・アセットの Web ページ・ビューに表示されるアセット) に関するリビジョン追跡の詳細の表が含まれます。



Name	Type	Version	Comment	Status	Detail	Action
Surfing	Page	0		Not Checked Out		Checkout
Surfing banner (small)	Image				Not Tracked	
On Frigid Irish Waves	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Surf Up Locally, Just Right for the Pros	Article	0		Not Checked Out		Checkout
How Dial A Spot	Article	0		Not Checked Out		Checkout
The ASP World Tour	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Jules Wilson Signs Monumental Deal with Surf Sp...	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Next Generation Takes to the Air	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Wayne Wright Wins Pro	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Park Wins 3rd Consecutive Triple Crown	Article	0		Not Checked Out		Checkout

任意のアセットに対して実行可能なリビジョン追跡アクション (存在する場合) は、目的のアセットの行の「アクション」列に表示されます。アセットがリビジョン追跡されていない場合、そのアセットの行の「アクション」列は空になり、「詳細」列に「追跡されていません」というメッセージが表示されます。

- 2) リビジョン追跡の詳細の表で、チェックアウトするアセットを選択 (**[Ctrl]** キーを押しながらクリック) してから、「チェックアウト」ボタンをクリックします。また、該当するアセットの行の「アクション」列で「チェックアウト」リンクをクリックして、アセットを1つずつチェックアウトすることもできます。

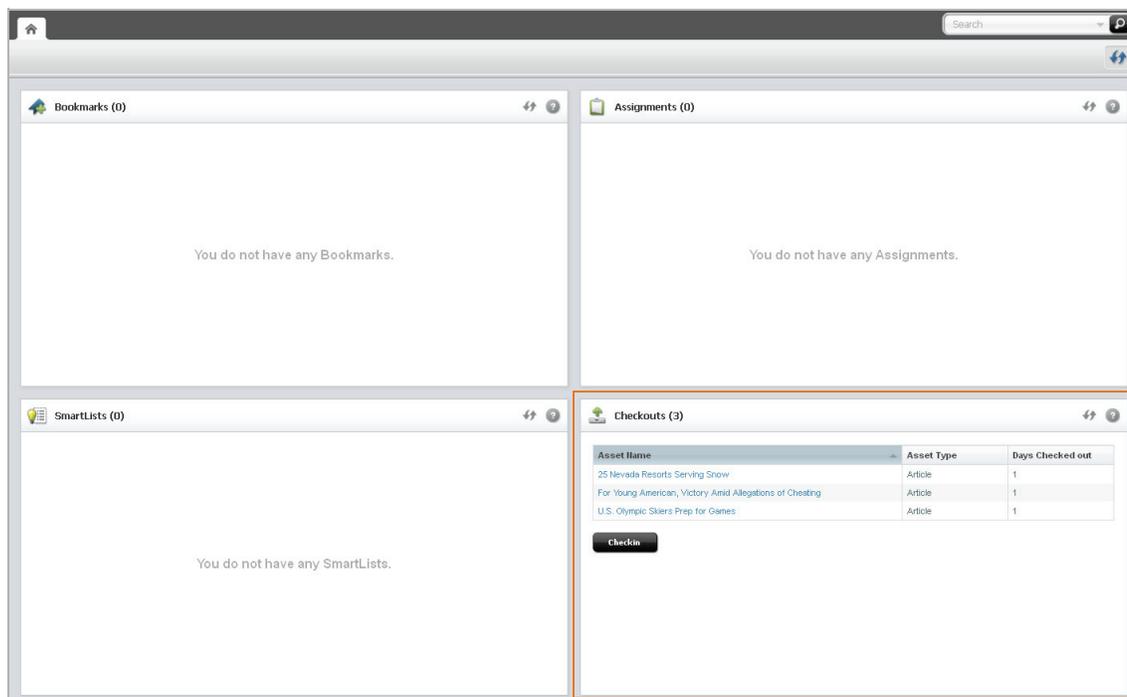
WebCenter Sites で、アセットがチェックアウトされます。

チェックアウトの確認

現在自分にチェックアウトされているアセットのリストには、ダッシュボード (「ホーム」タブ内) からアクセスできます。

現在自分にチェックアウトされているアセットのリストを表示するには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 「ホーム」 () タブをクリックして、ダッシュボードにアクセスします。
3. ダッシュボードの「チェックアウト」セクションに移動します。
ダッシュボードの「チェックアウト」セクションに、現在自分にチェックアウトされているすべてのアセットが表示されます。



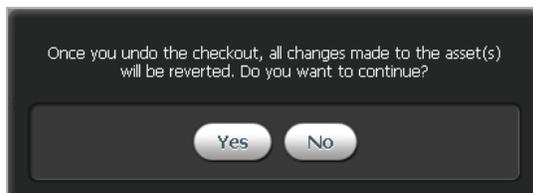
4. (オプション) アセットを開く場合は、リスト内で名前をクリックします。
タブが開き、アセットの「調査」ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) が表示されます。

チェックアウトを元に戻す

この項では、アセットのチェックアウトを元に戻す方法を説明します。チェックアウトを元に戻すと、権限を持つ他のユーザーが、該当するアセットを処理できるようになります。

アセットのチェックアウトを元に戻すには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. チェックアウトを元に戻すアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」 () タブをクリックして、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「チェックアウト」セクションに移動します。
ダッシュボードの「チェックアウト」セクションに、現在自分にチェックアウトされているアセットのリストが表示されます。
 - c. アセットのリストで、目的のアセットに移動し、その名前をクリックします。
タブが開き、アセットの「調査」ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) が表示されます。
3. チェックアウトを元に戻します。アセットがフォーム・モードと Web モードのどちらで開いたかによって、次のいずれかを実行します。
 - アセットがフォーム・モードで開いた場合：
 - 1) アセットのツールバーで、「チェックアウトを元に戻す」アイコン () をクリックします。
次のダイアログ・ボックスが表示されます。



- 2) ダイアログ・ボックスで、「はい」をクリックします。
WebCenter Sites で、アセットのチェックアウトが元に戻されます。
- アセットが Web モードで開いた場合：
 - 3) アセットのツールバーで、「チェックイン/チェックアウト」アイコン () をクリックします。
「チェックインされるアセット」画面がタブに表示されます。この画面には、次の図に示すように、プライマリ・アセット (Web モードで開いたアセット) およびすべての関連アセット (プライマリ・アセッ

トの Web ページ・ビューに表示されるアセット) に関するリビジョン追跡の詳細の表が含まれます。

Name	Type	Version	Comment	Status	Detail	Action
Surfing	Page	1		Checked out	Version 1 - Locked by: You	Checkin
Surfing banner (small)	Image				Not Tracked	
On Frigid Irish Waves	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Surf Up Locally, Just Right for the Pros	Article	0		Not Checked Out		Checkout
How Dial A Spot	Article	0		Not Checked Out		Checkout
The ASP World Tour	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Jules Wilson Signs Monumental Deal with Surf Sp...	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Next Generation Takes to the Air	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Wayne Wright Wins Pro	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Park Wins 3rd Consecutive Triple Crown	Article	0		Not Checked Out		Checkout

任意のアセットに対して実行可能なリビジョン追跡アクション (存在する場合) は、そのアセットの行の「アクション」列に表示されます。アセットがリビジョン追跡されていない場合、そのアセットの行の「アクション」列は空になり、「詳細」列に「追跡されていません」というメッセージが表示されます。

- リビジョン追跡の詳細の表で、チェックアウトを元に戻すアセットを選択 ([Ctrl] キーを押しながらクリック) してから、「チェックアウトを元に戻す」ボタンをクリックします。

WebCenter Sites で、選択したアセットのチェックアウトが元に戻されます。

アセットのチェックイン

この項では、アセットをチェックインする方法を説明します。アセットをチェックインすると、アセットの新しいバージョンが作成され、権限を持つ他のユーザーが、該当するアセットを処理できるようになります。

アセットをチェックインするには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. チェックインするアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」 () タブをクリックして、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「チェックアウト」セクションに移動します。
ダッシュボードの「チェックアウト」セクションに、現在自分にチェックアウトされているアセットのリストが表示されます。
 - c. アセットのリストで、目的のアセットに移動し、その名前をクリックします。
タブが開き、アセットの「調査」ビューがフォーム・モードまたは Web モードで表示されます。
3. アセットをチェックインします。アセットがフォーム・モードと Web モードのどちらで開いたかによって、次のいずれかを実行します。
 - アセットがフォーム・モードで開いた場合：
 - 1) アセットのツールバーで、「チェックイン」アイコン () をクリックします。
アセットのリビジョン追跡の詳細を含む表が、タブに表示されます。



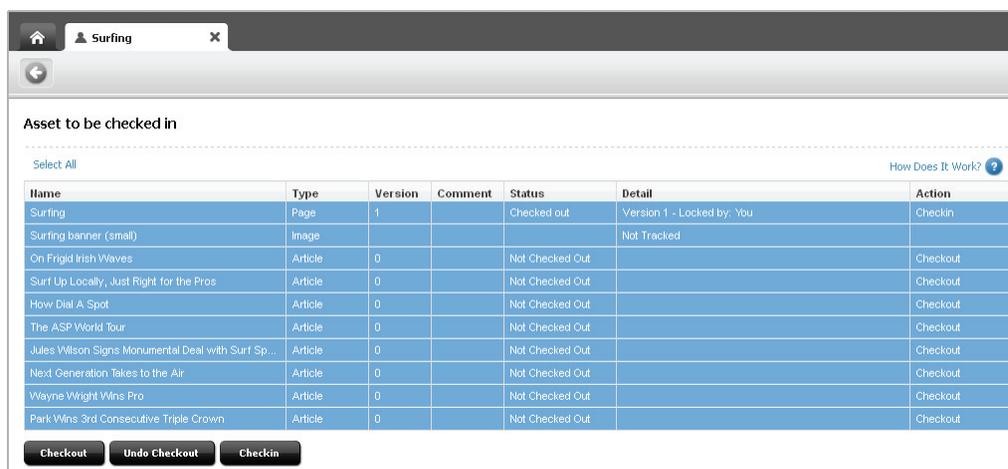
- 2) 該当するアセットを含む行が強調表示されていることを確認して、「チェックイン」ボタンをクリックします。
- 3) (オプション) 「コメント」フィールドに、チェックインするバージョンに関連するコメントまたは指示を入力します。ここで入力したコメントは、アセットのリビジョン履歴に表示されます。複数のアセットをチェックインする場合、入力するコメントは、チェックインするすべてのアセットに適用されます。
- 4) (オプション) アセットの新しいバージョンを作成してから、その新しいバージョンで作業を続行する場合は、「チェックアウトの保持」ボックスを選択します。

- 5) 「チェックイン」をクリックします。
WebCenter Sites で、アセットがデータベースにチェックインされます。

- アセットが Web モードで開いた場合:

- 1) アセットのツールバーで、「チェックイン/チェックアウト」アイコン () をクリックします。

「チェックインされるアセット」画面がタブに表示されます。この画面には、次の図に示すように、プライマリ・アセット (Web モードで開いたアセット) およびすべての関連アセット (プライマリ・アセットの Web ページ・ビューに表示されるアセット) に関するリビジョン追跡の詳細の表が含まれます。



Name	Type	Version	Comment	Status	Detail	Action
Surfing	Page	1		Checked out	Version 1 - Locked by: You	Checkin
Surfing banner (small)	Image				Not Tracked	
On Frigid Irish Waves	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Surf Up Locally, Just Right for the Pros	Article	0		Not Checked Out		Checkout
How Dial A Spot	Article	0		Not Checked Out		Checkout
The ASP World Tour	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Jules Wilson Signs Monumental Deal with Surf Sp...	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Next Generation Takes to the Air	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Wayne Wright Wins Pro	Article	0		Not Checked Out		Checkout
Park Wins 3rd Consecutive Triple Crown	Article	0		Not Checked Out		Checkout

任意のアセットに対して実行可能なリビジョン追跡アクション (存在する場合) は、目的のアセットの行の「アクション」列に表示されます。アセットがリビジョン追跡されていない場合、そのアセットの行の「アクション」列は空になり、「詳細」列に「追跡されていません」というメッセージが表示されます。

- 2) リビジョン追跡の詳細の表で、チェックインするアセットを選択 (Ctrl キーを押しながらクリック) してから、「チェックイン」ボタンをクリックします。また、該当するアセットの行の「アクション」列で「チェックイン」リンクをクリックして、アセットを1つずつチェックインすることもできます。
- 3) (オプション) 「コメント」フィールドに、チェックインするバージョンに関連するコメントまたは指示を入力します。ここで入力したコメントは、アセットのリビジョン履歴に表示されます。複数のアセットをチェックインする場合、入力するコメントは、チェックインするすべてのアセットに適用されます。
- 4) (オプション) アセットの新しいバージョンを作成してから、その新しいバージョンで作業を続行する場合は、「チェックアウトの保持」ボックスを選択します。
- 5) 「チェックイン」をクリックします。

WebCenter Sites で、選択したアセットがデータベースにチェックインされます。

リビジョン履歴の確認

注意

アセットのリビジョン履歴は、アセットがフォーム・モードで表示されている場合にのみ確認できます。アセットが Web モードで開く場合は、フォーム・モードに切り替える必要があります。

アセットのリビジョン履歴を確認するには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. リビジョン履歴を表示するアセットを見つけて開きます。
 - a. 次のいずれかを実行します。
 - 該当するアセットが現在自分にチェックアウトされていない場合は、「検索」フィールドに、アセットを識別する検索条件を入力し、**虫めがね**ボタン () をクリックします。
アセットの検索の詳細は、第 6 章「アセットの検索と編成」を参照してください。
 - 該当するアセットが現在自分にチェックアウトされている場合は、「ホーム」() タブをクリックしてダッシュボードにアクセスします。次に、ダッシュボードの「チェックアウト」セクションに移動します。
 - b. アセットのリストで、目的のアセットに移動し、その名前をクリックします。
タブが開き、アセットの「調査」ビュー(フォーム・モードまたは Web モード)が表示されます。
3. アセットが Web モードで開く場合は、フォーム・モードに切り替えます。アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
4. アセットのリビジョン履歴を表示します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「バージョンの表示」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「編集」→「バージョン」→「バージョンの表示」を選択します。

アセットのリビジョン履歴がタブに表示されます。



Version	Date	User	Comments
3	3/23/12 2:26 PM	fwadmin	
2	3/23/12 2:26 PM	fwadmin	
1	3/23/12 2:23 PM	SYSTEM	

5. 表示するバージョンの横にある虫めがねアイコンをクリックします。
選択したアセットのバージョンの「調査」ビュー (フォーム・モード) がタブに表示されます。

前のバージョンに戻す (ロールバック)

この項では、アセットを前のバージョンに戻す方法を説明します。

注意

アセットを前のバージョンに戻すことができるのは、アセットがフォーム・モードで表示されているときのみです。アセットが Web モードで開く場合は、フォーム・モードに切り替える必要があります。

アセットをロールバックするには：

1. WebCenter Sites にログインして、作業するサイトを選択し、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 前のバージョンにロールバックするアセットを見つけて開きます。
 - a. 次のいずれかを実行します。
 - 該当するアセットが現在自分にチェックアウトされていない場合は、「検索」フィールドに、アセットを識別する検索条件を入力し、虫めがねボタン () をクリックします。
アセットの検索の詳細は、第 6 章「アセットの検索と編成」を参照してください。
 - 該当するアセットが現在自分にチェックアウトされている場合は、「ホーム」 () タブをクリックしてダッシュボードにアクセスします。次に、ダッシュボードの「チェックアウト」セクションに移動します。
 - b. アセットのリストで、目的のアセットに移動し、その名前をクリックします。
タブが開き、アセットの「調査」ビュー (フォーム・モードまたは Web モード) が表示されます。

3. アセットが Web モードで開く場合は、フォーム・モードに切り替えます。アセットのツールバーで、「モード」スイッチをクリックします。
4. アセットの前のバージョンにロールバックします。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「ロールバック」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「編集」→「バージョン」→「ロールバック」を選択します。

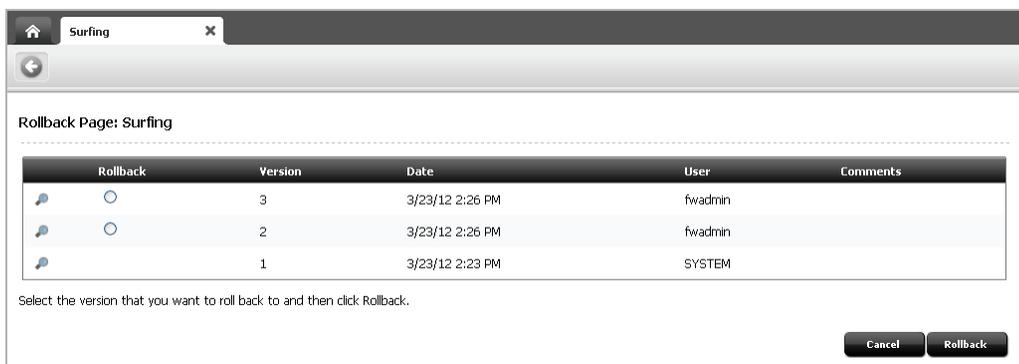
注意

次のいずれかに該当する場合は、アセットを前のバージョンにロールバックできません。

- 該当するアセット・タイプに関してリビジョン追跡が有効になっていない場合。
- 特定のユーザーにチェックアウトされているアセットは、前のバージョンにロールバックできません。アセットをロールバックするには、チェックインする必要があります。

リビジョン追跡または権限について不明な点がある場合は、WebCenter Sites 管理者に問い合せてください。

タブに次のように表示されます。



5. 表の「ロールバック」列で、ロールバック先のアセットのバージョンの横にあるラジオ・ボタンを選択します。
6. 「ロールバック」をクリックします。

WebCenter Sites で、選択したバージョンにアセットがロールバックされます。アセットをロールバックすると、そのアセットの別バージョンが WebCenter Sites によって作成されます。

第 14 章

ワークフロー

大半の Web サイトは、様々な個人がコンテンツのアセンブル、編集およびレビューを行い、どこに何を配置しいつページを更新するかを決定するチームによって作成されています。ある個人から別の個人への予測可能な方法による作業のフロー、およびそのプロセスをワークフローといいます。

この章では、ワークフローに関する簡単な概要の後、ワークフローに関連する特定のタスクを実行する方法を示す手順について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [概要](#)
- [サンプル・ワークフロー](#)
- [割当ての表示](#)
- [ワークフロー機能の使用法](#)

概要

次の項では、基本的なワークフローの概要および用語について説明します。

注意

WebCenter Sites では、この章で説明する機能に加えて、WebCenter Sites 管理インタフェースを通じて次のワークフロー機能を提供しています。

- **ワークフロー・グループ** : パブリッシュに先立って、定義されたアセット・セットがワークフロー・プロセスの最後までまとめて到達可能な調整された方法でアセット・セットを管理できます。
- **ワークフロー・レポート** : ワークフローでのアセットおよびユーザーの割当てに関する進行状況を追跡できます。

ワークフローのグループおよびレポートの詳細は、『Oracle WebCenter Sites 管理者ガイド』を参照してください。

ワークフローおよびアセット

アセットはワークフローに割り当てることができます(ただし、必ずしもそうする必要はありません)。ワークフローは、適切な時期に適切なユーザーにタスクを割り当てることによって、一連の編集タスク(状態)を通じてアセットをルーティングします。特定のアセットまたは特定タイプのすべてのアセットのいずれでもワークフローに割り当てることができます。

アセットは、サイトの構成方法に応じて、自動的に(たとえば新しいアセットの作成時)ワークフローに割り当てることができますし、手動割当ても可能です。ワークフロー・システムにより WebCenter Sites では、ユーザーへのアセットの割当てを指示および追跡し、ユーザーの権限でそうしたアセットに行うことができる操作を指定できます。

アセットに対して実行される編集タスクのフローに加えて、ワークフロー内の各箇所でそうしたタスクを実行する権限を与えられたユーザーがワークフロー・プロセスによって定義されます。ワークフロー管理者は、アセット・タイプごとに必要に応じていくつでもワークフロー・プロセスを定義できます。

注意

ワークフロー中に、ある個人から次の個人にアセットは電子的に転送されません。転送されるのは、アセットに対する権限です。アセット自体は、ワークフロー・プロセス全体を通じて、および WebCenter Sites でのその存在中に、データベース内の元の場所に残ります。

状態およびステップ

ワークフロー・プロセスは一連の**状態**を定義します。状態は、その時点でのアセットのステータスを表すワークフロー・プロセス内のポイントです(たとえば、Ready to Edit、Ready for Approval など)。

状態は、**ステップ**ごとに特定の順序で相互にリンクされます。ステップは、状態間のアセットの移動です。ワークフロー・ステップを作成することによりワークフローの状態が特定の順序でリンクされるので、ワークフロー・プロセスでステップを作成することによりプロセスが編成されます。各ステップで、アセットは開始(起点)状態から終了(終点)状態に移動します。管理者は、ワークフロー・プロセスの作成時に状態を定義し、そうした状態を適切なステップを通じてリンクします。

ステップおよび状態は名前を持ちます。たとえば、FirstSite II サンプルサイトの **Send for Approval** は、Ready to Edit 状態から開始し、Ready for Approval 状態に至るステップです。アセットは、複数のステップによってある状態から別の状態に移動できます。たとえば、承認の準備が完了したアセットが事実に関するエラーまたはスタイルの問題のために却下され、各タイプの拒否について独自のステップが適用されることがあります。

アセットはロール別にユーザーに割り当てられます。アセットがワークフローを進行すると、次の状態のアセットに対して作業する権限を有するロールのユーザーにアセットが各ステップで割り当てられます。各ステップについて、アセットに対する作業を完了し、ワークフローを通じて引き続き移動する権限を有する少なくとも 1 つのロールが存在します。場合によっては、適切なロールを保持するユーザーがステップの選択ができます。たとえば、承認者ロールを保持するユーザーが承認のために自身に割り当てられたアセットを承認するかまたは却下できます。

WebCenter Sites にログインすると、ダッシュボード(「ホーム」タブ)の「割当て」セクションに、現在のワークロードのサマリーが表示されます。ここから、自身に割り当てられたアセットにアクセスできます。アセットに対する作業が完了したら、**割当ての終了機能**を使用してワークフローの次のステップを起動します。これで、ワークフロー・プロセスがアセットを次の状態に移動し、適切なユーザーにアセットを割り当てます。ステップを条件付きにできることに注意してください。つまり、特定の条件が満たされるまで、一部のユーザーまたはすべてのユーザーがステップを実行することを阻止できます。

ユーザー、ロールおよび参加者

WebCenter Sites のユーザーは、自身を識別し WebCenter Sites にログインするために使用する WebCenter Sites ユーザー名を割り当てられた個人です。ユーザーの可能な操作、または可能でない操作は、管理者によってそのユーザーに割り当てられるロールによって決定します。

ロールは、ワークフローのコンテキストで特定の機能を実行する権限を付与することにより、CM サイトのユーザーの機能を記述および特定します。こうした権限は、**機能権限**と呼ばれています。

ワークフロー・プロセスは、(個人ユーザーではなく)ロールに適切な機能権限を付与します。アセットがワークフローに割り当てられた場合にのみ、機能権限が強制されます。機能権限は、ユーザーのロールだけでなく、アセットの状態およびアセットがユーザーに割り当てられているかどうかによっても異なります。

注意

機能権限はユーザーのロールを通じてユーザーに付与されるので、ユーザー・レベルで管理者によって割り当てられるアクセス許可とは無関係に機能します。

たとえば、ユーザーは通常、コンテンツ・アセットを編集する権限を持っていない場合がありますが、編集者ロールを持ち、コンテンツ・アセットのワークフロー・プロセスに参加し、編集するアセットが適切なワークフロー状態にあるときには、そのような操作を行う機能権限を有します。

ワークフロー・プロセスの特定のワークフロー状態により必要とされる各ロールは、参加ロールです。参加ロールは、ワークフロー・プロセス内の各状態について管理者によって選択されます。したがって、割り当てられたロールがそのワークフロー状態によって必要とされるロールと一致する各ユーザーは、ワークフロー・プロセス内の該当する状態に対する**参加者**になり、該当する状態から次の状態に至るワークフロー・ステップを行う権限が付与されます。

管理者が別途指定しなければ、ワークフローに配置されたアセットは、指定のロールに対して使用可能なすべての参加者に割り当てられます。ただし、管理者による特定のワークフロー・ステップの構成方法に応じて、各参加ロールで使用可能な参加者のうちから適切な割当て先を選択することによって、特定のアセットを使用可能なユーザーを限定できます。

割当て先は、特定の割当てについて作業するために選択されたワークフロー参加者です。割当て先はワークフローにアセットを割り当てるときに設定されますが、アセットがすでにワークフロー・プロセス内にある場合に異なる割当て先を選択できる場合もあります。ワークフロー・プロセスへの割当て先の選択方法は、管理者がワークフロー・プロセス内のステップに対して行う構成によって決定します。ワークフロー・ステップは、特定のロールを割り当てられたユーザーによる割当て先の選択が可能になるように構成できます。ただし、ワークフロー・ステップも、指定のロールを有するすべてのユーザー、またはアセットを作成したユーザーにのみアセットを自動的に割り当てるように構成できます。

ワークフロー内の指定アセットに対して割当て先が設定されている場合、ワークフロー・プロセスによりアセットの状態が変更される前に、選択された割当て先へのみ割当てリスト内のアセットが表示され、割当てを完了できます。

ワークフローの割当て

割当ては、選択された参加者 (割当て先) が作業する (または作業することが想定される) アセットです。参加者が実行するロールを持つ状態になるとすぐに、アセットは参加者の割当てリストに表示されます。

標準的なワークフロー設計では、ワークフローの割当てが与えられたときに電子メール通知が生成されます。(「ホーム」タブにある) ダッシュボードの「割当て」セクションで、割当ての更新済リストをいつでも表示できます。

割当て期間

各ワークフロー状態には、関連する割当て完了予測時間 (期限) があります。管理者が適切な権限を付与している場合、次の割当てのデフォルトの推定値をオーバーライドできます。

割当て期限が近づくと、予測完了時間を基準とする時間に基づくイベントとして、電子メール通知の形式で、関連する割当てアクションをトリガーできます。例を示します。

- 割当てられたユーザーは、割当ての期限日の 1 日前にアラームを受信します。
- 割当てられたユーザーおよびワークフロー開始者は、割当ての期限日に警告を受信します。
- 開始者は、割当てが完了しなかった場合に、期日の翌日に通知を受信します。

割当ての投票

ワークフローに参加している場合、投票ができます。**投票**とは、現在のワークフロー状態によって必要とされるタスク (記事の編集など) を完了し、WebCenter Sites データベースへの変更を確定した後 (アセットの保存)、現在の状態から次の状態にアセットを移動するワークフロー・ステップを実行することです。(ダッシュボードの「割当て」セクションで使用可能な) **割当て終了機能**を使用するか、アセットのステータスを表示して (アセットの操作中にメニュー・バーの「表示」→「ステータス」を選択することによりアクセス可能な) **ワークフロー・コマンド・ドロップダウン・メニュー**を使用して割当てを終了することにより、投票を行います。指定のロールを有する複数の参加者に割当てがある場合、管理者によってワークフローがどのように設定されたかに応じて、アセットを次の状態に移動する前に、1 票またはすべての投票が行われている必要があります。

ワークフロー・プロセスでのロールに応じて、割当ての終了を投票するとき、たとえば自身が承認者であり現在の割当てがパブリッシュについてアセットを承認または却下することであるときに、割当ての終了時に選択に応じてパブリッシュについてアセットを承認するステップ、または事実に関するエラーにより却下するステップを起動するなど、実行するステップを選択できる場合があります。投票時に、選択したステップが自身と同じロールを持つ他の割当て先により選択されたステップと相違しなければ、アセットは次のワークフロー状態に移動します。

なんらかの理由で割当てを完了できない場合、その特定のロールおよび (または) ステップについて最後の (または唯一の) 投票でないかぎり、**投票を棄権**できます。棄権しても、割当ては残りますが、アセットはワークフローにおいて続

行できます。気が変わったときは、アセットが次の状態にまだ移動していないかぎり、再び投票することにより棄権を撤回できます。

割当ての委任

割当てを処理するもう 1 つの方法は、**委任**するアセットが現在のワークフロー状態に対する個人にまだ割り当てられていない場合に、自身と同じロールを有する別の参加者に割当てを委任することです。

(管理者によって設定された) 機能権限によって、割当てを委任できるかどうかが決まります。また、必要であれば、管理者がユーザーまたは他の割当て先にかわって割当てを委任できます。

割当ての委任により、電子メール通知の形式で関連する**委任アクション**がトリガーすることがあります。次に例を示します。

- 新規割当ての受信者に通知されます。
- ワークフロー管理者には、割当ての委任について通知されます。

デッドロック

割当て先が指定のワークフロー状態に対して投票を行うと (つまり、ステップを実行すると)、アセットがある状態から次の状態に移動します。ワークフロー・プロセスの定義時に管理者は、各ステップが**全員投票**であるかどうか、つまりアセットが次の状態に移動するためにすべての割当て先が投票する (ステップを実行する) 必要があるかどうかを決定します。デフォルトでは、ステップは**全員投票**ではありません。つまり、指定のワークフロー状態で投票する最初の割当て先によりアセットのフローが決定し、そのワークフロー状態に対する残る割当て先の割当ては取り消されます。管理者がステップを**全員投票**として設定した場合は、すべての割当て先が投票するまでアセットが現在のワークフロー状態に留まり、すべての割当て先が投票するとアセットが次の状態に移動します。

ステップに選択肢があり、各ステップが**全員投票**である場合、**デッドロック**の可能性がります。すべての割当て先が投票する必要がある場合で、実行するステップについて投票で同意されない場合に**デッドロック**が発生します。ワークフロー・プロセスには通常、電子メール通知をすべての割当て先宛に生成するための**デッドロック・アクション**が含まれ、これによって投票数を示し再投票で多数側を支持するようにすべての割当て先にアドバイスします。**デッドロック**は、関連するすべてのユーザーに対して追加作業を発生させるので、可能な場合は必ず回避してください。また、ワーク・フローの妨げにならないように、可能なかぎり迅速に解決してください。

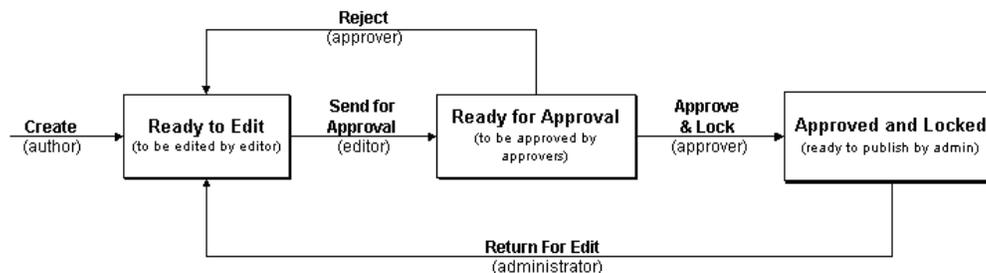
サンプル・ワークフロー

FirstSite II サンプル・サイトには、作成からパブリッシュの承認に至るまで、様々なタイプのアセットをガイドする 6 つのサンプル・ワークフロー・プロセスが含まれます。このサンプル・ワークフローは可能な 5 つのステップにより 3 つの状態を通じて遷移する単純なものですが、ワークフロー・プロセスがどのように機能するかを示すには十分です。この項は、FirstSite II サンプル・サイトに含まれる FSII: Approval for Content サンプル・ワークフロー・プロセスに基づきます。

FSII: Approval for Content サンプル・ワークフロー・プロセスには、作成者、エディタ、承認者および管理者のロールが参加します。各ロールは、1 人の参加者のみを持ちます (大半の場合、組織では複数のユーザーが各ロールに参加するより複雑なプロセスが存在します)。こうしたロールのいずれかの参加者は、自動的に FSII: Approval for Content ワークフローに割り当てられる新規のコンテンツ・アセットを作成できます。このアセットを作成することによって、ワークフローが起動します。次に、アセットは作成者から承認者まで移動します。承認者は、アセットを承認するか却下できます。承認者がアセットを却下した場合は、エディタに戻ります。管理者は、ワークフロー内の任意の時点で作成者、エディタおよび承認者の機能を実行できるほか、追加変更のためにすでに承認されたアセットをエディタに戻すことも可能です。

サンプル・ワークフローの状態およびステップ

FirstSite II サンプル・サイトには、FSII: Approval for Content というサンプル・ワークフロー・プロセスが含まれます。次の図に、プロセスのフローを示します。



このワークフロー・プロセスのステップおよび状態を次の表に示します。

表 5: 状態およびステップ

アセットの状態 ...	手順	説明	アセットの移動先の状態 ...
なし	Create	ContentAuthor ロールを有するユーザーは、FSII: Approval for Content ワークフローに自動的に割り当てられるコンテンツ・アセットを作成します。	Ready to Edit
Ready to Edit	Send for Approval	ContentEditor ロールを有するユーザーは、割当てに関する電子メール通知を受信します。エディタは、割当てを完了するためにアセットを修正します。	Ready for Approval
Ready for Approval	Reject	Approver ロールを有するユーザーは、割当てに関する電子メール通知を受信します。 承認者は、事実に関するエラーのためにアセットを却下することにより割当てを完了します。この拒否により、エディタへの通知がトリガーします。エディタは修正を行い、承認のためにアセットを再送信する必要があります。	Ready to Edit
	Approve and Lock	承認者は、アセットを承認することにより割当てを完了します。 選択した宛先についてパブリッシュの準備完了として WebCenter Sites データベース内でアセットにフラグが付けられます。	Approved and Locked
Approved and Locked	Return for Edit	(Workflow Admin ロールを保持する) ワークフロー管理者は、アセットをレビューし、追加情報によりコンテンツを更新する必要があるかどうかを判断します。 次にワークフロー管理者は投票を使用して、リビジョンのためにエディタにアセットを戻します。	Ready to Edit

サンプル・ワークフローのシナリオ

この項では、FSII: Approval for Content ワークフロー・プロセスを通じたコンテンツ・アセットの標準的なフローについて説明します。

1. 作成者はアセットを作成し、コンテンツを書き込みます。

このプロセスは、作成者のコンラッド氏がコンテンツ・アセットを作成すると開始します。FirstSite II サンプル・サイトのコンテンツ・アセット・タイプは、新規の各コンテンツ・アセットが自動的にワークフローに配置されるように構成されるので、コンラッド氏のアセットは FSII: Approval for Content ワークフロー・プロセスに自動的に配置されます。コンラッド氏はコンテンツを書き込み、コンテンツ・アセットを保存します。

コンラッド氏がアセットを保存すると、ワークフロー・プロセスによりアセットの状態が自動的に Ready to Edit に変更され、アセットがエディタのコニー氏に割り当てられ、コニー氏に新規の割当てに関する電子メール通知が送信されます。

2. エディタはアセットを編集し、承認のために送信します。

エディタであるコニー氏がログインすると、割当てリストを確認し、編集のためにコンテンツ・アセットを開きます。そしてコンテンツを読み、句読点をいくつか修正します。作業が終わったら、コニー氏は変更内容を保存した後、承認のためにアセットを送信する投票を行います。

ワークフロー・プロセスにより、アセット状態が Ready for Approval に変更され、それが承認者であるナポレオン氏に割り当てられ、ナポレオン氏に新規の割当てに関する電子メール通知が送信されます。

3. 承認者がアセットを承認します。

承認者であるナポレオン氏は、すでにログインしています。したがって、この電子メールを受信すると、ダッシュボードの「割当て」セクションにアクセスして割当てリストを表示します。ナポレオン氏は、新たに割り当てられたコンテンツ・アセットを開き、それを調べます。そして問題はないでアセットの承認に投

票できますし、このワークフロー・プロセスに対して却下できます。ワークフロー・プロセスにより、両方のオプションが提示されます。

注意

同じロールを有する複数のユーザーが指定のワークフロー状態で同じ割当てを持つ場合、最初の投票によりアセットの次の状態が決定します。

たとえば、FSII: Approval for Content ワークフロー・プロセスには、パブリッシュに対するアセットの承認時に、ともに投票可能な 2 人の承認者ユーザーが含まれていました。そして、2 人の承認者ユーザーのいずれかによる拒否で、他方のユーザーの割当てが取り消され、アセットがエディタに戻ります。

管理者は、同様の不同意によりデッドロック (264 ページの「デッドロック」を参照してください) が生じるワークフローを設定する場合があります。こうしたデッドロックは、アセットを以前の状態に戻すか、次の状態に移動する前に解決する必要があります。

ナポレオン氏がアセットの承認に投票したので、ワークフロー・プロセスによりこのアセットの状態が **Approved and Locked** に変更され、データベース内でパブリッシュの準備完了としてフラグが付けられます。アセットは、次のパブリッシュ・セッションでパブリッシュされます。

4. ワークフロー管理者は、アセットをエディタに戻します。

新しい情報が使用可能になった場合は、アセットにそれを追加する必要があります。この場合にワークフロー管理者は、レビューおよび更新のためにアセットをコニー氏に戻す投票をワークフロー・プロセスでできます。

ワークフロー・プロセスによりアセットの状態が自動的に **Ready to Edit** に変更され、アセットがエディタのコニー氏に割り当てられ、コニー氏に新規の割当てに関する電子メール通知が送信されます。

コニー氏が割当てを終了するときに、Web サイトに再度パブリッシュするには、更新済アセットの再承認が必要です。

割当ての表示

ワークロードを管理するために、(「ホーム」タブにある)ダッシュボードの「割当て」セクションにアクセスすることにより、現在の割当てのリストおよびそのステータスを確認できます。

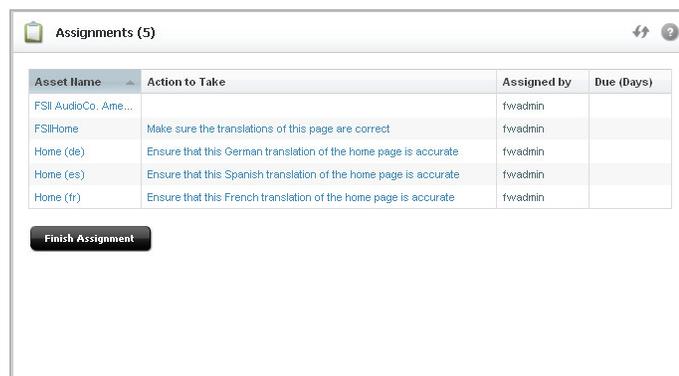
注意

インタフェースで作業しているときに、新規の割当てが与えられ、現在の割当てのいずれかを完了することによって、割当てリストが変更されることがあります。割当てを最新に維持するために、割当てリストを定期的に確認してください。

ワークフローの割当てのリストを表示するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 「ホーム」() タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。次に、ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。

ダッシュボードの「割当て」セクションに、ワークフローの割当てリストが表示されます。



Asset Name	Action to Take	Assigned by	Due (Days)
FSII AudioCo. Ame...		fwadmin	
FSIIHome	Make sure the translations of this page are correct	fwadmin	
Home (de)	Ensure that this German translation of the home page is accurate	fwadmin	
Home (es)	Ensure that this Spanish translation of the home page is accurate	fwadmin	
Home (fr)	Ensure that this French translation of the home page is accurate	fwadmin	

このリストには、アセットの名前、ワークフロー・プロセスで実行するアクション、アセットを割り当てたユーザーの名前、および割当ての完了期限までに残る日数に関する情報が示されます。

3. アセットの名前をクリックし、調査ビューでアセットを開きます(フォーム・モードまたは Web モードのいずれか)。また、リスト内でアセットを右クリックして、アセットの編集ビューを開くかアセットをプレビューできます。

ワークフロー機能の使用方法

次の各項では、Contributor インタフェースで使用するワークフロー機能について説明します。これらの機能は、アセットの操作中にメニュー・バー(「表示」→「ステータス」)から使用可能です。機能権限に応じて、説明された機能のいくつかが使用可能ではない場合もあります。

この項では、次のトピックについて説明します。

- ワークフローへのアセットの割当て
- プロセスの期限の設定
- 割当て期限の設定
- 割当ての終了
- 割当ての委任
- 投票の棄権
- デッドロックの解決
- ワークフローからのアセットの除去
- アセットの参加者(割当て先)のリストの表示
- ワークフローの参加者の設定
- アセットのワークフロー進捗状況の確認

ワークフローへのアセットの割当て

アセットは、自動または手動でワークフローに割り当てることができます。

管理者は、選択したアセット・タイプについて、自動ワークフローの割当てを設定します。こうしたタイプの新規アセットを作成する場合、アセットはアセット・タイプに割り当てられたワークフロー・プロセスに自動的に配置されます。自動ワークフロー割当てが設定されているアセット・タイプについては、管理者に問い合せてください。

選択したアセット・タイプにワークフロー・プロセスが割り当てられていれば、適切な権限を有するユーザーが手動でワークフロー割当てを使用できます。

ワークフローに手動でアセットを割り当てるには

注意

ワークフローにアセットを割り当てるには、管理者がまず対象のアセット・タイプのアセットに1つ以上のワークフロー・プロセスを割り当てる必要があります。そうでない場合、ワークフローにアセットを割り当てることはできません。どのワークフロー・プロセスがシステム上のどのアセット・タイプで使用可能であるかについては、管理者に問い合せてください。

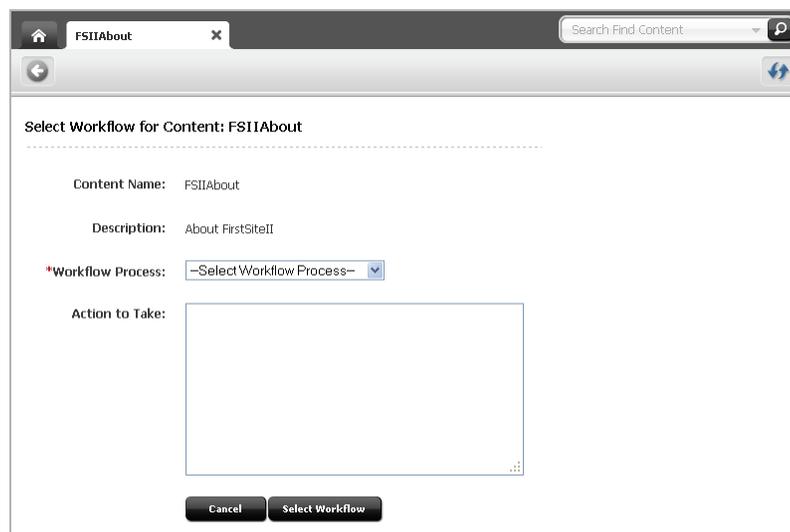
1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。

2. ワークフローに配置するアセットを見つけて開きます。次のいずれかを行います。
 - 適切なアセットを探して開きます。
 - 1) 「検索」フィールドで、アセットを特定する検索条件を指定して、虫めがねボタン (🔍) をクリックします。
「検索」タブが開き、検索結果が表示されます。
 - 2) 検索結果のリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。
 - 以前にアセットをブックマークした場合、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから開きます。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じている場合、「ブックマーク」バーをクリックして開きます。)
ブックマークを付けたアセットのリストが「ブックマーク」ノードの下に表示されます。
 - 2) ブックマークを付けたアセットのリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。

検索の詳細は、第 6 章「アセットの検索と編成」を参照してください。

アセットの調査ビューを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。

3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します
4. 「ワークフロー・コマンド」ドロップダウン・メニューで、「ワークフローの選択」を選択します。
このタブに「ワークフローの選択」フォームが表示されます。



The screenshot shows a web browser window with a search bar at the top right. Below it is a dialog box titled "Select Workflow for Content: FSIIAbout". The dialog contains the following fields:

- Content Name: FSIIAbout
- Description: About FirstSiteII
- *Workflow Process: -Select Workflow Process- (dropdown menu)
- Action to Take: (empty text area)

At the bottom of the dialog are two buttons: "Cancel" and "Select Workflow".

5. 「ワークフロー・プロセス」ドロップダウン・メニューで、ワークフロー・プロセスを選択します。
6. ワークフロー・プロセスに関連する各ロールの割当て先を選択する必要があるワークフロー・プロセスの構成では、「参加者の設定」ボタンが表示されます。次を実行します。

- a. 「参加者の設定」をクリックします。
このタブに「参加者の設定」フォームが表示されます。
 - b. 各ロールについて少なくとも 1 人のユーザーを選択した後、「参加者の設定」をクリックします。
選択した各参加者は、このアセットに対して対応するロールの割当て先になります。
7. (オプション「実行するアクション」フィールドで、割当てを受ける個人の簡単な説明を入力します。
 8. 「ワークフローの選択」をクリックします。
 9. 管理者がワークフロー・プロセスの最初のステップで割当て先の選択を有効にしている場合、このタブには「割当て先の選択」フォームが表示されます。

Choose Assignees

Please select at least one user from each role

Content Name: FSIIAbout

Description: About FirstSiteII

Workflow Process: FSII: Approval for Content

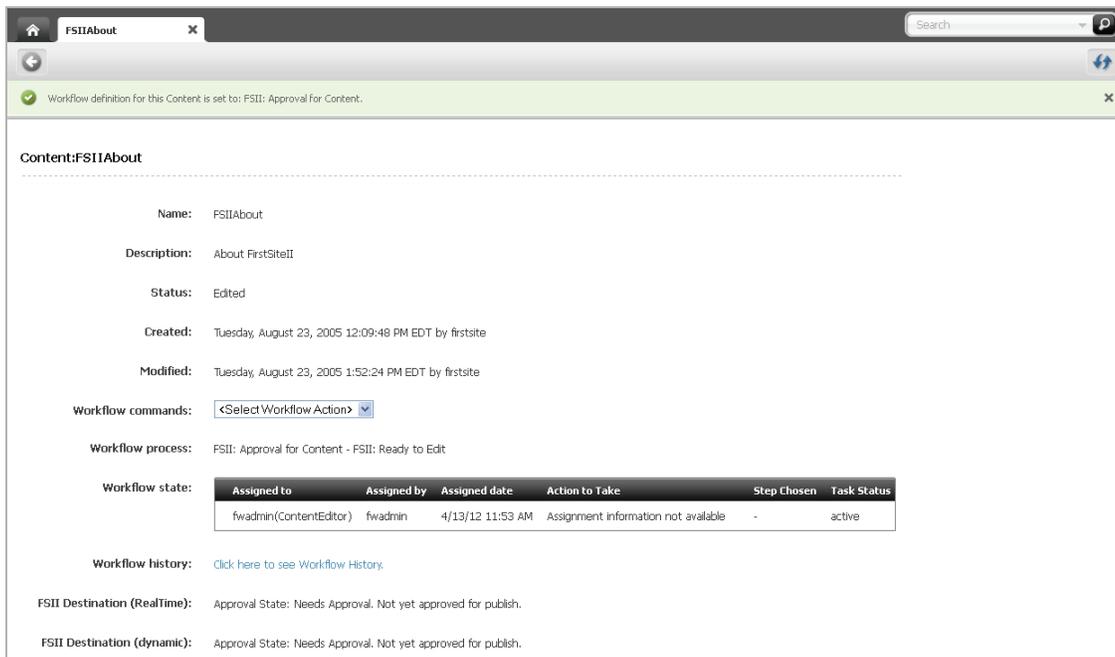
Assignees:

Role	Users
* Approver:	firstsite fwadmin Napoleon

Cancel Set Assignees

このような場合は、各ロールについて少なくとも 1 人のユーザーを選択した後、「割当て先の設定」をクリックします。

タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。



この時点でアセットはワークフローに配置されます。次の状態で必要とされるロールを有する参加者は通常、その割当てに関する電子メール通知を受信します。

プロセスの期限の設定

プロセスの期限は、アセットがワークフロー・プロセスをパス・スルーするために割り当てられた総時間です。デフォルトでは、プロセスの期限は設定されません。この期限は、この項で後述する割当て期限とは無関係です。つまり、個々の割当て期限の合計は、必ずしもプロセスの期限に一致するわけではありません。

注意

期限は情報専用：期限が超過してもシステムでエラー・メッセージが出力されたりペナルティが課されることはありません。

プロセス期限を設定するには、ワークフロー管理者がまず次のことを実行する必要があります。

- このワークフロー・プロセスに対して、プロセスの期限を設定できるようにすること。
- ワークフロー管理者のロールがワークフロー・プロセスに対して割り当てられているか、適切な機能権限が付与されていること。

前述の条件がともに満たされる場合にのみ、プロセス期限設定オプションを利用できます。適切な権限があるかどうか、および対象のワークフロー・プロセスに対してプロセス期限を設定できるかどうかについては、管理者に問い合せてください。

プロセスの期限を設定するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. プロセスの期限を設定するアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」() タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
 - c. アセットのリストで、プロセスの期限を設定するアセットの名前をクリックします。

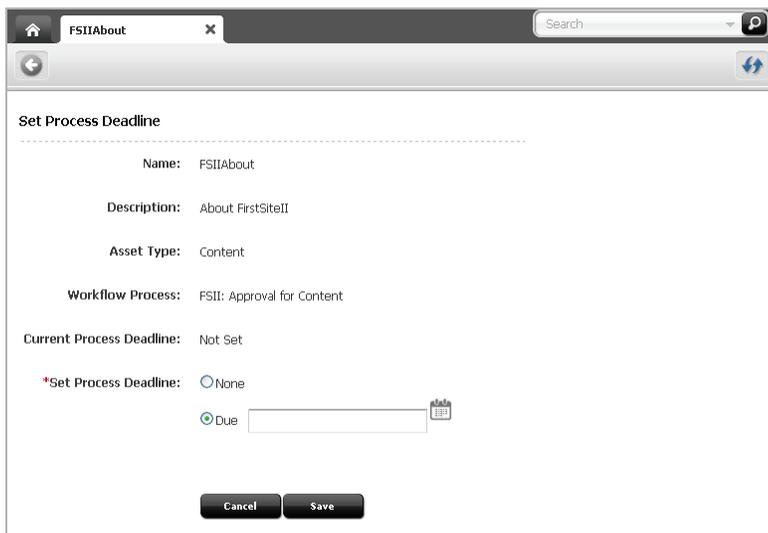
調査ビューのアセットを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。
3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します。

タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。
4. 「ワークフロー・コマンド」ドロップダウン・メニューで、「プロセスの期限の設定」を選択します。

注意

ドロップダウン・メニューに「プロセスの期限の設定」機能が表示されない場合は、ここで中止します。機能が管理者によって有効にされていないか、アクセスに適切な権限がありません。

このタブには、「プロセスの期限の設定」フォームが表示されます。



Set Process Deadline

Name: FSIIAbout

Description: About FirstSiteII

Asset Type: Content

Workflow Process: FSII: Approval for Content

Current Process Deadline: Not Set

*Set Process Deadline: None Due 

Cancel Save

5. 「プロセスの期限の設定」フィールドで、「期限」ラジオ・ボタンを選択した後、日付ピッカーを使用して日付を選択します。

プロセスの期限を設定する場合、ワークフロー・プロセス内でのアセットの位置、および残りステップの累積時間について考慮する必要があります。デフォルトでは、プロセスの期限は設定されていません。

6. 「保存」をクリックします。

タブに、アセットのステータスのサマリー画面が再表示されます。

割当て期限の設定

割当て期限は、ワークフローを通じたアセットの進行に伴って割当ての完了のために割当て先に割り当てられた時間です。この期限は、この項で前述したプロセスの期限とは無関係です。つまり、個々の割当て期限の合計は、必ずしもプロセスの期限に一致するわけではありません。

注意

期限は情報専用：期限が超過してもシステムでエラー・メッセージが出力されたりペナルティが課されることはありません。

割当て期限を設定するには、ワークフロー管理者がまず次のことを実行する必要があります。

- このワークフロー状態に対して、割当て期限を設定できるようにすること。
- ワークフロー管理者のロールがワークフロー・プロセスに対して割り当てられているか、適切な機能権限が付与されていること。

前述の条件がともに満たされる場合にのみ、割当て期限設定オプションを利用できます。適切な権限があるかどうか、および対象のワークフロー状態に対して割当て期限を設定できるかどうかについては、管理者に問い合せてください。

割当て期限を設定するには

注意

この手順では、アセットの調査ビューから割当て期限を設定する方法について説明します。また、アセットの割当てを完了するときに、割当て期限を設定できます。このような場合は、「割当ての終了」フォームには「割当て期限」フィールドが含まれます。

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 割当て期限を設定するアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」() タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
 - c. アセットのリストで、割当て期限を設定するアセットの名前をクリックします。

調査ビューのアセットを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。
3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します。

4. 「ワークフロー・コマンド」ドロップダウン・メニューで、「割当て期限の設定」を選択します。

注意

ドロップダウン・メニューに「割当て期限の設定」機能が表示されない場合は、ここで中止します。機能が管理者によって有効にされていないか、アクセスに適切な権限がありません。

このタブには、「割当て期限の設定」フォームが表示されます。

The screenshot shows a web browser window with a tab titled 'FSIIAbout'. The main content area is titled 'Set Assignment Deadline'. The form contains the following information:

- Name: FSIIAbout
- Description: About FirstSiteII
- Asset Type: Content
- Workflow Process: FSII: Approval for Content
- State: FSII: Ready to Edit
- Current Assignment Deadline: Not Set
- *Set Assignment Deadline: Use default, Due [Date Picker]

At the bottom of the form are 'Cancel' and 'Save' buttons.

5. 「割当て期限の設定」フィールドで、日付ピッカーを使用して日付を入力します。デフォルトの割当て期限は、ワークフロー状態の定義で管理者によって設定されます。たとえば、**FSII: Approval for Content** サンプル・ワークフローでは、各状態に現在の日時からの 1 年間の期間が含まれます。
6. 「保存」をクリックします。
タブに、アセットのステータスのサマリー画面が再表示されます。

割当ての終了

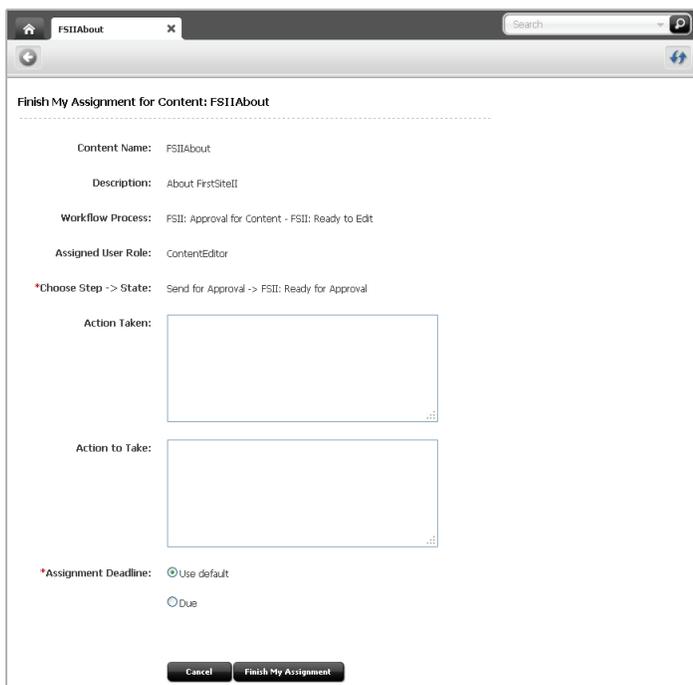
割当て作業を完了した後、アセットがワークフローを通じて引き続き移動できるように、終了した旨をシステムに通知する必要があります。

アセットの割当てを終了するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 該当するアセットの「割当ての終了」フォームにアクセスします。次のいずれかを行います。

- 現在アセットで作業中の場合：
 - a. メニュー・バーで「表示」→「ステータスの表示」を選択します
タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。
 - b. 「ワークフロー・コマンド」ドロップダウン・メニューで、「割当ての終了」を選択します。
- アセットがすでに開いている場合：
 - a. 「ホーム」() タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
 - c. 割り当てられたアセットのリストで、該当するアセットの行を選択した後、「割当ての終了」をクリックします。

「割当ての終了」フォームが表示されます。



3. 次の要領でフォームに入力します。

注意

この手順は、(「割当ての終了」ボタンの隣にある)「取消」または(アセットのツールバーにある)「戻る」のいずれかをクリックすることにより、いつでも取り消すことができます。

- ワークフロー・プロセスに複数の参加者のロールが含まれる場合、「割り当てられたユーザー・ロール」フィールドで、この割当てを終了するロールを選択します。
- (オプション)「実行されたアクション」フィールドで、アセットに対して完了した作業の簡単な説明を入力します。

- (オプション)「実行されたアクション」フィールドで、アセットに対して作業する次の個人に関する簡単な提案を入力します。
- ワークフロー・プロセスの次のステップで割当て期限の設定が有効である場合、「割当て期限」フィールドが表示されます。

「割当て期限」フィールドで、次の割当てに対して割り当てられた時間をオーバーライドする場合は、「**期限**」ラジオ・ボタンを選択した後、日付ピッカーを使用して日付を入力します。日付を指定しない場合、割当ての期限は、次のワークフロー状態によって決定される時間内になります。

注意

この機能は、ワークフロー管理者によって有効にされた場合にのみ表示されます。

割当て期限を設定するために、ワークフロー・プロセスに管理ロールまたは他の適切な権限を含める必要があります。詳細は、[275 ページの「割当て期限の設定」](#)を参照してください。

4. 「割当ての終了」をクリックします。
5. 割当ての終了時に次のステップの割当て先を選択することを必要とする設定を管理者がワークフロー・プロセスで行った場合、WebCenter Sites には「割当て先の選択」フォームが表示されます。

Role	Users
* Approver:	firstelle hwdmin Napoleon

表示されている各ロールについて少なくとも 1 人のユーザーを選択した後、「割当て先の設定」をクリックします。

このタブには、アセットのステータスのサマリー画面が表示され、「ワークフロー状態」フィールドおよび「ワークフロー履歴」フィールドに変更内容

が表示されます。このフィールドの詳細は、288 ページの「アセットのワークフロー進捗状況の確認」を参照してください。

Content:FSIIAbout

Name: FSIIAbout

Description: About FirstSiteII

Status: Edited

Created: Tuesday, August 23, 2005 12:09:48 PM EDT by firstsite

Modified: Tuesday, August 23, 2005 1:52:24 PM EDT by firstsite

Workflow commands: <Select Workflow Action>

Workflow process: FSII: Approval for Content - FSII: Ready for Approval

Workflow state:

Assigned to	Assigned by	Assigned date	Action to Take	Step Chosen	Task Status
fwadmin(Approver)	fwadmin	4/13/12 12:25 PM	Assignment information not available	-	active

Workflow history:

Assigned to	Assigned date	Resolved by	Resolution Date	Action Taken	Task Status
fwadmin(ContentEditor)	4/13/12 12:13 PM	fwadmin	4/13/12 12:25 PM	Assignment information not available	completed
fwadmin(ContentEditor)	4/13/12 11:53 AM	fwadmin	4/13/12 12:12 PM	Assignment information not available	cancelled
fwadmin(ContentEditor)	4/13/12 11:52 AM	fwadmin	4/13/12 11:53 AM	Assignment information not available	cancelled

FSII Destination (RealTime): Approval State: Needs Approval. Not yet approved for publish.

FSII Destination (dynamic): Approval State: Needs Approval. Not yet approved for publish.

割当ての完了後の処理は、管理者による次のワークフロー・ステップの設定方法に応じて異なります。次の5つのオプションがあります。

- **参加者リストからの割当て**: 自身 (または適切な権限を有する他のユーザー) がワークフローにアセットを割り当てると、アセットがロールを必要とするワークフロー状態になったときにその各ロールのどの参加者に割当てを適用するかを決定できます。これは、ワークフローを通じてアセットを移動するためのデフォルトのメカニズムです。
- **ステップ実行時に割り当てられるユーザーを選択**: このオプション (手順 5 を参照してください) は、前述した「参加者リストからの割当て」オプションと似ていますが、どのワークフロー状態で誰に割当てが適用されるかをワークフローの最初に事前に決定するのではなく、ステップごとに次のワークフロー状態の割当て先をリアルタイムに選択します。
- **割り当てられたユーザーを「開始状態」に維持**: 次の状態へのアセットの移動時に割当てを維持します。これによって、その状態のアセットで引き続き作業できます。おそらく、割当てを維持することが適切である理由は明らかになっていないと思われるかもしれませんが、そうでない場合は WebCenter Sites を参照するか、ワークフロー管理者に問い合せてください。
- **全員への割当て**: 現在のワークフロー・プロセスに参加するロールを保持するすべてのユーザーにアセットは割り当てられます。
- **割当てがありません**: アセットが次の状態に移動すると、ワークフロー内に残り、ワークフロー・プロセスに対して定義された機能権限が強制されます。ただし、アセットは誰にも割り当てられません。また、参加者のロール

単独で(割り当てられた機能権限を通じて)、アセットに対して誰がどのように作業できるかが決まります。

割当ての委任

割当てリストのレビュー時に、特定の割当てを完了できないことが判明する場合があります。たとえば、割当ての期日がスケジュール済休暇期間内であることに気づく場合が考えられます。このような状態で、別のユーザーがアセットに対して同じ割当てをまだ持たない場合に、同じロールを持つ別のユーザーに割当てを委任できます。つまり自身および別のユーザーがともに編集者ロールを持つ場合、他のユーザーに編集者ロールを通じてすでにアセットが割り当てられているときは、別のユーザーにアセットを委任できません(このアセットは、異なるロールまたは別のワークフロー・プロセスを通じてユーザーに割り当てることができます)。

割当てを委任するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 別のユーザーに委任するアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」() タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
 - c. アセットのリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。
調査ビューのアセットを(フォーム・モードまたは Web モードで)表示するタブが開きます。
3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します。
4. 「ワークフロー・コマンド」ドロップダウン・メニューで、「割当ての委任」を選択します。

注意

ドロップダウン・メニューに「割当ての委任」機能が表示されない場合は、ここで中止します。この機能にアクセスする適切な権限がないか、または割当てを委任できるロールのユーザーが他にいません。

このタブに「割当ての委任」フォームが表示されます。

FSIIAbout

Search

Delegate Assignment for Content: FSIIAbout
(As workflow administrator)

Content Name: FSIIAbout

Description: About FirstSiteII

Workflow Process: FSII: Approval for Content - FSII: Ready for Approval

Assigned to: fwadmin(Approver)

*Delegate to: Napoleon firstsite

Action Taken:

Cancel Delegate

5. ワークフロー管理者のロールを持ち、ワークフロー・プロセスのこのステップに同じロールを持つ複数のユーザーが割り当てられている場合、「割当て先」フィールドにドロップダウン・メニューが表示されます。「割当て先」ドロップダウン・リストで、別のユーザーにかわって割当てを委任する場合、割当てを委任するユーザーを選択します。それ以外の場合は、自身のユーザー名を選択します。
6. 「委任先」フィールドで、割当てを委任するユーザーを選択します。
7. (オプション)「実行されたアクション」フィールドで、アクションに関するコメントを入力します。
8. 「委任」をクリックします。

タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。フィールドに「ワークフロー履歴」表が表示されない場合は、「**ワークフロー履歴を参照するにはここをクリックしてください。**」リンクをクリックします。委任した割当てでは、「タスクのステータス」列に委任が示されます。

このアクションではまた、サイトがそのように構成されていれば、新規の割当て先に宛てた通知電子メールがトリガーされます。

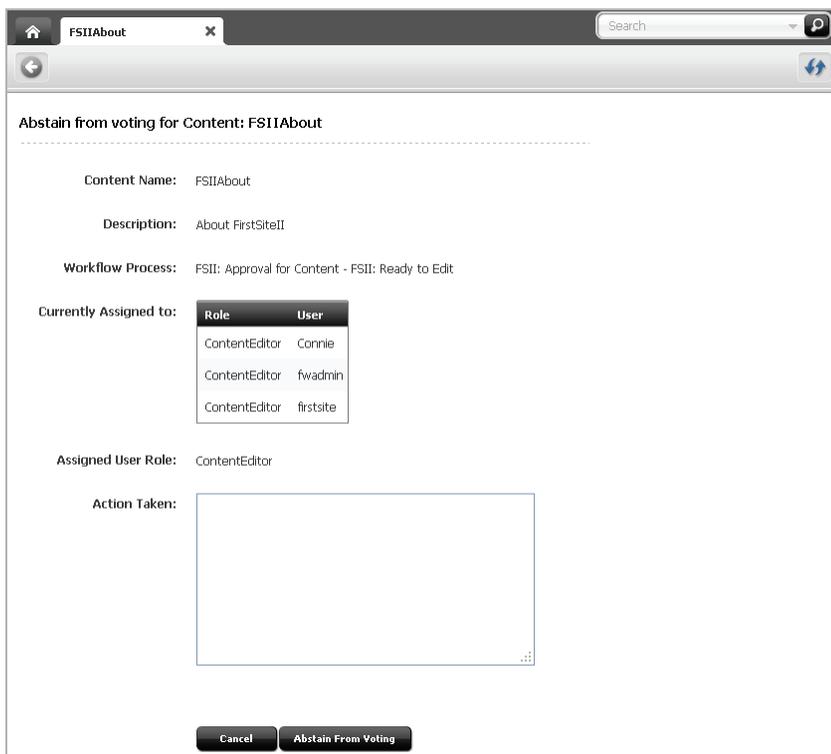
投票の棄権

ワークロードの負荷が高すぎることや、おそらくロールに対して適任ではないことなどの理由で、個々の割当てを処理できないことがあります。このような場合、その特定のロールおよび(または)ステップに対して最後の(または唯一の)投票でないかぎり、投票を棄権(つまり、参加を放棄)できます。棄権しても、割当ては残りますが、アセットはワークフローにおいて続行できます。

割当てに対する投票を棄権するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 投票を棄権するアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」() タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
 - c. アセットのリストで、投票を棄権するアセットの名前をクリックします。調査ビューのアセットを(フォーム・モードまたは Web モードで)表示するタブが開きます。
3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します。タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。
4. 「ワークフロー・コマンド」ドロップダウン・メニューで、「投票の棄権」を選択します。

このタブには、「投票の棄権」フォームが表示されます。



Abstain from voting for Content: FSIIAbout

Content Name: FSIIAbout

Description: About FirstSiteII

Workflow Process: FSII: Approval for Content - FSII: Ready to Edit

Currently Assigned to:

Role	User
ContentEditor	Connie
ContentEditor	fwadmin
ContentEditor	firstsite

Assigned User Role: ContentEditor

Action Taken:

Cancel Abstain From Voting

5. ワークフロー・プロセスに複数の参加者のロールが含まれる場合は、「割り当てられたユーザー・ロール」フィールドで、この割当てに対する投票を棄権するロールを選択します。
6. (オプション)「実行されたアクション」フィールドで、棄権の簡単な説明を入力し、「投票の棄権」をクリックします。

タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。この棄権は、「ワークフロー状態」フィールドに示されます。棄権によって割当てが取り消されるわけではないことに注意してください。

Content:FSIIAbout

Name: FSIIAbout

Description: About FirstSiteII

Status: Edited

Created: Tuesday, August 23, 2005 12:09:48 PM EDT by firstsite

Modified: Tuesday, August 23, 2005 1:52:24 PM EDT by firstsite

Workflow commands: <Select Workflow Action>

Workflow process: FSII: Approval for Content - FSII: Ready to Edit

Workflow state:

Assigned to	Assigned by	Assigned date	Action to Take	Step Chosen	Task Status
firstsite(ContentEditor)	fwadmin	4/13/12 1:55 PM	Assignment information not available	-	active
fwadmin(ContentEditor)	fwadmin	4/13/12 1:55 PM	Assignment information not available	-	abstain
Connie(ContentEditor)	fwadmin	4/13/12 1:55 PM	Assignment information not available	-	active

Workflow history: [Click here to see Workflow History.](#)

FSII Destination (RealTime): Approval State: Needs Approval. Not yet approved for publish.

FSII Destination (dynamic): Approval State: Needs Approval. Not yet approved for publish.

デッドロックの解決

デッドロックは、アセットを次の状態に移動するステップの選択肢があり、各ステップですべての割当て先が投票する必要がある場合に発生することがあります。単一ステップの賛意について投票が一致しない場合、デッドロックが生じます。

デッドロックの解決では、意見の一致を得るための割当て先間のオフラインによる通信および交渉が行われることが多く、デッドロックはそれ自体で全関係者に追加作業を発生させるので、可能な場合は必ず回避してください。デッドロックが発生した場合、ワーク・フローの遅延を最小限に抑えるために、可能なかぎり迅速に解決してください。

デッドロックを解決するには、同意の形成のために一部の参加者が投票を変更する必要があります。自身の投票によりデッドロックが生じた旨の電子メール通知を受信した場合は、デッドロックを解消するために再投票する必要があります。

デッドロックを解決するには、次のいずれかのことを行います。

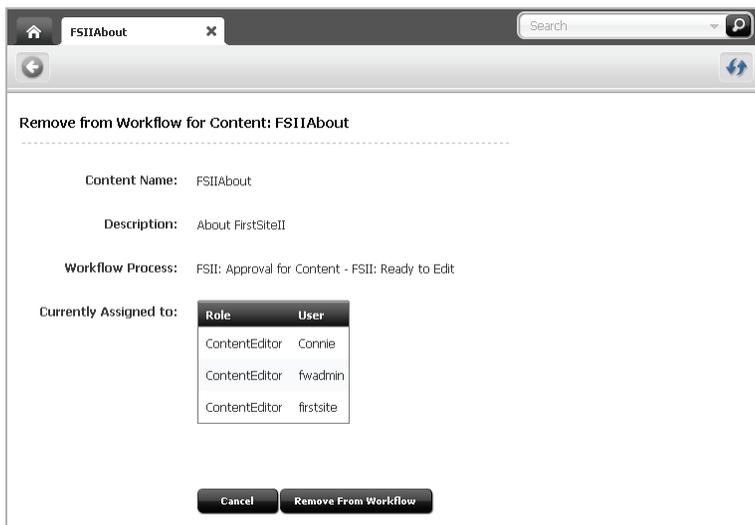
- 276 ページの「割当ての終了」の説明に従って、割当てに対する再投票で、割当てを終了するための選択を行います。
- 場合によっては、投票を棄権に変更して、アセットを次のワークフロー状態に移動できるようにすることで、デッドロックを解決することもできます (282 ページの「投票の棄権」を参照してください)。

ワークフローからのアセットの除去

権限がある場合は、ワークフローからアセットを除去できます。ワークフローからアセットを除去すると、アセットの割当てがすべて取り消されます。

ワークフローからアセットを除去するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. ワークフローから除去するアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」() タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
 - c. アセットのリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。
調査ビューのアセットを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。
3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します。
タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。
4. 「ワークフロー・コマンド」ドロップダウン・メニューで、「ワークフローからの除去」を選択します。
このタブには、「ワークフローからの除去」フォームが表示されます。



Remove from Workflow for Content: FSIIAbout

Content Name: FSIIAbout

Description: About FirstSiteII

Workflow Process: FSII: Approval for Content - FSII: Ready to Edit

Currently Assigned to:

Role	User
ContentEditor	Connie
ContentEditor	fwadmin
ContentEditor	firstsite

Cancel Remove From Workflow

5. ワークフローからアセットを除去しても問題ないことを確認したら、「ワークフローからの除去」をクリックします。(そうでない場合は、「取消」をクリックします)。

タブに、アセットのサマリー画面が再表示されます。「ワークフロー・プロセス」フィールドに削除された旨が示されます。アセットのすべての割当てが自動的に取り消されます。

アセットの参加者 (割当て先) のリストの表示

アセットの参加者 (割当て先) のリストを調べるには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 参加者リストを表示するアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」 () タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
 - c. アセットのリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。
調査ビューのアセットを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。
3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します。
4. 「ワークフロー・コマンド」ドロップダウン・メニューで、「参加者の表示」を選択します。

注意

ドロップダウン・メニューに「参加者の表示」機能が表示されない場合は、ここで中止します。管理者が機能を有効にしていないか、アクセスに適切な権限がありません。

タブに、「参加者の表示」サマリー画面が表示されます。



Step	Users Authorized	Users Notified
Reject	fwadmin, Napoleon, firstsite	Connie, fwadmin, firstsite
Send for Approval	Connie, fwadmin, firstsite	fwadmin, Napoleon, firstsite
Return for Edit	fwadmin, Napoleon, firstsite	Connie, fwadmin, firstsite
Approve and Lock	fwadmin, Napoleon, firstsite	No Users.
Create	fwadmin, Conrad, firstsite	Connie, fwadmin, firstsite

ワークフロー・プロセスの各ステップについて、「参加者の表示」サマリーに次が表示されます。

- **ステップ**: アセットの現在のワークフロー・プロセスに含まれるステップ。

- 権限の付与されたユーザー: アセットの割当てを持つ場合にワークフロー・プロセスの次のステップを実行する権限が付与されたユーザー。
 - 通知ユーザー: アセットの次の割当てを取得するユーザー。
5. リストの確認が終了したら、アセットのツールバーの「戻る」() アイコンをクリックして、アセットの調査ビューに戻ります。

ワークフローの参加者の設定

ワークフローにアセットを配置して、ワークフロー・プロセスの各ロールについて割当て先を選択した後、特定のロールの割当て先として指定のユーザーを含めていないことに気付く場合があります。また、特定のユーザーに対する割当てが誤っていることに気付く場合も考えられます。このような場合は、アセットがワークフローに配置されている間に、アセットの参加者のリストを変更できます。

ワークフロー参加者を設定するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 参加者を設定するアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」() タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
 - c. アセットのリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。
調査ビューのアセットを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。
3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します。
タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。
4. 「ワークフロー・コマンド」ドロップダウン・メニューで、「参加者の設定」を選択します。

注意

ドロップダウン・メニューに「参加者の設定」機能が表示されない場合は、ここで中止します。管理者が機能を有効にしていないか、アクセスに適切な権限がありません。

このタブに「参加者の設定」フォームが表示されます。

The screenshot shows a web browser window with the title 'FSIIAbout'. The main content area is titled 'Set Participants' and contains the following information:

Please select at least one user from each role

Content Name: FSIIAbout
Description: About FirstSiteII
Workflow Process: FSII: Approval for Content

Participants:

Role	Users
* Approver:	frstsite fwadmin Nepoleon
* ContentAuthor:	Content frstsite fwadmin
* ContentEditor:	Connie frstsite fwadmin

Buttons: Cancel, Set Participants, Select All

このフォームで選択した各参加者は、このアセットに対して対応するロールの割当て先になります。

5. 各ロール・リストでユーザーの名前を選択することにより、この割当てに対する適切な割当て先を選択します。
6. 適切な割当て先を選択したら、「参加者の設定」をクリックします。

タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。新たに選択した割当て先が「ワークフロー状態」フィールドに示されます。

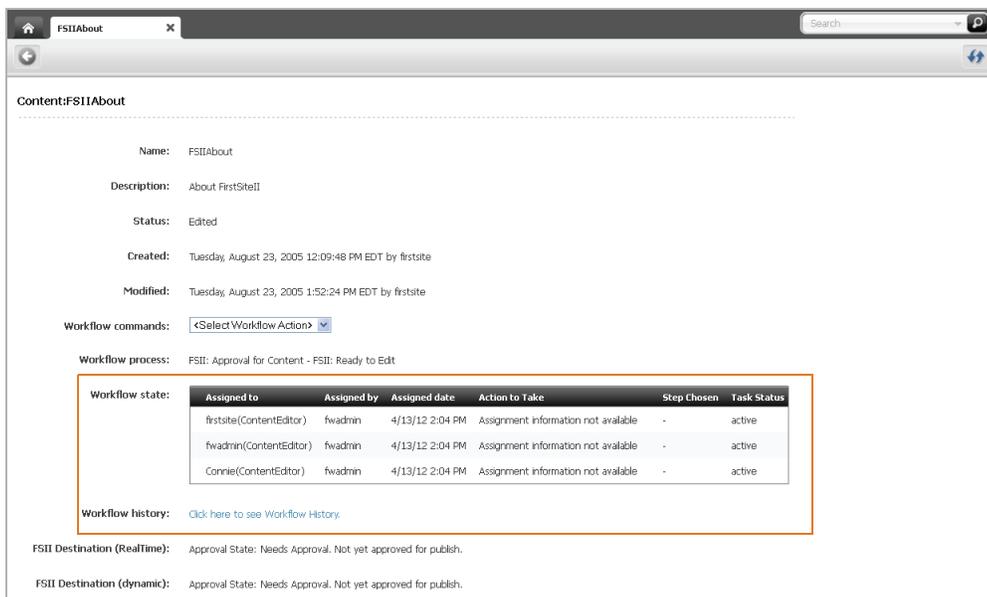
注意

アセットがワークフロー・プロセスの各ステップを通過すると、参加者リストは更新されます。ただし、追加されたユーザーのロールに割り当てられたワークフロー状態にまだ到達していない場合にのみ、そのユーザーへの割当てが行われます。

アセットのワークフロー進捗状況の確認

アセットのワークフロー進捗状況を確認するには

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイトと、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. ワークフローの進捗状況を表示するアセットを見つけて開きます。
 - a. 「ホーム」() タブをクリックすることにより、ダッシュボードにアクセスします。
 - b. ダッシュボードの「割当て」セクションに移動します。
 - c. アセットのリストで、適切なアセットの名前を右クリックします。
調査ビューのアセットを (フォーム・モードまたは Web モードで) 表示するタブが開きます。
3. メニュー・バーで「表示」→「ステータス」を選択します。
タブに、アセットのステータスのサマリー画面が表示されます。
4. アセットのワークフロー・サマリーを含むフィールドに移動します。



Content:FSIIAbout

Name: FSIIAbout

Description: About FirstSiteII

Status: Edited

Created: Tuesday, August 23, 2005 12:09:48 PM EDT by firstsite

Modified: Tuesday, August 23, 2005 1:52:24 PM EDT by firstsite

Workflow commands: <Select Workflow Action>

Workflow process: FSII: Approval for Content - FSII: Ready to Edit

Workflow state:

Assigned to	Assigned by	Assigned date	Action to Take	Step Chosen	Task Status
firstsite(ContentEditor)	fwadmin	4/13/12 2:04 PM	Assignment information not available	-	active
fwadmin(ContentEditor)	fwadmin	4/13/12 2:04 PM	Assignment information not available	-	active
Connie(ContentEditor)	fwadmin	4/13/12 2:04 PM	Assignment information not available	-	active

Workflow history: [Click here to see Workflow History.](#)

FSII Destination (RealTime): Approval State: Needs Approval. Not yet approved for publish.

FSII Destination (dynamic): Approval State: Needs Approval. Not yet approved for publish.

- 「ワークフロー・プロセス」フィールドには、アセットが現在通過しているワークフロー・プロセスが示されます。
- 「ワークフロー状態」フィールドには、アセットが現在ワークフロー・プロセス内のどこに位置するか、およびアセットが現在誰に割り当てられているかを示す表が示されます。

Workflow state:	Assigned to	Assigned by	Assigned date	Action to Take	Step Chosen	Task Status
	firstsite(ContentEditor)	fwadmin	4/13/12 2:04 PM	Assignment information not available	-	active
	fwadmin(ContentEditor)	fwadmin	4/13/12 2:04 PM	Assignment information not available	-	active
	Connie(ContentEditor)	fwadmin	4/13/12 2:04 PM	Assignment information not available	-	active

- 「ワークフロー履歴」フィールドには、アセットに対してこれまで完了した割当ておよび各割当ての結果を示す表が含まれます。リストの各行は、単一の割当てを表します。アイテムの順序は、最後に完了した割当てがリストの先頭に示されます。

Workflow history:	Assigned to	Assigned date	Resolved by	Resolution Date	Action Taken	Task Status
	firstsite(ContentEditor)	4/13/12 1:55 PM	fwadmin	4/13/12 2:04 PM	Assignment information not available	cancelled
	fwadmin(ContentEditor)	4/13/12 1:55 PM	fwadmin	4/13/12 2:04 PM	Assignment information not available	cancelled
	Connie(ContentEditor)	4/13/12 1:55 PM	fwadmin	4/13/12 2:04 PM	Assignment information not available	cancelled
	fwadmin(Approver)	4/13/12 1:52 PM	fwadmin	4/13/12 1:55 PM	Assignment information not available	cancelled
	firstsite(Approver)	4/13/12 1:51 PM	fwadmin	4/13/12 1:52 PM	Assignment information not available	delegated
	fwadmin(Approver)	4/13/12 12:25 PM	fwadmin	4/13/12 1:51 PM	Assignment information not available	delegated
	fwadmin(ContentEditor)	4/13/12 12:13 PM	fwadmin	4/13/12 12:25 PM	Assignment information not available	completed
	fwadmin(ContentEditor)	4/13/12 11:53 AM	fwadmin	4/13/12 12:12 PM	Assignment information not available	cancelled
	fwadmin(ContentEditor)	4/13/12 11:52 AM	fwadmin	4/13/12 11:53 AM	Assignment information not available	cancelled

「ワークフロー履歴」表が表示されない場合は、「ワークフロー履歴を参照するにはここをクリックしてください。」リンクをクリックします。

表 6 (次は)「ステータス」リストおよび「ワークフロー履歴」リストのすべての列を示しています。

表 6: 「ワークフローの概要」リストの列

列	定義
割当て先	各割当ての割当て先のユーザー名。ユーザーのロールは、ユーザー名の後のカッコ内に表示されることに注意してください。
割当て者	アセットでの作業を終了しアセットを次の参加者に割り当てた割当て先のユーザー名。「ワークフロー履歴」リストで、(リストの最下部にある)この列の第 1 エントリには、ワークフロー・プロセスにアセットを割り当てた個人のユーザー名が表示されます。
割当て日	アセットがユーザーに割り当てられた日時。
実行するアクション	アセットを割り当てたユーザーからの説明。割当ての終了時にその個人が「割当ての終了」フォームに入力したものです (276 ページを参照してください)。テキストが列の幅より長い場合、テキストをクリックして全体を表示します。
選択したステップ	「割当ての終了」フォームで次のステップが選択されている場合、割当てを完了したユーザーにより指示されたステップ。
実行されたアクション	アセットに対してこのユーザーが行った作業に関する情報 (フォームに情報が入力されている場合)。テキストが列の幅より長い場合、テキストをクリックして全体を表示します。
解決者	アセットを次の状態に移動したアクションを行った個人。
解決日	アセットを次の状態に移動したアクションが行われた日時。

表 6: 「ワークフローの概要」 リストの列 (続き)

列	定義
タスクのステータス	<p>割当てのステータス。可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• 棄権: 割当て先は投票を棄権しました。• アクティブ: アセットは現在、いずれかのユーザーに割り当てられています。• 取消済: 最初の投票によりアセットが次の状態に移動しました。したがって、他の割当て先に対する割当てが取り消されたか、アセットがワークフローから除去されました。• 完了: 割当て先がステップを完了しました。• 委任済: 割当てが同じロールの別のユーザーに委任されました。• キュー: アセットは現在の状態に対して複数の割当て先を持ち、次のステップは全員投票ですが、まだ投票していないユーザーが存在します。(また、アセットがデッドロックしている場合にも表示されます)。

第 3 部

Oracle WebCenter Sites: Engage アセットの使用

この部では、Engage アセットを使用してサイト訪問者をターゲットにしたマーケティング・キャンペーンを実施するマーケティング担当者のタスクと職務について説明します。

この部は次の章で構成されます。

- [第 15 章「Oracle WebCenter Sites: Engage の概要」](#)
- [第 16 章「訪問者のセグメントへのグループ化」](#)
- [第 17 章「推奨の作成および構成」](#)
- [第 18 章「プロモーションの作成」](#)

第 15 章

Oracle WebCenter Sites: Engage の概要

WebCenter Sites では、フレックス・アセット・モデルを使用して、販売用の製品とコンテンツを提供するオンライン・カタログを作成できます。マーケットを特定の顧客グループで特徴付けられる複数のセグメントに分割し、各セグメントをターゲットにパーソナライズした販売促進メッセージやマーケティング・メッセージを作成するような場合、Engage はまさにそれに適したソリューションです。

Engage は、WebCenter Sites とともにインストールされます。Engage は、WebCenter Sites にマーチャンダイジング機能を追加し、E-Commerce サイトのプログラミングに使用できる XML および JSP オブジェクトのメソッドを拡張します。これにより、サイトの訪問者や顧客の情報を収集、評価し、さらにその情報を使用して各訪問者に表示される製品配置や販売促進オファリングをパーソナライズする Web サイトを設計できるようになります。

この章は、次の項で構成されています。

- [マーチャンダイジング・アセットについて](#)
- [セグメントを使用した訪問者の分類](#)
- [セグメント分けされた訪問者への推奨の作成](#)
- [購買パターンに基づくプロモーション](#)

マーチャンダイジング・アセットについて

Engage では、マーチャンダイジング・アセットを使用して、次の操作を実行します。

- "訪問者属性"、"訪問者履歴" および "履歴定義" アセットを使用して、訪問者データを収集します。
- その訪問者データを使用して訪問者セグメントを定義します ("セグメント" アセットを使用)。
- 訪問者の属するセグメントに基づいて、訪問者に製品とコンテンツを推奨します ("推奨" アセットを使用)。
- すべてまたは特定のセグメントに適用されるプロモーションを実行します ("プロモーション" アセット)。

開発者と管理者は、訪問者データと基礎になるビジネス・ロジックを作成および管理し、マーケティング担当者は "セグメント"、"推奨"、"プロモーション" の各アセットを作成、管理します。他のあらゆる Sites アプリケーションと同様に、アセットの作成と操作は管理サイトで行います。その後、アセットが承認されたら、アセットを配信サイトにパブリッシュします。

マーケティング担当者と開発者は、広い範囲で協力して、効果的なマーチャンダイジングの取組みを実施することを求められます。

セグメントを使用した訪問者の分類

セグメントは、収集した訪問者データに基づいて訪問者をグループに分類するアセットです。セグメントを作成する際は、フィルタ基準として使用する訪問者データの種類を決定し、特定の訪問者がそのセグメントに適しているかどうかを判断する値を設定します。

ユーザーは、Engage の "セグメントのフィルタ" フォームを使用し、開発者が作成した訪問者属性、履歴属性および履歴定義に基づいて、訪問者を分類します。

セグメントは、Engage におけるパーソナライズのキーとなります。訪問者がサイトを参照すると、訪問者が送信した情報を使用して、その訪問者がセグメントのメンバーに該当するかが判断されます。サイトに推奨やプロモーションを含むページを表示する場合は、Engage によって訪問者が属するセグメントが判断され、そのセグメント向けの推奨製品や販売促進メッセージが表示されます。

セグメントの詳細は、第 16 章「訪問者のセグメントへのグループ化」を参照してください。

セグメント分けされた訪問者への推奨の作成

"推奨"アセットを作成したら、作成済の各セグメントにとっての重要度に基づいて各アセットを評価し、セグメントに構成します。

推奨は、サイト・ページで特集または推奨する製品やコンテンツを決定するアセットです。これらのアセットは、訪問者が所属するセグメントに基づいたルールですが、製品アセットやコンテンツ・アセット間の関係に基づく場合もあります。

推奨にはテンプレートがあります。推奨は、テンプレートがサイト・ページにレンダリングされるときに、そのテンプレートに対するアセットのリストを返します。推奨されるアセットのリストに含まれるアイテムは、現在の訪問者が属するセグメントに基づいて、その訪問者にとっての重要度に従って評価されます。

推奨の詳細は、[第 17 章「推奨の作成および構成」](#)を参照してください。

購買パターンに基づくプロモーション

プロモーションは、訪問者が購入しようとしている製品と訪問者が属するセグメントに基づいて価値(割引)の提供を定義するアセットです。この価値の提供にはいくつかの方法があります。

- プロモーション対象製品の購入価格の割引
- ショッピング・カート全体の価格の割引
- 送料の割引
- 割引の組合せ：送料の割引と価格またはカート全体の割引

プロモーションでは、推奨と同じテンプレートが使用されます。プロモーションでオーバーライドする推奨をユーザーが決定すると、その推奨のテンプレートを使用してサイト・ページにプロモーションがレンダリングされます。

セグメントの詳細は、[第 18 章「プロモーションの作成」](#)を参照してください。

第 16 章

訪問者のセグメントへのグループ化

セグメントは、収集した訪問者データに基づき、訪問者をグループにカテゴリ分けするアセットです。セグメントを作成する際は、フィルタ基準として使用する訪問者データの種類を決定し、訪問者がそのセグメントに適しているかどうかを判断する値を設定します。

この章では、セグメント、およびセグメントの作成手順について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- 「セグメントについて」
- 「セグメント・フォームについて」
- 「セグメントの作成」
- 「サンプル・セグメント・アセット」
- 「セグメントのパブリッシュ」
- 「パブリッシュ後」

セグメントについて

セグメントは、推奨や販売促進を作成するのに使用します。セグメントでは、推奨や販売促進のどのコンテンツが訪問者に適しているかが決定され、そのコンテンツが訪問者に表示されます。

セグメントは、Engage におけるパーソナライズおよびマーチャンダイジングのキーとなります。サイト・ページが依存している訪問者セグメントをマーケティング担当者が作成します。どのマーチャンダイジング・メッセージをどの訪問者セグメントに関連付けるかを把握しているからです。

セグメントを作成する際は、そのセグメントのメンバーに含まれるために訪問者が一致する必要があるフィルタ基準を指定します。これは、データベース管理者やサイト管理者がデータベース問合せを作成する際、その問合せ結果に含まれるために、データベース・レコードが満たす必要のあるパラメータを指定する作業と類似しています。

セグメントおよび訪問者データ・アセット

セグメントは、訪問者データ・アセットをフィルタ基準として使用して作成します。訪問者データ・アセットには、訪問者属性、履歴属性および履歴定義の 3 種類があります。

- **訪問者属性**には、1 つの特性のみを指定する種類の情報が保持されます。たとえば、*経験年数*、*職務内容*または*子どもの人数*などの属性があります。
訪問者がデータを変更すると、その新しいデータで以前のデータが上書きされます。たとえば訪問者が、自分の職務内容をアナリストからマーケティング・スペシャリストに変更すると、その訪問者がかつてアナリストであった記録は存在しなくなります。
- **履歴属性**は、個別情報の種類であり、これらをグループ化して 1 つの種類の履歴レコードを作成します。
- この履歴レコードが、**履歴定義**です。たとえば、*購入*という履歴定義は、履歴属性である *SKU #*、*アイテム名*、*数量*および*価格*などで構成することが可能です。

Engage では、履歴定義として記録されたデータが、ひとかたまりの情報単位として扱われます。タイムスタンプが割り当てられるとともに個々のデータ・インスタンスが格納されるため、ユーザーは履歴定義の数や合計に基づきセグメントを作成できます。

開発者は、マーケティング・チームや設計チームが収集および分析する種類の情報に基づき、訪問者データ・アセットを作成します。その他の販売担当者も、自分達のサイト訪問者を分類するセグメントの作成にこれらのアセットを使用でき、開発者は訪問者情報を収集および格納するためのサイト・ページをプログラムします。

セグメントの開発：プロセスの概要

セグメントを作成する 5 つの一般的な手順は、次のとおりです。

1. **計画**：開発者やマーケティング担当者から構成されるクロスファンクショナルな設計チームによって、収集するサイト訪問者のデータが決定されます。
2. **訪問者データ・アセットの作成**：開発者は、必要な訪問者属性、履歴属性および履歴定義を、Engage のフォームを使って作成および定義します。
3. **セグメントの作成**：ユーザー（販売担当者）は、Engage のセグメント・フォームを使用して、訪問者をその訪問者の属性、履歴属性および履歴定義に基づきカテゴリ分けします。
4. **訪問者データの収集**：開発者は、訪問者データを収集および格納できる適切なサイト・ページをプログラムします。たとえば、訪問者がセグメントに該当するかどうかの判断に使用される情報を書き込むオンライン登録フォームを開発者は作成できます。訪問者がサイトで送信した情報は、サイトのデータベースに格納されます。
5. **訪問者のセグメント分け**：訪問者がサイトを訪れると、訪問者が送信した情報を使用して、その訪問者がセグメントのメンバーシップに該当するかどうか判断されます。その訪問者がメンバーとして該当するセグメントに基づき、販売用のメッセージや推奨商品がパーソナライズされます。

セグメント・フォームについて

セグメントを作成する際は、セグメント・フィルタ基準フォームとセグメント定義フォームの 2 つのフォームを使用します。この項では、これらのフォームについて説明します。

セグメント・フィルタ基準フォーム

セグメント・フィルタ基準フォームでは、セグメントの作成に使用できる訪問者データ・アセットが表示されます。このフォームでは、セグメントを定義する基準を選択します。

カテゴリ

セグメント・フィルタ基準フォームの訪問者データ・アセットは、フォーム上部に横列でリストされたカテゴリで編成されています。例を示します。

Segment Filtering Criteria: Sales In 9

Buyer Contact ▶ Profile ▶ Buyer history ▶ Shopping Cart

カテゴリをクリックすると、フォームにはそのカテゴリに含まれる訪問者属性または履歴定義が表示されます。

訪問者データ・アセットは種類が大変豊富であるため、開発者はカテゴリを割り当ててそれらを編成します。(開発者は、訪問者データ・アセットを定義する際にカテゴリを作成します。)たとえば、**プロフィール・カテゴリ**は、年齢や収入など、訪問者の個人情報に関する訪問者属性を定義します。

注意

訪問者データ・アセットに実際に用いられるカテゴリは、インストール・オプションや開発者の定義によって、それぞれのインストールで異なる場合があります。カテゴリや訪問者データ・アセットに関する情報が必要な場合は、開発者にお問い合わせください。

ショッピング・カート・フォーム

ショッピング・カートは、セグメント・フィルタ・フォームでカテゴリとしてリストされていますが、単なる属性カテゴリというより、特別なデフォルトの機能になります。

The screenshot shows a web interface for defining segment filtering criteria. The title is "Segment Filtering Criteria: Movie Fan". Below the title, there are navigation tabs: "Buyer Contact", "Profile", "Buyer history", and "Shopping Cart" (which is selected). Under the "Shopping Cart" tab, there are two main sections. The first section is for defining criteria based on the cart's value or count. It has two radio buttons, both of which are selected. The first radio button is labeled "Include" and is followed by a dropdown menu set to "Total value of items in the cart", a text input field containing "is equal to", another dropdown menu set to "\$", and two more text input fields for currency values. The second radio button is also labeled "Include" and is followed by a dropdown menu set to "Total count of items in the cart", a text input field containing "is equal to", and two more text input fields for count values. Below these sections is a "Restrict to specific products:" section with a horizontal line. It has two radio buttons: "No restrictions" (selected) and "Restrict to specific items from the tree or search. (Drag items from the tree or docked search in to the drop zone):". Below this is the text "No products or product categories have been selected." At the bottom of the form are two buttons: "Cancel This Criterion" and "Add This Criterion". At the very bottom, there is an information icon and the text "Assignees have been selected. (Details)".

ショッピング・カート・フォームを使用し、次の種類の条件に基づきセグメントを作成できます。

- ショッピング・カート内の全製品の合計額
- 特定の製品がショッピング・カート内にあるかどうか
- 特定数の商品がショッピング・カート内にあるかどうか
- 特定の商品が、特定の数、ショッピング・カート内にあるかどうか

訪問者のショッピング・カートの現在状況に基づき販売促進を行う場合には、このフォームを使ってセグメントを作成してから、そのセグメントを販売促進で使用します。

ショッピング・カート・フォームは、セグメントの定義にいつでも使用できます。つまり、開発者が訪問者属性や履歴定義を作成する前でも、ショッピング・カート情報で定義されたセグメントを作成できます。

セグメント定義フォーム

セグメントを作成する際、Engage ではセグメントに追加する条件 (基準) が次のようにフォームに表示されます。

The screenshot shows a web form titled "Segment: Sales in 9". It contains several input fields and sections:

- *Name:** A text box containing "Sales in 9".
- Description:** A text box containing "Large sales or past 9 months".
- Start Date:** An empty date picker field.
- End Date:** An empty date picker field.
- Filtering Criteria:** A section with a dropdown menu currently set to "All Visitors".
- Restrict Visitors:** A section containing two criteria boxes and a dropdown menu:
 - Criteria 1: "Include (Purchase summary)" with the value "Total Amount of sales > 50". Below it are "Edit" and "Delete" buttons.
 - Criteria 2: "Include (Purchase summary)" with the value "Last date > June 15, 2012". Below it are "Edit" and "Delete" buttons.
 - Dropdown menu: "Buyer Contact" with a downward arrow.
 - Button: "Include Others".
- Restrict Visitors:** A second section with a dropdown menu set to "Buyer Contact" and a "Restrict Further" button.
- This segment is:** A dropdown menu at the bottom set to "Sales in 9".

1 行に (表に横並びで) 基準を追加していくことで、より範囲の広いセグメントが作成されます。前述のフォームでは、50 ドル以上の買い物をした訪問者、2011 年 6 月 15 日以降に買い物を行った訪問者、もしくはその両方に該当する訪問者をセグメントに含めることができます。つまり、表内の同一行に基準を追加することでより多くの要因を追加し、その要因に基づき訪問者がそのセグメントに該当するかを判定します。

基準を列で (表の縦方向に) 追加すると、より制限されたセグメントが作成されます。次の例では、両方の基準を満たした訪問者だけが、このセグメントに属します。

The screenshot displays a web interface for creating a visitor segment. It is divided into two main sections: 'Filtering Criteria' and 'This segment includes:'.
Under 'Filtering Criteria', there are three rows of restrictions, each with 'Restrict Visitors' and 'Buyer Contact' dropdown menus:
1. The first row has a table with 'Include (Purchase summary)' and 'Total Amount of sales > 100'. It includes 'Edit' and 'Delete' buttons and an 'Include Others' button.
2. The second row has a table with 'Include' and 'Age 35-39'. It includes 'Edit' and 'Delete' buttons and an 'Include Others' button.
3. The third row has a table with 'Buyer Contact'. It includes a 'Restrict Further' button.
At the bottom, under 'This segment is:', there is a table with 'Target 100'.

このセグメントに属するには、訪問者は、100 ドル以上の買い物を過去にしたことがあり、かつ年齢が 35 歳から 39 歳の間であることが求められます。つまり、フォームに列を追加することで、セグメントに制限が追加されます。

したがって、セグメントの範囲は、基準をテーブルの横方向に追加すると広くなり、テーブルの縦方向に追加すると狭くなります。

セグメントの作成

セグメントの作成前に、次のタスクが完了していることを確認してください。

- マーケティング、設計、開発の各チームが集まり、収集する訪問者データの種類を決定している。
- クロスファンクショナル・チームで必要と決定された訪問者属性、履歴属性および履歴定義が、開発者によって作成されている。
- 販売担当者が、作成された訪問者データ・アセットの一覧または概要を所有しており、それらが何を意味しどのようにカテゴリ分けされるのかを把握している。

手順 1: セグメントの名前と定義の指定

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイト (この例では FirstSite II) と、その WebCenter サイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. メニュー・バーで、「コンテンツ」→「新規」→新規セグメントを選択します。

注意

新規セグメントが、新規のフォームに表示されない場合には、ここで停止してください。セグメントを作成する権限がありません。権限の詳細は、管理者にお問い合わせください。

- a. 管理者が構成したアセット・タイプが、そのアセット・タイプでアセットが作成された際に常にワークフローに配置されるよう指定されている場合、そのアセット・タイプでアセットが新規作成されると、タブが開いて「割当て先の選択」が表示されます。

Choose Assignees

The workflow associated with this asset requires you to select assignees. Select at least one user from each role.

Workflow Process: FSII: Approval for Promotions

Assignees:

Role	Users
*MarketingEditor:	firstsite fwadmin Mary

Set Assignees

必要とされるそれぞれのロールに対し少なくとも 1 人のユーザーを選択し、「割当て先の設定」をクリックします。これらのユーザーのいずれでも、ワークフローにおいて次のステップを完了できます。詳細は、[第 14 章「ワークフロー」](#)を参照してください。

- b. セグメント・アセットの作成ビューが、Web モードで表示されている場合、そのアセットのツールバーにある「モード」スイッチをクリックしてフォーム・モードに切り替えます。

タブにはセグメント・アセットの作成ビューがフォーム・モードで表示されます。

Segment

*Name:

Description:

Start Date:

End Date:

Assignees have been selected. [\(Details\)](#)

3. 「名前」フィールドに、そのセグメントを説明する一意の名前を入力します。64 文字までの英数字 (空白を含む) を入力できます。最初の文字は英字にする必要があります。
4. 「説明」フィールドに、セグメントの簡単な説明を入力します。128 文字までの英数字を入力できます。
5. (オプション) セグメント・アセットに、開始日や終了日を割り当てます。開始日および終了日については、164 ページの「開始日と終了日の割当て」を参照してください。
6. 「続行」をクリックします。

タブにセグメントのフィルタ基準フォームが表示されます。セグメントの作成に使用できる訪問者属性および履歴定義のカテゴリが、フォーム上部に横列でリストされます。

Segment Filtering Criteria: New 2nd Use Filter

Buyer Contact > Profile > Buyer history > Shopping Cart

first

Include Login name is equal to

Buyer Contact Criteria:

- Login name
- Street address
- Additional street address information
- City name
- Two character country code
- County name
- Email address
- FAX number
- Locale setting
- Name of person
- Additional name information about a person such as a title
- Postal or zip code
- State or province name
- Telephone number
- WWW address (URL)

Cancel This Criterion Add This Criterion

特に指定がないかぎり、テキスト文字列のフィルタリングでは大文字と小文字を区別することに注意してください。

7. 次のいずれかを行います。

- 購入者の連絡先情報に基づきセグメントを作成する場合は、306 ページの「手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成」に移動してください。
- ユーザーのプロファイルに基づきセグメントを作成する場合は、306 ページの「手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成」に移動してください。
- 購入者履歴に基づきセグメントを作成する場合は、「手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成」に移動してください。
- 履歴定義に基づきセグメントを作成する場合は、「手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成」に移動してください。
- ショッピング・カートに基づきセグメントを作成する場合は、「手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義」に移動してください。

手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成

1. セグメントのフィルタ基準フォームで、「プロファイル」カテゴリをクリックします。

Engage により、そのカテゴリに含まれる属性の一覧が表示されます。

2. セグメントの定義に使用する属性の名称をクリックします。
その属性で意味のある制約フィールドがフォームで表示されます。
3. フォームを使用して属性値を設定し、セグメントに訪問者を含めたり、訪問者をそのセグメントから除外します。

たとえば、属性を年齢にし、20 歳から 24 歳の訪問者をセグメントに含める場合には、値を次のように設定します。

Profile			
Include	▼	Age is equal to	× ▼
			20-24
			× ▼

この年齢範囲に含まれる訪問者を、セグメントから除外するには、値を次のように設定します。

Profile			
Exclude	× ▼	Age is equal to	× ▼
			20-24
			× ▼

4. 「この基準の追加」をクリックします。

基準が、セグメントに追加されます。

The screenshot shows the configuration page for a segment named 'SegmentTest'. The page is titled 'Segment: SegmentTest'. It contains several input fields: '*Name' (SegmentTest), 'Description', 'Start Date', and 'End Date'. Below these is the 'Filtering Criteria' section, which shows 'This segment includes: All Visitors'. Underneath, there are two 'Restrict Visitors' sections. The first one has an 'Exclude' dropdown set to 'Age 20-24' and a 'Buyer Contact' dropdown. Below it are 'Edit' and 'Delete' buttons, and an 'Include Others' button. The second 'Restrict Visitors' section has a 'Buyer Contact' dropdown and a 'Restrict Further' button. At the bottom, it says 'This segment is: SegmentTest'. A status message at the bottom left reads 'Assignees have been selected. (Details)'.

5. 次のいずれかを行います。

- セグメントの作成後に、アセットのツールバーで「保存」(保存)アイコンをクリックします。
- さらに基準をセグメントに追加するには、次の手順を続行します。

6. 次のいずれかを行います。

- さらに基準を追加して、このセグメントに該当する訪問者を検索するには、先ほど追加した基準の(同列)右側にあるのドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「その他を含む」をクリックします。
- セグメントに、さらに制限を追加するには、先ほど追加した基準の下(次の列)にあるドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「さらに制限」をクリックします。

7. 次のいずれかを行います。

- 訪問者属性のカテゴリを選択した場合は、この手順の手順 2 に戻ります。
- 履歴定義のカテゴリを選択した場合は、「手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成」に移動してください。
- ショッピング・カートを選択した場合は、「手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義」に移動してください。

手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成

1. セグメントのフィルタ基準フォームで、履歴定義のカテゴリをクリックします(この例では、**購入者履歴**です)。

履歴定義においてセグメントのフィルタ基準フォームが表示されます。カテゴリ内の最初の履歴定義が表示されます。例を示します。

Segment Filtering Criteria: New 2nd Use Filter

[Buyer Contact](#)
[Profile](#)
[Buyer history](#)
[Shopping Cart](#)

Buyer history - Purchase summary

Include **Total** --Pick Attribute-- is equal to

Include **Count** is equal to

Include **Earliest date recorded** is equal to

at : time zone

Restrict to a specific time period:

Overall
 The last weeks
 A specific time period:

between

at : time zone

and

at : time zone

Additional Buyer history criteria:

- Purchase summary

History Attributes

No restrictions
 Values for selected attributes

Purchase summary attributes:

- Product list
- Store ID
- Number of items
- Amount of sales

アイテムを制限またはフィルタするための、次の 3 つの領域が含まれます。

- フォーム上部のオプション領域
- フォーム下部左側の、時間制限領域

- フォーム下部右側の、履歴属性制限領域。この領域には、この履歴定義を定義する、履歴属性がリストされます。

注意

フォームに表示されているものとは異なる履歴定義を使用する場合には、フォームの下部にある「追加基準」リストから選択します。

- 次のオプションを 1 つ以上使用し、セグメントのフィルタ基準フォーム内にある 3 つの領域すべてを利用して簡単な基準または複雑な基準を作成し、アイテムを制限またはフィルタ処理します。

オプション 1: 合計に基づくフィルタ処理

セグメントは、支払い合計額、合計価格またはアイテムの合計数などの合計に基づき定義できます。

たとえばサイトの開発者は、**購入者履歴**と呼ばれる履歴定義を作成でき、サイト訪問者の購入履歴レコードとして扱われます。この定義の履歴属性の 1 つを、**アイテム数**にできます。この履歴定義を使用して、サイト訪問者が購入したアイテムの合計数に基づきセグメントをマーケティング担当者は作成できます。

合計に基づきセグメントを定義するには、次の手順を完了させます。

- フォームの上部で「合計」オプションを選択し、値を設定してセグメントに訪問者を含めたり、セグメントから訪問者を除外します。

たとえば、次の例の履歴定義では、10 アイテム以上を購入した訪問者を含めるよう設定できます。

Buyer history - Purchase summary

Include
 ▼ Total
Number of items × ▼
ter than or equal to ▼
10 ×

- 「特定の期間に制限」で、この合計に使用する期間を指定します。

たとえば、過去 6 か月の間に特定数のアイテムを購入した訪問者を含めるには、**購入者履歴**の履歴定義の期間オプションを次のように設定できます。

Restrict to a specific time period:

Overall

 The last × ▼

祝日などの特定の日にアイテムを特定数、購入した訪問者を含めるには、次のように値を設定できます。

A specific time period:

between Aug 15 2011

at 8 : 00 AM time zone -07:00

and Oct 15 2012

at 10 : 00 PM time zone -07:00

- (オプション) 履歴属性を追加して、この基準をさらに制限する場合は、「オプション 5: セグメントをさらに定義するための、履歴属性の追加」に進んでください。
- 「この基準の追加」をクリックします。この基準をセグメントに追加します。

Segment: Sales in 6

*Name: Sales in 6

Description:

Start Date:

End Date:

Filtering Criteria: This segment includes:

All Visitors

Restrict Visitors

Include (Purchase summary) Buyer Contact

Total Number of items >= 50

Last 6 months

Include Others

Edit Delete

Restrict Visitors

Buyer Contact

Restrict Further

This segment is:

Sales in 6

5. 次のいずれかを行います。
 - セグメントの作成後に、アセットのツールバーで「保存」() アイコンをクリックします。
 - さらに基準をセグメントに追加するには、次の手順を続行します。
6. 次のいずれかを行います。
 - さらに基準を追加して、このセグメントに該当する訪問者を検索するには、先ほど追加した基準の (同列) 右側にあるのドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「**その他を含む**」をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、先ほど追加した基準の下 (次の列) のドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「**さらに制限**」をクリックします。
7. 次のいずれかを行います。
 - 訪問者属性のカテゴリを選択した場合は、「[手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に進んでください。
 - 履歴定義のカテゴリを選択した場合は、「[手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に移動してください。
 - ショッピング・カートを選択した場合、「[手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義](#)」に進んでください。

オプション 2: 数に基づくフィルタ処理

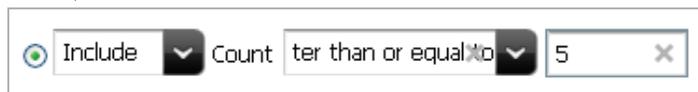
訪問者に対しこの履歴定義が記録された合計数に基づきセグメントを定義できます。

たとえば、「[オプション 1: 合計に基づくフィルタ処理](#)」で説明した**購入者履歴**の履歴定義を使用することで、マーケティング担当者は、その訪問者の**購入者履歴**の記録回数に基づきセグメントを定義できます。この基準により、Engage では、訪問者の購入内容や支払い金額のかわりに、訪問者の商品購入回数を考慮できます。

数に基づくセグメントを設定するには、次の手順を完了させます。

1. フォームの上部で「**数**」オプションを選択し、値を設定してセグメントに訪問者を含めたり、セグメントから訪問者を除外します。

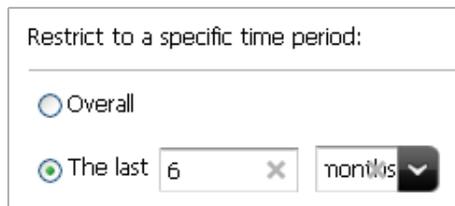
たとえば、**購入者履歴**の履歴定義で、少なくとも 5 回、商品 (商品内容は問わず) を購入した訪問者を含めるように設定できます。



Include  Count  Greater than or equal to  5 

2. 「特定の期間に制限」で、数に使用する期間を指定します。

たとえば、過去 6 か月の間に購入を行った訪問者を含めるには、**購入者履歴**の履歴定義の期間オプションを次のように設定できます。

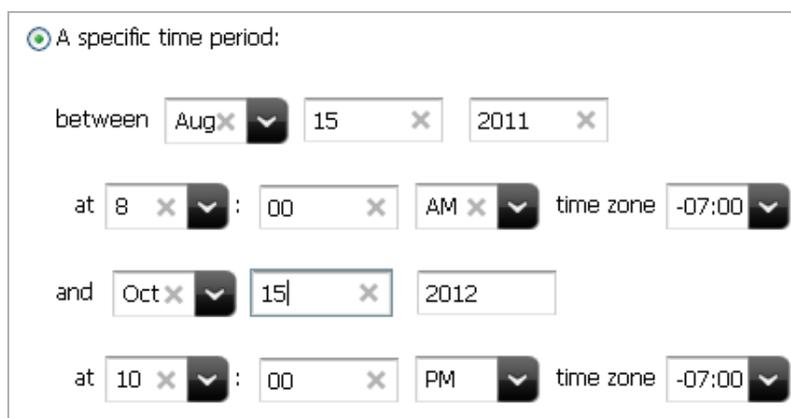


Restrict to a specific time period:

Overall

The last

特定の日、または特別販売期間などの特定期間に商品を購入した訪問者を含めるには、値を次のように設定できます。



A specific time period:

between

at : time zone

and

at : time zone

3. (オプション) 履歴属性を追加してこの基準をさらに制限する場合は、「オプション 5: セグメントをさらに定義するための、履歴属性の追加」に進んでください。

4. 「この基準の追加」をクリックします。
この基準がセグメントに追加されます。

The screenshot shows a web interface for creating a segment. It is divided into two main sections: 'Filtering Criteria' and 'This segment includes:'.
Under 'Filtering Criteria', there is a box labeled 'All Visitors'. Below it is a horizontal line.
The next section is 'Restrict Visitors'. It contains a box with the text 'Include (Purchase summary)', 'Count >= 5', and 'Last 6 months'. To the right of this box is a dropdown menu currently set to 'Buyer Contact'. Below the box are two buttons: 'Edit' and 'Delete'.
Below this is another 'Restrict Visitors' section. It contains a dropdown menu set to 'Buyer Contact' and a button labeled 'Restrict Further'.
At the bottom, under 'This segment is:', there is a box labeled 'Movie Fan'.

5. 次のいずれかを行います。
- このセグメントの作成が終了したら、「保存」() アイコンをクリックします。
 - さらに基準をセグメントに追加するには、次の手順を続行します。
6. 次のいずれかを行います。
- さらに基準を追加して、このセグメントに該当する訪問者を検索するには、先ほど追加した基準の(同列)右側にあるのドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「その他を含む」をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、先ほど追加した基準の下(次の列)のドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「さらに制限」をクリックします。
7. 次のいずれかを行います。
- 訪問者属性のカテゴリを選択した場合は、「[手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に進んでください。
 - 履歴定義のカテゴリを選択した場合は、「[手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に移動してください。
 - ショッピング・カートを選択した場合、「[手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義](#)」に進んでください。

オプション 3: 履歴定義の初回記録時に基づくフィルタ処理

訪問者に対する履歴定義の初回記録時に基づき、セグメントを定義できます。

たとえば、「オプション 1: 合計に基づくフィルタ処理」で説明した**購入者履歴**の履歴定義を使用して、マーケティング担当者は訪問者による商品の初回購入時（つまりその訪問者の**購入者履歴**レコードの初回記録時）に基づき、セグメントを定義できます。

定義の初回記録時に基づきセグメントを定義するには、次の手順を完了させます。

1. フォームの上部で「**最も早い記録日**」オプションを選択し、値を設定してセグメントに訪問者を含めたり、セグメントから訪問者を除外します。

たとえば、**購入者履歴**の履歴定義を設定し、2012 年 1 月 1 日以前に商品を購入した訪問者を含めることができます。



2. 「**特定の期間に制限**」で、この条件に使用する期間を指定します。

たとえば、マーケティング担当者が特定の日付（この例では 2007 年 1 月 1 日）以前に商品を購入した訪問者は含めるが、その購入日が 2 年以上前の訪問者は除外する場合、**購入者履歴**の日付の値を次のように設定できます。



3. (オプション) 履歴属性を追加してこの基準をさらに制限する場合は、「**オプション 5: セグメントをさらに定義するための、履歴属性の追加**」に進んでください。

4. 「この基準の追加」をクリックします。
この基準がセグメントに追加されます。

The screenshot shows a web interface for creating a segment. It is divided into two main sections: 'Filtering Criteria' and 'This segment includes:'.
Under 'Filtering Criteria', there is a box containing:
- 'Include (Purchase summary)'
- 'First date <= January 1, 2012'
- 'Last 2 years'
Below this box are 'Edit' and 'Delete' buttons.
To the right of this box is a dropdown menu set to 'Buyer Contact' and an 'Include Others' button.
Below the 'Filtering Criteria' section is another 'Restrict Visitors' section with a dropdown menu set to 'Buyer Contact' and a 'Restrict Further' button.
At the bottom, under 'This segment is:', there is a box containing 'Movie Fan'.

5. 次のいずれかを行います。
- このセグメントの作成が終了したら、「保存」() アイコンをクリックします。
 - さらに基準をセグメントに追加するには、次の手順を続行します。
6. 次のいずれかを行います。
- さらに基準を追加して、このセグメントに該当する訪問者を検索するには、先ほど追加した基準の(同列)右側にあるのドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「その他を含む」をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、先ほど追加した基準の下(次の列)のドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「さらに制限」をクリックします。
7. 次のいずれかを行います。
- 訪問者属性のカテゴリを選択した場合は、「[手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に進んでください。
 - 履歴定義のカテゴリを選択した場合は、「[手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に移動してください。
 - ショッピング・カートを選択した場合、「[手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義](#)」に進んでください。

オプション 4: 履歴定義の前回記録時に基づくフィルタ処理

訪問者の履歴定義の前回記録時 (最新の記録時) に基づきセグメントを定義できます。

たとえば、「オプション 1: 合計に基づくフィルタ処理」で説明した購入者履歴の履歴定義を使用して、マーケティング担当者は訪問者による商品の最新の購入時 (つまりその訪問者に対する購入者履歴レコードの前回記録時) に基づき、セグメントを定義できます。

履歴定義の前回記録時に基づきセグメントを定義するには、次の手順を完了させます。

1. フォームの上部で「最終記録日」オプションを選択し、値を設定してセグメントに訪問者を含めたり、セグメントから訪問者を除外します。

たとえば、2012 年 1 月 1 日以降に購入した訪問者を含めるには、購入者履歴の値を次のように設定できます。

2. 「特定の期間に制限」の下で、この条件に使用する期間を指定します (この例では「全体」)。
3. (オプション) 履歴属性を追加してこの基準をさらに制限する場合は、「オプション 5: セグメントをさらに定義するための、履歴属性の追加」に進んでください。
4. 「この基準の追加」をクリックします。

この基準をセグメントに追加します。例を示します。

5. 次のいずれかを行います。
 - このセグメントの作成が終了したら、「保存」() アイコンをクリックします。
 - さらに基準をセグメントに追加するには、次の手順を続行します。
6. 次のいずれかを行います。
 - さらに基準を追加して、このセグメントに該当する訪問者を検索するには、先ほど追加した基準の (同列) 右側にあるのドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「**その他を含む**」をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、先ほど追加した基準の下 (次の列) のドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「**さらに制限**」をクリックします。
7. 次のいずれかを行います。
 - 訪問者属性のカテゴリを選択した場合は、「[手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に進んでください。
 - 履歴定義のカテゴリを選択した場合は、「[手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に移動してください。
 - ショッピング・カートを選択した場合、「[手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義](#)」に進んでください。

オプション 5: セグメントをさらに定義するための、履歴属性の追加

履歴属性を追加し、特定の属性を検討対象とすることで、より複雑なセグメント (つまり、数、合計、初回記録または最終記録がさらに制限されたセグメント) を作成できます。

履歴属性を追加しセグメントをさらに定義するには、次の手順を完了させます。

1. フォーム上部にある 4 つのオプション (「数」、「合計」、「最も早い記録日」または「最終記録日」) のいずれかを選択し、構成します。この手順についてサポートが必要な場合は、次の手順のいずれかに移動してください。
 - [オプション 1: 合計に基づくフィルタ処理](#)
 - [オプション 2: 数に基づくフィルタ処理](#)
 - [オプション 3: 履歴定義の初回記録時に基づくフィルタ処理](#)
 - [オプション 4: 履歴定義の前回記録時に基づくフィルタ処理](#)
2. 「履歴属性」の下 (購入者履歴フォームの右側) で、「**選択した属性の値**」オプションを選択します。
3. この履歴定義の属性リストで、フィルタとして使用する履歴属性をクリックします。通常このリストには、**製品リスト**、**ストア ID**、**アイテム数**および**販売額**などのアイテムが含まれます。

その属性で意味のある制約フィールドがフォームで表示されます。複数の属性をクリックするか同じ属性を複数回クリックすると、属性をクリックするごとに制約フィールドが表示されます。

4. 制約フィールドを使用して、基準をさらに制約する属性値を設定します。例を示します。



The screenshot shows a rectangular box with a title bar that says "Values for selected attributes". Below the title bar, there is a label "Store ID" followed by a dropdown menu. The dropdown menu currently displays the number "1".

5. 「特定の期間に制限」で、この条件に使用する期間を指定します。
6. 「この基準の追加」をクリックします。
この基準をセグメントに追加します。
7. 次のいずれかを行います。
 - このセグメントの作成が終了したら、「保存」() アイコンをクリックします。
 - さらに基準をセグメントに追加するには、次の手順を続行します。
8. 次のいずれかを行います。
 - さらに基準を追加して、このセグメントに該当する訪問者を検索するには、先ほど追加した基準の(同列)右側にあるのドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「その他を含む」をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、先ほど追加した基準の下(次の列)のドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「さらに制限」をクリックします。
9. 次のいずれかを行います。
 - 訪問者属性のカテゴリを選択した場合は、「手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成」に進んでください。
 - 履歴定義のカテゴリを選択した場合は、「手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成」に移動してください。
 - ショッピング・カートを選択した場合、「手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義」に進んでください。

オプション 6: セグメントをさらに定義する製品の追加

セグメントの定義に使用する履歴定義に製品リストの履歴属性が含まれている場合には、製品を追加し、特定の製品を検討対象に入れることで、より複雑なセグメント(つまり、数、合計、初回記録または最終記録がさらに制限されたセグメント)を作成できます。

セグメント定義に製品を追加するには、次の手順を完了させます。

1. フォーム上部にある 4 つのオプション(「数」、「合計」、最も早いまたは最終)のいずれかを選択し、構成します。この手順についてサポートが必要な場合は、次の手順のいずれかに移動してください。
 - 「オプション 1: 合計に基づくフィルタ処理」
 - 「オプション 2: 数に基づくフィルタ処理」
 - 「オプション 3: 履歴定義の初回記録時に基づくフィルタ処理」
 - 「オプション 4: 履歴定義の前回記録時に基づくフィルタ処理」

2. 「履歴属性」の下(購入者履歴フォームの右側)で、「選択した属性の値」オプションを選択します。
3. 属性リストで、製品リストを選択します。
フォームには、「参照」ボタンが表示されます。「参照」をクリックして、新たなウィンドウを開いてアセットを選択します。新規ウィンドウでは、検索、ブックマーク、履歴および割当ての 4 つの画面でアセットを確認できます。
4. ウィンドウで、製品リストに含めるアセットを選択します。
次の画面は、「検索」画面で表示される製品タイプのアセットです。

Select asset(s) for Product list

▶ Search ▶ Bookmarks ▶ History ▶ My Assignments

Asset Type: Find Product

Search For:

Search Close Window

Items 1 to 10 of 17 [Next 7 ▶](#)

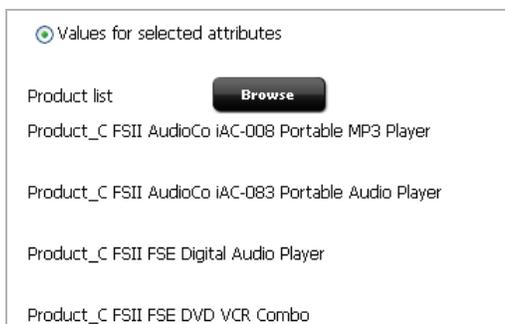
Type	Name	Locale	Start Date	End Date
<input type="checkbox"/>	FSII AudioCo iAC-008 Port...	en_US	-	-
<input type="checkbox"/>	FSII AudioCo iAC-083 Port...	en_US	-	-
<input type="checkbox"/>	FSII FSE Digital Audio Player	en_US	-	-
<input type="checkbox"/>	FSII FSE DVD VCR Combo	en_US	-	-
<input type="checkbox"/>	FSII FSE Plasma Screen TV	en_US	-	-
<input type="checkbox"/>	FSII FSE Triple Play	en_US	-	-
<input type="checkbox"/>	FSII Innovative Hi-Def Pr...	en_US	-	-
<input type="checkbox"/>	FSII Innovative HiFi VHS	en_US	-	-
<input type="checkbox"/>	FSII Innovative MiniDisc ...	en_US	-	-
<input type="checkbox"/>	FSII Superior Hi-Def Plas...	en_US	-	-

Select

5. 選択する製品ごとにチェック・ボックスを選択します。

6. 「**選択**」をクリックします。

ウィンドウが閉じ、選択した製品が購入者履歴画面に表示されます。例を示します。



7. 「**特定の期間に制限**」で、この基準に使用する期間を指定します。

8. 「**この基準の追加**」をクリックします。

この基準をセグメントに追加されます。

9. 次のいずれかを行います。

- このセグメントの作成が終了したら、「**保存**」() アイコンをクリックします。
- さらに基準をセグメントに追加するには、次の手順を続行します。

10. 次のいずれかを行います。

- さらに基準を追加して、このセグメントに該当する訪問者を検索するには、先ほど追加した基準の(同列)右側にあるのドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「**その他を含む**」をクリックします。
- セグメントにさらに制限を追加するには、先ほど追加した基準の下(次の列)のドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「**さらに制限**」をクリックします。

11. 次のいずれかを行います。

- 訪問者属性のカテゴリを選択した場合は、「[手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に進んでください。
- 履歴定義のカテゴリを選択した場合は、「[手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に移動してください。
- ショッピング・カートを選択した場合、「[手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義](#)」に進んでください。

手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義

1. セグメントのフィルタ基準フォームで、「ショッピング・カート」のカテゴリをクリックします。

Engage では、セグメントのフィルタ基準フォームの「ショッピング・カート」セクションが表示されます。

Segment Filtering Criteria:Movie Fan

▶Buyer Contact ▶Profile ▶Buyer history **Shopping Cart**

Shopping Cart

Include ▼ Total value of items in the cart is equal to ▼ \$ - \$

Include ▼ Total count of items in the cart is equal to ▼ -

Restrict to specific products:

No restrictions

Restrict to specific items from the tree or search. (Drag items from the tree or docked search in to the drop zone):

No products or product categories have been selected.

Cancel This Criterion **Add This Criterion**

Assignees have been selected. ([Details](#))

2. 次のいずれかを実行します。
 - このセグメントを、訪問者のショッピング・カートの合計額に基づき定義するには、最初のオプションを選択してから値を設定します。たとえば、カート内に少なくとも 50 ドルの商品がある訪問者を含めるには、次のように値を設定します。

Include ▼ Total value of items in the cart is greater than or equal to ▼ \$ × - \$

- このセグメントを訪問者のショッピング・カート内のアイテムの合計数に基づき定義するには、2 番目のオプションを選択し値を設定します。たとえば、カート内にアイテムが少なくとも 3 つ以上のある訪問者を含めるには、次のように値を設定します。

Include ▼ Total count of items in the cart is greater than or equal to ▼ × -

3. カタログ内の特定製品に対して、アイテム数やカートの金額を制限するには、次を実行します。
 - a. ツリーまたは検索からの特定アイテムに制限を選択します。
 - b. ツリーで、「製品」タブを選択します。
 - c. 選択する製品を、ドロップ・ゾーンにドラッグ・アンド・ドロップします。

- d. セグメントのフィルタ " のフォームで、「選択したアイテムの追加」をクリックします。
4. 「この基準の追加」をクリックします。
ショッピング・カートの基準がセグメントに追加されます。

Filtering Criteria: This segment includes:

All Visitors

Restrict Visitors

Include (Shopping Cart)
count - >= 3

Buyer Contact

Include Others

Edit Delete

Restrict Visitors

Buyer Contact

Restrict Further

This segment is:

Movie Fan

5. 次のいずれかを行います。
- このセグメントの作成が終了したら、「保存」() アイコンをクリックします。
 - さらに基準をセグメントに追加するには、次の手順を続行します。
6. 次のいずれかを行います。
- さらに基準を追加して、このセグメントに該当する訪問者を検索するには、先ほど追加した基準の (同列) 右側にあるのドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「その他を含む」をクリックします。
 - セグメントにさらに制限を追加するには、先ほど追加した基準の下 (次の列) のドロップダウン・リストからカテゴリ名を選択し、「さらに制限」をクリックします。
7. 次のいずれかを行います。
- ショッピング・カートを選択した場合、この手順の [手順 2](#) に戻ります。
 - 訪問者属性のカテゴリを選択した場合は、「[手順 2: 訪問者属性を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に進んでください。
 - 履歴定義のカテゴリを選択した場合は、「[手順 3: 履歴定義を使ったセグメントのフィルタ基準の作成](#)」に移動してください。

サンプル・セグメント・アセット

サンプル・サイトをインストールしている場合、FirstSite II のサンプル・サイトには、1つのサンプル・セグメント・アセット (**AffluentYoungSingles**) が含まれています。このセグメントは、サンプルの推奨および販売促進アセットを使って作業できるように設計されています。これらのサンプル・セグメントをテンプレートとして使用して、サイトのセグメント・アセットを作成します。

セグメントのパブリッシュ

セグメントの準備が整ったら、配信システムにパブリッシュできるようにそれらのセグメントを承認する必要があります。その後、Engage において、それらのセグメントを使用して訪問者を評価したり、訪問者に適切なアイテムをお勧めできます。

セグメントは、調査して、正しく構成されていることを確認してから、パブリッシュのための承認を行う必要があります。

アセットの承認とパブリッシュの詳細は、[第 12 章「パブリッシュの承認」](#)を参照してください。

パブリッシュ後

セグメントの作成、確認そしてパブリッシュ後には、それぞれのセグメントのメンバーに重要な製品およびコンテンツについて、評価を行う必要があります。詳細は、[第 17 章「推奨の作成および構成」](#)を参照してください。

セグメントの作成後は、販売促進も作成できます。詳細は、[第 18 章「プロモーションの作成」](#)を参照してください。

第 17 章

推奨の作成および構成

推奨は、サイト・ページで推奨されるアセットを決定するアセットです。どのアセットを推奨するかは、訪問者が所属するセグメントと、場合によってはアセット間のコンテキストベースの関係(たとえば、映画がジャンルによって相互に関連付けられている場合など)に基づいて計算されます。

推奨アセットを作成したら(通常は、マーケティング担当者が推奨アセットを作成)、訪問者が所属するセグメントに対する重要度に基づいて子アセットを評価することによって、アセットを構成します。アセットは、この評価に基づいて、推奨するか、推奨しないかが決定されます。また、関連アイテム推奨では、アイテムの相互の関連付けに従ってクロスセルやアップセルを可能にするアセット間の関係を定義します。どのアセットにこのような関係があるかは、ご自身で判断してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [推奨アセット](#)
- [アセットの選択要因](#)
- [推奨アセットの作成](#)
- [推奨アセットの編集](#)
- [推奨されるアセットの構成](#)
- [関連アイテム推奨を使用したアセット関係の構成](#)
- [推奨アセットの検証](#)
- [評価されたフレックス・アセットのパブリッシュ](#)

推奨アセット

推奨アセットでは、アセットを収集、評価、ソートし、これらのアセットのうち現在の訪問者に最適なものを推奨します。どのアセットが最適かはどのように判断されるのでしょうか。訪問者が所属するセグメントのリストと、各アセットの推奨で設定されている確信度を参考にします。(確信度の詳細は、[331 ページの「確信度」](#)を参照してください。)

セグメントを作成したら、各セグメントに対するフレックス・アセットの重要度を評価します。サイト・ページから推奨アセットが呼び出されると、**Engage**では、現在の訪問者がどのセグメントに所属しているかを特定し、それらのセグメントに対する評価が最も高いことが推奨によって判断されたアセットを選択します。これらが、訪問者に対して推奨されるアセットです。

Engage では、次のタイプの推奨が提供されます。

- **静的リスト** : リスト・モードと推奨モードの 2 つのモードで動作します。
 - リスト・モードでは、セグメント (またはセグメントが適用されるかどうか) にかかわらず、静的リスト推奨は、静的な事前選択済のアセットのリストを 1 つだけ保持して返します。確信度の値は、リスト上の位置に基づいて、リスト上のアセットに自動的に割り当てられます。最初のアセットの確信度の値は 100%、次は 99% で、以下、降順となります。
 - 推奨モードでは、推奨で定義されているセグメントに訪問者が該当する場合、および該当するセグメントがない場合に、静的リスト推奨は、静的な事前選択済の推奨アセットのリスト (複数) を保持して返します。
テンプレートから推奨が呼び出されると、推奨からは、静的リスト上のアセットが返されます。セグメントの静的リストに追加するアセットごとに、セグメント内およびセグメント外の評価の確信度の値を割り当てることができます。(このタイプの推奨のバリエーションは、以前は「手動」と呼ばれていました。)

静的リスト推奨は、ブックマークからアセットを選択し、各セグメントのリスト (推奨モード) または共通リスト (リスト・モード) に追加することによって作成します。これは静的リスト推奨であるため、リスト内のアセットは、変更しないかぎり (またはデータベースから削除しないかぎり) 同じままです。

- **動的リスト** : **CSElement** アセットという特殊なアセットを参照します。これは、エレメントと呼ばれる一種のプログラムとして開発者がコーディングしたものです。テンプレートから動的リスト推奨が呼び出されると、エレメントが実行され、エレメントで定義されている条件に基づいてリストが返されます。たとえば、「新製品」という推奨を作成し、そこで参照されているエレメントが、過去 5 日間にデータベースに追加された製品アセットのみを選択するように指定できます。

動的リスト推奨は、ツリーで **CSElement** アセット (リスト生成のロジックが含まれる) を選択することによって作成します。その後、現在のリスト結果を表示することによって、選択したエレメントをテストできます。

名前からわかるとおり、このタイプの推奨は動的です。テンプレートによって呼び出されるたびに、推奨はエレメントを実行し、データベースの現在の状態に基づいてリストが再生成されます。

- **関連アイテム**：コンテキストに基づいて相互に関連付けられているフレックス・アセット（類似したテーマの映画など）間の関係の名前を保持します。テンプレートから関連アイテム推奨が呼び出されると、ページに現在表示されているアセットとの間に推奨によって指定された関係を持つように手動で構成されているアセットのみが返されます（推奨されます）。

アセット間の典型的な関係は、クロスセルおよびアップセルの関係です。たとえば、「クロスセル」という名前の関連アイテム推奨では、サスペンス映画を表示するレンダリングされたページに、SF 映画のリストが表示されます。これは、SF 映画の購入者はサスペンス映画も購入すると、マーケティング担当者が判断したためです。

関連アイテム推奨を作成するには、名前を付けて、関連アイテム推奨であることを指定します。その後、この推奨によって示される関係を他のフレックス・アセットとの間に持つフレックス・アセットを決定します。これらの関係を親アセットの「新規」フォームまたは「編集」フォームで割り当て、各セグメントのリストで各アセットに確信度の値を割り当てます。

推奨がテンプレートによってレンダリングされる時、Engage では次の処理が行われます。

- 現在表示されているアセットとの間に推奨で指定されている関係を持つアセットを特定します。
- これらのアセットの評価を調べて、現在の訪問者に関連するかどうかを判断します。

推奨アセットのタイプ別の機能を、次の表にまとめます。

パラメータ	静的リスト (リスト・モード)	静的リスト (推奨モード)	動的リスト	関連アイテム
評価 (セグメントごと)	はい	はい	はい	はい
確信度 (セグメントごと)	リスト内のアセットの位置によって決定。セグメントによる区別なし。	はい	はい	はい
選択基準	最上位のみ	最上位、ランダム	最上位、ランダム	最上位、ランダム
ソート順序	確信度のみで降順	はい	はい	はい
オプション	<ul style="list-style-type: none"> 推奨されるアセットの子を返すことが可能 プロモーションによってオーバーライド可能 すべてまたは選択したアセット・タイプに適用可能 			
作成	アセットをリストに手動で追加し、リスト内での順序を設定することによって作成。	各セグメントのリストに関して、アセットを手動で割り当て、確信度の値を設定することによって作成。	割り当てられている CSElement アセットで、コードによってリアルタイムで作成。	親アセットの「新規」フォームおよび「編集」フォームで、各セグメントのリストにアセットを追加することによって作成。

アセットの選択要因

Engage では、与えられた推奨を使用して現在の訪問者に推奨するのに最も適したアセットを判断するときに、各アセットのセグメント内での個別評価に、推奨でアセットに割り当てられている確信度の値を掛けて、アセットの重み付けされた評価を求めます。次の項で、これらの概念の詳細を説明します。

評価

アセットの個別評価によって、特定のセグメントに所属する訪問者に対するそのアセットの重要度が決定します。アセットの「作成」ビューまたは「編集」ビューで、評価をアセットに手動で割り当てます。

注意

セグメント用に評価できるのはフレックス・アセットのみです。ベーシック・アセットでは評価がサポートされていないため、推奨に配置しても無視されます。作成した推奨にフレックス・アセットのみを配置していることを、管理者に相談して確認してください。

次の 3 種類の評価をアセットに割り当てることができます。

評価	説明
セグメント内	現在の訪問者が特定のセグメントのメンバーである場合に使用します。
セグメント外	現在の訪問者が特定のセグメントのメンバーでない場合に使用します。
セグメント評価が適用されない場合	現在のサイトにセグメントが定義されていない場合、またはセグメントを認識しない推奨 (リスト・モードの静的リスト推奨) にアセットが配置されている場合に使用します。

特定の評価が割り当てられていないフレックス・アセットまたはフレックス親用に、システム・デフォルトの評価もあります。システム・デフォルトは、ユーザーや開発チームが変更しないかぎり、50 に設定されています (サイト・ページの XML または JSP オブジェクト・メソッドで変更可能)。システム・デフォルトは、サイトの評価スケールの平均または中間点を表します。そのため、システム・デフォルトの評価は 50 のままにしておくことをお勧めします。

評価の範囲

個別評価の有効な範囲は 0 から 100 です。個々の値が 0 や 100 になるのは特殊な場合で、アセットの評価に次のように影響します。

- セグメントのアセットの評価が 0 の場合、Engage では、該当するアセットをそのセグメントのメンバーに推奨することはありません。たとえば、「Macintosh ユーザー」というセグメントのメンバーには PC や PC ソフトウェアを推奨しないようにしたい場合などがあります。

- セグメントのアセットの評価が 100 の場合、Engage では、該当するアセットをそのセグメントのメンバーに常に推奨します。

評価の継承

フレックス・アセットおよびフレックス親は、セグメント内、セグメント外、セグメント評価が適用されない場合 (フォールバック) の評価を親から継承します。アセットまたは親の**最終評価**は、個別評価 (個別評価がない場合はシステム・デフォルトの評価) と継承した評価の平均です。次の計算式で示すように、アセットの継承された評価は、その親の最終評価です。

$$\text{最終評価} = \frac{\text{個別評価} + \text{継承された評価}}{2}$$

それぞれの意味は次のとおりです。

個別評価 = カスタム評価が指定されていない場合はシステム・デフォルト

継承された評価 = 親の最終評価

例を示します。

アセットまたは親	個別評価	継承された評価	最終評価
アセット親 A (トップレベル・グループ)	70	評価の継承なし	70
アセット親 B (アセット親 A の子)	60	70	$(60 + 70) / 2 = 65$
アセット 1 (アセット親 B の子)	95	65	$(95 + 65) / 2 = 80$

フレックス・アセットが、自身は個別評価を持たないセグメントの評価を継承した場合、Engage では、継承された評価とシステム・デフォルトの評価 (通常は 50) を平均して、最終評価を特定します。例を示します。

アセットまたは親	個別評価	継承された評価	最終評価
アセット親 A (トップレベル・グループ)	80	継承なし	80
アセット親 B (アセット親 A の子)	なし、システムデフォルトの 50 を使用	80	$(50 + 80) / 2 = 65$
アセット 1 (アセット親 B の子)	70	65	$(70 + 65) / 2 = 67.5$

0 および 100 の値には特殊な機能があるため、継承を考慮する場合は、次のルールが適用されます。

- 個別評価か継承された評価のいずれかが 0 の場合、最終評価は 0 になります。
- 個別評価か継承された評価のいずれかが 100 の場合、もう一方の値が 0 でないかぎり、最終評価は 100 になります。

現在の訪問者が複数のセグメントに所属していて、それらのセグメントに対する評価がアセットにある場合は、次のルールが適用されます。

- 評価のうち最上位のものが最終評価となります。
- いずれかの評価が 0 の場合は、最終評価は 0 となります。

確信度

Engage の確信度は、特定のコンテンツを訪問者が見たいと思う確率を示します。そのため、Engage では、推奨で各アセットに割り当てられている確信度の値を使用して、あるコンテンツを訪問者に推奨する頻度を決定します。推奨で特定のセグメントに対してあるアセットを評価するときは、そのアセットの評価（シナリオにより、個別評価または最終評価）に、推奨でのそのセグメントの確信度の値を掛けて、アセットの重み付けされた評価が求められます。重み付けされた評価はその後、そのアセットが現在の訪問者にどのくらい関係があるかを判断するために、推奨で使用されます。つまり、確信度は、アセットの評価のスケール変更係数です。アセットの個別評価も、その確信度の値も、単独では、アセットを訪問者に推奨する目的で使用できないことを覚えておいてください。重み付けのプロセスは、特定の推奨に割り当てられているすべてのアセットに適用されます。

1 つのアセットが複数の推奨によって評価される場合、それぞれの重み付け評価は、他に関係なく独自に計算されます。つまり、ある推奨でアセットに割り当てられている確信度の値は、他の推奨で認識されるアセットの評価には影響しません。たとえば、あるアセットの個別評価が 80 で、推奨 1 のセグメント A の確信度が 60%、推奨 2 のセグメント A の確信度が 90% の場合、どちらの推奨でも、それぞれの重み付けされた評価を計算するときに、アセットの個別評価である 80 が使用されます。

確信度の割当て方法は、推奨のタイプによって、次のように異なります。

- リスト・モードの静的リスト推奨の場合は、リスト内の位置に基づいて、各アセットに確信度の値が Engage によって自動的に割り当てられます。リストの最初のアセットの値が 100%、2 つ目が 99%、3 つ目が 98% で、以下降順となります。
- 推奨モードの静的リスト推奨の場合は、推奨の「新規」フォームまたは「編集」フォームを使用して、推奨の各セグメントに関して確信度の値をアセットに手動で割り当てます。
- 関連アイテム推奨の場合は、親アセットの「新規」フォームまたは「編集」フォームを使用して、推奨の各セグメントに関して確信度の値をアセットに手動で割り当てます。
- 動的リスト推奨の場合は、選択した CSElement アセットから Engage へ確信度の値が返され、それぞれのアセットに自動的に割り当てられます。

確信度の値の範囲

確信度はスケール変更係数であるため、パーセンテージで示されます。パーセンテージの値の有効な範囲は 0 から 100 です。0% および 100% の値は、アセットの評価に次のように影響します。

- 確信度の値が 0% のアセットは、その推奨によって返されることはありません。このアセットの評価に 0% (0) を掛けるため、評価が 0 となるからです。
- 確信度の値が 100% の場合、アセットの評価に 100% (1) が掛けられるため、アセットの評価には、確信度によるスケール変更や影響はまったくありません。

確信度の値の継承

通常は、フレックス・アセット間の関係を指定して、その関係に対して親レベルで確信度の値を割り当てます。アセットは、推奨によって親に割り当てられた確信度の値を継承するからです。

同じ推奨に関して、1つのアセットに複数の確信度の値がある場合、Engage では最大の値を使用します (値の 1つが 0 の場合も同様)。平均値は使用しません。

選択基準

注意

リスト・モードの静的リスト推奨では、ランダム選択基準はサポートされていません。

「**選択基準**」は、要求元のテンプレートに対して返されるアセットを推奨アセット側で選択する方法を指定できる構成オプションです。

「**選択基準**」として選択したメソッドによって、Engage がデータベースからアセットを選択する方法が決まります。「**選択基準**」には、次の 2つのメソッドがあります。

- **最上位**: Engage では、現在のセグメント (つまり、現在の訪問者が所属するセグメント) の重み付け評価が最上位であるアセットを選択します。
- **ランダム**: Engage では、重み付けされたランダム・アルゴリズム (アセットの重み付け評価に基づいて動作) を使用して、リストからアセットを選択します。メッセージを回転させ、訪問者がサイト・ページに戻るたびに最新または別々の推奨されるアセットを表示する推奨を設計するには、この選択基準を使用します。ただし、これは重み付けされたランダム・アルゴリズムであるため、この場合も、アセットの重み付け評価に基づいて選択が行われます。現在のセグメントに関するアセットの評価が高いほど、選択される可能性が高くなります。

たとえば、あるアセットに関してランダムな選択基準メソッドを使用する推奨をコールするようにコーディングされているテンプレートについて考えます。候補には、次の 3 つの製品が含まれます。

アセット	重み付け評価
Movie 123	95
Movie ABC	87
Movie RedYellowBlue	65

製品が選択される確率は、製品の評価をすべての評価の合計 (247) で割って計算します。したがって、Movie 123 が選択される確率は 38%、Movie ABC は 35%、Movie RedYellowBlue は 26% となります。

ソート基準

「ソート基準」は、推奨によって返されるアセットをテンプレートがレンダリングする順序を指定できる構成オプションです。「ソート基準」は、「選択基準」メソッドでリストに含めるアセットを特定した後に、返されるアセットのリストに対して適用されます。

デフォルトでは、選択されたアセットのリストは、次の属性を基準としてソートできます。

- **_ASSETTYPE_**: リスト内のアセットを、アセット・タイプ別にアルファベット順にソートします。たとえば、Article アセットが最初で、次に Image アセット、Product アセットの順になります。(デフォルトでは、アセットは昇順でソートされます。「降順」のソート方向を選択すると、ソート順を逆にできます。)
- **_CONFIDENCE_**: 返されたアセットを、確信度の値を基準としてソートします。
- **_RATING_**: 返されたアセットを、評価 (個別または最終) を基準としてソートします。

属性ごとに、昇順または降順のソート順序を指定できます。

サイト上で使用できるアセット・タイプに固有のソート・オプションは、管理者によって設定されます。たとえば、次の属性タイプおよび対応する属性を含むサイトを設定できます。

- **製品属性**: 価格、SKU、色などの製品属性 (システムでどの製品属性が使用されているかによって異なる) を基準としてソートします。
- **コンテンツ属性**: ヘッドライン、ファイル名、作成者などのコンテンツ属性 (システムでどのコンテンツ属性が使用されているかによって異なる) を基準としてソートします。コンテンツ属性は、ベーシック・アセットではなく、フレックス・アセットを定義するために使用する属性のみを意味します。

推奨に追加できるソート・オプションの数に制限はありません。Engage では、これらのオプションが、推奨フォームに表示される順序で使用されます。

アセット推奨のプロセス

次の項では、Engage でテンプレートに渡すアセットを決定する方法を、推奨のタイプ別に説明します。

リスト・モードの静的リスト

リスト・モードを使用すると、特定の値に固定されているマーケティング・オプション (選択やソート基準など) を使用して、簡単な静的リストを作成できます (詳細は、[328 ページ](#)の表を参照)。リスト・モードの静的リスト推奨がテンプレートによって呼び出されると、リスト内のすべてのアセットが、常に推奨アセット内で指定する順序で表示されます。

- あるテンプレートで、リスト・モードの静的リスト推奨が呼び出されたものの、アセットの具体的な数は要求されない場合、推奨では、推奨内のアセットの評価を調べて、評価が 0 のアセットを除外します。その後、訪問者が所属するセグメントにかかわらず、リスト上にある、評価が 0 以外のアセットがすべて返されます。
- テンプレートからリスト・モードの静的リスト推奨が呼び出され、**なおかつ**、推奨のリスト上より少ない数のアセットが要求された場合、Engage では、重み付け評価が最も高いアセットが推奨されます (ランダム重み付けアルゴリズムは、リスト・モードではサポートされていません)。

推奨では、リスト上のアセットの重み付け評価を、次のように計算します。

1. 推奨のリスト上にある各アセットを調べて、そのアセットにセグメント評価未適用評価があるかどうかを確認します。
2. このような評価が指定されているアセットごとに、Engage で、評価にアセットの確信度 (リスト内のアセットの位置によって特定) が掛けられます。この値はアセットの重み付け最終評価です。たとえば、評価が 90 で確信度が 75% の場合、重み付け評価は $67.5 (90 \times 0.75)$ と計算されます。
3. Engage では、返すアセットを決定する際に、**最上位**選択基準を使用しているアセットが推奨されています (**ランダム**選択基準は、リスト・モードではサポートされていません)。選択基準の詳細は、[332 ページ](#)の「**選択基準**」を参照してください。

推奨モードの静的リスト

リスト・モードとは対照的に、**推奨**モードの静的リスト推奨がテンプレートによって呼び出された場合、表示されるアセットの順序は、リストの順序ではなく、セグメントと評価によって決まります。さらに、セグメントと評価を適用すると、リスト内の一部のアセットが全体的にフィルタで除外される場合があります。

- あるテンプレートで、推奨モードの静的リスト推奨が呼び出されたものの、アセットの具体的な数は要求されない場合、推奨では、推奨内のアセットの評価を調べて、評価が 0 のアセットを除外します。その後、リスト上にある、現在の訪問者に関する評価が 0 以外のアセットがすべて返されます。
- テンプレートから推奨モードの静的リスト推奨が呼び出され、**なおかつ**、推奨のリスト上より少ない数のアセットが要求された場合、Engage では、推

奨で指定されている「**選択基準**」メソッドを使用して、返すアセットが決定されます。

推奨では、リスト上のアセットの重み付け評価を、次のように計算します。

1. 現在の訪問者が所属するセグメントを特定します。
2. 推奨のリスト上にある各アセットを調べて、現在の訪問者に該当するセグメントの評価がそのアセットに指定されているかどうかを確認します。
3. 現在の訪問者が所属するセグメントの評価が指定されているアセットごとに、Engage で、そのアセットに関して推奨で割り当てられている確信度の値が評価に掛けられます。この値はアセットの重み付け最終評価です。たとえば、評価が 90 で確信度が 75% の場合、重み付け評価は 67.5 (90×0.75) と計算されます。
4. 「**選択基準**」のメソッドが**最上位**の場合、Engage では、重み付け評価が最も高いアセットが推奨されます。「**選択基準**」のメソッドが**ランダム**の場合、Engage では、重み付けされたランダム・アルゴリズムを使用して、推奨されるアセットが(重み付け評価に基づいて)選択され、返されます。選択基準の詳細は、332 ページの「**選択基準**」を参照してください。

動的リスト

動的リスト推奨がテンプレートによって呼び出されたとき、表示されるアセットの順序は、セグメントおよび評価によって決まります。さらに、セグメントと評価を適用すると、リスト内の一部のアセットが全体的にフィルタで除外される場合があります。

- あるテンプレートで、動的リスト推奨が呼び出されたものの、アセットの具体的な数は要求されない場合、推奨では、生成されたリストから取得するすべてのアセットが返されます。この場合、Engage では、重み付け評価は計算されません。
- テンプレートから動的リスト推奨が呼び出され、**なおかつ**、推奨のリスト上より少ない数のアセットが要求された場合、Engage では、推奨で指定されている「**選択基準**」メソッドを使用して、返すアセットが決定されます。

Engage でのアセット評価の計算方法は次のとおりです。

1. 現在の訪問者が所属するセグメントを特定します。
2. エレメントによって返された各アセットを調べて、現在の訪問者に該当するセグメントの評価がそのアセットに指定されているかどうかを確認します。
3. 適切な評価が指定されているアセットごとに、エレメントによって返されたアセットの確信度の値が評価に掛けられます。この値はアセットの最終評価です。たとえば、評価が 90 で確信度が 0.75 の場合、最終評価は 67.5 (90×0.75) と計算されます。確信度の値がエレメントによって返されない場合、Engage では、確信度の値として、1 がリスト内の各アセットに割り当てられます。
4. 「**選択基準**」のメソッドが**最上位**の場合、Engage では、最終評価が最も高いアセットが推奨されます。「**選択基準**」のメソッドが**ランダム**の場合、Engage では、重み付けされたランダム選択を使用して、推奨されるアセットが返されます。

関連アイテム

この例では、Movie 123 というムービー・アセットの製品説明を表示するテンプレートで、「クロスセル」という名前の関連アイテム推奨を呼び出します。クロスセルのテンプレートでは、Movie 123 とクロスセル関係を持つ 5 つのアセットが要求されます。

Engage で実行される処理は次のとおりです。

1. 現在の訪問者が所属するセグメントを特定します。
2. Movie 123 のアセット・フォームの「**関連アイテム**」セクションを調べて、クロスセル推奨のリストにどんなアセットが含まれているかを特定します。また、Movie 123 のすべての親の関連アセットも調べます。
3. Movie 123 とクロスセル関係を持つすべてのムービー・アセットおよび製品アセットの準備リストを作成します(このリストには、親からこの関係を継承した製品アセットがすべて含まれます)。このリストによって、各アセットの確信度の値も特定されます。
4. 準備リストで、すべてのムービー・アセットおよび製品アセットのアセット・フォーム上の「**評価**」セクションを調べます。
5. 現在の訪問者が所属するセグメントに該当する評価を持つムービー・アセットおよび製品アセットのみを含むように、準備リストを制約します。
6. 制約されたリスト上にある各アセットの確信度を評価に掛けます。
7. 「**選択基準**」のメソッドが**最上位**の場合、Engage では、最終評価が最も高い 5 つのアセットが推奨されます。「**選択基準**」のメソッドが**ランダム**の場合、Engage では、重み付けされたランダム・アルゴリズム(アセットの重み付け評価に基づいて動作)を使用して、5 つの推奨アセットを返します。

推奨アセットの作成

注意

通常は、マーケティング担当者が推奨アセットを作成し、静的リスト推奨や関連アイテム推奨によって参照されるアセットの確信度の値を設定します。(動的リスト推奨の確信度は、推奨されているアセットをレンダリングするテンプレートにコーディングされます。)

ビジネス・ユーザーは、マーケティングが作成した推奨によって参照されるアセットに個別評価を割り当てます。

推奨開発の概要

推奨の基本的な設定手順は次のとおりです。

1. デザイナーと開発者がマーケティング・チームとミーティングして、サイトに表示するすべての販促メッセージを定義し、推奨アセットおよびプロモーション・アセットを使用してこれらのメッセージを表現する方法を計画します。
2. デザイナーと開発者が、推奨のテンプレートを設計およびコーディングします。動的リスト推奨を使用する場合は、動的リストを生成するように設計された CSElement アセットも作成します。
3. 次に、マーケティングが、Engage の推奨フォームを使用して、推奨アセットを作成 (推奨に名前を付けて構成) します。
4. Engage のフレックス・アセット・フォームを使用して、各セグメントに対する、つまり各セグメントのメンバーになる個々の訪問者に対するアセットの重要度を評価します。(通常は、個々のフレックス・アセットではなくフレックス親に対して評価を割り当てます。)

関連アイテム推奨ごとに、フレックス・アセットに対して、その推奨で定義されている関係を持つアセットを割り当てます。(通常は、個々のフレックス・アセットではなくフレックス親の関係を指定します。)

この項では、推奨アセットの作成および構成方法について説明します (前述の手順 3)。363 ページの「[推奨されるアセットの構成](#)」では、評価をアセットに割り当てる方法と、関連アイテム推奨で定義されている関係を使用してフレックス・アセットをフレックス親アセットに割り当てる方法について説明します (前述の手順 4)。

この項では次の手順を説明します。

- [リスト・モードの静的リスト推奨の作成](#)
- [推奨モードの静的リスト推奨の作成](#)
- [動的リスト推奨の作成](#)
- [関連アイテム推奨の作成](#)

リスト・モードの静的リスト推奨の作成

リスト・モードを使用すると、特定の値に固定されているマーケティング・オプション (選択やソート基準など) を使用して、簡単な静的リストを作成できます (詳細は、[328 ページ](#)の表を参照)。リスト・モードの静的リスト推奨がテンプレートによって呼び出されると、リスト内のすべてのアセットが、常に推奨アセット内で指定する順序で表示されます。

リスト・モードの静的リスト推奨を作成するには：

注意

この手順で「推奨」フォームの各セクションを進みながら「保存」をクリックすると、そのセクションまでに行った変更を保存できます。

アセットを推奨に割り当てる前に、推奨の作成中に簡単に取得できるように、ソース・アセットをブックマークに追加することをお勧めします。

1. WebCenter Sites にログインし、作業を行うサイト (この例では FirstSite II) と、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 推奨に含めるアセットを見つけてブックマークを付けます (「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードにアセットが追加されます)。
 - a. 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - b. 検索を特定のアセット・タイプに絞り込む場合は、「検索」フィールドで下矢印をクリックして「検索タイプ」ドロップダウン・ボックスをレンダリングします。アセット・タイプを選択し、検索をそのタイプに制限します。
 - c. 検索結果リストで、ブックマークを付けるアセットを選択 ([Ctrl] キーを押しながらクリック) します。「検索」タブのツールバーで、「ブックマーク」アイコン () をクリックします。

アセットの検索とブックマークの詳細は、[第 6 章「アセットの検索と編成」](#)を参照してください。

3. メニュー・バーで、「コンテンツ」→「新規」→**新規推奨**を選択します。
 - a. 管理者が、すべての新規アセットが作成後にワークフローに配置されるようにアセット・タイプを構成している場合は、「割当て先の選択」フォームを表示するタブが開きます。
必要なロールごとに 1 人以上のユーザーを選択し、「割当て先の設定」をクリックします。これらのユーザーはだれでも、ワークフロー・プロセスの次の手順を完了できます。詳細は、[第 14 章「ワークフロー」](#)を参照してください。
 - b. 推奨アセットの「作成」ビューが Web モードで表示されている場合は、アセットのツールバーで「モード」スイッチをクリックして、フォーム・モードに切り替えます。

タブには、推奨アセットの「作成」ビューがフォーム・モードで表示されます。上部にあるフォームのセクション名、「名前」、「オプション」および「作成」に注目してください。新規の推奨アセットを作成するときは、フォームの「名前」セクションが表示されます。

Recommendation

Name ▶ **Options** ▶ **Build**

*Name:

Description:

Subtype: (no subtype) ▼

Template: /FSIILayout ▼

Start Date: 

End Date: 

Locale: ▼

Mode: List
 Recommendation

Continue

注意

推奨アセットを作成または編集するときは、切替え先のセクションの名前をクリックすると、フォームのセクション間を切り替えることができます。

4. 「推奨」フォームの「名前」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「名前」フィールドに、リストを説明する一意な名前を入力します。最大 64 文字の英数字 (スペースを含む) を入力できます。最初の文字にスペースは使用できません。
 - b. 「説明」フィールドに、リストの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を入力できます。
 - c. 「サブタイプ」ドロップダウン・リストで、推奨のサブタイプを選択します。サブタイプは、リストをカテゴリ分けする方法です。設計チームがこのタイプの推奨のサブタイプを定義していない場合は、このドロップダウン・リストは空です。選択可能なサブタイプ (存在する場合) の詳細は、開発者に問い合せてください。

- d. 「テンプレート」ドロップダウン・リストで、推奨のテンプレートを選択します。

注意

「テンプレート」フィールドにドロップダウン・リストが含まれていない場合は、現在のサイトの推奨用にテンプレートが作成されていません。推奨テンプレートの詳細は、開発者に問い合わせてください。

- e. 「ロケール」フィールドで、アセットをオンラインで表示する場所を選択します。
- f. 「開始日」フィールドと「終了日」フィールドで、アセットをオンラインで表示する日付の範囲を選択します。開始日と終了日の詳細は、[162 ページの「開始日と終了日について」](#)を参照してください。
- g. 「モード」フィールドで、「リスト」ラジオ・ボタンを選択します。
- h. 「続行」をクリックします。
「推奨」フォームの「オプション」セクションがタブに表示されます。

Recommendation: List Recommendation

▶Name Options ▶Build

Options:

- Bring back children of returned assets.
- Do not bring back children of returned assets.
- Promotions can override this recommendation.
- Promotions cannot override this recommendation.

- This recommendation applies to all asset types.
- This recommendation applies to the following asset types:

- Attribute Editor
- CSElement
- Content
- Content Attribute
- Content Definition
- Content Filter
- Content Parent
- Content Parent Definition
- Dimension
- DimensionSet

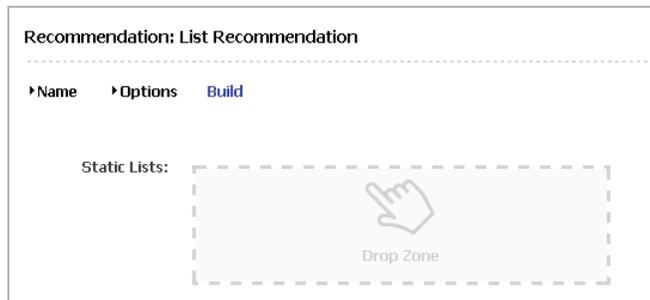
Add

Remove

Continue

5. 「オプション」セクションで、リストの目的に適したオプションを設定します。終了したら、「続行」をクリックします。

「推奨」フォームの「作成」セクションがタブに表示されます。



6. 「静的リスト」ドロップ・ゾーンに、このセグメントのリストに含めるアセット (342 ページの手順 2 でブックマークを付けたもの) を追加します。次の手順を実行します。
 - a. 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じられている場合は、ナビゲーション・ペインの「ワーク」バーをクリックして開きます。)
 - b. ブックマーク付きのアセットのリスト(「ブックマーク」ノードの下に表示)で、必要なアセットの名前をクリックし、ドラッグしてフィールド内にドロップします。
7. (オプション) リスト内のアセットの順序を変更する場合は、リストでアセットを選択し、リスト内でドラッグして上下に移動します。
8. アセットを保存します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン(📁)をクリックします。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」→「保存」を選択します。
9. アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン(🔍)をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します

タブには、アセットの「調査」ビューがフォーム・モードで表示されます。アセットが「調査」ビューで表示されているときは、アセットの内容を変更できません。

推奨モードの静的リスト推奨の作成

リスト・モードとは対照的に、推奨モードの静的リスト推奨がテンプレートによって呼び出された場合、表示されるアセットの順序は、リストの順序ではなく、セグメントと評価によって決まります。さらに、セグメントと評価を適用すると、リスト内の一部のアセットが全体的にフィルタで除外される場合があります。

次のことに留意してください。

- セグメントを使用する場合は、どのアセットがどのセグメントに所属するかを把握しておいてください。
- 必要なセグメントが存在しない場合は、作成できません (適切な権限がある場合)。セグメントの作成と構成の詳細は、第 16 章「訪問者のセグメントへのグループ化」を参照してください。
- リストに追加するアセットに割り当てる確信度の値 (セグメント内、セグメント外、セグメントが適用されない場合) を事前に知っておく必要があります。

アセットを推奨に割り当てる前に、推奨の作成中に簡単に取得できるように、ソース・アセットをブックマークに追加する必要があります。

推奨モードの静的リスト推奨を作成するには：

注意

この手順で「推奨」フォームの各セクションを進みながら「保存」アイコン () (アセットのツールバー内) をクリックすると、そのセクションまでに行った変更を保存できます。

1. WebCenter Sites にログインし、作業を行うサイト (この例では FirstSite II) と、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 推奨に含めるアセットを見つけてブックマークを付けます (「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードにアセットが追加されます)。
 - a. 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定して、虫めがねボタン () をクリックします。
 - b. 検索を特定のアセット・タイプに絞り込む場合は、「検索」フィールドで下矢印をクリックして「検索タイプ」ドロップダウン・ボックスをレンダリングします。アセット・タイプを選択し、検索をそのタイプに制限します。
 - c. 検索結果リストで、ブックマークを付けるアセットを選択 ([Ctrl] キーを押しながらクリック) します。「検索」タブのツールバーで、「ブックマーク」アイコン () をクリックします。

アセットの検索とブックマークの詳細は、第 6 章「アセットの検索と編成」を参照してください。

3. メニュー・バーで、「コンテンツ」→「新規」→新規推奨を選択します。
 - a. 管理者が、すべての新規アセットが作成後にワークフローに配置されるようにアセット・タイプを構成している場合は、「割当て先の選択」フォームを表示するタブが開きます。

必要なロールごとに 1 人以上のユーザーを選択し、「割当て先の設定」をクリックします。これらのユーザーはだれでも、ワークフロー・プロセスの次の手順を完了できます。詳細は、第 14 章「ワークフロー」を参照してください。
 - b. 推奨アセットの「作成」ビューが Web モードで表示されている場合は、アセットのツールバーで「モード」スイッチをクリックして、フォーム・モードに切り替えます。

「推奨」フォームがタブに表示されます。上部にあるフォームのセクション名に注目してください。新規の推奨アセットを作成するときは、フォームの「名前」セクションが最初に表示されます。

Recommendation

Name ▶ Type ▶ Options ▶ Build ▶ Selection ▶ Sort

*Name:

Description:

Subtype: (no subtype) ▼

Template: /FSIILayout ▼

Start Date: 

End Date: 

Locale: ▼

Mode: List Recommendation

注意

推奨アセットを作成または編集するときは、切替え先のセクションの名前をクリックすると、フォームのセクション間を切り替えることができます。

4. 「推奨」フォームの「名前」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「名前」フィールドに、推奨を説明する一意な名前を入力します。最大 64 文字の英数字 (スペースを含む) を入力できます。最初の文字にスペースは使用できません。
 - b. 「説明」フィールドに、リストの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を入力できます。
 - c. 「サブタイプ」ドロップダウン・リストで、推奨のサブタイプを選択します。サブタイプは、リストをカテゴリ分けする方法です。設計チームがこのタイプの推奨のサブタイプを定義していない場合は、このドロップダウン・リストは空です。選択可能なサブタイプ (存在する場合) の詳細は、開発者に問い合せてください。
 - d. 「テンプレート」ドロップダウン・リストで、推奨のテンプレートを選択します。

注意

「テンプレート」フィールドにドロップダウン・リストが含まれていない場合は、推奨用にテンプレートが作成されていません。推奨用テンプレート作成の詳細は、開発者に問い合せてください。

- e. 「開始日」フィールドと「終了日」フィールドで、アセットをオンラインで表示する日付の範囲を選択します。開始日と終了日の詳細は、[162 ページの「開始日と終了日について」](#)を参照してください。
- f. 「モード」フィールドで、「推奨」ラジオ・ボタンを選択します。
- g. 「続行」をクリックします。
「推奨」フォームの「タイプ」セクションがタブに表示されます。

Recommendation: List recommendation

Name	Type	Options	Build	Selection	Sort
Recommendation Type:					
<input type="radio"/> Related Items (defined on asset forms)					
<input checked="" type="radio"/> Static Lists (optionally by segment)					
<input type="radio"/> Dynamic Lists (generated by an element)					

Continue

5. 「推奨」フォームの「タイプ」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「静的リスト」を選択します。
 - b. 「続行」をクリックします。

「推奨」フォームの「オプション」セクションがタブに表示されます。

The screenshot shows the 'Recommendation: List Recommendation' form with the 'Options' tab selected. The form has a navigation bar with tabs: Name, Type, Options (selected), Build, Selection, and Sort. Below the navigation bar, there are several radio button options:

- Bring back children of returned assets.
- Do not bring back children of returned assets.
- Promotions can override this recommendation.
- Promotions cannot override this recommendation.
- This recommendation applies to all asset types.
- This recommendation applies to the following asset types:

Below these options is a list of asset types with an 'Add' button and a 'Remove' button:

- Attribute Editor
- CSElement
- Content
- Content Attribute
- Content Definition
- Content Filter
- Content Parent
- Content Parent Definition
- Dimension
- DimensionSet

At the bottom of the form is a 'Continue' button.

6. 「推奨」フォームの「オプション」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 推奨の目的に合わせてオプションを設定します。
 - b. 「続行」をクリックします。

「推奨」フォームの「作成」セクションがタブに表示されます。

The screenshot shows the 'Recommendation: List recommendation' form with the 'Build' tab selected. The form has a navigation bar with tabs: Name, Type, Options, Build (selected), Selection, and Sort. Below the navigation bar, there are two sections for 'Static Lists':

- Static Lists:** New Static List: <Select Segment> (dropdown menu)
- Static Lists:** If No Segments Apply:

Below these sections is a table with columns 'Item Name' and 'Confidence':

Item Name	Confidence
No items specified	

Below the table is a 'Drag Products' section with a dashed box labeled 'Drop Zone' and a hand icon. A hint below reads: 'Hint: Drag items from the tree or docked search in to the drop zone.' At the bottom of the form is a 'Continue' button.

7. 「推奨」フォームの「作成」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「新規静的リスト」ドロップダウン・メニューで、任意のセグメントを選択します。

そのセグメントの新規静的リストが作成され、フォームに表示されます。
 - b. 「製品のドラッグ」ドロップ・ゾーンに、このセグメントのリストに含めるアセット (342 ページの手順 2 でブックマークを付けたもの) を追加します。次の手順を実行します。
 - 1) 「ワーク」ツリーで、「ブックマーク」ノードを開きます。(「ワーク」ツリーが閉じられている場合は、ナビゲーション・ペインの「ワーク」バーをクリックして開きます。)
 - 2) ブックマーク付きのアセットのリスト(「ブックマーク」ノードの下に表示)で、必要なアセットの名前をクリックし、ドラッグしてフィールド内にドロップします。
 - c. 各アセットの確信度の値、セグメント内とセグメント外の両方を割り当てます。確信度は、推奨の重み付け係数であり、現在の訪問者がセグメントのメンバーである場合とセグメントのメンバーでない場合に、その訪問者用に返すアセットを決定する際に使用します。デフォルトはそれぞれ 100% と 0% です。

アセットがセグメントに追加されていない場合、「確信度」のフィールドは 1 つだけ表示されます。

詳細は、331 ページの「確信度」を参照してください。
 - d. 含めるセグメントの数に応じて、手順 a から c を繰り返します。選択したセグメントは、ドロップダウン・リストには表示されなくなります。
 - e. (オプション) セグメントが適用されない場合カテゴリに関して手順 b から c を繰り返して、確信度の値を適宜割り当てます。

完成したフォームは、次のようになります。

Recommendation: List recommendation

▶Name ▶Type ▶Options Build ▶Selection ▶Sort

Static Lists: New Static List: <Select Segment>

Segment: AffluentYoungSingles

Item Name	In Segment Confidence	Out of Segment Confidence
Onsdag - Digital Camera (Product)	90 %	60 %
FSII Superior Hi-Def Plasma Screen TV (Product)	75 %	75 %

Drag Products

Drop Zone

Hint: Drag items from the tree or docked search in to the drop zone.:

Static Lists: If No Segments Apply:

Item Name	Confidence
FSII FSE Digital Audio Player (Product)	90 %

Drag Products

Drop Zone

Hint: Drag items from the tree or docked search in to the drop zone.:

Continue

- f. 「続行」をクリックします。
「推奨」フォームの「選択」セクションがタブに表示されます。

Recommendation: List recommendation

▶Name ▶Type ▶Options ▶Build Selection ▶Sort

Selection Criteria:

Random (weighted by rating)

Highest Rating

Continue

8. 「推奨」フォームの「選択」セクションで、次の手順を実行します。
- 推奨の選択基準を選択します。詳細は、[332 ページの「選択基準」](#)を参照してください。
 - 「続行」をクリックします。

「推奨」フォームの「ソート」セクションがタブに表示されます。

Recommendation: List recommendation

▶Name ▶Type ▶Options ▶Build ▶Selection **Sort**

New Sort Criteria:

Attribute Type	Attribute	Direction
<Pick Type>	<Pick Attribute>	<input checked="" type="radio"/> Ascending <input type="radio"/> Descending

Add Sort Criteria

Sort Criteria:

Attribute Type	Attribute	Direction
1. SpStrH	_CONFIDENCE_	Descending

9. 「推奨」フォームの「ソート」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「属性タイプ」ドロップダウン・リストで、アセット・リストのソートの基準とする属性のタイプを選択します。デフォルトでは、「特別」属性タイプのみが選択可能で、アセット・タイプ、確信度および評価を基準としてソートできます。サイト上のアセットの性質に固有の属性タイプは、管理者および開発者が設定します。
詳細は、[333 ページの「ソート基準」](#)を参照してください。
 - b. 「属性」ドロップダウン・メニューで、アセット・リストのソートの基準とする属性を選択します。リストの内容は、「属性タイプ」フィールドで選択したオプションによって異なります。たとえば、[手順 a](#)で「特別」属性タイプを選択した場合、「属性」フィールドには、**_ASSETTYPE_**、**_CONFIDENCE_** および **_RATING_** の各オプションが含まれます。
サイト上のアセットの性質に固有の属性を使用できるようにするには、管理者および開発者が設定する必要があります。
 - c. 「方向」フィールドで、ソート方向を昇順にするか降順にするかを選択します。
 - d. 「ソート基準の追加」をクリックします。フォームの下部に基準が表示されます。
 - e. (オプション) ソート基準をさらに追加するには、[手順 a](#) から [d](#) を繰り返します。新しいソート基準は、必ず **Engage** でリスト内のアセットをソートする順序で追加してください。たとえば、まずアセット・タイプを基準とし、次に評価を基準としてアセットをソートします。
10. アセットを保存します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」 → 「保存」を選択します。
11. アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」 → 「調査」を選択します。

タブには、アセットの「調査」ビューがフォーム・モードで表示されます。アセットが「調査」ビューで表示されているときは、アセットの内容を変更できません。

動的リスト推奨の作成

注意

この手順を開始する前に、開発者に問い合わせて、作成する動的リスト推奨でどの CSElement アセットを使用するかを確認してください。

動的リスト推奨を作成するには：

1. WebCenter Sites にログインし、作業を行うサイト (この例では FirstSite II) と、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. メニュー・バーで、「コンテンツ」→「新規」→**新規推奨**を選択します。
 - a. 管理者が、すべての新規アセットが作成後にワークフローに配置されるようにアセット・タイプを構成している場合は、「割当て先の選択」フォームを表示するタブが開きます。

必要なロールごとに 1 人以上のユーザーを選択し、「割当て先の設定」をクリックします。これらのユーザーはだれでも、ワークフロー・プロセスの次の手順を完了できます。詳細は、[第 14 章「ワークフロー」](#)を参照してください。
 - b. 推奨アセットの「作成」ビューが Web モードで表示されている場合は、アセットのツールバーで「モード」スイッチをクリックして、フォーム・モードに切り替えます。

タブには、推奨アセットの「作成」ビューがフォーム・モードで表示されます。上部にあるフォームのセクション名に注目してください。新規の推奨ア

セットを作成するときは、フォームの「名前」セクションが最初に表示されます。

The screenshot shows a web form titled "Recommendation". At the top, there are three tabs: "Name", "Options", and "Build". The "Name" tab is selected. The form contains the following fields and controls:

- *Name:** A text input field.
- Description:** A text input field.
- Subtype:** A dropdown menu with "(no subtype)" selected.
- Template:** A dropdown menu with "/FSIILayout" selected.
- Start Date:** A date input field with a calendar icon.
- End Date:** A date input field with a calendar icon.
- Locale:** A dropdown menu.
- Mode:** Two radio buttons: "List" (selected) and "Recommendation".
- Continue:** A black button at the bottom.

注意

推奨アセットを作成または編集するときは、切替え先のセクションの名前をクリックすると、フォームのセクション間を切り替えることができます。

3. 「推奨」フォームの「名前」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「名前」フィールドに、推奨を説明する一意な名前を入力します。最大 64 文字の英数字 (スペースを含む) を入力できます。最初の文字にスペースは使用できません。
 - b. 「説明」フィールドに、リストの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を入力できます。
 - c. 「サブタイプ」ドロップダウン・リストで、推奨のサブタイプを選択します。
サブタイプは、リストをカテゴリ分けする方法です。設計チームがこのタイプの推奨のサブタイプを定義していない場合は、このドロップダウン・リストは空です。

- d. 「テンプレート」ドロップダウン・リストで、推奨のテンプレートを選択します。

注意

「テンプレート」フィールドにドロップダウン・リストが含まれていない場合は、推奨用にテンプレートが作成されていません。推奨用テンプレート作成の詳細は、開発者に問い合わせてください。

- e. 「開始日」フィールドと「終了日」フィールドで、アセットを「サイト・プレビュー」に表示する日付の範囲を選択します。開始日と終了日の詳細は、[162 ページの「開始日と終了日について」](#)を参照してください。
- f. 「モード」フィールドで、「推奨」ラジオ・ボタンを選択します。
- g. 「続行」をクリックします。
「推奨」フォームの「タイプ」セクションがタブに表示されます。

Recommendation: DynListRec

▶Name	Type	▶Options	▶Build	▶Selection	▶Sort
-------	------	----------	--------	------------	-------

Recommendation Type:

- Related Items (defined on asset forms)
- Static Lists (optionally by segment)
- Dynamic Lists (generated by an element)

Continue

4. 「推奨」フォームの「タイプ」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「動的リスト」を選択します。
 - b. 「続行」をクリックします。

「推奨」フォームの「オプション」セクションがタブに表示されます。

Recommendation: DynListRec

▶Name ▶Type **Options** ▶Build ▶Selection ▶Sort

Options:

- Bring back children of returned assets.
- Do not bring back children of returned assets.
- Promotions can override this recommendation.
- Promotions cannot override this recommendation.
- This recommendation applies to all asset types.
- This recommendation applies to the following asset types:

Attribute Editor
CSElement
Content
Content Attribute
Content Definition
Content Filter
Content Parent
Content Parent Definition
Dimension
DimensionSet

Add
Remove

Continue

5. 「推奨」フォームの「オプション」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 推奨の目的に合わせてオプションを設定します。
 - b. 「続行」をクリックします。

「推奨」フォームの「作成」セクションがタブに表示されます。

Recommendation: DynListRec

▶Name ▶Type ▶Options **Build** ▶Selection ▶Sort

CSElement: -- No element specified --

Type Ahead

Hint: Type in the input box to search for the elements and select one element from the drop down.:

Continue

6. 「推奨」フォームの「作成」セクションで、次の手順を実行します。
- a. 「CSElement」先行入力フィールドに、一致するエレメントのドロップダウン・リストを生成するために推奨で使用する CSElement の最初の数文字を入力します。

ドロップダウン・リストからアセットを選択すると、WebCenter Sites ではフォームがリフレッシュされ、追加された CSElement アセットが表示されます。

- b. 現在選択されている CSElement アセットを置換する場合は、手順 a を繰り返します。現在の CSElement が選択したものに置換されます。
- c. 「表示結果」をクリックして、エレメントで現在生成されるリストを表示します。

このエレメントは、次の列を含む特定のタイプのリストを返すために必要です。

- **アセット名**: アセットの名前。サイトで一意であることが保証されています。
- **アセット ID**: アセットの生成された ID。
- **アセット・タイプ**: アセット・タイプの名前(「製品」など)。
- **確信度**: 開発者が計算した値、または Engage によって 1 (100%) として割り当てられた値。

このリストは動的であるため、推奨がテンプレートによって呼び出されたときにデータベース内でアセットが変更された場合、リストのコンテンツが変化する可能性があります。ツリーから別の CSElement アセットを選択すると、現在表示されているリスト結果は消去されます。

「表示結果」をクリックしたときは、次の結果も考えられます。

- エレメントから、必要なリスト・タイプが返されない。
- 返されたリストに必要な列が含まれていない。
- エレメントでエラーが発生する。
- エレメントからアセットがまったく返されない(必ずしもエラーではなく、必要なアセットが存在しない場合があります。その場合は、管理者に問い合わせる必要があります)。

これらのうちいずれかの状況が発生した場合は、別の CSElement アセットを選択して再試行するか、開発者に問い合わせる問題の CSElement アセットをトラブルシューティングします。

- d. 「**続行**」をクリックします。

「推奨」フォームの「**選択**」セクションがタブに表示されます。

The screenshot shows a web form titled "Recommendation: List recommendation". At the top, there are tabs: Name, Type, Options, Build, Selection (active), and Sort. Below the tabs, the "Selection Criteria:" section contains two radio buttons: "Random (weighted by rating)" and "Highest Rating". The "Highest Rating" option is selected. A "Continue" button is located at the bottom of the form.

7. 「推奨」フォームの「**選択**」セクションで、次の手順を実行します。

- a. 推奨の選択基準を選択します。詳細は、[332 ページの「選択基準」](#)を参照してください。
- b. 「**続行**」をクリックします。

「推奨」フォームの「**ソート**」セクションがタブに表示されます。

The screenshot shows a web form titled "Recommendation: DynListRec". At the top, there are tabs: Name, Type, Options, Build, Selection, and Sort (active). Below the tabs, the "New Sort Criteria:" section contains two dropdown menus: "Attribute Type" and "Attribute". To the right of these dropdowns is a "Direction" section with two radio buttons: "Ascending" (selected) and "Descending". An "Add Sort Criteria" button is located below the dropdowns. Below this section, there is a "Sort Criteria:" label.

8. 「推奨」フォームの「**ソート**」セクションで、次の手順を実行します。

- a. 「属性タイプ」ドロップダウン・リストで、アセット・リストのソートの基準とする属性のタイプを選択します。デフォルトでは、「**特別**」属性タイプのみが選択可能で、アセット・タイプ、確信度および評価を基準としてソートできます。サイト上のアセットの性質に固有の属性タイプは、管理者および開発者が設定します。

詳細は、[333 ページの「ソート基準」](#)を参照してください。

- b. 「属性」ドロップダウン・リストで、アセット・リストのソートの基準とする属性を選択します。リストの内容は、「**属性タイプ**」フィールドで選択したオプションによって異なります。たとえば、[手順 a](#)で「**特別**」属性タイプを選択した場合、「属性」フィールドには、`_ASSETTYPE_`、`_CONFIDENCE_` および `_RATING_` の各オプションが含まれます。

サイト上のアセットの性質に固有の属性を使用できるようにするには、管理者および開発者が設定する必要があります。

- c. 「**方向**」フィールドで、ソート方向を昇順にするか降順にするかを選択します。

- d. 「**ソート基準の追加**」をクリックします。フォームの下部に基準が表示されます。
 - e. (オプション) ソート基準をさらに追加するには、**手順 a** から **d** を繰り返します。新しいソート基準は、必ず **Engage** でリスト内のアセットをソートする順序で追加してください。たとえば、まずアセット・タイプを基準とし、次に評価を基準としてアセットをソートします。
9. 必要なソート基準を選択したら、アセットを保存します。次のいずれかを実行します。
- アセットのツールバーで、「**保存**」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「**コンテンツ**」 → 「**保存**」を選択します。
10. アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
- アセットのツールバーで、「**調査**」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「**編集**」 → 「**調査**」を選択します。
- タブには、アセットの「**調査**」ビューがフォーム・モードで表示されます。アセットが「**調査**」ビューで表示されているときは、アセットの内容を変更できません。

関連アイテム推奨の作成

関連アイテム推奨を作成するには：

1. WebCenter Sites にログインし、作業を行うサイト (この例では FirstSite II) と、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. メニュー・バーで、「**コンテンツ**」 → 「**新規**」 → **新規推奨** を選択します。
 - a. 管理者が、すべての新規アセットが作成後にワークフローに配置されるようにアセット・タイプを構成している場合は、「**割当て先の選択**」フォームを表示するタブが開きます。

必要なロールごとに 1 人以上のユーザーを選択し、「**割当て先の設定**」をクリックします。これらのユーザーはだれでも、ワークフロー・プロセスの次の手順を完了できます。詳細は、[第 14 章「ワークフロー」](#) を参照してください。
 - b. 推奨アセットの「**作成**」ビューが **Web** モードで表示されている場合は、アセットのツールバーで「**モード**」スイッチをクリックして、フォーム・モードに切り替えます。

タブには、推奨アセットの「作成」ビューがフォーム・モードで表示されます。上部にあるフォームのセクション名に注目してください。新規の推奨アセットを作成するときは、フォームの「名前」セクションが最初に表示されます。

The screenshot shows a web form titled "Recommendation" with a breadcrumb trail: "Name" > "Options" > "Build". The form contains the following elements:

- *Name:** A text input field.
- Description:** A text input field.
- Subtype:** A dropdown menu with "no subtype" selected.
- Template:** A dropdown menu with "FSIILayout" selected.
- Start Date:** A date input field with a calendar icon.
- End Date:** A date input field with a calendar icon.
- Locale:** A dropdown menu.
- Mode:** Two radio buttons: "List" (selected) and "Recommendation".
- Continue:** A button at the bottom.

注意

推奨アセットを作成または編集するときは、切替え先のセクションの名前をクリックすると、フォームのセクション間を切り替えることができます。

3. 「推奨」フォームの「名前」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「名前」フィールドに、推奨を説明する一意な名前を入力します。最大 64 文字の英数字 (スペースを含む) を入力できます。最初の文字にスペースは使用できません。
 - b. 「説明」フィールドに、リストの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を入力できます。
 - c. 「サブタイプ」ドロップダウン・リストで、推奨のサブタイプを選択します。サブタイプは、リストをカテゴリ分けする方法です。設計チームがこのタイプの推奨のサブタイプを定義していない場合は、このドロップダウン・リストは空です。選択可能なサブタイプ (存在する場合) の詳細は、開発者に問い合せてください。

- d. 「テンプレート」ドロップダウン・リストで、推奨のテンプレートを選択します。

注意

「テンプレート」フィールドにドロップダウン・リストが含まれていない場合は、推奨用にテンプレートが作成されていません。推奨用テンプレート作成の詳細は、開発者に問い合せてください。

- e. 「開始日」フィールドと「終了日」フィールドで、アセットを「サイト・プレビュー」に表示する日付の範囲を選択します。開始日と終了日の詳細は、[162 ページの「開始日と終了日について」](#)を参照してください。
- f. 「モード」フィールドで、「推奨」ラジオ・ボタンを選択します。
- g. 「続行」をクリックします。
「推奨」フォームの「タイプ」セクションがタブに表示されます。

Name	Type	Options	Build	Selection	Sort
Recommendation Type:					
<input checked="" type="radio"/>	Related Items	(defined on asset forms)			
<input type="radio"/>	Static Lists	(optionally by segment)			
<input type="radio"/>	Dynamic Lists	(generated by an element)			

Continue

4. 「推奨」フォームの「タイプ」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「関連アイテム」ラジオ・ボタンを選択します。
 - b. 「続行」をクリックします。

「推奨」フォームの「オプション」セクションがタブに表示されます。

5. 「推奨」フォームの「オプション」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 推奨の目的に合わせてオプションを設定します。
 - b. フォーム上部の「選択」をクリックします(関連アイテム推奨には「作成」の手順はありません)。
 - c. 「続行」をクリックします。
 次のメッセージが表示されます。

6. 「作成」セクションで、「続行」をクリックして、フォームの「選択」セクションに移動します。
「推奨」フォームの「選択」セクションがタブに表示されます。

7. 「推奨」フォームの「選択」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 推奨の選択基準を選択します。詳細は、332 ページの「選択基準」を参照してください。
 - b. 「続行」をクリックします。
「推奨」フォームの「ソート」セクションがタブに表示されます。

8. 「推奨」フォームの「ソート」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「属性タイプ」ドロップダウン・リストで、アセット・リストのソートの基準とする属性のタイプを選択します。デフォルトでは、「特別」属性タイプのみが選択可能で、アセット・タイプ、確信度および評価を基準としてソートできます。サイト上のアセットの性質に固有の属性タイプは、管理者および開発者が設定します。
詳細は、333 ページの「ソート基準」を参照してください。
 - b. 「属性」ドロップダウン・リストで、アセット・リストのソートの基準とする属性を選択します。リストの内容は、「属性タイプ」フィールドで選択したオプションによって異なります。たとえば、手順 a で「特別」属性タイプを選択した場合、「属性」フィールドには、`_ASSETTYPE_`、`_CONFIDENCE_` および `_RATING_` の各オプションが含まれます。
サイト上のアセットの性質に固有の属性を使用できるようにするには、管理者および開発者が設定する必要があります。
 - c. 「方向」フィールドで、ソート方向を昇順にするか降順にするかを選択します。
 - d. 「ソート基準の追加」をクリックします。フォームの下部に基準が表示されます。
 - e. (オプション) ソート基準をさらに追加するには、手順 a から d を繰り返します。新しいソート基準は、必ず Engage でリスト内のアセットをソートする順序で追加してください。たとえば、まずアセット・タイプを基準とし、次に評価を基準としてアセットをソートします。
9. 必要なソート基準を選択したら、アセットを保存します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン (📁) をクリックします。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」 → 「保存」を選択します。
10. アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン (🔍) をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」 → 「調査」を選択します。

タブには、アセットの「調査」ビューがフォーム・モードで表示されます。アセットが「調査」ビューで表示されているときは、アセットの内容を変更できません。

この推奨が、フレックス・アセットおよびフレックス親アセットの「作成」ビューおよび「編集」ビューの「関連アイテム」フィールド(「メタデータ」セクション内)に表示されます。これで、フレックス・アセットの関係を構成できます。

詳細は、[365 ページ](#)の「関連アイテム推奨を使用したアセット関係の構成」を参照してください。

推奨アセットの編集

推奨アセットを編集するには：

1. WebCenter Sites にログインし、作業を行うサイト(この例では FirstSite II)と、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 編集する推奨アセットを探して開きます。
 - a. 「検索」フィールドで、目的の検索条件(存在する場合)を指定します。
 - b. 検索を特定のアセット・タイプに絞り込む場合は、「検索」フィールドで下矢印をクリックして「検索タイプ」ドロップダウン・ボックスをレンダリングします。アセット・タイプを選択し、検索をそのタイプに制限します。
 - c. 虫めがねボタン()をクリックします。
検索の詳細は、[140 ページ](#)の「アセットの検索」を参照してください。
 - d. 検索結果のリストで、該当するアセットを右クリックして、コンテキスト・メニューから「編集」を選択します。
検索の詳細は、[140 ページ](#)の「アセットの検索」を参照してください。

アセットの「編集」ビューがフォーム・モードで表示されたタブが開きます。

Recommendation: FSIIAdvertisement

***Name:**

Description:

Subtype: ▼

Template: ▼

Start Date:

End Date:

Locale: ▼

Mode: List
 Recommendation

Options: Does not bring back children of returned assets.
Promotions can override this recommendation.

This recommendation applies to all asset types.

Type: Static Lists

Static Lists:

Item Name	Confidence
FSII IES_HDTV.jpg (Media)	100%

Selection Criteria: Highest Rating

Sort Criteria:

Attribute Type	Attribute	Direction
1. Special	_CONFIDENCE_	Descending

Created: Friday, July 8, 2005 4:32:36 PM EDT by firstsite

Modified: Sunday, July 17, 2005 9:57:08 PM EDT by firstsite

3. 編集するセクションの横にある「変更」ボタンをクリックします。たとえば、「オプション」セクションを編集するには、推奨フォームの「オプション」フィールドの横にある「変更」ボタンをクリックします。

推奨のフォームの対応するセクションが、現在の構成オプションが事前に選択された状態で、タブに表示されます。

Recommendation: FSIIAdvertisement

▶Name Options ▶Build

Options:

- Bring back children of returned assets.
- Do not bring back children of returned assets.
- Promotions can override this recommendation.
- Promotions cannot override this recommendation.
- This recommendation applies to all asset types.
- This recommendation applies to the following asset types:

Attribute Editor
CSElement
Content
Content Attribute
Content Definition
Content Filter
Content Parent
Content Parent Definition
Dimension
DimensionSet

Add
Remove

Continue

4. セクションに必要な変更を行ったら、アセットを保存します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン(📁)をクリックします。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」→「保存」を選択します。
5. アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン(🔍)をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」→「調査」を選択します。

タブには、アセットの「調査」ビューがフォーム・モードで表示されます。アセットが「調査」ビューで表示されているときは、アセットの内容を変更できません。

推奨されるアセットの構成

次の手順では、推奨を使用してプロモーションするアセットに関して、セグメントの評価とアセットの関係を構成します。具体的には、サイトのインタフェースでフレックス・アセットおよびフレックス親アセットのフォームを使用して、次の手順を実行する必要があります。

- 各セグメントのメンバーに対するアセットおよび親アセットの重要度を評価します。
- 関連アイテム推奨で示されているアセット関係を構成します。

注意

通常は、推奨するアセットはビジネス・ユーザーが構成します。

アセットへの評価の割当て

評価は、個々のフレックス・アセットまたはフレックス親に対して割り当てることができます。ただし、次の理由により、親を使用して評価を割り当てをお勧めします。

- アセットがグループ分けされている場合は、複数のアセットの評価をまとめて管理するほうが簡単です。実際に、子アセットに評価を割り当てただけの目的でフレックス親を作成するとよい場合が多くあります。評価の条件が同じであるすべてのアセットを、同じ親の子に指定できます。そうすれば、1回の変更で、すべての子アセットの評価を変更できます。
- あるアセット・グループの評価を別のグループの評価と比較するほうが、個々のアセットの評価を比較するより簡単です。
- 個別の評価を持つアセットが少ないため、評価をより短時間で計算できます。これにより、システムのパフォーマンスが向上します。

特定の状況で、評価を使用して特定のフレックス・アセットをプロモーションすることは避けてください。かわりに、静的リスト推奨またはプロモーションを使用して特定のアセットを推奨することによって目的を達成してください。

開始する前に、次のタスクを完了してください。

- セグメントを調べてどのように定義されているかを理解し、どのフレックス親がどのセグメントに対して重要かを判断します。
- 未評価のアセットに使用するシステム・デフォルトの評価を変更したかどうかを、サイト開発者に確認します。システム・デフォルトの評価をオーバーライドしていない場合は、デフォルトの評価は 50 です。この評価は、評価スケールの平均または中間点を表します。この値をメモしておいて、アセットを評価する際に考慮に入れてください。たとえば、あるアセットをシステム・デフォルトの評価より低く評価すると、サイト訪問者に対して推奨される可能性が低くなります。

アセットに評価を割り当てるには：

1. WebCenter Sites にログインし、作業を行うサイト (この例では FirstSite II) と、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 評価を割り当てるフレックス・アセットまたはフレックス親を見つけて、その「編集」ビューを開きます。
 - a. 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定します。
 - b. 検索を特定のアセット・タイプに絞り込む場合は、「検索」フィールドで下矢印をクリックして「検索タイプ」ドロップダウン・ボックスをレンダリングします。アセット・タイプを選択し、検索をそのタイプに制限します。
 - c. 虫めがねボタン () をクリックします。
検索の詳細は、140 ページの「アセットの検索」を参照してください。
 - d. 検索結果のリストで、該当するアセットを右クリックして、コンテキスト・メニューから「編集」を選択します。
検索の詳細は、140 ページの「アセットの検索」を参照してください。
3. アセットの「編集」ビューで、「マーケティング」タブを選択して、「評価」セクションに移動します。フォームのこのセクションには、このサイト用に作成されたすべてのセグメントのリストが表示されます。例を示します。

Ratings:	Segment	In Segment	Out of Segment
	AffluentYoungSingles	<input type="text"/>	<input type="text"/>
No segment ratings apply:		<input type="text"/>	

4. 0 から 100 の範囲 (100 が最大値) を使用して、リスト内のセグメントに対してこのアセットを評価します。
 - 任意のセグメントのセグメント内列に、このセグメントのメンバーに対するアセットの評価の値を入力します。
 - 任意のセグメントのセグメント外列に、このセグメントのメンバーではない訪問者に対するアセットの評価の値を入力します。
 - セグメント評価未適用フィールドに、固有の評価をアセットに割り当てる値を入力します。この評価は、セグメントが定義されていない場合や、セグメントを認識しない推奨 (リスト・モードの静的リスト推奨) にアセットが配置されている場合に使用します。
 評価の詳細は、329 ページの「評価」を参照してください。
5. 必要なソート基準を選択したら、アセットを保存します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」 → 「保存」を選択します。
6. アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで「編集」 → 「調査」を選択します。

関連アイテム推奨を使用したアセット関係の構成

開始する前に、次のタスクを完了してください。

- それぞれの関連アイテム推奨について説明するよう開発者に依頼し、関連アイテム推奨で示される関係を十分に理解します。
- 製品アセットやコンテンツ・アセットなど、フレックス・アセットを組み合わせて表示するように推奨がプログラムされているかどうかを確認し、関係を正しく構成できるようにします。

アセット間の関係を構成するには：

1. WebCenter Sites にログインし、作業を行うサイト (この例では FirstSite II) と、WebCenter Sites の **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. 構成したい関連アイテム関係を持つフレックス親アセットを処理する前に、これらの関係に含めるアセットを探してブックマークを付ける必要があります。ブックマークを付けたアセットは、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードに表示されます。
 - a. 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定します。
 - b. 検索を特定のアセット・タイプに絞り込む場合は、「検索」フィールドで下矢印をクリックして「検索タイプ」ドロップダウン・ボックスをレンダリングします。アセット・タイプを選択し、検索をそのタイプに制限します。
 - c. 虫めがねボタン () をクリックします。
 - d. 検索結果リストで、ブックマークを付けるアセットを選択 ([Ctrl] キーを押しながらクリック) します。「検索」タブのツールバーで、「ブックマーク」アイコン () をクリックします。
3. 構成したい関連アイテム関係を持つフレックス親を見つけて、その「編集」フォームを開きます。
 - a. 「検索」フィールドで、目的の検索条件 (存在する場合) を指定します。
 - b. 検索を特定のアセット・タイプに絞り込む場合は、「検索」フィールドで下矢印をクリックして「検索タイプ」ドロップダウン・ボックスをレンダリングします。アセット・タイプを選択し、検索をそのタイプに制限します。
 - c. 虫めがねボタン () をクリックします。
 - d. 検索結果のリストで、該当するアセットを右クリックして、コンテキスト・メニューから「編集」を選択します。

検索の詳細は、140 ページの「アセットの検索」を参照してください。

4. 親の「編集」フォームで、「関連アイテム」セクションまでスクロールします。次の図を参照してください。

Ratings:	Segment	In Segment	Out of Segment
	AffluentYoungSingles	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	TargetHighVolume	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	No segment ratings apply	<input type="text"/>	

Related Items: List Recommendation (recommendation)


Drop Zone

RecRec (recommendation)


Drop Zone

注意

「関連アイテム」セクションは、追加するアセットのアセット・タイプを指定する関連アイテム・タイプの推奨を作成済の場合にのみ使用できます。詳細は、[355 ページの「関連アイテム推奨の作成」](#)を参照してください。

5. ツリーで、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードを開きます。フレックス・アセットまたはフレックス親を、適切な推奨のドロップ・ゾーンにドラッグ・アンド・ドロップします。

Engage では、推奨の下にアセットのリストが表示されます。

The screenshot displays a 'Related Items' section with two sub-sections: 'List Recommendation (recommendation)' and 'RecRec (recommendation)'. Each sub-section contains a list of assets with their names and confidence scores in input fields. Each asset entry has a close button (X) on the right.

Asset Name	Confidence
FSII Innovative Ent. Systems	100
FSII AudioCo	80
FSII Superior Systems Inc.	75
FSII Standard DVD Players	100
FSII Combination DVD Players	90

6. アセットまたは親アセットの横の「**確信度**」列に、この関係の重みを表す確信度の値を入力します。確信度は、0 から 100 の範囲のパーセンテージで表現されます。0 を入力するか、フィールドを空白のままにしておくと、このアセットは推奨から除外されます。

確信度の詳細は、[331 ページの「確信度」](#)を参照してください。

7. 必要なソート基準を選択したら、アセットを保存します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン (📁) をクリックします。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」 → 「保存」を選択します。
8. アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン (🔍) をクリックします。
 - メニュー・バーで、「編集」 → 「調査」を選択します。

推奨アセットの検証

推奨アセットを正しく構成したことを検証するには、次のような演習を行います。

- テスト・セグメントをいくつか作成します (セグメントの作成については第 16 章「訪問者のセグメントへのグループ化」を参照)。
- フレックス・アセットおよびフレックス親アセットのフォーム (製品アセットや製品親アセットなど) で、セグメントの評価を割り当てます。
- 訪問者としてサイトを表示して、テスト・セグメントに所属するように自身を登録します。
- 推奨アセットで返されるアイテムを調べます。
- 問題が見つかった場合は、問題を切り分けるテスト・ページを作成するよう、開発者に依頼します。

評価されたフレックス・アセットのパブリッシュ

アセットの評価および関係はパブリッシュ後に有効になるため、評価と関係を構成したアセットを承認して、配信システムにパブリッシュできるようにする必要があります。

アセットの承認とパブリッシュの詳細は、第 12 章「パブリッシュの承認」を参照してください。

第 18 章

プロモーションの作成

プロモーションは、サイト訪問者が購入しようとしている製品と訪問者が所属するセグメントに基づいて、ある種の価値または割引を訪問者に提供するマーチャンダイジング・アセットです。

この章では、プロモーションの機能および作成方法について説明します。次の項があります。

- [「プロモーションについて」](#)
- [「プロモーションの作成」](#)
- [「サンプル・プロモーション・アセット」](#)
- [「プロモーションのパブリッシュ」](#)

プロモーションについて

プロモーションでは、サイト訪問者が所属するセグメントおよび購入または表示する製品に基づいて、ある種の価値を訪問者およびカスタマに提供します。この価値は、次のような方法で提供できます。

- プロモーション対象製品の購入価格の割引。
- ショッピング・カート全体の価格の割引。
- 送料の割引。
- 割引の組合せ：送料の割引と価格またはカート全体の割引。

マーケティング担当者は、次の条件を使用して、プロモーションを定義します。

- プロモーションに該当するセグメント・メンバー。プロモーションを全員に提供するか、選ばれたセグメントの訪問者に提供するかを指定できます。
- プロモーションの対象となる製品。
- プロモーション対象製品を購入した場合にカスタマが受け取る価値。
- プロモーションの期間。
- レンダリングされたサイト・ページに表示される、プロモーションについて訪問者に通知するテキストまたはグラフィック（あるいはその両方）。
- 通知の場所。プロモーションは、ライブ（パブリック）・サイト・ページに、通常表示される推奨にかわって表示されます。

プロモーションと推奨について

推奨アセットは、すべてのプロモーション・コンテンツの配信メカニズムです。プロモーション・アセットを作成するときは、任意の推奨アセットを選択することにより、プロモーションの表示場所を決定します。プロモーションは、推奨を置換またはオーバーライドし、その推奨に割り当てられているテンプレートを使用して、通常表示される推奨のかわりにプロモーションをレンダリングします。

その結果、Engage では、テンプレートで要求されている推奨を計算するときに、推奨をオーバーライドするプロモーションがあるかどうか自動的にチェックされます。ある場合は、プロモーションが推奨のテンプレートに渡され、テンプレートにはプロモーションがかわりに表示されます。

プロモーションが重複する場合

複数のプロモーションで同じ推奨を使用する場合があります。1 人の訪問者が複数のプロモーションの対象となっていて、それらのプロモーションで同じ推奨が使用されている場合は、どうなるでしょうか。これは、例を示すと簡単に説明できます。

例：重複しているプロモーション

次の 2 つのプロモーションが実行されていて、いずれも同じ推奨をオーバーライドするとします。

名前： End-of-Summer Sale

割引:	訪問者のショッピング・カート全体を 10% 割引
該当する セグメント:	すべてのセグメント
名前:	Printer Sale
割引:	すべてのプリンタを 30% 割引
該当する セグメント:	1) Home Office Worker 2) Back to School

注意

プロモーションにはセグメント評価はありません。プロモーションは、セグメントに適用されるか、されないかのいずれかです。

質問: 訪問者が Home Office Worker セグメントか Back to School セグメントのいずれかに該当する場合、Engage では、どちらのプロモーションを表示するかをどのように決定しますか。また、どちらの割引が適用されますか。

回答: Engage では、どちらのプロモーションを表示するかはランダムに選択されます (半々の確率) が、両方の割引が適用されます。ただし、両方の割引が適用されるということは、プリンタが二重に割引されるという意味ではありません。

このショッピング・カートの内容を見てみましょう。

カート内のアイテム

箱入りの用紙
プリンタ
トナー・カートリッジ

Engage では、割引を適用する前に、カート内のすべてのアイテムのプロモーションをリストして比較します。

カート内のアイテム	Summer Sale	Printer Sale
箱入りの用紙	10%	
プリンタ	10%	30%
トナー・カートリッジ	10%	

Engage では、次に、最大の割引を各アイテムに適用します。したがって、最終的な明細書では、箱入りの用紙とトナー・カートリッジが 10% の割引となり、プリンタは 40% ではなく 30% の割引となります。

質問: 一方のプロモーションだけが表示されました。購入者は、請求書の合計をどのように理解するのでしょうか。

回答: マーケティング担当者がプロモーションを正確に作成していれば、Engage の割引フォームに割引の説明が入力されています。この説明が、請求書の割引されたアイテムの横に表示されます。

プロモーションの作成

プロモーションを作成するには：

プロモーションを作成する前に、次のタスクを完了していることを確認してください。

- サイト開発者に対して、使用しているシステムでのすべての推奨のリストを依頼し、それぞれどこに表示するようプログラミングされているか説明を求めます。
- 特定のセグメントに適用されるプロモーションを作成する場合は、他のマーケティング担当者と協力してセグメントを作成する必要があります。

手順 1: プロモーションの命名と定義

注意

この手順でプロモーションフォームの各セクションを進みながら「保存」をクリックすると、そのセクションまでに行った変更を保存できます。

1. WebCenter のサイトにログインし、作業を行うサイト (この例では FirstSite II) と、その WebCenter のサイトの **Contributor** インタフェースのアイコンを選択します。
2. メニュー・バーで、「コンテンツ」→「新規」→新規プロモーションを選択します。

注意

新規プロモーションがリストにない場合は、ここで終了してください。プロモーションを作成する権限がありません。権限について不明な点がある場合は、管理者に問い合せてください。

管理者が、すべての新規アセットが作成後にワークフローに配置されるようにアセット・タイプを構成している場合は、「割当て先の選択」フォームを表示するタブが開きます。

Role	Users
*MarketingEditor:	firstsite fwadmin Mary

必要なロールごとに 1 人以上のユーザーを選択し、「**割当て先の設定**」をクリックします。これらのユーザーはだれでも、ワークフロー・プロセスの次の手順を完了できます。詳細は、[第 14 章「ワークフロー」](#)を参照してください。

タブが開き、プロモーション・アセットの「作成」ビューが表示されます。上部にあるフォームのセクション名に注目してください。フォームの「名前」セクションが表示されます。

The screenshot shows a web form titled "Promotion". At the top, there are navigation tabs: "Name", "Goals", "Segments", "Discount", "Duration", and "Display". The "Name" tab is selected. Below the tabs is the "Name & Description" section. It contains four input fields: "*Name:" (required), "Description:", "Start Date:" (with a calendar icon), and "End Date:" (with a calendar icon). A "Continue" button is located below the date fields. At the bottom left, there is an information icon and the text "Assignees have been selected. (Details)".

注意

プロモーション・アセットを作成または編集するときは、切替え先のセクションの名前をクリックすると、フォームのセクション間を切り替えることができます。

3. プロモーションフォームの「名前」セクションで、次の手順を実行します。
 - a. 「名前」フィールド内をクリックして、推奨を説明する一意な名前を入力します。最大 64 文字の英数字 (スペースを含む) を入力できます。最初の文字にスペースは使用できません。
 - b. 「説明」フィールド内をクリックして、プロモーションの簡単な説明を入力します。最大 128 文字の英数字を入力できます。
 - c. 「開始日」フィールドと「終了日」フィールドで、アセットを「サイト・プレビュー」に表示する日付の範囲を選択します。開始日と終了日の詳細は、[162 ページの「開始日と終了日について」](#)を参照してください。
 - d. 「続行」をクリックします。

次の手順に示すように、プロモーションフォームの「目標」セクションがタブに表示されます。

プロモーションフォームのどのセクションにでもスキップできますが、最初のプロモーションは、「続行」ボタンを使用して順番に作成してください。フォームに入力した情報は、「保存」をクリックして初めてデータベースに保存されることを覚えておいてください。

手順 2: プロモーションの目標の定義

Promotion: Winter promotion

▶Name **Goals** ▶Segments ▶Discount ▶Duration ▶Display

Goals

Optionally, enter in your goals for this promotion. This information will be included in the Promotion Summary.

1.

2.

3.

Continue

目標を示しておくこと、作業内容を他人が確認する場合に便利です。また、プロモーション完成後に、そのプロモーションを特定の方法で設計した理由を文書化しておくことをお勧めします。

プロモーションフォームの「目標」セクションで、次の手順を実行します。

1. 「目標」の最初のフィールド内をクリックして、目標を入力します。
2. 必要に応じて、「目標」の2つ目と3つ目のフィールドに目標を入力します。
3. 「続行」をクリックします。

次の手順に示すように、プロモーションフォームの「セグメント」セクションがタブに表示されます。

手順 3: プロモーションの対象となる訪問者の定義

Promotion: Winter promotion

▶Name ▶Goals **Segments** ▶Discount ▶Duration ▶Display

Segments

Apply to all visitors

Apply to the selected segments:

Segment Name	Description
<input type="checkbox"/> AffluentYoungSingles	AffluentYoungSingles

Continue

プロモーションフォームの「セグメント」セクションを使用して、プロモーションの対象となる訪問者を選択します。このフォームで選択を行わない場合は、サイトのすべての訪問者がプロモーションの対象となります。

1. 次のいずれかを実行します。
 - サイトのすべての訪問者にプロモーションを提供するには、「すべての訪問者に適用」を選択します。

- プロモーションの対象を特定のセグメントに属する訪問者のみに制限するには、「**選択されたセグメントに適用**」を選択して、プロモーションの対象とするセグメントを選択します。
2. (オプション) このプロモーション用に新しいセグメントを作成する必要がある場合は、次の手順を実行します。
 - a. 新しいセグメントを作成します。この手順のヘルプは、[303 ページの「セグメントの作成」](#)を参照してください。
 - b. 作成中のプロモーションを表示しているタブで、「**リフレッシュ**」アイコンをクリックします。
 - c. 最初の手順を繰り返して、このセグメントをプロモーションに含めます。
 3. 「**続行**」をクリックします。
 次の手順に示すように、プロモーションフォームの割引セクションがタブに表示されます。

手順 4: 割引の定義

Promotion: Winter promotion

[Name](#)
[Goals](#)
[Segments](#)
[Discount](#)
[Duration](#)
[Display](#)

Discount Value

Purchases:

No Discount
 : percent off the promoted products
 Every product in the catalog
 Specific item(s) from the tree or docked search. (Drag items from the tree or docked search in to the drop zone.):

Describe purchase discount for display on invoices or receipts:

Shipping Fees:

percent off shipping fees
 Describe shipping fee discount for display on invoices or receipts:

Store ID is

Continue

Assignees have been selected. ([Details](#))

注意

訪問者のショッピング・カートの現在の状態に基づくように割引を構成するには、ショッピング・カートに基づいてセグメントを作成します。次に、そのセグメントをプロモーション用を選択します。ショッピング・カートに基づいたセグメントの作成の詳細は、[321 ページの「手順 4: ショッピング・カートの基準によるセグメントの定義」](#)を参照してください。

割引を定義するには、次のオプションを使用します。

- 「オプション 1: ショッピング・カート全体の割引」
- 「オプション 2: 特定の製品の割引」
- 「オプション 3: 送料の割引」

最初の 2 つのうちいずれかと 3 つ目のオプションを組み合わせることはできますが、最初の 2 つのオプションを組み合わせることはできません。

オプション 1: ショッピング・カート全体の割引

プロモーションフォームの割引セクションで、次の手順を実行します。

1. 「購入」の 2 つ目のオプションを選択して、割引を定義する値を設定します。たとえば、5 ドルの割引を提供するには、値を次のように設定します。

Purchases:

No Discount

5 × : dollars × ▼ off the promoted products

10% の割引を提供するには、値を次のように設定します。

Purchases:

No Discount

10 × : percent × ▼ off the promoted products

2. 「カタログ内のすべての製品」を選択します。
3. 「請求書または領収書に表示される割引の説明」テキスト・ボックス内をクリックして、割引の説明を入力します。このフィールドに入力するテキストは、請求書または領収書の該当するアイテムの横に表示されます。これを使用して、明細書の計算方法を訪問者に説明します。例を示します。

Describe purchase discount for display on invoices or receipts: Winter Special: 10% Off ×

4. 「続行」をクリックするか、「オプション 3: 送料の割引」に進みます。

オプション 2: 特定の製品の割引

プロモーションフォームの割引セクションで、次の手順を実行します。

1. 「購入」の 2 つ目のオプションを選択して、割引を定義する値を設定します。たとえば、5 ドルの割引を提供するには、値を次のように設定します。

Purchases:

No Discount

5 × : dollars × ▼ off the promoted products

10% の割引を提供するには、値を次のように設定します。

2. 割引を適用する製品を選択します。

Purchases:

No Discount

10 : percent off the promoted products

- 「ツリーまたはドッキングされた検索の特定アイテム。(ツリーまたはドッキングされた検索からドロップ・ゾーンにアイテムをドラッグします。)」を選択します。
 - 「コンテンツ・ツリー」、「ワーク」ツリーまたはドッキングされた検索結果リストから製品または製品カテゴリを選択して、選択したアイテムを「製品のドラッグ」ドロップ・ゾーンにドラッグ・アンド・ドロップします。
3. テキスト・ボックス内をクリックして、割引の説明を入力します。このフィールドに入力するテキストは、請求書または領収書の該当するアイテムの横に表示されます。これを使用して、明細書の計算方法を訪問者に説明します。
- 例を示します。

Describe purchase discount for display on invoices or receipts: Winter Special: 10% Off

4. 「続行」をクリックするか、「オプション 3: 送料の割引」の手順に進みます。

オプション 3: 送料の割引

購入品の割引に加えて、またはそのかわりに、送料を割引できます。プロモーションフォームの割引セクションで、次の手順を実行します。

1. 「送料」で、割引を定義する値を設定します。

たとえば、送料を 15% 割引するには、値を次のように設定します。

Shipping Fees:

15 : percent off shipping fees

2. 「請求書または領収書に表示される送料割引の説明」テキスト・ボックス内をクリックして、割引の説明を入力します。このフィールドに入力するテキストは、請求書または領収書の該当するアイテムの横に表示されます。これを使用して、明細書の計算方法を訪問者に説明します。例を示します。

Describe shipping fee discount for display on invoices or receipts: 15% off shipping

3. 「続行」をクリックするか、「オプション 3: 送料の割引」の手順に進みます。

オプション 4: 店舗の指定

店舗が複数ある場合は、特定の店舗に適用するように割引を指定できます。「ストア ID が」セクションで、店舗を選択します。

1. 「ストア ID が」で、店舗割引を定義する値を設定します。

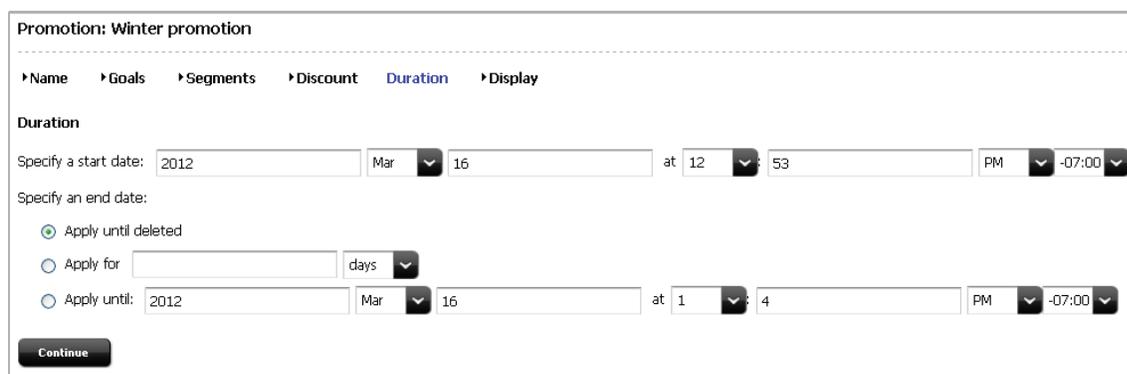


Store ID is 0

2. 「続行」をクリックします。

次の手順に示すように、プロモーションフォームの「期間」セクションがタブに表示されます。

手順 5: プロモーションの期間の定義



Promotion: Winter promotion

▶Name ▶Goals ▶Segments ▶Discount **Duration** ▶Display

Duration

Specify a start date: 2012 Mar 16 at 12:53 PM -07:00

Specify an end date:

Apply until deleted

Apply for [] days

Apply until: 2012 Mar 16 at 1:04 PM -07:00

Continue

注意

プロモーションの実施期間を指定しない場合、削除するまでプロモーションは実施されます。

プロモーションフォームの「期間」セクションで、次の手順を実行します。

1. 「期間」で、開始日と開始時間を設定します。
2. プロモーションの終了時期を指定します。次のいずれかを実行します。
 - 削除するか、期間を変更するまでプロモーションを実施する場合は、「**削除されるまで適用**」を選択します。無期限の継続的なプロモーションを設計する場合は、このオプションを使用します。取り消す場合は、削除するか、編集して期間の終了日を適用します。
 - **手順 1** で指定した開始時間から一定の期間にわたってプロモーションを実施する場合は、「**適用期間**」をクリックします。分数や小数ではなく、整数をテキスト・ボックスに入力し、「時間」、「日間」、「週間」、「か月」または「年」をドロップダウン・フィールドから選択します。
 - 指定した日付までプロモーションを実施する場合は、「**次の期限まで適用**」を選択して、終了する日付と時間を入力します。デフォルトでは現在の日付と時間が表示されます。

3. 「**続行**」をクリックします。

次の手順に示すように、プロモーションフォームの「**表示**」セクションが表示されます。

手順 6: サイトでのプロモーションの通知

Promotion: Winter promotion

▶Name ▶Goals ▶Segments ▶Discount ▶Duration **Display**

Site Display

Select the asset from the appropriate tab in the tree and then click on the 'Add Selected Items' button below. This option allows you to specify a promotion which will override a recommendation. The asset type for the promotion must be a subset of the asset type specified for the recommendation.:

Add Selected Items

プロモーションフォームの「**表示**」セクションで、次の手順を実行します。

1. 推奨に含めるアセットを見つけてブックマークを付けます（「**ワーク**」ツリーの「**ブックマーク**」ノードにアセットが追加されます）。
 - a. 「**検索**」フィールドで、目的の検索条件（存在する場合）を指定して、**虫めがね**ボタン () をクリックします。
 - b. 検索を特定のアセット・タイプに絞り込む場合は、「**検索**」フィールドで**下矢印**をクリックして「**検索タイプ**」ドロップダウン・ボックスをレンダリングします。アセット・タイプを選択し、検索をそのタイプに制限します。
 - c. 検索結果リストで、ブックマークを付けるアセットを選択（**[Ctrl]** キーを押しながらクリック）します。「**検索**」タブのツールバーで、「**ブックマーク**」アイコン () をクリックします。

アセットの検索とブックマークの詳細は、[第 6 章「アセットの検索と編成」](#)を参照してください。

- このプロモーションの通知に使用するアセットを、「ブックマーク」からドロップ・ゾーンにドラッグ・アンド・ドロップします。(通常、プロモーションのバナーは記事またはイメージとして格納されます。)

注意

複数のアセットを選択すると、プロモーションをサイト・ページに表示したときに、Engage では、訪問者が所属しているセグメントで最上位として評価されているコンテンツが表示されます。つまり、複数のセグメントを対象としてこのプロモーションを使用している場合は、セグメントに固有の広告バナーを使用できるということです。

ドロップ・ゾーンに配置したアイテムは、フォーム内のリストに表示され、それぞれの名前の横には推奨のドロップダウン・リスト・ボックスが表示されます。例を示します。

	This promotion uses FSII DVD Players (Product Parent) with	--Pick recommendation--	
	This promotion uses FSII Televisions (Product Parent) with	--Pick recommendation--	
Add Selected Items			

- 1 つ目のアイテムの横にある「-- 推奨を選択してください --」フィールドで、このアイテムに置き換える、またはこのアイテムでオーバーライドする推奨の名前を選択します。
(この推奨の場所に、手順 2 で選択したテキストが表示されます。)
例を示します。

	This promotion uses FSII DVD Players (Product Parent) with	FSIIItemOfTheWeek		
	This promotion uses FSII Televisions (Product Parent) with	FSIIHotProducts		
Add Selected Items				

- 手順 2 で選択したアイテムごとに、手順 3 を繰り返します。
- アセットを保存します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「保存」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「コンテンツ」を選択して、「保存」を選択します。
- アセットを調査します。次のいずれかを実行します。
 - アセットのツールバーで、「調査」アイコン () をクリックします。
 - メニュー・バーで、「編集」を選択して、「調査」を選択します。

サンプル・プロモーション・アセット

FirstSite II サンプル・サイトで作業をすると、サンプル・プロモーション・アセット **SummerSale** が得られます。このプロモーションは、サンプルのセグメント・アセットおよび推奨アセット (同じく FirstSite II サンプル・サイトから使用可能) と連動するように設計されています。サンプル・プロモーションをテンプレートとして使用して、実際のサイトのプロモーション・アセットを作成してください。

プロモーションのパブリッシュ

作成したプロモーションは、承認を受けてから、配信システムにパブリッシュする必要があります。プロモーションは、パブリッシュされて初めて有効になります。プロモーションは、調査して、正しく構成されていることを確認してから、パブリッシュのための承認を行う必要があります。

アセットの承認の詳細は、[第 12 章「パブリッシュの承認」](#)を参照してください。

付録

この部には次の付録があります。

- [付録 A 「フレックス・アセット・モデル」](#)
- [付録 B 「ナビゲーションのリファレンス」](#)

付録 A

フレックス・アセット・モデル

コンテンツ・プロバイダは、フレックス・アセット・モデルを詳細まですべて理解する必要はありません。この付録では、このデータ・モデルの一般概念と、コンテンツ・プロバイダとこのデータ・モデルの関わりを説明することを目的としています。

この付録には、次の項が含まれます。

- [フレックス・アセット・モデルの概要](#)

フレックス・アセット・モデルの概要

第1章「概要」で説明しているように、WebCenter Sites 開発者は、ベーシック・アセット・モデルとフレックス・アセット・モデルの2つのアセット・データ・モデルを使用してアセット・タイプを作成し、アセット・データを WebCenter Sites データベースに格納する方法を定義します。

フレックス・アセット・モデルは、ベーシック・アセット・モデルより複雑です。ベーシック・アセットでは、アセットの1つのインスタンスの情報がデータベース表の1つの行に格納されますが、フレックス・アセットでは、1つのインスタンスの情報が複数のデータベース表に格納されます。

ベーシック・アセット・タイプがスタンドアロン・アセット・タイプであるのに対して、フレックス・アセット・タイプはアセット・タイプのファミリーから構成されます。フレックス・ファミリーのメンバーは次のとおりです。

- フレックス属性タイプ (必須)
- フレックス・アセット・タイプ (必須)
- フレックス定義 (必須)
- フレックス親 (必須)
- フレックス親定義 (必須)
- フレックス・フィルタ・タイプ (オプション)

フレックス・ファミリーのメンバーはアセット継承ツリーを形成し、このツリーで子アセットは親から様々な属性を継承します。

コンテンツ・プロバイダは、フレックス・ファミリーのすべてのメンバーを直接操作するわけではありません。実際に主な操作対象となるのは、フレックス・ファミリーの主要メンバーであるフレックス・アセットです(ただし、フレックス・ファミリーの他のすべてのメンバーは、なんらかの形でフレックス・アセットに関与しています)。適切な権限を持っている場合は、新しいフレックス属性(フレックス・アセットの特性)の作成を担当する場合があります。

付録 B

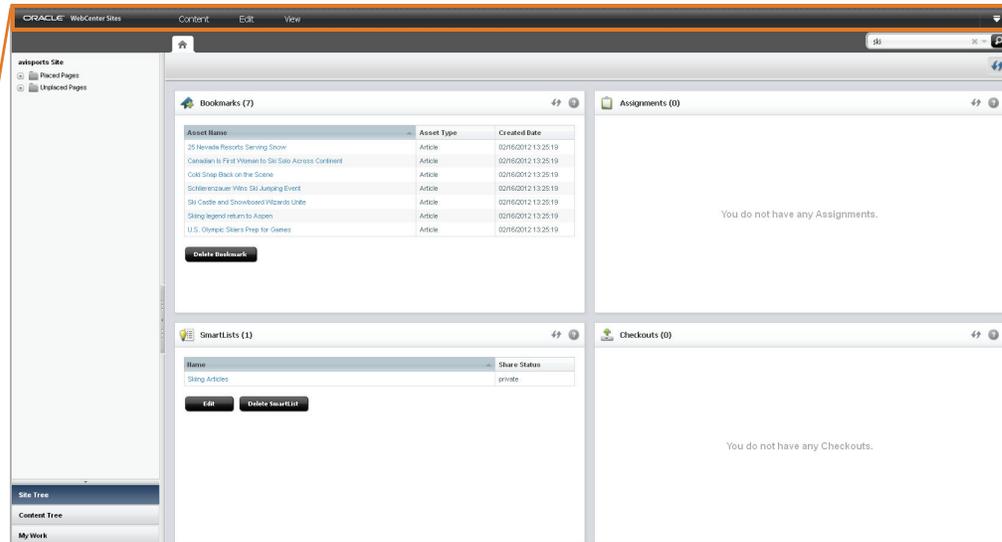
ナビゲーションのリファレンス

この付録では、ナビゲーションのリファレンスとして、Contributor インタフェースの最も一般的に使用されるコンポーネントの機能について簡単に説明します。

このクイック・リファレンスでは、次の項目について説明します。

- [メニュー・バー](#)
- [ナビゲーション・ペイン](#)
- [ワークスペース: 「ホーム」 タブ](#)
- [ワークスペース: アセット・タブ](#)
- [「検索」 / 「参照」 タブ](#)
- [分割表示: アセット・タブと検索結果リスト](#)
- [アイコン](#)

メニュー・バー



メニュー・バーには次のオプションが含まれています。

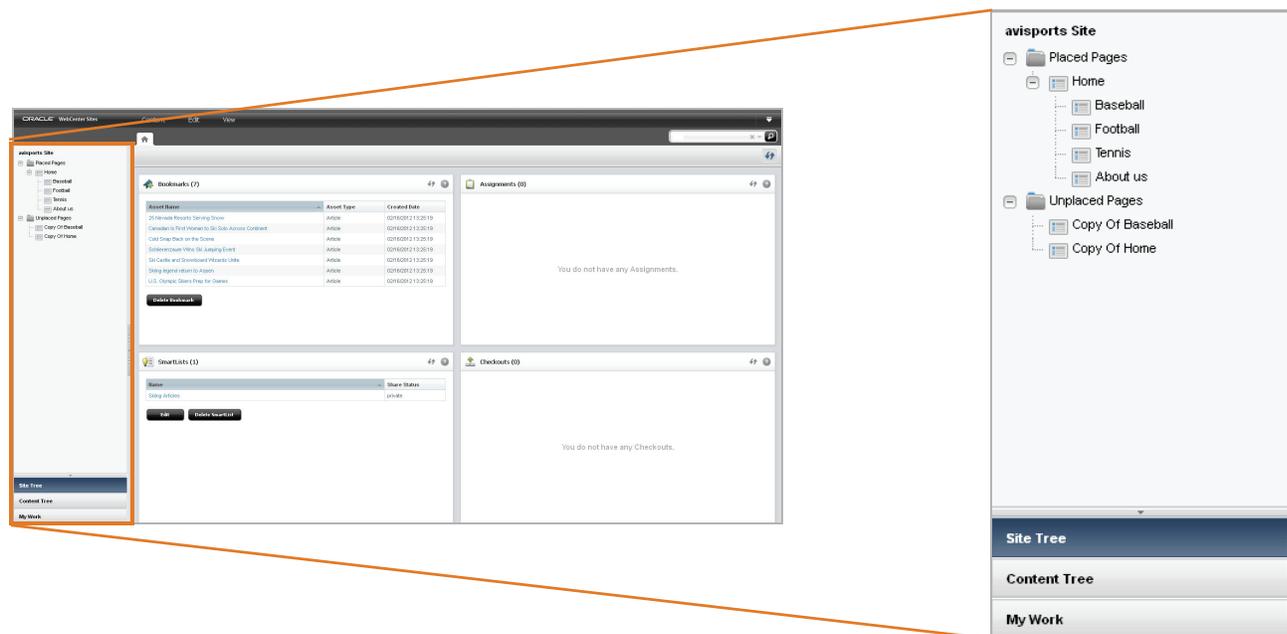
- **コンテンツ**: 現在処理中のアセットを管理するためのオプションを含むメニューを開きます。これには、アセットの作成、アセットの保存、アセットのパブリッシュの承認、アセットのブックマーク、別のサイトとのアセットの共有、特定のアセットのアクセス権限の設定などが含まれます。
- **編集**: アセットを調査、変更、コピーおよび削除するためのコンテンツ管理ツールを含むメニューを開きます。このメニューでは、アセットに割り当てられているレイアウト(テンプレート)の変更や、リビジョン追跡の処理も可能です。
- **表示**: フォーム・モードまたは Web モードでアセットを表示するためのツールと、様々な方法でアセットをプレビューするためのオプション(別のレイアウト(テンプレート)やサイト・ラッパーを使用したアセットのプレビュー、別個のブラウザ・ウィンドウでのアセットのプレビューなど)を含むメニューを開きます。このメニューには、アセットのステータスのサマリー画面を表示するオプションも含まれます。この画面には、アセットのワークフローおよび承認ステータスに関する情報が含まれます。

- **下矢印アイコン:** このアイコンをクリックすると、アプリケーション・バーが開きます。WebCenter Sites に初めてログインすると、アプリケーション・バーはすでに開いています。この場合に表示される**上矢印**アイコンをクリックすると、アプリケーション・バーを閉じることができます。アプリケーション・バーには次の項目が含まれます。
 - 最近使用したアプリケーション (5 つまで)。権限を持っているアプリケーションであれば、WebCenter Sites にログインしなおすことなく切り替えることができます。

WebCenter Sites の管理インタフェースにアクセスする権限を持っている場合は、「管理」アプリケーション・アイコンがアプリケーション・バーに表示されます。このアイコンをクリックすると、WebCenter Sites の管理インタフェースが開きます。

 - **ユーザー名。** クリックしてプロフィールを管理できます。
 - 「**サイト**」ドロップダウン・メニュー。権限を持っている別のサイトに切り替えることができます。
 - 「**ログアウト**」ボタン。セッションを終了し、WebCenter Sites からログアウトします。

ナビゲーション・ペイン



ヒント

ナビゲーション・ペインの右端をドラッグすると、ペインの幅を調整できます。ナビゲーション・ペインを非表示にするには、ナビゲーション・ペインの右端にある「ツリー・ナビゲーションの非表示」バーをクリックします。

ナビゲーション・ペインには次の項目が含まれます。

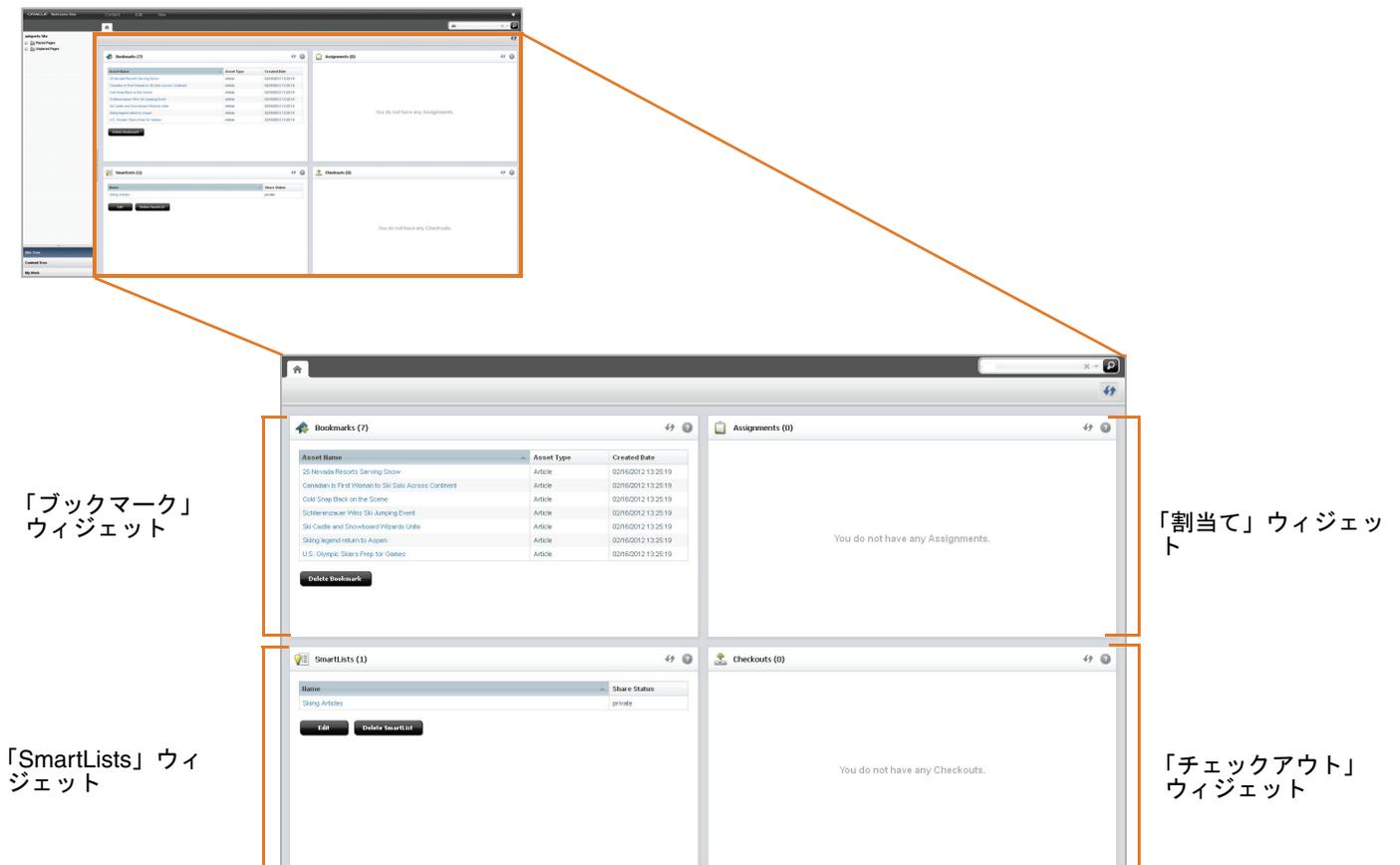
- **サイト・ツリー:** サイト上のページの構成を階層的に表示します。ページの構成を視覚化でき、サイトの階層でページの配置および配置取消しができます。「[サイト・プラン](#)」ツリーも、特定のページに存在する関係や依存性の理解に役立ちます。ページの配置および配置取消しの手順については、[188 ページの「ページの配置および配置取消し」](#)を参照してください。
- **コンテンツ・ツリー:** 現在のサイトで使用可能なアセット・タイプおよびフレックス関係階層を表示します。親アセットをダブルクリックして「参照」タブを開くと、関連付けられている子アセットを表示できます。フレックス関係階層の詳細は、[177 ページの「親子関係」](#)を参照してください。
- **「ワーク」ツリー:** 「ワーク」ノードおよび「履歴」ノードを処理できます。詳細は、[150 ページの「アセットの編成」](#)を参照してください。

ワークスペース:「ホーム」タブ

ワークスペースは、Contributor インタフェースの中心にあります。「ホーム」タブは、Contributor インタフェースに初めてログインしたとき、最初に表示されるタブです。このタブには、次のように、ダッシュボードが含まれています。

注意

「ホーム」タブには、いつでも、「ホーム」タブ () をクリックして戻ることができます。「ホーム」タブを閉じることはできません。

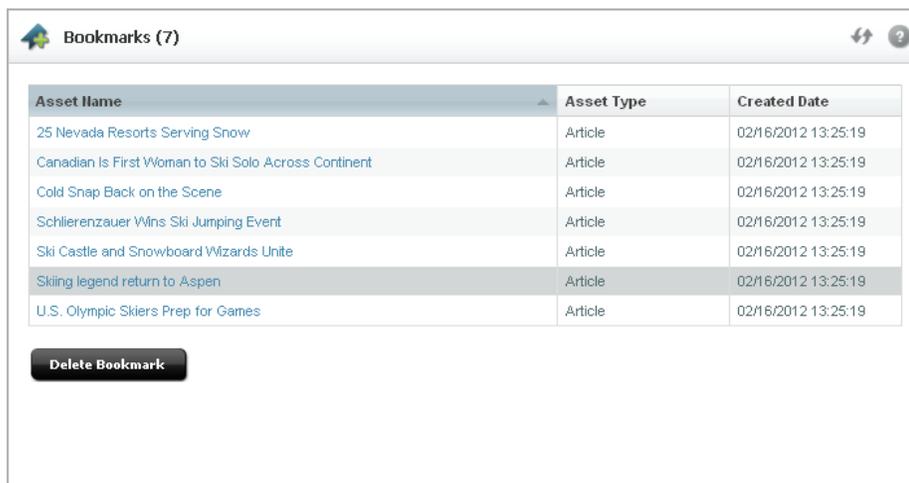


ダッシュボードの外観は、ユーザーによって異なります。あるユーザーのダッシュボードには、そのユーザーに関連する情報のみが表示されるからです。また、ウィジェットは、ダッシュボード上の必要な場所にドラッグ・アンド・ドロップすることによって、配置を変更できます。ダッシュボードに表示されるウィジェットの詳細は次のとおりです。

- **ブックマーク**：将来簡単に取得できるようにアセットにブックマークを付けると、そのアセットにはこのウィジェットからアクセスできます。ブックマークが付けられたアセットは、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードからもアクセスできます。
- **SmartLists**：SmartList は、後から使用するために保存しておいた検索条件です。このウィジェットには、作成済のすべての SmartList と、他の WebCenter Sites ユーザーが割り当てられたロールで共有したすべての SmartList のリストが表示されます。
- **割当て**：現在のサイトの、現在のワークロードの概要が表示されます。このウィジェットから、ワークフロー・プロセス中に割り当てられたアセットにアクセスし、割当てを終了できます。
- **チェックアウト**：現在チェックアウトされているアセットの概要が表示されます。

「ブックマーク」ウィジェット

アセットにブックマークを付けると、将来、それらのアセットに簡単にアクセスできます。ブックマークが付けられたアセットは、「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードと、ダッシュボードの「ブックマーク」ウィジェットに表示されます(次の図を参照)。



The screenshot shows a 'Bookmarks (7)' widget with a table of bookmarked assets. The table has three columns: 'Asset Name', 'Asset Type', and 'Created Date'. Below the table is a 'Delete Bookmark' button.

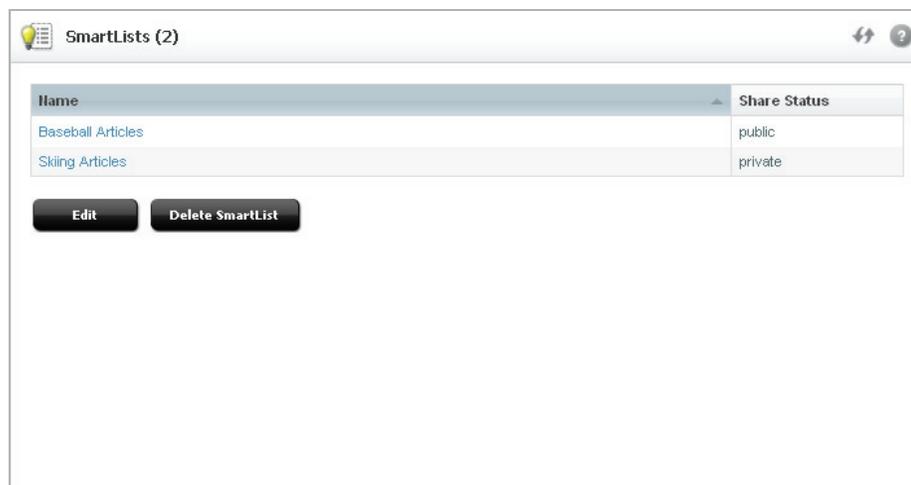
Asset Name	Asset Type	Created Date
25 Nevada Resorts Serving Snow	Article	02/16/2012 13:25:19
Canadian Is First Woman to Ski Solo Across Continent	Article	02/16/2012 13:25:19
Cold Snap Back on the Scene	Article	02/16/2012 13:25:19
Schlierenzauer Wins Ski Jumping Event	Article	02/16/2012 13:25:19
Ski Castle and Snowboard Wizards Unite	Article	02/16/2012 13:25:19
Skiing legend return to Aspen	Article	02/16/2012 13:25:19
U.S. Olympic Skiers Prep for Games	Article	02/16/2012 13:25:19

ブックマークが付けられたアセットにアクセスするには、「ブックマーク」ウィジェットでアセットの名前をクリックします。また、ブックマークが付けられたアセットのリストからアセットを削除するには、該当するアセットの行を選択して「ブックマークの削除」をクリックします。アセットは、「ブックマーク」ウィジェットおよび「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードから削除されません。

アセットのブックマークの詳細は、[151 ページの「アセットへのブックマーク付け」](#)を参照してください。

「SmartLists」ウィジェット

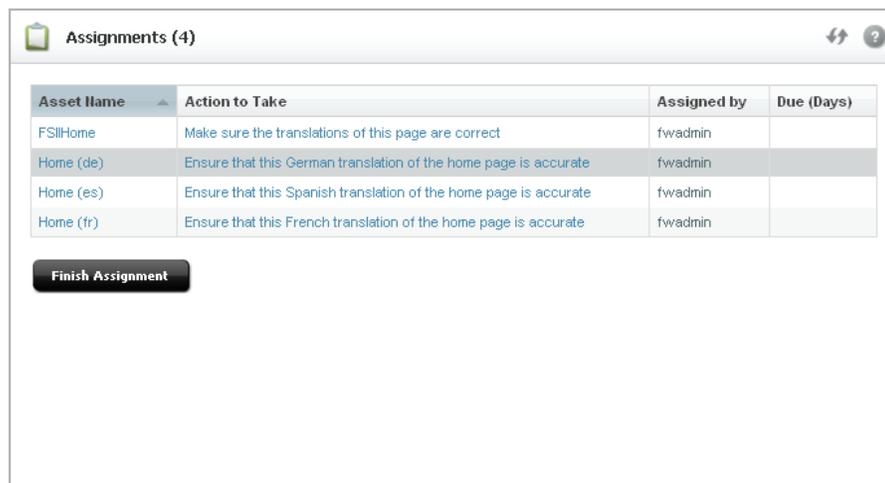
SmartList は、検索を実行し、その検索の結果をレンダリングするために使用した検索条件を保存することによって作成します。作成した SmartList は、「SmartLists」ウィジェットで自動的にアクセス可能になります。別の WebCenter Sites ユーザーが SmartList を作成して、1 つ以上の役割と共有した場合、その役割が割り当てられているユーザーの「SmartLists」ウィジェットにも、その SmartList が表示されます。



SmartList の詳細は、145 ページの「[検索条件の保存 \(SmartList の作成\)](#)」を参照してください。

「割当て」ウィジェット

現在作業中のサイトで、あるアセット・タイプに関してワークフローが有効になっている場合、「割当て」ウィジェットには、次の図のように、現在割り当てられているすべてのアセットのリストが表示されます。



「割当て」ウィジェットでは、自分に割り当てられているアセットを処理し、ワークフロー・プロセスの次の手順に渡すために割当てを終了できます。ワークフローの詳細は、[第 14 章「ワークフロー」](#)を参照してください。

「チェックアウト」ウィジェット

現在作業中のサイトで、あるアセット・タイプに関してリビジョン追跡が有効になっている場合、「チェックアウト」ウィジェットには、次の図のように、チェックアウト済のアセットのリストが表示されます。



The screenshot shows a widget titled "Checkouts (4)" with a refresh icon and a help icon. It contains a table with the following data:

Asset Name	Asset Type	Days Checked out
25 Nevada Resorts Serving Snow	Article	1
Cold Snap Back on the Scene	Article	1
Cross-country skiing	Article	1
Schlierenzauer Wlms Ski Jumping Event	Article	1

Below the table is a "Checkin" button.

リビジョン追跡の詳細は、[第 13 章「リビジョン追跡」](#)を参照してください。

ワークスペース : アセット・タブ

ログインしてアセットにアクセスすると、ワークスペースにタブが開き、アセットがフォーム・モードまたは Web モードで表示されます。作成、編集または調査のどの処理を行うかによって、タブでのアセットの表示方法が決まります。ワークスペースで一度に開くことのできるタブの数に制限はありません。

- アセットの「調査」ビューをフォーム・モードで表示しているアセット・タブ

アセット・
ツールバー

フォーム・
セクション・
セレクタ

25 Nevada Reso... x Search

Form [edit] [save] [delete] [refresh]

Content Metadata

Article: 25 Nevada Resorts Serving Snow

Name: 25 Nevada Resorts Serving Snow

Template: ArticleLayout

Category: [Skiing articles](#)

Headline: All 25 Nevada Resorts Serving Up Great Snow

Sub-headline: No sign of mild weather to slow down the Ski Season

Abstract: With the crisp cold temperatures, you know you are up north and ready to take on the elements. Lodging has gotten more luxurious.

Author: CASEY THOMAS

Post Date: Tuesday, January 10, 2012 2:25:03 PM EST

Main Image: [Lodge](#)

Body:

Today marked the start of the winter season for Nevada's newest ski resort Ice Point. The opening signifies that every Nevada ski and snowboard resort is open for the season. A fresh blanket of snow during the past 24 hours added three to ten inches to resort snow totals. This snowfall, in addition to the past weekend's storm cycle, has created wonderful conditions for skiing and snowboarding in Nevada.

Forecasts call for sunny and sensational ski conditions over the weekend with an additional chance of snowfall occurring early next week.

For a list of fantastic vacation deals available at Nevada resorts and lodging properties visit: <http://www.nevadaskivacationdeals.com>.

Those who have missed the recent powder conditions at Nevada's resorts can still indulge with videos located at: <http://www.videosofnevadaskiingvacations.com>.

Related Stories: [Ski Castle and Snowboard Wizards Unite](#)
[Alexandra Smith Extends World Cup Lead](#)

Related Links: [Veteran Skier Says Goodbye](#)
[Cross-Country Ski Clothing](#)
[Canadian Is First Woman to Ski Solo Across Continent](#)

- アセットの「調査」ビューを Web モードで表示しているアセット・タブ

アセット・
ツールバー

The screenshot shows a web browser window with the following content:

- Browser Tab:** 25 Nevada Reso...
- Browser Address Bar:** Search
- Page Header:** qvisports | HOME | SURFING | SKIING | RUNNING | TENNIS | BASEBALL
- Article Title:** All 25 Nevada Resorts Serving Up Great Snow
- Subtitle:** No sign of mild weather to slow down the Ski Season
- Author:** BY CASEY THOMAS
- Image:** A photograph of a snowy mountain resort with a cabin and trees.
- Text:**

With The Crisp Cold Temperatures, You Know You Are Up North

Today marked the start of the winter season for Nevada's newest ski resort Ice Point. The opening signifies that every Nevada ski and snowboard resort is open for the season. A fresh blanket of snow during the past 24 hours added three to ten inches to resort snow totals. This snowfall, in addition to the past weekend's storm cycle, has created wonderful conditions for skiing and snowboarding in Nevada.

Forecasts call for sunny and sensational ski conditions over the weekend with an additional chance of snowfall occurring early next week.

For a list of fantastic vacation deals available at Nevada resorts and lodging properties visit: <http://www.nevadaskivacationdeals.com>.

Those who have missed the recent powder conditions at Nevada's resorts can still indulge with videos located at: <http://www.videosofnevadaskiingvacations.com>.
- Related Stories:**
 - Ski Castle and Snowboard Wizards Unite to Create Show**
Ski and snowboarders will flock to new show for the latest gear and to watch their favorites take runs under the most fierce conditions.
 - Alexandra Smith Extends World Cup Lead**
Alexandra Smith is a skiing talent like no other. Her competition is only herself. She has no equal for the upcoming winter event. There will be only one record to beat and that is her own.
- Related Links:**
 - Farewell Win Makes Crowe King of Snow City
 - Cross-Country Ski Clothing
 - Canadian Is First Woman to Ski Solo Across Continent
- Footer:** Copyright 2000-2012 by AviSports. All rights reserved.

アセット・ツールバー

アセット・ツールバーは、フォーム・モードと Web モードの両方で使用でき、アセットの編集、保存、調査およびプレビューなど、最も一般的に使用されるコンテンツ管理機能を開始できます。

アセット・ツールバーは動的です。つまり、次の条件に基づいて様々な機能が表示されます。

- 実行中のコンテンツ管理タスク
- 選択したタスクを実行するために必要な権限があるかどうか
- リビジョン追跡などのコンテンツ管理機能が、現在処理中のアセット・タイプおよびサイトに対して有効になっているかどうか

フォーム・セクション・セレクタ

フォーム・モードでアセットを処理するとき、タブにはそのアセットのコンテンツ・エントリ・フォームが表示されます。1つのアセットのフォームは複数のセクションに分割されており、フォーム・セクション・セレクタを使用してアクセスできます。管理者は、ユーザーのサイト上のアセット・フォーム（および個々のセクション）をカスタマイズできるほか、特定のフォーム・セクションにアクセスする権限を付与または拒否することもできます。

表 7 は、WebCenter Sites の実装でデフォルトで使用できるフォーム・セクションのリストです。

表 7: フォーム・セクション

セクション	実行できる作業
コンテンツ	アセットに格納されているコンテンツを表示および編集します。 詳細は、第 3 章「フォーム・モードでのアセットの作成、共有および編集」および第 4 章「Web モードでのアセットの作成、共有および編集」を参照してください。
マーケティング	アセットの Engage オプションを表示および編集します。 詳細は、パート 3「Oracle WebCenter Sites: Engage アセットの使用」を参照してください。
メタデータ	作成日、変更日、アセット ID、アセット固有の属性など、アセットのメタデータを表示します。 開始日と終了日を割り当てます (詳細は、151 ページの「Assigning Start and End Dates」を参照)。 アセットの「ロケール」設定を変更します (詳細は、226 ページの「アセットのロケール指定の設定または変更」を参照)。

「検索」/「参照」タブ

「検索」タブは、Contributor インタフェースで検索または詳細検索を実行したときに開き、次に示すように、検索条件に一致するアセットのリストが表示されます。

検索ツールバー

検索リスト・オプション・バー

検索結果リスト

Name	Type	Modified
25 Nevada Resorts Serving Snow	Article	04/13/2012 11:16 AM EDT
Is Heli Skiing Extreme	Article	04/06/2012 01:33 PM EDT
Heli-Skiing	Article	04/02/2012 10:47 PM EDT
Veteran Skier Says Goodbye	Article	04/02/2012 01:55 PM EDT
Rookie Skier Makes Her Mark	Article	04/02/2012 01:00 PM EDT
Alexandra Smith Extends World Cup Lead	Article	04/02/2012 12:59 PM EDT
How to Dress in Layers	Article	03/08/2012 03:00 PM EST
Grip Waxing Your Cross-Country Skis	Article	03/08/2012 02:58 PM EST
How to choose the right snowboard	Article	03/08/2012 02:57 PM EST
Cross-Country Ski Clothing	Article	03/08/2012 02:54 PM EST
How to Choose Ski and Snowboard Goggles	Article	03/08/2012 02:53 PM EST
How to Choose Downhill Ski Bindings	Article	03/08/2012 02:51 PM EST
Kids and Snowboarding	Article	03/08/2012 02:50 PM EST
Ski Out of an Avalanche	Article	03/08/2012 02:48 PM EST
Boost Your Cardio for Downhill Skiing	Article	03/08/2012 02:47 PM EST
Ski Castle and Snowboard Wizards Unite	Article	03/04/2012 02:15 PM EST
Veteran European Team Finishes Second in Sprint	Article	03/04/2012 02:10 PM EST
Ski mountaineers seek sense of adventure in races	Article	03/02/2012 01:29 PM EST
Snow Horse Adds New Beginner Terrain And Family Fun	Article	03/02/2012 01:27 PM EST
U.S. Olympic Skiers Prep for Games	Article	02/20/2012 03:05 PM EST
Cold Snap Back on the Scene	Article	02/16/2012 05:20 PM EST
For Young American, Victory Amid Allegations of Cheating	Article	02/16/2012 05:07 PM EST
Canadian Is First Woman to Ski Solo Across Continent	Article	02/16/2012 05:05 PM EST
Paul North wins Cross Country Race	Article	02/16/2012 05:01 PM EST

1 - 24 of 24 items 10 | 25 | 50 | 100 | All

「検索」タブは次のコンポーネントで構成されています。

- **検索ツールバー:** 「検索」タブにリストされているアセットを承認、ブックマークおよび削除できるほか、検索結果リストのリフレッシュもできます。
- **検索リスト・オプション・バー:** 検索結果リストのワークスペースの右側へのドッキング、検索の実行に使用した検索条件の保存、検索結果リストのサムネイル表示とリスト表示の切替えができます。このバーには、検索問合せのヒントも表示されます。

検索結果リストをワークスペースの右側にドッキングすると、「ソート」メニューも表示され、検索の結果をソートできます。

- **検索結果リスト:** 検索条件に一致するアセットのリストが表示されます。リスト内でアセット名をクリックすると、タブが開き、そのアセットの「調査」ビューが表示されます。リスト内でアセット名を右クリックすると、そのアセットのコンテキスト・メニューが表示されます。このメニューには、実行可能なコンテンツ管理オプションが含まれています。

検索の実行の詳細は、第6章「アセットの検索と編成」を参照してください。

「参照」タブには、次のコンテンツ管理機能を実行したときに返されるアセットのリストが表示されます。

- 「ワーク」ツリーの「ブックマーク」ノードをダブルクリック：「参照」タブが開き、ブックマークが付けられたアセットのリストが表示されます。詳細は、[152 ページの「ブックマークを付けたアセットへのアクセス」](#)を参照してください。
- 「コンテンツ・ツリー」で親アセットをダブルクリック：「参照」タブが開き、その親に所属する子のリストが表示されます。[64 ページの「アセットにアクセスするその他の方法」](#)を参照してください。

参照ツールバー

参照リスト・オプション・バー

選択した親アセットに関連付けられているか、「ブックマーク」ノード内に含まれているアセットのリスト

Name	Type	Modified
25 Nevada Resorts Serving Snow	Article	04/13/2012 11:16 AM EDT
Is Heli Skiing Extreme	Article	04/06/2012 01:33 PM EDT
Heli-Skiing	Article	04/02/2012 10:47 PM EDT
Veteran Skier Says Goodbye	Article	04/02/2012 01:55 PM EDT
Rookie Skier Makes Her Mark	Article	04/02/2012 01:00 PM EDT
Alexandra Smith Extends World Cup Lead	Article	04/02/2012 12:59 PM EDT
How to Dress in Layers	Article	03/08/2012 03:00 PM EST
Grip Waxing Your Cross-Country Skis	Article	03/08/2012 02:58 PM EST
How to choose the right snowboard	Article	03/08/2012 02:57 PM EST
Cross-Country Ski Clothing	Article	03/08/2012 02:54 PM EST
How to Choose Ski and Snowboard Goggles	Article	03/08/2012 02:53 PM EST
How to Choose Downhill Ski Bindings	Article	03/08/2012 02:51 PM EST
Kids and Snowboarding	Article	03/08/2012 02:50 PM EST
Ski Out of an Avalanche	Article	03/08/2012 02:48 PM EST
Boost Your Cardio for Downhill Skiing	Article	03/08/2012 02:47 PM EST
Ski Castle and Snowboard Wizards Unite	Article	03/04/2012 02:15 PM EST
Veteran European Team Finishes Second in Sprint	Article	03/04/2012 02:10 PM EST
Ski mountaineers seek sense of adventure in races	Article	03/02/2012 01:29 PM EST
Snow Horse Adds New Beginner Terrain And Family Fun	Article	03/02/2012 01:27 PM EST
U.S. Olympic Skiers Prep for Games	Article	02/20/2012 03:05 PM EST
Cold Snap Back on the Scene	Article	02/16/2012 05:20 PM EST
For Young American, Victory Amid Allegations of Cheating	Article	02/16/2012 05:07 PM EST
Canadian Is First Woman to Ski Solo Across Continent	Article	02/16/2012 05:05 PM EST
Paul North wins Cross-Country Race	Article	02/16/2012 05:01 PM EST

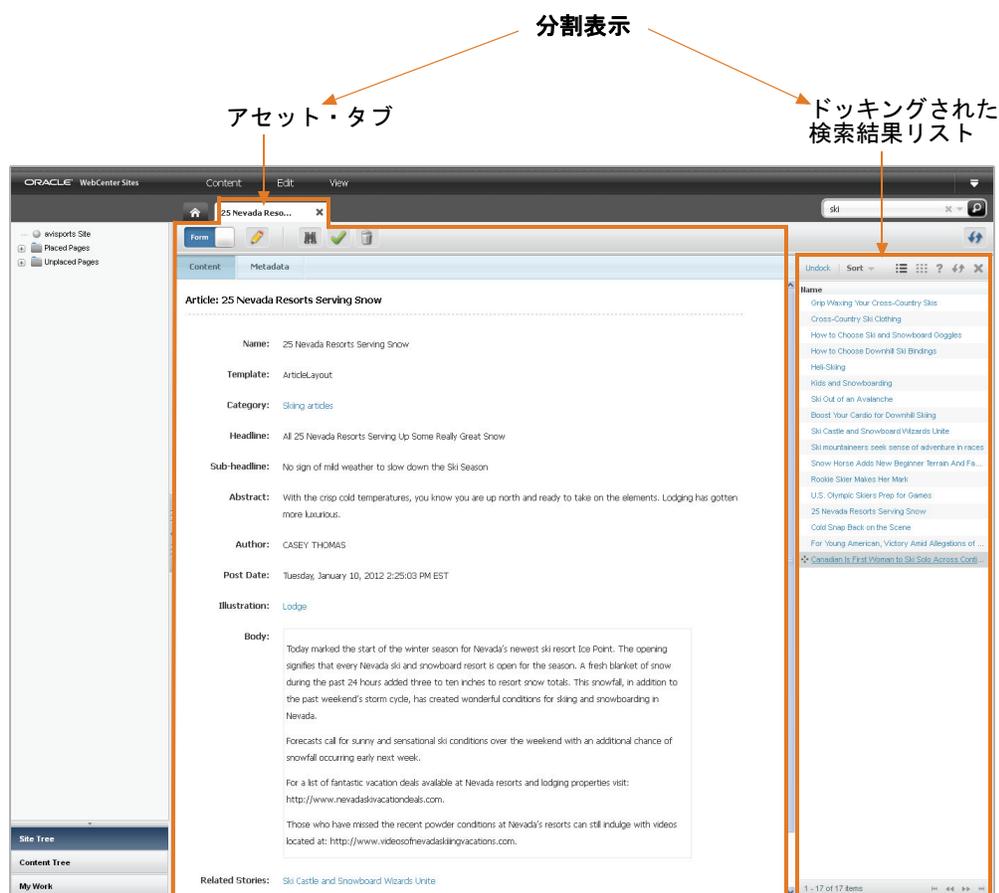
1 - 24 of 24 items 10 | 25 | 50 | 100 | All

「参照」タブは、「検索」タブと同じコンポーネントで構成されています。唯一の違いは、参照リスト・オプション・バーに「SmartListの作成」オプションが表示されないことです。このアセットのリストは、「コンテンツ・ツリー」で親アセットをダブルクリックするか、「ワーク」ツリーで「ブックマーク」ノードをダブルクリックすることによって返されるため、SmartListとして保存する検索条件はありません。

分割表示：アセット・タブと検索結果リスト

ログイン後にアセットを最初に検索すると、返されたアセットのリストで「検索」タブのワークスペースが一杯になります。リスト内で任意のアセットをクリックすると、ワークスペースに別のタブが開き、選択したアセットが表示されます。「検索」タブに切り替えて「ドッキング」をクリックすると、アセットを表示しているタブの右側に検索結果がドッキングされます(次を参照)。これにより、アセットと検索結果リストを同時に表示できます。

次の表示例は、アセットの「調査」ビューをフォーム・モードで表示しているタブの右側に検索結果リストがドッキングされているワークスペースを示しています。



ヒント: アセットを「編集」ビューで表示したタブが開いているときに、検索を実行すると、検索結果リストはアセットのタブの右側に自動的にドッキングされます。

このアイコンをクリックして検索結果を「検索」タブに表示

このアイコンをクリックして検索結果リストを閉じる



- 検索結果を「検索」タブに表示するには、検索結果ペインで「ドッキング解除」をクリックします。
- 検索結果リストを閉じるには、「X」アイコンをクリックします。

アイコン

次のテーブルは、ユーザーの権限に従ってインタフェースに表示されるアイコンを示しています。

表 8: アセット・ツールバーのアイコン

アイコン	実行できる作業
	<p>編集: アセットを「編集」ビューで表示して、変更できます。 アセットを編集する権限がない場合は、このアイコンは無効(グレー表示)になります。</p>
	<p>調査: アセットを「調査」ビューで表示します。</p>
	<p>プレビュー: アセットのプレビューを表示します。 アセットをプレビューする権限がない場合は、このアイコンは無効(グレー表示)になります。</p>
	<p>保存: アセットに対してこれまでに行った変更を保存して、アセットの「編集」フォームは開いたままにします。</p>
	<p>削除: アセットを手動で削除します。 アセットを削除する権限がない場合は、このアイコンは無効になります。</p>
	<p>承認: アセットのパブリッシュを承認します。 アセットを承認する権限がない場合は、このアイコンは無効(グレー表示)になります。</p>

表 8: アセット・ツールバーのアイコン (続き)

アイコン	実行できる作業
	<p>テンプレートの変更:</p> <p>作業中のアセット用に、別のテンプレートを選択します。選択するテンプレートによって、Web サイトでのアセットのレンダリング方法が決まります。</p> <p>アセットのテンプレートを変更する権限がない場合は、このアイコンは無効 (グレー表示) になります。</p>
	<p>チェックアウト:</p> <p>このアセット・タイプに関してリビジョン追跡が有効になっている場合は、このアイコンをクリックしてアセットをチェックアウトします。アセットを再度チェックインするまで、他のユーザーはこのアセットを変更できません。</p> <p>アセットがリビジョン追跡されていない場合は、このアイコンは無効 (非表示) になっています。</p>
	<p>チェックイン:</p> <p>このアセット・タイプに関してリビジョン追跡が有効になっていて、アセットがチェックアウトされている場合は、このアイコンをクリックしてアセットを再度チェックインします。これで、他のユーザーがこのアセットを処理できます。</p> <p>アセットがリビジョン追跡されていない場合や、アセットがチェックアウトされていない場合は、このアイコンは無効 (非表示) になっています。</p>
	<p>チェックアウトを元に戻す:</p> <p>このアセット・タイプに関してリビジョン追跡が有効になっている場合は、このアイコンをクリックしてチェックアウトを元に戻します。</p> <p>アセットがリビジョン追跡されていない場合は、このアイコンは無効 (非表示) になっています。</p>
	<p>ロールバック:</p> <p>このアセット・タイプに関してリビジョン追跡が有効になっている場合は、このアイコンをクリックしてアセットを前のバージョンにロールバックします。</p> <p>アセットがリビジョン追跡されていない場合は、このアイコンは無効 (非表示) になっています。</p>
	<p>バージョンの表示:</p> <p>このアセット・タイプに関してリビジョン追跡が有効になっている場合は、このアイコンをクリックしてアセットのリビジョン履歴レポートを表示します。</p> <p>アセットがリビジョン追跡されていない場合は、このアイコンは無効 (非表示) になっています。</p>

表 8: アセット・ツールバーのアイコン (続き)

アイコン	実行できる作業
	<p>チェックイン/チェックアウト:</p> <p>アセットを Web モードで表示しているときに、アセットのツールバーに表示されます。このアイコンをクリックして、プライマリ・アセット (作業中のアセット) およびプライマリ・アセットの Web ページ・ビューに表示されるすべてのアセットに対してリビジョン追跡機能を実行します。</p> <p>このアイコンは、リビジョン追跡が無効な場合でも、常に表示されます。</p>

手順の索引

Oracle WebCenter Sites にログインするには:	43
フォーム・モードでアセットを作成するには:	49
Web モードでアセットを作成するには:	50
別のサイトに切り替えるには:	65
フォーム・モードでアセットを作成するには:	69
既存アセットのコピーによって新規アセットを作成するには:	75
フォーム・モードでアセットを編集するには:	81
イメージ・ピッカーを使用してイメージ・アセットを他のアセットに 関連付けるには:	85
Clarkii Online Image Editor を使用してイメージを編集するには:	88
Date Picker を使用して日付を入力するには:	89
Web モードで新規アセットを作成するには	98
Web モードでアセットのコンテンツを編集するには	108
アセットの Web ページ・レイアウトを変更するには	110
スロットのコンテンツ・レイアウトを変更するには	114
アソシエーションを追加または置換するには	118
関連付けられたアセットのコンテンツを編集するには	121
関連付けられたアセットを削除するには	124
コンテンツが複数值スロット内に表示される順序を変更するには	126
アセットを削除するには	135
アセットを検索するには:	142
SmartList を作成するには:	145
アセットの詳細検索を実行するには:	148
アセットにブックマークを付けるには:	151
ブックマークを付けたアセットにダッシュボードからアクセスするには: ...	152
ブックマークを付けたアセットに「ワーク」ツリーから アクセスするには:	152
「ワーク」ツリーからアセットのブックマーク解除を行うには:	153

ダッシュボードからアセットのブックマーク解除を行うには	153
「履歴」ノードからアセットにアクセスするには	155
アセットをプレビューするには	159
アセットに日付範囲を割り当てるには	164
サイトの将来の表示をプレビューするには	166
アセットを別のアセットに関連付けるには	172
別のアセットに対するアセットのアソシエーションを解除するには	175
親アセットを指定するには	178
コレクションを作成するには	180
Web サイト上にページを配置するには	188
Web サイト上のページの配置を取り消すには	191
リンクしたイメージをテストします。	213
イメージ・アセットを参照元アセットに含めます。	214
リンクしたイメージをテストします。	218
URL へのリンクを作成するには	219
アセットのロケール指定を設定または変更するには	226
アセットの翻訳を作成するには	227
アセットの特定の翻訳が存在するかどうかを確認するには	231
多言語セットのマスター・アセットを変更するには	233
アセットのパブリッシュを承認するには	238
アセットの承認ステータスを確認するには	242
パブリッシュ・キューからアセットを除去するには	243
アセットをチェックアウトするには	249
現在自分にチェックアウトされているアセットのリストを表示するには	251
アセットのチェックアウトを元に戻すには	252
アセットをチェックインするには	254
アセットのリビジョン履歴を確認するには	256
アセットをロールバックするには	257
ワークフローの割当てのリストを表示するには	269
ワークフローに手動でアセットを割り当てるには	270
プロセスの期限を設定するには	274
割当て期限を設定するには	275
アセットの割当てを終了するには	276
割当てを委任するには	280
割当てに対する投票を棄権するには	282
ワークフローからアセットを除去するには	284
アセットの参加者(割当て先)のリストを調べるには	285
ワークフロー参加者を設定するには	286
アセットのワークフロー進捗状況を確認するには	288
リスト・モードの静的リスト推奨を作成するには	338
推奨モードの静的リスト推奨を作成するには	342
動的リスト推奨を作成するには	349

関連アイテム推奨を作成するには:.....	355
推奨アセットを編集するには:.....	360
アセットに評価を割り当てるには:.....	364
アセット間の関係を構成するには:.....	365

索引

数字

0

確信度の値 332
評価 329, 331

100

確信度の値 332
評価 329, 331

C

Clarkii Online Image Editor
イメージの編集 88

D

Date Picker 89

E

Engage
概要 293

F

FCKEditor 84

あ

アセット
アセット・コンテンツの埋込み 202
アソシエーションの解除 175

依存性 236
関係の定義 365
関連付け 172, 178
共有 78
削除 134
参加者 / 割当て先リストの表示 285
参加者リスト 285
承認 236
チェックアウト 246, 249
チェックアウトを元に戻す 252
チェックイン 246, 254
内部リンクの埋込み 197, 206
プレビュー 159
リビジョン履歴の確認 256
ロールバック 257
ワークフローからの除去 284
ワークフロー進捗状況の確認 288
ワークフローのバリエーション 260
アセット・タイプ
推奨 295
推奨用のソート 333
セグメント 294
プロモーション 295
アセット・フォームの「関連アイテム」
セクション 336
アセット・フォームの「評価」セクショ
ン 336
アセットの検索 142, 148
アセットの承認 236
手順 238
パブリッシュ用 236

い

依存性

解決 241

フレックス・アセット 236

ベーシック・アセット 236

依存性解決 241

イメージ・ピッカー 85

う

埋込みリンク

アセット・コンテンツ 202

タイプ 194

内部 197, 206

か

カート, ショッピング・カートを参照

確信度 331

継承 332

ソート 333

範囲 332

列 (フレックス・アセット・フォーム) 367

「数」フィールド (セグメント) 311

「カタログ内のすべての製品」オプション (プロモーション) 376

関連アイテム推奨 327

評価の計算 336

関連アセット 365

き

期限

ワークフロー・プロセス 273

ワークフローの割当て 275

記事アセット

埋込みリンク 219

共有

アセット 78

け

計画

推奨 337

計算

評価 329-331

継承

確信度 332

評価 330

権限

アセットの共有 78

パブリッシュの承認 236

ルールに付与済 262

検索スタイル・オプション 332

こ

構成

アセット間の関係 365

構造化コンテンツ・アセット

定義 31

「購入」オプション (プロモーション) 376

「この基準の追加」ボタン (セグメント) 307

合計

カート内のアイテム数 (セグメント) 321

カート内のアイテムの額 (セグメント) 321

フィールド (セグメント) 309

さ

「最終記録日」オプション (セグメント) 316

最上位オプション (選択基準) 332

サイト

ログオン時の選択 46

サイトの表示 380

削除

アセット 134

作成

アセット 68

プロモーション 372

「さらに制限」 307

参加者

設定 286

定義 262

表示 285

サンプル・ワークフロー 236, 265

し

システム・デフォルトの評価 329

承認

- 依存性 236
 - ステータス 237
- 初回 (履歴定義) 314
- ショッピング・カート 300
 - アイテムの割引 376
 - セグメント定義に使用 321
- 新規推奨フォーム 339, 343, 350, 356
- 時間制限オプション (セグメント) 308
- 「実行されたアクション」フィールド (ワークフロー) 277
- 「実行するアクション」フィールド (ワークフロー) 278
- 重複しているプロモーション 370
- 状態
 - サンプル・ワークフロー 265
 - ワークフロー 261

す

- 推奨
 - アセット間の関係の定義 365
 - アセットの評価 295
 - 開発 337
 - 関連アイテム 327
 - 概要 325
 - 静的リスト 326
 - セグメント 298
 - テスト 368
 - 動的リスト 326
 - 評価 326
 - プロモーションによる置換 370
- ステータスの形態 237
- ステップ
 - サンプル・ワークフロー 265
 - ワークフロー 261

せ

- 「請求書または領収書に表示される送料割引の説明」フィールド (プロモーション) 377
- 「請求書または領収書に表示される割引の説明」フィールド (プロモーション) 376
- 静的リスト推奨 326
 - 評価の計算 334
- 製品属性
 - 推奨用のソート 333

- セグメント
 - 数に基づく 311
 - 概要 297
 - 合計に基づく 309
 - 初回記録時に基づく 314
 - ショッピング・カートに基づく 321
 - 前回記録時に基づく 316
 - 評価 363
 - プロモーションの対象 374
 - 訪問者属性による定義 306
 - 訪問者の分類 294
 - 履歴属性に基づく 317
 - 履歴定義による定義 308
- セグメント外
 - 評価 329
 - 列 364
- セグメント定義フォーム 301
- セグメント内
 - 評価 329
 - 列 364
- セグメント評価未適用フィールド 329, 364
- 「説明」フィールド
 - セグメント 304
 - プロモーション 373
- 選択
 - ショッピング・カートのセグメントの製品 321
 - プロモーションのセグメント 374
 - ログオン時のサイト 46
 - 割引対象の製品 (プロモーション) 377
 - 「選択した属性の値」オプション (セグメント) 317, 319
- 前回 (履歴定義) 316

そ

- 送料 (割引) 377
- 「送料」オプション (プロモーション) 377
- ソート機能
 - アセット・タイプ 333
 - オプション 333
 - 確信度 333
 - 製品属性 333
 - 評価 333
 - 「その他を含む」 307
- 属性
 - 訪問者 298

履歴 298, 317
「属性タイプ」フィールド (推奨) 348,
354, 359
「属性」フィールド (推奨) 348, 354, 359

た

タグ
アセットの削除 153
多言語アセット 224

ち

チェックアウト
実行 249
定義 246
チェックアウトを元に戻す 246, 252
チェックイン
実行 254
定義 246

つ

通常の記事プロセスのサンプル・ワーク
フロー 236, 265

て

定義
アセット間の関係 365
プロモーションの期間 378
プロモーションの対象のセグメン
ト 374
プロモーションの割引 376
適用オプション
期間 (プロモーション) 378
期限 (プロモーション) 378
削除されるまで (プロモーション) 378
すべての訪問者 (プロモーション) 374
選択されたセグメント (プロモーション)
ン) 375
テスト
推奨 368
テンプレート・アセット 337
「テンプレート」フィールド (推奨) 340,
344, 351, 357
デザイン・アセット 32
デッドロック

解決 283
定義 264
デッドロックの解決 264, 283
デフォルトの評価 329
電子メール通知
委任された割当て 264, 281
デッドロック 264
ワークフローの割当て 263

と

投票
デッドロック 264
デッドロック解決のための再投票 283
「投票の棄権」フォーム 282
「特定の期間に制限」フィールド (セグメ
ント) 309
「特定の製品に制限」オプション (セグメ
ント) 321
特定の製品または製品グループのオプ
ション (プロモーション) 377
動的リスト推奨 326
評価の計算 335

な

「名前」フィールド
セグメント 304
プロモーション 373

は

範囲
確信度の値 332
評価 329
パブリッシュ
依存性解決 241
パブリッシュの承認
自動化 268

ひ

評価
0 または 100 の場合のルール 331
アセットへの割当て 363
計算 329-331
継承 330
システム・デフォルト 329

セグメント外 329
セグメント内 329
ソート 333
その他が適用されない場合 329
デフォルト 363
範囲 329
複数のセグメントが該当する場合 331
「評価」列 (フレックス・アセット・
フォーム) 364

ふ

フィルタ
数に基づく 311
合計に基づく 309
初回記録時に基づく 314
ショッピング・カートに基づく 321
前回記録時に基づく 316
履歴属性に基づく 317
フォーム
投票の棄権 282
ログイン 43
フレックス・アセット
依存性 236
説明 33
プロモーション
価値の定義 295
概要 370
期間 378
作成 372
ショッピング・カートに基づく 300
重複 370
推奨の置換 370
セグメント 298
表示 380
命名 372
目標 374
割引の定義 376
プロモーションの期間 378
プロモーションの対象の訪問者 374
プロモーションの長さ 378
プロモーションの場所 380
プロモーションの表示 380

へ

ベーシック・アセット
依存性 236

説明 33

ほ

「方向」フィールド (推奨) 348, 354, 359
訪問者属性 298
セグメント定義に使用 306
訪問者データ・アセット 298
翻訳
作成 227
存在の確認 231

ま

マスター・アセット
変更 233

も

「目標」フィールド (プロモーション) 374
「最も早い記録日」オプション (セグメン
ト) 314

ゆ

ユーザー
ロール 262

ら

ランダムオプション (選択基準) 332

り

リビジョン追跡
アセットのチェックイン 254
アセットのロールバック 257
チェックアウト 246, 249
チェックアウトを元に戻す 246, 252
チェックイン 246, 254
バージョンの表示 256
リビジョン履歴 248, 256
リビジョン履歴の確認 256
ロールバック 248
リビジョン履歴 248, 256
履歴属性 298
セグメント定義に使用 317
履歴定義 298
セグメント定義に使用 308

リンク、「埋込みリンク」を参照

ろ

ロール

ワークフロー 262

ロールバック 248

ロケール

設定 226

わ

ワークフロー

アセットの除去 284

アセットの割当て 270

概要 260

権限 262

参加者 262

参加者の設定 286

参加者の表示 285

サンプル 265

状態 261, 265

ステップ 261, 265

タスクのステータス 290

デッドロックの解決 283

投票の棄権 282

プロセスの期限の設定 273

割当て 263

割当て期限の設定 275

割当ての維持 279

割当ての委任 280

割当ての完了 276

割当てリストの表示 269

ワークフローの割当ての維持 279

割当て

維持 279

委任 264, 280

期限 263

キュー 264

終了 276

投票 263

投票の棄権 264

取消し 264

評価 363

表示 263

プロモーションの期間 378

割当ての完了 276

割当てリスト 263

割引 370

ショッピング・カート全体 376

請求書の説明 377

製品 376

送料 377

特定の製品 377

割引の説明フィールド(プロモーション) 377

割引の適用 376